七生第22－91号

令和3年2月13日福島県沖地震による七ヶ浜健康スポーツセンター災害復旧工事

公　開　数　量　内　訳　書

＜取扱上の注意事項＞

1　本内訳書に記載されている数量は参考数量であり，本内訳書は工事請負契約書に記載される設計図書には含まれない。

2　公開数量は，設計変更や出来高計算等の対象数量となるものではない。

3　公開数量は，公共建築工事積算基準、公共建築数量積算基準及び公共建築設備数量積算基準の最新版に準拠している。

4　本内訳書に疑義があるときは，公開数量に関する質問書に入札参加予定者が自ら作成した内訳及びその根拠（部位別及び階別の集計表）を明示した数量見積書を添付して質問することができる。（細目は，工事担当に問い合わせのこと。）

七ヶ浜町

（数量公開用）

文書登録番号	調査								設計者	検査者
七生第22-91号	町長		副町長		財政課長		課長			

事業場所　七ヶ浜町吉田浜字野山5-1（七ヶ浜健康スポーツセンター）

令和3年2月13日福島県沖地震による七ヶ浜健康スポーツセンター災害復旧工事　　実施設計仕様書

事業費	「仕様概要・その他」
金　　円也 内消費税　　円也	七ヶ浜健康スポーツセンター C棟災害復旧（ブリッジ外部・内部、レストラン厨房など）　1　式 D棟災害復旧（鉄骨躯体、クラック補修、ガラス復旧など）　1　式 D棟経年変化（外部・内部疎水材改修、鉄骨部塗装改修）　1　式 D棟電気の復旧　（LED照明）　1　式 受水槽の復旧　1　式
期間 自　令和年　月　日 至　令和5年3月31日	その他、災害復旧工事に係る建築・電気・機械　1　式

起　工　理　由

積　算　総　括　表			
工 事 名	令和３年２月１３日福島県沖地震による七ヶ浜健康スポーツセンター災害復旧工事		
工 事 費	金　　円(消費税を含む)		
工事日数			
項　目	名　　称	金　　額　(円)	摘　　要
A	直接工事費		
B	共通仮設費		
C	純工事費		
D	現場管理費		
E	工事原価		
F	一般管理費等		
G	同上(契約保証費)		
H	工事価格合計		
	改め		
	消費税等相当額		
	総　合　計		

共　通　費

主たる工事の種別	工事種目		直接工事費(A)	共通仮設費(B)			純工事費(C)
				共通仮設費率	補正率	共通仮設費	
建築工事（改修）	一般工事						
	鉄骨工事						
	その他工事	家具・書架等造園舗装取壊しその他					
	共通仮設費(積上分)						
	現場管理費(積上分)						
	小計						
	発生材処分費						
	合計						

工事種目			現場管理費(D)			工事原価(E)
			現場管理費率	補正率	現場管理費	
一般工事						
鉄骨工事						
その他工事	家具・書架等造園舗装取壊しその他					
共通仮設費(積上分)						
現場管理費(積上分)						
小計						
発生材処分費						
合計						

一般管理費等(F)		
一般管理費等率	補正率	一般管理費
契約保証費(G)		
工事価格(H)=(E)+(F)+(G)（税抜き）		
	改め	
消費税相当額		
工事価格(税込み)		
（税込み）		

工事番号	七生第22-91
工事名称	令和3年2月13日福島県沖地震による七ヶ浜健康スポーツセンター災害復旧工事
発注者	七ヶ浜町

工期	
監督員事務所の有無	無し
前払金支出割合による一般管理費の補正	
前払い金支出割合	
契約保証費の有無	有り
消費税率	

項　目　別　内　訳　書

項　　目	名　　称	金　　額 （円）	摘　　要
A	指定仮設工事		
B	直接工事費		
	Ⅰ C棟災害復旧対応工事		
	Ⅱ D棟災害復旧対応工事		
	Ⅲ D棟経年変化対応工事		
	Ⅳ 電気設備工事		
	Ⅴ 機械設備工事		
	（合計）		
C	発生材処分費(建築)		
	発生材処分費(電気)		
	発生材処分費(機械)		
	（合計）		

明　細　書

	名　　称	摘　　要	数 量	単位	単 価 (円)	金 額 (円)	備　　考
A	指定仮設工事						
	仮囲い	仮囲い鉄板　設置・撤去 H=3.0m（6か月）	250.0	m			
	仮囲い運搬	仮囲い鉄板 H=3.0m	250.0	m			
	出入口ゲート	（6か月） W3,600×H4,500	2.0	か所			
	交通誘導員Ｂ			人工			
	（設備用）						
	仮囲い	仮囲い鉄板　設置・撤去 H=3,000（1か月）	4.5	m			
	仮囲い運搬	仮囲い鉄板 H=3.0m	4.5	m			
	仮囲い片開き戸	W=900	1.0	か所			
	（小計）						

明　細　書

名　　称		摘　　要	数 量	単位	単 価 (円)	金 額 (円)	備　　考
B							
Ⅰ	C棟災害復旧対応工事						
Ⅰ-1	直接仮設		1.0	式			
Ⅰ-2	外部改修		1.0	式			
Ⅰ-3	内部改修		1.0	式			
Ⅰ-4	建具改修		1.0	式			
Ⅰ-5	塗装改修		1.0	式			
Ⅰ-6	発生材積込・運搬		1.0	式			
	(計)						

明　細　書

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　価 (円)	金　額 (円)	備　　考
Ⅰ-1	直接仮設						
	外部足場(外部改修)	枠組棚足場	163.0	m2			
	防音シート張り		163.0	m2			
	安全手摺り	枠組本足場用	27.7	m			
	小幅ネット(層間塞ぎ)		27.7	m			
	養生(外部改修)		55.4	m2			
	清掃片付け(外部改修)		55.4	m2			
	内部足場(内部改修)	脚立足場 階高さ4.0m未満	84.9	m2			
	養生(内部改修)	複合改修	84.9	m2			
	清掃片付け(内部改修)	複合改修	84.9	m2			
	仮設材運搬	枠組本足場 建枠幅900(二枚布)	163.0	m2			
	仮設材運搬	枠組本足場用安全手摺り (手摺先行方式)	27.7	m			
	仮設材運搬	内部仕上足場 脚立足場 3階建	84.9	m2			
	仮設材運搬	ｼｰﾄ･ﾈｯﾄ類	163.0	m2			
	仮設材運搬	小幅ﾈｯﾄ	27.7	m			
	(計)						

明　細　書

名　　称		摘　　要	数 量	単位	単 価 (円)	金 額 (円)	備　　考
Ⅰ-2	外部改修						
a.	外部改修	撤去	1.0	式			
b.	外部改修	復旧	1.0	式			

明　細　書

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　価 (円)	金　額 (円)	備　　考
a.	外部改修	撤去					
	(屋根)						
	(EXP･J)						
	既存EXP･J撤去		1.0	式			
	下地金物取付		1.0	式			
	取付副資材		1.0	式			
	現場道具損料		1.0	式			
	運搬費		1.0	式			
	既存EXP･J腐食部撤去		1.0	か所			
	(小計)						

明　細　書

名　　称		摘　　要	数 量	単位	単 価 (円)	金 額 (円)	備　　考
b.	外部改修	復旧					
	(EXP・J交換工事)						
	屋根+外壁 H525－APW	ｼﾙﾊﾞｰｱﾙﾏｲﾄ ｸﾘｱﾗﾝｽ200	3.1	m			
	同上熔接小口フタ	ｼﾙﾊﾞｰｱﾙﾏｲﾄ	2.0	個			
	外壁+外壁 EU－200	熱可塑性ｴﾗｽﾄﾏｰ樹脂 ｸﾘｱﾗﾝｽ200	26.0	m			
	下端役物 ロゼッタクッション	ｸﾘｱﾗﾝｽ200	2.0	か所			
	コーナー溶着加工		4.0	か所			
	コーキング工事		1.0	式			
	(下地金物取付工事)						
	屋根+外壁 EXP・J	100×100×2.5	1.0	本			
	外壁+外壁 EXP・J	100×30×2.5	15.0	本			
	加工費		1.0	式			
	(小計)						

明　細　書

名　　称		摘　　要	数 量	単位	単 価 (円)	金 額 (円)	備　　考
Ⅰ-3	内部改修						
a.	内部改修	撤去	1.0	式			
b.	内部改修	復旧	1.0	式			

明　細　書

名　　称		摘　　要	数 量	単位	単 価 (円)	金 額 (円)	備　　考
a.	内部改修	撤去					
	床 タイルカーペット撤去	t=6.5	9.5	m2			
	床 ゴムタイル撤去	t=5.0	25.6	m2			
	巾木 ビニル巾木撤去	H=100	29.9	m			
	壁 石膏ボード撤去	突付貼 GB-Rt12.5	9.6	m2			
	壁 石膏ボード撤去	突付貼GL工法 GB-Rt12.5	43.2	m2			
	天井 石膏ボード撤去	GB-Rt9.5	51.3	m2			
	天井 廻り縁撤去	塩ﾋﾞ既製	64.4	m			
	(小計)						

明　細　書

名　　称		摘　　要	数 量	単位	単 価	金 額	備　　考
					（円）	（円）	
b.	内部改修	復旧					
	床 下地補修	(貼物下)	35.1	m2			
	床 タイルカーペット	t=6.5	9.5	m2			
	床 ゴムタイル	t=5.0	25.6	m2			
	巾木 ビニル巾木	H=100	50.6	m			
	壁 耐水石膏ボード	突付貼 GB-St12.5	9.6	m2			
	壁 耐水石膏ボード	突付貼GL工法 GB-St12.5	43.2	m2			
	壁 化粧珪酸カルシウム板	ｱﾙﾐｼﾞｮｲﾅｰ共 t=6.0	52.8	m2			
	天井 石膏ボード	J工法 GB-Rt9.5	51.3	m2			
	天井 廻り縁	塩ﾋﾞ既製	64.4	m			
	(木工)						
	ﾍﾞﾝﾁ① 天板・蹴込板	唐松集成材 t=25.0　ｵｲﾙｽﾃｲﾝ塗装	1.0	か所			
		W3,450/9,120× D460+460+600×H450					
	ﾍﾞﾝﾁ② 天板・蹴込板	唐松集成材 t=25.0　ｵｲﾙｽﾃｲﾝ塗装	1.0	か所			
		W4,000/5,850× D460+460+600×H450					
	ﾍﾞﾝﾁ③ 天板	唐松集成材 t=25.0　ｵｲﾙｽﾃｲﾝ塗装	1.0	か所			
		W1,800×D145×t25					
	ﾍﾞﾝﾁ④ 天板	唐松集成材 t=25.0　ｵｲﾙｽﾃｲﾝ塗装	1.0	か所			
		W2,200×D145×t25					
	(EXP・J交換工事)						
	内壁+内壁 EU－200	熱可塑性ｴﾗｽﾄﾏｰ樹脂 ｸﾘｱﾗﾝｽ200	6.0	m			
	天井コーナー EU－BC200C	熱可塑性ｴﾗｽﾄﾏｰ樹脂 ｸﾘｱﾗﾝｽ200	3.1	m			
	床+床 EU－FX200 標準仕様	熱可塑性ｴﾗｽﾄﾏｰ樹脂 ｸﾘｱﾗﾝｽ200	3.0	m			
	(下地金属取付工事)						
	内壁+内壁 EXP・J	100×30×2.5	4.0	本			
	天井見切り 曲げ板2		1.0	式			
	床+床 Lカバー		2.0	本			
	加工費		1.0	式			

明　細　書

名　　称		摘　　要	数 量	単位	単 価	金 額	備　　考
					（円）	（円）	
	（厨房機器）						
	機器取外し工事費		1.0	式			
	機器再設置工事費		1.0	式			
	エアコン取外し再設置工事費	（冷媒回収作業含む）	1.0	式			
	給排水再接続工事費		1.0	式			
	ガス再接続工事費		1.0	式			
	機器破損部品充填費		1.0	式			
	（計）						

明　細　書

名　　称		摘　　要	数 量	単位	単 価 (円)	金 額 (円)	備　　考
Ⅰ-4	建具改修						
a.	建具改修	撤去	1.0	式			
b.	建具改修	復旧	1.0	式			

明　細　書

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
					（円）	（円）	
a.	建具改修	撤去					
	AW100-A 建具撤去場内集積費	ｱﾙﾐ見切り	1.0	か所			
	AW100-B 建具撤去場内集積費	ｱﾙﾐ見切り	1.0	か所			
	（小計）						

七ヶ浜町

明　細　書

名　　称		摘　　要	数 量	単位	単 価 (円)	金 額 (円)	備　　考
b.	建具改修	復旧					
	AW100-A アルミ見切り		1.0	か所			
	AW100-B アルミ見切り		1.0	か所			
	取付調整費		1.0	式			
	運搬費		1.0	式			
	法定福利費		1.0	式			
	スクラップ控除	アルミ屑	-0.2	t			

明　細　書

名　　称		摘　　要	数 量	単位	単 価	金 額	備　　考
					（円）	（円）	
Ｉ－5	塗装復旧						
	天井 EP塗	素地ごしらえ共 (ボード面)	51.3	m2			

明　細　書

名　　称		摘　　要	数 量	単位	単 価 (円)	金 額 (円)	備　　考
Ⅰ-6	発生材積込・運搬						
	発生材積込	人力 廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	0.5	m3			
	発生材積込	人力 石膏ﾎﾞｰﾄﾞ類	1.2	m3			
	発生材運搬	DID区間有 DT2t積 人力積込廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類 23.0km	0.5	m3			
	発生材運搬	DID区間有 DT2t積 人力積込石膏ﾎﾞｰﾄﾞ類 60.0km	1.2	m3			

明　細　書

名　　称		摘　　要	数 量	単位	単 価 (円)	金 額 (円)	備　　考
B							
Ⅱ	D棟災害復旧対応工事						
Ⅱ-1	直接仮設		1.0	式			
Ⅱ-2	躯体改修		1.0	式			
Ⅱ-3	外部改修		1.0	式			
Ⅱ-4	内部改修		1.0	式			
Ⅱ-5	建具改修		1.0	式			
Ⅱ-6	発生材積込・運搬		1.0	式			
	(計)						

明　細　書

名　　称		摘　　要	数 量	単位	単 価	金 額	備　　考
					（円）	（円）	
Ⅱ-1	直接仮設						
	外部足場(外部改修)	枠組棚足場（内側二重掛部） 階高さ12m未満	1,351.0	m2			
	外部足場(外部改修)	枠組棚足場 階高さ22m未満	2,593.0	m2			
	防音シート張り		2,593.0	m2			
	安全手摺り	枠組本足場用	333.0	m			
	小幅ネット(層間塞ぎ)		847.0	m			
	養生(外部改修)		666.0	m2			
	清掃片付け(外部改修)		666.0	m2			
	内部足場(内部改修)	枠組棚足場 手摺先行方式 階高さ10.8m以上12.5m未満	540.0	m2			
	内部足場(内部改修)	枠組棚足場 手摺先行方式 階高さ12.5m以上14.3m未満	1,070.0	m2			
	内部足場(内部改修)	脚立足場 階高さ4.0m未満	664.0	m2			
	養生(内部改修)	複合改修	3,052.0	m2			
	清掃片付け(内部改修)	複合改修	3,052.0	m2			
	仮設材運搬	枠組本足場 建枠幅900(二枚布)	3,944.0	m2			
	仮設材運搬	枠組本足場用安全手摺り (手摺先行方式)	333.0	m			
	仮設材運搬	内部仕上足場 棚足場 (手摺先行方式)	540.0	m2			
		階高さ10.8m以上12.5m未満					
	仮設材運搬	内部仕上足場 棚足場 (手摺先行方式)	1,070.0	m2			
		階高さ12.5m以上14.3m未満					
	仮設材運搬	ｼｰﾄ･ﾈｯﾄ類	2,593.0	m2			
	仮設材運搬	小幅ﾈｯﾄ	847.0	m			
	（計）						

明　細　書

名　　称		摘　　要	数 量	単位	単 価	金 額	備　　考
					（円）	（円）	
Ⅱ-2	躯体復旧	復旧					
	(鉄骨)						
	(天井照明架台受け鉄骨部材)						
	鋼材費	SS400 L-50×50×4	567.0	kg			
	鋼材費	SSC400 C-100×50×20×1.6	4,462.0	kg			
	鋼材費	BTN-M10×30	80.0	kg			
	工場製作費	照明器3台	29.0	基			
	工場製作費	照明器2台	6.0	基			
	工場製作費	照明器なし	110.0	基			
	現場受けピース	L-40×40×3 L=100	2,550.0	個			
	運搬費		1.0	式			
	(天井照明架台受け鉄骨取付)						
	天井下地材取付	C-100×50×20×1.6	110.0	基			
	野縁受けピース	L-40×40×3 L=100	2,550.0	か所			
	工場製作費	照明機3台 C-100×50×20×1.6	35.0	基			
	タッチアップ費		800.0	か所			
	(クレビス型トラス部改修)						
	RI部斜材補修	φ139.8×6　L=4,000	8.0	本			
	斜材接合用ピン材料費		1.0	式			
	曲がり斜材引取り手間		8.0	本			
	曲がり斜材再取付手間		8.0	本			
	運搬費		1.0	式			
	ピン材現場調査費		1.0	式			
	ピン取換え		400.0	本			
	ピン挿入後塞ぎプレート溶接	隅肉溶接 ﾀｯﾌﾟ溶接	800.0	か所			
	RI柱頭GPL撤去新設		1.0	か所			
	タッチアップ費		800.0	か所			
	鉄骨復旧用仮設	鉄骨復旧に伴う揚重機・支保など	1.0	式			
	法定福利費		1.0	式			
	スクラップ控除	H3 金属類	-0.6	t			
	(計)						

明　細　書

名　　称		摘　　要	数 量	単位	単 価	金 額	備　　考
					（円）	（円）	
Ⅱ-3	外部復旧	復旧					
	外壁 クラック補修	ｴﾎﾟｷｼ樹脂 0.2mm以上	266.0	m			
	外壁 コンクリート剥離	樹脂ﾓﾙﾀﾙ 500×200×t40	1.0	か所			
	（計）						

明　細　書

名　　称		摘　　要	数 量	単位	単 価 (円)	金 額 (円)	備　　考
Ⅱ-4	内部改修						
a.	内部改修	撤去	1.0	式			
b.	内部改修	復旧	1.0	式			

明　細　書

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
					（円）	（円）	
a.	内部改修	撤去					
	（内装）						
	ｱﾘｰﾅ 既存天井解体	下地～仕上GWﾎﾞｰﾄﾞ	1,244.0	m2			
	ｱﾘｰﾅ 産廃運搬費	指定場所まで	1,244.0	m2			
	（小計）						

明　細　書

名　　称		摘　　要	数 量	単位	単 価 (円)	金 額 (円)	備　　考
b.	内部改修	復旧					
	巾木 ビニル巾木	H=100	225.0	m			
	壁 クラック	ｴﾎﾟｷｼ樹脂 0.2mm以上	133.0	m			
	壁 石膏ボード	J工法 GB-Rt12.5	326.0	m2			
	(内装)						
	ｱﾘｰﾅ グラスウールボード	化粧塩ﾋﾞｼｰﾄ貼 t=25　64kg	1,244.0	m2			
	ｱﾘｰﾅ スチール見切縁	t=25	1,941.0	m			
	ｱﾘｰﾅ 照明部開口補強		35.0	か所			
	(小計)						

明　細　書

名　　称		摘　　要	数 量	単位	単 価 (円)	金 額 (円)	備　　考
Ⅱ-5	建具改修						
a.	建具改修	撤去	1.0	式			
b.	建具改修	復旧	1.0	式			

明　細　書

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　価 (円)	金　額 (円)	備　　考
a.	建具改修	撤去					
	AW2-N 建具撤去場内集積費		80.0	か所			
	ガラス撤去		419.0	m2			
	スクラップ控除	アルミ屑	-6.0	t			

明　細　書

名　　称		摘　　要	数 量	単位	単 価	金 額	備　　考
					（円）	（円）	
b.	建具改修	復旧					
	AW2-N 異形FIX・外部アルミ見切り	W1,719.5×H2,921.5	80.0	か所			
	AW30-H 異形FIX・外部アルミ見切り	W3,606.2×H1,597.6	1.0	か所			
	A1 金物交換		61.0	か所			
	取付調整費		1.0	式			
	運搬費		1.0	式			
	法定福利費		1.0	式			
	(ガラス)						
	AW-2 フロートガラス	t=10.0　W1,750×H2,950	80.0	枚			
	AW-30 フロートガラス	t=5.0　W1,190×H1,620	2.0	枚			
	フロートガラス	t=5.0　W1,130×H1,595	1.0	枚			
	ｱﾘｰﾅ2F:手摺り 強化ガラス	t=4.0　W1,350×H825	4.0	枚			
	手摺り バックアップ材	12×3	10.8	m			
	ｶﾞﾗｽ廻り シーリング	6×6	34.8	m			
	ｶﾞﾗｽ廻り シーリング	8×6	33.4	m			
	ｶﾞﾗｽ廻り シーリング	10×8	1,504.0	m			
	飛散防止フィルム	ｸﾘｱ	413.0	m2			
	（小計）						

明　細　書

名　　称		摘　　要	数 量	単位	単 価	金 額	備　　考
					（円）	（円）	
Ⅱ-6	発生材積込・運搬						
	発生材積込	人力 ｶﾞﾗｽ類	35.3	m3			
	発生材積込	人力 廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	0.1	m3			
	発生材運搬	DID区間有 DT2t積 人力積込 ｶﾞﾗｽ類 23.0km	35.3	m3			
	発生材運搬	DID区間有 DT2t積 人力積込廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類 23.0km	0.1	m3			
	（計）						

明　細　書

名　　称		摘　　要	数 量	単位	単 価 (円)	金 額 (円)	備　　考
B							
Ⅲ	D棟経年変化対応工事						
Ⅲ-1	外部改修		1.0	式			
Ⅲ-2	塗装改修		1.0	式			

明　細　書

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　価 (円)	金　額 (円)	備　　考
Ⅲ−1	外部改修						
a.	外部改修	復旧	1.0	式			

明　細　書

名　　称		摘　　要	数 量	単位	単 価	金 額	備　　考
					（円）	（円）	
a.	外部改修	復旧					
	外壁 水洗い	高圧ﾎﾟﾝﾌﾟによる水洗い (RC面)	167.0	m2			
	外壁 疎水剤塗布	(RC面)	167.0	m2			
	軒天井 水洗い	高圧ﾎﾟﾝﾌﾟによる水洗い (RC面)	97.0	m2			
	軒天井 疎水剤塗布	(RC面)	97.0	m2			
	外壁 水洗い	高圧ﾎﾟﾝﾌﾟによる水洗い (RC面)	1,787.0	m2			
	外壁 疎水剤塗布	(RC面)	1,787.0	m2			
	下地調整	RA種 (鉄骨面)	1,659.0	m2			
	錆止塗装	現場2回塗 (鉄骨面)	1,659.0	m2			
	FP塗	(鉄骨面)	1,659.0	m2			
	(小計)						

明　細　書

名　　称		摘　　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　　考
					（円）	（円）	
Ⅲ-2	塗装復旧						
	壁 疎水剤塗布	RB種 （RC面）	1,612.0	m2			
	下地調整	RA種 （鉄骨面）	4,062.0	m2			
	錆止め	現場2回塗 （鉄骨面）	4,062.0	m2			
	FP塗	RA種 （鉄骨面）	1,399.0	m2			
	（計）						

明　細　書

名　　称		摘　　要	数 量	単位	単 価 (円)	金 額 (円)	備　　考
C							
1	発生材処分費						
	（C棟災害復旧対応工事）						
	発生材処分	木材類 ㈱丹勝ﾘｻｲｸﾙｾﾝﾀｰ	0.5	m3			
	発生材処分	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ類 宮城県環境事業公社	1.2	m3			
	産廃税		1.2	t			
	（D棟災害復旧対応工事）						
	発生材処分	ｶﾞﾗｽ類 ㈱東洋環境開発	35.3	m3			
	発生材処分	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類 ㈱東洋環境開発	0.1	m3			
	（小計）						

項　目　別　内　訳　書

項　　目	名　　称	金　　額 （円）	摘　　要
B	直接工事費		
	電気設備工事		
	（合計）		
C	電気設備　発生材処分費		

明　細　書

名　　称	摘　　要	数 量	単位	単 価 （円）	金 額 （円）	備　　考
B						
2 電気設備工事						
1）動力設備工事		1	式			
2）電灯設備工事		1	式			
3）拡声設備工事		1	式			
4）発生材積込み運搬		1	式			
（計）						

明　細　書

名　　称	摘　　要	数 量	単位	単 価 (円)	金 額 (円)	備　　考
1）動力設備工事						
EM-IE8	PF内	12	m			
EM-IE38	PF内	35	m			
電極結線		2	組			
600V絶縁電線撤去						
8m2*1　撤去	PF内	12	m			
22m2*1　撤去	PF内	35	m			
（小計）						

明　細　書

名　　称		摘　　要	数 量	単位	単 価 (円)	金 額 (円)	備　　考
2)	電灯設備工事						
	アリーナ						
	新設						
	照明器具　A	LED高天井器具	99	台			
	無線リモコン	器具用部品	1	個			
	フラッシュプレート	ブランク3個用	4	個			
	撤去再利用しない						
	照明器具撤去　K	MF1000W	99	台			
	昇降スイッチ撤去	6回路用	1	個			
	安定器撤去	MF1000W用	99	個			
	ブリッジ						
	新設						
	照明器具　B	K1-LRS11-2	2	個			
	照明器具　C	LRS1-13	3	個			
	撤去再利用しない						
	照明器具撤去	埋込ダウンライト	5	個			
	(小計)						

明　細　書

名　　称	摘　　要	数 量	単位	単 価 (円)	金 額 (円)	備　　考
3）拡声設備工事						
ブリッジ						
スピーカー取外し	埋込型3W	1	個			
スピーカー取付け	埋込型3W	1	個			
（小計）						

明　細　書

名　　称	摘　　要	数 量	単位	単 価 （円）	金 額 （円）	備　　考
C						
4）発生材積込み運搬						
電気設備						
発生材積込	人力　　混合ガラ	62	m3			
発生材運搬費	DID区間有 DT2t積　人力積込　60km以下(32.6km)		台			
（小計）						

明　細　書

名　　称	摘　　要	数 量	単位	単 価 （円）	金 額 （円）	備　　考
C						
1 発生材処分費						
電気設備						
発生材処分	混合ガラ　　矢本クリーンセンター大塩最終処分場	62	m3			
（小計）						

項　目　別　内　訳　書

項　　目					名　　称	金　　額（円）	摘　　要
		B			直接工事費		
					機械設備工事		
					（合計）		
		C			発生材処分費		
					機械設備　発生処分費		

明　細　書

名　　称	摘　　要	数 量	単位	単 価 (円)	金 額 (円)	備　　考
1 本設給水設備工事		1.0	式			
2 空調機器、配管工事		1.0	式			
3 給水、空調設備撤去工事		1.0	式			
直接工事費計						

明　細　書

名　　称	摘　　要	数 量	単位	単 価 （円）	金 額 （円）	備　　考
1 本設給水設備						
WT-1本設受水槽	FRP製サンドイッチパネル型 8000×4500×2000h	1	基			
	中仕切付 平架台付、組立費共					
WP-1 加圧給水ポンプユニット	インバーター制御 4台ローターリー運転	1	台			
	（125φ×65φ）×1300ℓ/min ×392Kpa（40m）					
	×5.5KW×3 制御盤共					
緊急遮断弁	125A×2　制御盤 配管、配線工事含む	1	組			
給水、ポリ紛耐ライニング鋼管　SGP-PB	機械室　20A（ねじ接合）	7	m			
給水、ポリ紛耐ライニング鋼管　SGP-PB	機械室　50A（ねじ接合）	10	m			
給水、ポリ紛耐ライニング鋼管　SGP-PB	機械室　65A（フランジ接合）	4	m			
給水、ポリ紛耐ライニング鋼管　SGP-PB	機械室　80A（フランジ接合）	13	m			
給水、ポリ紛耐ライニング鋼管　SGP-PB	機械室　125A（フランジ接合）	16	m			
仕切弁	管端防食コア JIS10K　20A	2	個			
仕切弁	管端防食コア JIS10K　50A	2	個			
ライニング仕切弁	JIS10K　65A	4	個			
ライニング仕切弁	JIS10K　80A	5	個			
ライニング仕切弁	JIS10K　125A	4	個			
フレキシブルジョイント	合成ゴム製　65A	4	個			
フレキシブルジョイント	合成ゴム製　80A	4	個			
フレキシブルジョイント	合成ゴム製　125A	3	個			
ボールタップ	20A	2	個			
定水位調整弁	ストレート型　80A	2	個			
防虫アミ	50A	2	個			
防虫アミ	125A	2	個			
配管分岐費	鋼管類、保温有　80A	1	カ所			
配管分岐費	鋼管類、保温有　125A	1	カ所			
保温工事	ポリスチレン　20A ステンレスラッキング仕上げ	7	m			
保温工事	ポリスチレン　50A ステンレスラッキング仕上げ	10	m			
保温工事	ポリスチレン　65A ステンレスラッキング仕上げ	4	m			
保温工事	ポリスチレン　80A ステンレスラッキング仕上げ	13	m			
保温工事	ポリスチレン　125A ステンレスラッキング仕上げ	11	m			
塗装工事	125A	4	m			
（小計）						

明　細　書

名　　称	摘　　要	数 量	単位	単 価 (円)	金 額 (円)	備　　考
2 空調機器、配管工事						
ファンコイルユニット	天井埋込ｶｾｯﾄ型（2方向） 800ﾀｲﾌﾟ	2.0	台			
	冷房能力　7.17KW 暖房能力　12.97KW					
ファンコイルユニット	天井埋込ｶｾｯﾄ型（2方向） 1200ﾀｲﾌﾟ	3.0	台			
	冷房能力　9.08KW					
ファンコイルユニット	天井埋込ｶｾｯﾄ型（2方向） 1200ﾀｲﾌﾟ	1.0	台			
	冷房能力　9.33KW					
同上振れ止め加工		6.0	カ所			
冷温水管	ファンコイル用フレキ管 20A×1m	12.0	本			
ドレン管	保温付ドレン管　25A	6.0	m			
配管分岐費（冷温水管）	鋼管類、保温有　20A	12.0	カ所			
配管分岐費（ドレン管）	鋼管類、保温有　25A	6.0	カ所			
（小計）						

明　細　書

名　　称	摘　　要	数 量	単位	単 価 (円)	金 額 (円)	備　　考
3 給水、空調設備撤去工事						
受水槽撤去工事		1	式			
給水配管、冷温水配管撤去工事	配管工		人工			
その他	労務費の　%		%			
ファンコイルユニット撤去工事	設備機械工		人工			
その他	労務費の　%		%			
保温類撤去工事	保温工		人工			
その他	労務費の　%		%			
配管切断費	鋼管類、保温有　20A	12.0	カ所			
配管切断費	鋼管類、保温有　25A	6	カ所			
配管切断費	鋼管類、保温有　80A	1	カ所			
配管切断費	鋼管類、保温有　125A	1	カ所			
（小計）						

令和３年２月１３日福島県沖地震による七ヶ浜健康スポーツセンター
復旧工事

図　面　リ　ス　ト

建　築						構　造			電気設備			機械設備		
図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺
A － 01	図面リスト	―――	A － 31	C棟 展開図-2	1/50	S － 01	D棟 クレビス型トラス部改修キープラン	1/200	E － 01	電気設備改修工事特記仕様書	―――	M － 01	機械設備 特記仕様書(1)	―――
A － 02	建築改修工事特記仕様書-1	―――	A － 32	D棟 2階平面図	1/100	S － 02	D棟 クレビス型トラス材標準図	1/2	E － 02	分電盤結線図	―――	M － 02	衛生設備 機器表	―――
A － 03	建築改修工事特記仕様書-2	―――	A － 33	D棟 3階平面図	1/100	S － 03	D棟 レイキング柱アンカー番号位置図	1/150	E － 03	電灯設備 アリーナ下部改修平面図	1/100	M － 03	衛生設備 撤去受水槽廻り詳細図	1/50
A － 04	建築改修工事特記仕様書-3	―――	A － 34	D棟 屋根-4伏図	1/100	S － 04	D棟 Z柱頭伏図	1/150	E － 04	電灯設備 アリーナ上部既存撤去平面図	1/100	M － 04	衛生設備 本設受水槽廻り詳細図	1/50
A － 05	建築改修工事特記仕様書-4	―――	A － 35	D棟 屋根-5伏図	1/100	S － 05	D棟 軸組図(参考)	1/200	E － 05	電灯設備 アリーナ上部改修後平面図	1/100	M － 05	衛生設備 本設受水槽参考図(1)	1/30
A － 06	配置図・案内図・工事概要	1/300	A － 36	D棟 北側・西側立面図	1/100	S － 06	D棟 鉄骨詳細図(参考)	1/30	E － 06	A，B，C棟 改修平面図	1/100	M － 06	衛生設備 本設受水槽参考図(2)	1/30
A － 07	既存仕上表-1	―――	A － 37	D棟 南側・東側立面図	1/100	S － 07	D棟 溶接要領図(参考)	1/20				M － 07	空調設備 機器表	―――
A － 08	既存仕上表-2	―――	A － 38	D棟 断面図	1/100							M － 08	空調設備 A・B棟2階平面図	1/100
A － 09	既存仕上表-3	―――	A － 39	D棟 矩計図-1	1/50							M － 09	空調設備 A・B棟3階平面図	1/100
A － 10	既存仕上表-4	―――	A － 40	D棟 矩計図-2	1/20							M － 10	空調設備 C棟2階平面図	1/100
A － 11	改修工事内容リスト-1	―――	A － 41	D棟 矩計図-3	1/20									
A － 12	改修工事内容リスト-2	―――	A － 42	D棟 矩計図-4	1/20									
A － 13	改修工事内容リスト-3	―――	A － 43	D棟 展開図-1	1/50									
A － 14	改修工事内容リスト-4	―――	A － 44	D棟 展開図-2	1/50									
A － 15	改修工事内容リスト-5	―――	A － 45	D棟 展開図-3	1/50									
A － 16	A，B棟 平面図-1	1/100	A － 46	D棟 展開図-4	1/50									
A － 17	A，B棟 平面図-2	1/100	A － 47	D棟 展開図-5	1/100									
A － 18	A，B棟 平面図-3	1/100	A － 48	アリーナ 天井伏図-1	1/100									
A － 19	A，B棟 平面図-4	1/100	A － 49	アリーナ 天井伏図-2	1/100									
A － 20	C棟 平面図-1	1/100	A － 50	アリーナ 天井伏図-3	1/100									
A － 21	C棟 平面図-2	1/100	A － 51	アリーナ 天井詳細図-1	図示									
A － 22	ブリッジ-2 詳細図-1	1/50	A － 52	アリーナ 天井詳細図-2	図示									
A － 23	ブリッジ-2 詳細図-2	1/20	A － 53	アリーナ 天井詳細図-3	図示									
A － 24	ブリッジ-2 EXP.J詳細図-1	1/30	A － 54	アリーナ 雑詳細図	図示									
A － 25	ブリッジ-2 EXP.J詳細図-2	1/3	A － 55	アルミ建具詳細図-1(AW2)	図示									
A － 26	ピロティ平面詳細・天井伏図	1/50	A － 56	アルミ建具詳細図-2(AW2)	図示									
A － 27	A棟 3階平面詳細図・天井伏図	1/50	A － 57	アルミ建具詳細図-3(AW100A,AW100B)	図示									
A － 28	C棟 2階平面詳細図	1/50	A － 58	アルミ建具詳細図-4(AW30)	図示									
A － 29	C棟 3階平面詳細図・天井伏図	1/50	A － 59	アルミ建具詳細図-5(AW12,AW30)	図示									
A － 30	C棟 展開図-1	1/50	A － 60	求積図・求積表	1/400									

縮尺：Ａ１

		設計年月日	調査	設計	工事名称	全葉	図面 No
		2022.03.31			令和３年２月１３日福島県沖地震による七ヶ浜健康スポーツセンター 復旧工事		Ａ－０１
					図面名称 図面リスト　Scale S=N.S(A1) S=N.S(A3)		

特　記　仕　様　書

Ⅰ　工　事　概　要

1　工　事　名　称　　令和３年２月１３日福島県沖地震による七ヶ浜健康スポーツセンター復旧工事
2　工　事　場　所　　七ヶ浜町吉田浜字野山5-1
3　用途地域等
　都市計画区域 (⊙ 内 ・ 外)　用途地域 (第一種中高層住居専用地域)
　防火地域等 (・ 防火 ・ 準防火 ⊙ 指定なし ⊙ ２２条)
　その他の地域・地区 (　　)
4　主　要　用　途
5　敷　地　面　積　　14,724.93 ㎡
6　工 事 の 概 要

令和3年2月13日福島県沖地震による七ヶ浜健康スポーツセンターの復旧に関する工事の内、急務を要するもの

(1) 建築工事Ｃ棟 (災害復旧)	・1-1. Ｃ棟 エキスパンションジョイント廻り改修工事 ・1-2. その他工事
(2) 建築工事Ｄ棟 (災害復旧)	・2-1. Ｄ棟 屋根架講に関する鉄骨改修工事 ・2-2. Ｄ棟 AW-2外周窓改修工事 ・2-3. Ｄ棟 外壁・内壁コンクリート打放し仕上クラック補修工事 ・2-4. その他工事
(3) 建築工事Ｄ棟 (経年変化)	・3-1. Ｄ棟 外壁・内壁コンクリート打放し仕上　疎水剤再塗装 ・3-2. Ｄ棟 屋根架構鉄骨(縦部)FP再塗装
(4) 電気設備工事 (災害復旧)	・4-1. Ｄ棟 アリーナ天井照明器具改修工事 ・4-1. その他工事
(5) 機械設備工事 (災害復旧)	・5-1. Ｃ棟 受水槽改修工事 ・5-2. その他工事

7　別　途　工　事

8　そ　の　他

9　特記仕様書の範囲
　特記仕様書は、本特記仕様書のほか以下の〇印もので構成する。
　⊙ 構造特記仕様書　・ 外構工事特記仕様書　・ 植栽工事特記仕様書
　・ 解体工事特記仕様書　⊙ 電気設備工事特記仕様書　⊙ 機械設備工事特記仕様書
　・　・

Ⅱ　建　築　工　事　仕　様

1．共通仕様
　図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築改修工事標準仕様書(平成31年版) 」(以下、「改修標準仕様書」という。)による。ただし、「改修標準仕様書」に記載されていない事項は、「公共建築工事標準仕様書（平成31年版）」(以下「標準仕様書」という。)及び「建築物解体工事共通仕様書(平成31年版) 」(以下「解体共通仕様書」という。)による。
　なお、施工条件明示書は特記仕様書に含める。
2．特記仕様
　1）項目は、番号に〇印のついたものを適用する。
　2）特記事項は、⊙印のついたものを適用する。⊙印のつかない場合は※印のついたものを適用する。⊙印と※印のついた場合は、共に適用する。
　3）特記事項に記載の＜　＞、(　) 及び [　] 内の表示番号は、それぞれ「改修標準仕様書」、「標準仕様書」及び「解体共通仕様書」の当該項目、当該図又は当該表を示す。

章	項　目	特　記　事　項
一般共通事項	① 一般事項	⊙ 工事施工中に予期せぬ事態や疑義が生じた場合には、監督職員に報告の上、指示に従うこと。 ⊙ 請負業者は、監督職員と随時打合せを行い、工程の確認・調整及び工事の円滑な進捗をはかること。 ⊙ 施工体系図を現場に掲示すること。 ・ 工事着手前及び完成時に，以下に示す調査範囲の近隣家屋等の内外の状況（地盤，擁壁，内外壁，床，建具等）を調査・記録し，報告書を監督職員に提出すること。 調査範囲　※ 図示 ・
	② 適用基準等	⊙ 建設工事執行規則(昭和39年3月宮城県規則第9号) ⊙ 宮城県建設工事元請・下請関係適正化要綱（平成31年4月1日施行） ⊙ 建築工事標準詳細図（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修　平成28年版） ⊙ 宮城県建築工事写真撮影要領（平成12年版）及び工事写真撮影ガイドブック
	3．概成工期	工事工期より　　日前　〈1.1.2〉
	④ 工事実績情報(CORINS)の登録	※ 適用する（請負精算額が500万円以上の場合）　〈1.1.4〉 受注時、変更時及び工事完成時にあらかじめ監督職員の確認を受け、契約締結後及び工事完成後の10日以内に登録手続きを行い、工事カルテの受領書を、監督職員に提出すること。 ・ 適用しない
	⑤ 発生材の処理等	発生材の処理　〈1.3.12〉 ・ 引渡しを要するもの（　　） ・ 特別管理産業廃棄物（　　） 受入れ施設名・所在地(km) ・ 現場において再利用を図るもの（　　） ・ 再生資源化を図るもの 種類 ｜ 受入施設名 ｜ 所在地(Km) ｜ 備考 ・ コンクリート塊 ・ アスファルトコンクリート塊 ・ 建設発生木材 ・ コンクリートから成る建設資材 ・ ・その他の廃棄物（安定型） 種類 ｜ 受入施設名 ｜ 所在地(Km) ｜ 備考 ・その他の廃棄物（管理型） 種類 ｜ 受入施設名 ｜ 所在地(Km) ｜ 備考 上記の処理、処分は設計積算上の条件明示であり、処理施設を指定するものではない。なお、上記によらない場合は、監督職員と協議すること。 また、処理、処分に先立ち処分場等の受入の可否を確認すること PCB（ポリ塩化ビフェニール）含有機器　・ 有（数量は図示）　[5.4.1] ・ 無 PCB含有シーリング材　・ 有（施工範囲は図示）　[5.4.1] ・ 無 PCBを含有する機器等については、飛散、流失等がないように適切な容器に納め、適切な場所に保管し、工事完了後、監督職員に引き渡す。 アスベストの処理 吹き付けアスベスト除去工事　・有(図示　)　・無 受け入れ施設名・所在地(km) アスベスト含有保温材除去工事　・有(図示　)　・無 受け入れ施設名・所在地(km) アスベスト成形板除去工事　・有(図示　)　・無 受け入れ施設名・所在地(km) ヒ素又はカドミウム含有石膏ボードの処理 ヒ素又はカドミウムボード　・有(図示　)　・無 次に該当する場合は、指定する場所に処分すること。 ＜対象となる石膏ボード＞ 小名浜吉野石膏（株）　いわき工場　昭和48年10月～平成9年4月の間に製造されたもの 日東石膏ボード（株）　八戸工場　平成4年10月～平成9年4月の間に製造されたもの 指定する処分場 【名称：　所在地(km)　】
	⑥ 電気保安	⊙ 適用する　※ 適用しない　〈1.3.3〉
	⑦ 事故報告	〈1.3.10〉 工事の施工中に事故が発生した場合は，直ちに監督職員に通報するとともに，別に指示する「事故報告書」を指示する期日までに監督職員に提出する。
	⑧ 建築材料等	材料の品質等　〈1.4.2〉 ※ 本工事に使用する材料は，設計図書に定める品質及び性能を有するものとし，その材料にJIS又はJASのマークの表示のある場合を除いて監督職員の承諾を受ける。 特定のものが特記された場合は，設計図書に規定するもの又は，これらと同等のものとする。ただし，同等のものとする場合は，監督職員の承諾を受ける。 環境への配慮　〈1.4.1〉 ※ 本工事に使用する材料の選定及び施工に当たっては，「県有施設のシックハウスマニュアル」に留意し，揮発性有機化合物の放散による健康への影響に配慮する。 ※ ホルムアルデヒド仕様 使用する材料のホルムアルデヒド仕様は以下のとおりとする。 ホルムアルデヒド放散量　規制対象外　の場合 該当する建築材料 1）ＪＩＳ及びＪＡＳのＦ☆☆☆☆品 2）建築基準法施行令第２０条の７第４項による国土交通大臣認定品 3）次の表示のあるＪＡＳ適合品 a．非ホルムアルデヒド系接着剤使用 b．接着剤等不使用 c．非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない材料使用 d．ホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用 e．非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料使用
	9．室内の空気中の化学物質濃度の測定	※ ホルムアルデヒド及び揮発性有機化合物の測定　〈1.6.9〉(1.5.9) 試料採取及び測定は，厚生労働省の「室内空気中化学物質の採取方法と測定方法」の新築住宅の例に準拠するほか，拡散方式ではサンプラー製造所の定める仕様により行う。 測定対象物質 ※ ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ（濃度指針値　100μg/m3 ・ 0.08ppm） ※ ｽﾁﾚﾝ（濃度指針値　220μg/m3 ・ 0.05ppm） ※ ﾄﾙｴﾝ（濃度指針値　260μg/m3 ・ 0.07ppm） ※ ｴﾁﾙﾍﾞﾝｾﾞﾝ（濃度指針値 3,800μg/m3 ・ 0.88ppm） ※ ｷｼﾚﾝ（濃度指針値　200μg/m3 ・ 0.05ppm） 測定する室等：（　　） 採取方法：吸引方式又は拡散方式とし，拡散方式では８時間採取する。 測定結果等報告書の提出 次の事項を記載した報告書を２部提出する。 ・測定結果 ・試料採取時の状況（気温・湿度（室外・室内），天候，風の状況，日射進入状況，測定年月日・時間，窓の開閉状況，機械換気量，工事完成時から測定日までの日数） ・試料採取方法，測定方法，使用した測定機器 測定対象物質が指針値を超える濃度で検出された場合は，引渡は受けない。 ・ 総揮発性有機化合物の測定 測定方法，測定物質及び測定か所等については，この仕様書の末尾に定める総揮発性有機化合物測定仕様書による。 ※ 室内ＶＯＣ濃度の測定結果に関する書面の当該施設への提示については，施設管理者に依頼する。
	⑩ 特別な材料の工法	「改修標準仕様書」及び「標準仕様書」に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品の指定工法とする。
一般共通事項	⑪ 建築基準法による風圧力等の指定	〈3.5.4〉〈3.9.3〉〈5.10～12.2〉〈5.13.5〉(13.2.3) (13.3.3) 適用工事 ｜ 建築基準法の指定 ・ 合成高分子系ルーフィングシート ・ アルミニウム笠木　・ 金属板屋根葺 ・ 折板屋根葺　・ ガラスブロック ・ 重量シャッター　・ 軽量シャッター ・ オーバーヘッドドア 風速(V0)　※３０　・ 地表面粗度区分　・Ⅱ　・Ⅲ 多雪地域の指定　・有　・無
	12. 設計ＧＬ	※ 図示　・ 現状平均地盤高
	⑬ 施工調査	施工数量調査　〈1.5.2〉 調査項目 ｜ 調査範囲 ｜ 調査方法 ｜ 成果品 ひび割れ ｜ 外壁・内壁 ｜ 巾及び長さ ・ 既存部分の破壊を行った場合の補修方法は、図示による。　〈1.5.3〉
	⑭ 技能士	・ 下表で技能士を適用することとした職種に、１級又は単一級技能士を配置する。　〈1.6.2〉 ※ 下表で技能士を適用することとした職種に、１級、２級又は単一級技能士を配置する。 ・ 下表で技能士を適用しないとした職種でも、技能士の配置に努めること。 工事種目 ｜ 技能検定職種（技能検定作業） 以下の該当工事 ｜ ⊙該当する作業がある以下の職種（作業）の全て 仮設工事 ｜ ・とび（とび作業） 防水改修工事 ｜ ・防水施工（・アスファルト防水工事作業 ・ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 ・アクリルゴム系塗膜防水工事作業 ・合成ゴム系シート防水工事作業 ・塩化ビニル系シート防水工事作業 ・セメント系防水工事作業 ・シーリング防水工事作業 ・改質ｱｽﾌｧﾙﾄｼｰﾄﾄｰﾁ防水工事作業 ・ＦＲＰ防水工事作業　） 外壁改修工事 ｜ ・左官(左官作業)　・タイル張り(タイル張り作業) ・樹脂接着剤注入施工(樹脂接着剤注入工事作業) ・塗装(建築塗装作業) 建具改修工事 ｜ ・サッシ施工（ビル用サッシ施工作業） ・ガラス施工（ガラス工事作業） ・自動ドア施工（自動ドア施工作業） 内装改修工事 ｜ ・内装仕上施工（・プラスチック系床仕上工事作業 ・カーペット系床仕上作業 ・木質系床仕上工事作業 ・ボード仕上工事作業 ・鋼製下地工事作業　） ・表装（壁装作業）　・建築大工（大工工事作業） 塗装改修工事 ｜ ・塗装（建築塗装作業） 耐震改修工事 ｜ ・鉄筋施工(鉄筋組立作業) ・型枠施工(型枠工事作業)　・とび(とび作業) ・コンクリート圧送施工(コンクリート圧送工事作業) ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ・ALCﾊﾟﾈﾙ・押出成形セメント板工事 ｜ ・ブロック建築（コンクリートブロック工事作業） ・ＡＬＣパネル施工（ＡＬＣパネル工事作業） 石工事 ｜ ・石材施工（石張り作業） 排水工事 ｜ ・配管（建築配管作業） 舗装工事 ｜ ・路面標示施工（・溶融ﾍﾟｲﾝﾄﾊﾝﾄﾞﾏｰｶｰ工事作業 ・加熱ﾍﾟｲﾝﾄﾏｼﾝﾏｰｶｰ作業　） 植栽工事 ｜ ・造園（造園工事作業） 屋根及びとい工事 ｜ ・建築板金（内外装板金作業） ・かわらぶき（かわらぶき作業）
	⑮ 完成図等	〈1.8.1〉〈1.8.2〉〈1.8.3〉 営繕工事完成引渡要領（令和3年4月1日宮城県土木部営繕課・設備課）により作成する。 ※ 白焼Ａ４版折製本（黒表紙金文字入）　1 部 ※ 白焼縮小（Ａ３版）２つ折製本　4 部 ※ 完成図面　JWW形式又はDXF形式のCADデータ及びPDFデータ　CD2枚
	⑯ 完成写真	※ 作成する 宮城県建築工事写真撮影要領により，完成届に添付する完成写真とは別に次のものを原版（ネガ又は電子媒体）とともに監督職員に提出する。 なお，原版を電子媒体とする場合は，CD等で提出すること。 分類 ｜ サイズ ｜ 撮影箇所数 ｜ 部数 ｜ 提出様式 ※カラー・白黒 ｜ ※Ｌ・２Ｌ・六切り ｜ ※宮城県写真撮影要領の完成写真程度・　箇所　枚 ｜ ※１部・　部 ｜ ※工事用アルバムA4版ポケット式程度・フリーアルバム（台紙寸法323×270程度）・ ・ 作成しない
	⑰ 設備工事との取合い	施工範囲　各工事の区分表による。 施工図　設備機器の位置，取り合い等が検討できる施工図を提出して監督職員の承諾を受ける。
	⑱ 火災保険等	工事目的物及び工事材料等について，次により保険に付す。 保険の種類　※ 火災保険　※ 建設工事保険　・ 保険期間　※ 工事着手から工事目的物引き渡しまで　・
仮設工事	① 仮囲い	※ 設ける　・ 設けない 仮囲いの位置及び延長は図示による。 ⊙シートゲート（H=3.5，W=3.0）×　2 箇所
	② 交通誘導員	⊙ 配置する（ 30 日 × 2 人 ＝ 60 人日）　※ 配置しない
	③ 揚重機械器具	⊙ トラッククレーン（　ｔ吊り）×　日 ・　（　ｔ吊り）×　日
仮設工事	④ 工事表示板	※ 設置する（設置枚数　１枚）　・ 設置しない 営繕工事における工事及びコスト表示要領（平成14年2月6日宮城県土木部営繕課・設備室制定）による。
	⑤ 足場等	外部足場　⊙設置する（設置範囲 ⊙工事に必要な範囲　・　）　〈2.2.1〉〈表2.2.1〉 ・設置しない 防護シート　⊙設置する（設置範囲 ⊙工事に必要な範囲　・　） ・設置しない 内部足場　⊙設置する　(⊙棚足場　⊗脚立，足場板等) ・設置しない　(アリーナ) ⊙材料，搬去材等の運搬方法 種別（・Ａ種 ⊙Ｂ種 ・Ｃ種 ⊙Ｄ種 ・Ｅ種） Ｃ種：利用可能なエレベーター（　） Ｄ種：利用可能な階段（　） 足場を設ける場合は、「手すり先行工法等に関するガイドライン（厚生労働省平成21年4月策定）」によるものとし、設置については「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」及び「働きやすい安心感のある足場に関する基準」によること。
	⑥ 養生	家具の移動　⊙ 行う(図示)　・ 行わない　〈2.3.1〉 既存ブラインド・カーテン等の養生及び保管 ・ 行う　⊙ 行わない 養生の方法 保管場所
	7．仮設間仕切り	・ 設ける(図示)　〈2.3.2〉〈表2.3.1〉 ・ Ａ種　・ Ｂ種　※ Ｃ種
	⑧ 監督職員事務所	※ 設けない（請負者事務所に打合せ会議室を確保する）　〈2.4.1〉 ⊙ 設ける（規模　10 ㎡程度　請負者事務所と同棟　⊙可　・否） 備品（
	⑨ 工事用水	構内既存の施設　⊙ 利用できる（※有償　・無償）　※ 利用できない
	⑩ 工事用電力	構内既存の施設　⊙ 利用できる（※有償　・無償）　※ 利用できない ※ 溶接などの消費電力の大きな機器を除く
	⑪ 工事用通路	※ 指定しない　・ 指定する（図示） ・
	12. その他の仮設	
防水改修工事	1．アスファルト防水	改修工法の種別　〈3.1.4〉〈3.3.3〉〈表3.1.1〉〈表3.3.3～10〉 新規防水層の種別 ｜ 改修工法の種類 ｜ 施工箇所 ・ ・ ・Ｅ－１ ｜ ｜ 屋内（便所・浴室） アスファルトの種類　JIS K2207のJIS表示認証製品　※３種　〈3.2.2〉 脱気装置　・ 設ける　・設けない　〈3.3.3〉 種類　・ 平面部脱気型　・ 立ち上がり部脱気型 施工業者　防水層製品の製造所又はその指定業者とする。
	2．伸縮調整目地	〈3.3.2〉〈3.3.5〉 ※ 成型伸縮目地（天端　ＥＰＴゴム，サイド　ブチルゴム製）
	3．改質アスファルトシート防水	改修工法の種別　〈3.1.4〉〈3.4.3〉〈表3.1.1〉〈表3.4.1～3〉 新規防水層の種別 ｜ 改修工法の種類 ｜ 施工箇所 ｜ 仕上塗料 ・ＡＳ－Ｔ ｜ ｜ ｜ ※ カラー ・ＡＳ－Ｊ ｜ AS-J3 ｜ 屋根-4 ｜ ・ シルバー ・ＡＳＩ－ 脱気装置　・ 設ける　・設けない　〈3.4.3〉 種類　・ 平面部脱気型　・ 立ち上がり部脱気型 施工業者　防水層製品の製造所又はその指定業者とする。
	4．合成高分子系ルーフィングシート防水	改修工法の種別　〈3.1.4〉〈3.5.3〉〈表3.1.1〉〈表3.5.1～2〉 新規防水層の種別 ｜ 改修工法の種類 ｜ 施工箇所 ｜ 仕上塗料 ・ＳＲＦ ｜ ｜ ｜ ※ カラー ・ＳＲＭ ｜ ｜ ｜ ・ シルバー ・ＳＩＲ 脱気装置　・ 設ける　・設けない　〈3.5.3〉 種類　・ 平面部脱気型　・ 立ち上がり部脱気型 施工業者　防水層製品の製造所又はその指定業者とする。
	5．塗膜防水	改修工法の種別　〈3.1.4〉〈3.6.3〉〈表3.1.1〉〈表3.6.1～2〉 新規防水層の種別 ｜ 改修工法の種類 ｜ 施工箇所 ｜ 仕上塗料 ・Ｘ－１ ｜ ｜ ｜ ※ カラー ・Ｘ－２ ｜ ｜ ｜ ・ シルバー ・Ｙ－２ 脱気装置　・ 設ける　・設けない　〈3.6.3〉 種類　・ 平面部脱気型　・ 立ち上がり部脱気型 施工業者　防水層製品の製造所又はその指定業者とする。
	6．シーリング材料の種別及び施工箇所	〈3.7.2〉〈表3.7.1〉 ※ 被着体に応じたものとし、〈表3.7.1〉を標準とする。 ・ 〈表3.7.1〉によらない箇所及びシーリング材料 〈表3.7.1〉によらない箇所 ｜ シーリング材料 ・カーテンウォール ・
	7．シーリング改修工法	改修工法の種別　〈3.1.4〉〈3.7.4～8〉〈表3.1.2〉 改修工法の種類 ｜ 施工箇所 ⊙ シーリング充てん工法 ・ シーリング再充てん工法 ・ 拡幅シーリング充てん工法 ・ ブリッジ工法（　） ・
	8．とい	〈3.8.2〉〈表3.8.1〉〈表3.8.2～3〉 材種 ｜ 防露 ・ 配管用鋼管（ＳＧＰ） ｜ ※ 〈表3.8.3～4〉により行う ・ 硬質塩化ビニル管（ＶＰ） ・ 特記無き限り既存のとい受け金物を使用する。 鋼管製といの防露巻き　〈3.8.3〉〈表3.8.4〉 ※ 〈表3.8.4〉による。　・

	設計年月日 2022.03.31	調査	設計	工事名称　令和３年２月１３日福島県沖地震による七ヶ浜健康スポーツセンター復旧工事 図面名称　建築改修工事特記仕様書-1　Scale S=N.S(A1)	全葉	図面 No Ａ－０２

3 防水改修工事

9．ルーフドレン

※水はけよく、床面より下げ、周囲の隙間にモルタルを充填する　〈3.8.3〉

10．アルミニウム製笠木

部材の種類　〈3.9.2〉〈表3.9.1〉
・　押出　２５０形　・　押出　３００形　・　押出　３５０形
・　板材折曲げ形（・オープン形式　・シール形式）
付属部品の材料、角各部並びに突当り部等の役物は、笠木本体製作所の仕様による。

表面処理　〈3.9.2〉〈表5.2.2〉
※　ＢＢ－１種　・　ＢＢ－２種

11．防水保証

アスファルト防水、改質アスファルトシート防水及び合成高分子系ルーフィングシート防水の保証期間は、引渡しの日から10年間とし、メーカー・施工業者との連名の上、保証書を提出する。
塗膜防水及びケイ酸質系塗布防水については、メーカー・施工業者が通常定めている期間とし、保証書を作成し提出する。

4 外壁改修工事

① ひび割れ部改修

⊙　コンクリート打放し仕上げ　〈4.2.2〉〈4.3.4～6〉

工法	材料	ひび割れの幅(mm)	延べ長さ(m)
※　シール工法	※　パテ状エポキシ樹脂 ・　可とう性エポキシ樹脂	０．２未満	
※　樹脂注入工法	⊙　低粘度エポキシ樹脂 ・　高粘度エポキシ樹脂	０．２～０．３未満 ０．３～０．５未満 ０．５～１．０未満	381m
※　Ｕカットシール材充てん工法	※　可とう性エポキシ樹脂	０．２～０．３未満 ０．３～０．５未満 ０．５～１．０未満	
	・　シーリング材ＰＵ－２ ・　可とう性エポキシ樹脂	１．０～１．５未満 １．５～２．０未満 ～　未満	

・　モルタル塗り仕上げ　〈4.2.2〉〈4.4.5～7〉

工法	材料	ひび割れの幅(mm)	延べ長さ(m)
※　シール工法	※　パテ状エポキシ樹脂 ・　可とう性エポキシ樹脂	０．２未満	
※　樹脂注入工法	・　低粘度エポキシ樹脂 ・　高粘度エポキシ樹脂	０．２～０．３未満 ０．３～０．５未満 ０．５～１．０未満	
※　Ｕカットシール材充てん工法	※　可とう性エポキシ樹脂	０．２～０．３未満 ０．３～０．５未満 ０．５～１．０未満	
	・　シーリング材ＰＵ－２ ・　可とう性エポキシ樹脂	１．０～１．５未満 １．５～２．０未満 ～　未満	

・　タイル張り仕上げ　〈4.2.2〉〈4.5.5～8〉〈4.5.16〉

工法	材料	ひび割れの幅(mm)	延べ長さ(m)
※　樹脂注入工法	・　低粘度エポキシ樹脂 ・　高粘度エポキシ樹脂	０．２～０．３未満 ０．３～０．５未満 ０．５～１．０未満	
※　タイル貼り除去後 ・Ｕカットシール材充てん工法 ・樹脂注入工法の上タイル張替え工法	※　可とう性エポキシ樹脂	０．２～０．３未満 ０．３～０．５未満 ０．５～１．０未満	
	・　シーリング材ＰＵ－２ ・　可とう性エポキシ樹脂	１．０～１．５未満 １．５～２．０未満 ～　未満	
・　タイル部分張替え工法	・　ポリマーセメントモルタル		
・　目地ひび割れ改修工法	※　既調合目地材		

⊙　樹脂注入工法　〈4.3.4〉

ひび割れの幅　(mm)	０．２～０．３未満	０．３～０．５未満	０．５～１．０以下
注入孔の間隔　(mm)	２００程度	３００程度	３００程度
注　入　量　(cc/m)			

コアの抜取り検査　・　行う　※　行わない　〈4.3.4〉

② 欠損部改修

⊙　コンクリート打放し仕上げ　〈4.2.2〉〈4.3.7〉

工法	材料	平均深さ(mm)	延べ面積(㎡)
※　充てん工法	⊙エポキシ樹脂モルタル	２０～３０未満	
		３０～４０未満	0.1m2
	・ポリマーセメントモルタル	５～１０未満	
		１０～１５未満	
		１５～２０未満	

・　モルタル塗り仕上げ　〈4.2.2〉〈4.4.8～9〉

工法	材料	平均深さ(mm)	延べ面積(㎡)
※　充てん工法	・エポキシ樹脂モルタル	２０～３０未満	
		３０～４０未満	
	・ポリマーセメントモルタル	５～１０未満	
		１０～１５未満	
		１５～２０未満	
・　モルタル塗替え工法	・〈表4.4.1〉による	２０程度 ※下地２５程度	
	・ポリマーセメントモルタル		

・　タイル張り仕上げ　〈4.2.2〉〈4.5.7～8〉

工法	材料	平均深さ(mm)	延べ面積(㎡)
※　タイル部分張替え工法	・ポリマーセメントモルタル	１０～１５未満	
		１５～２０未満	
		～	
・　タイル張替え工法			

4 外壁改修工事

3．浮き部改修

・　モルタル塗り仕上げ　〈4.4.4〉〈4.4.8～15〉

工法	1箇所の面積(㎡)	浮き代(mm)	アンカーピン(本/㎡) 一般部	アンカーピン(本/㎡) 指定部	注入口(箇/㎡) 一般部	注入口(箇/㎡) 指定部	延べ面積(㎡) 一般部	延べ面積(㎡) 指定部
・アンカーピニング部分エポキシ樹脂注入工法	0.25未満		※16	・ ※25 ・				
・アンカーピニング全面エポキシ樹脂注入工法	0.25以上	1.0以下	※13	・ ※20 ・	※12	・ ※20 ・		
・アンカーピニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	0.25以上	1.0を越える	※13	・ ※20 ・	※12	・ ※20 ・		
・注入口付アンカーピニング部分エポキシ樹脂注入工法	0.25未満		※ 9	・ ※16 ・				
・注入口付アンカーピニング全面エポキシ樹脂注入工法	0.25以上	1.0以下	※ 9	・ ※16 ・	※ 9	・ ※16 ・		
・注入口付アンカーピニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	0.25以上	1.0を越える	※ 9	・ ※16 ・	※ 9	・ ※16 ・		
・充てん工法	0.25未満							
・モルタル塗替え工法								

・　タイル張り仕上げ　〈4.2.2〉〈4.5.4〉〈4.5.7～15〉

工法	1箇所の面積(㎡)	浮き代(mm)	アンカーピン(本/㎡) 一般部	アンカーピン(本/㎡) 指定部	注入口(箇/㎡) 一般部	注入口(箇/㎡) 指定部	延べ面積(㎡) 一般部	延べ面積(㎡) 指定部
・アンカーピニング部分エポキシ樹脂注入工法	0.25未満		※16	・ ※25 ・				
・アンカーピニング全面エポキシ樹脂注入工法	0.25以上	1.0以下	※13	・ ※20 ・	※12	・ ※20 ・		
・アンカーピニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	0.25以上	1.0を越える	※13	・ ※20 ・	※12	・ ※20 ・		
・注入口付アンカーピニング部分エポキシ樹脂注入工法	0.25未満		※ 9	・ ※16 ・				
・注入口付アンカーピニング全面エポキシ樹脂注入工法	0.25以上	1.0以下	※ 9	・ ※16 ・	※ 9	・ ※16 ・		
・注入口付アンカーピニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	0.25以上	1.0を越える	※ 9	・ ※16 ・	※ 9	・ ※16 ・		
・タイル部分張替え工法	0.25未満							
・タイル張替え工法								

アンカーピンの材質　〈4.2.2〉
※　〈4.2.2(5)(6)〉による。
アンカーピン固定用エポキシ樹脂　〈4.2.2〉
※　JIS A6024のJIS表示認証製品　※硬質　高粘度形
注入用エポキシ樹脂
※　JIS A6024のJIS表示認証製品

4．タイル張り

タイルの種類　JIS A 5209のJIS表示認証製品　〈4.2.2〉〈4.5.8〉

施工箇所	形状寸法(mm)	うわぐすり 施ゆう	うわぐすり 無ゆう	役物 有	役物 無	色 標準	色 注文	再生材利用タイル	備考
		・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	

※セメントモルタルによるタイル張替え工法
〈表4.5.4〉により、小口タイル以上二丁掛け以下は密着張りとする。
・有機系接着剤によるタイル張替え工法　〈表4.5.5〉による。

5．塗り仕上げ外壁

・仕上塗材　〈4.1.5〉〈4.2.2〉〈表4.2.4～5〉

規格名称	種類(呼び名)	仕上の形状	工法	上塗り材
・薄付け仕上塗材	・外装薄塗材E ・	・砂壁状 ・	・吹付け ・ローラー	
・厚付け仕上塗材	・外装厚塗材C ・外装厚塗材E ・	・	※吹付け ・こて	
・複層仕上塗材	・複層塗材CE ※複層塗材E ・複層塗材RS ・複層塗材RE ・複層塗材Si ・防水形複層塗材E ・防水形複層塗材RS ・	・ゆず肌 ・凸部処理 ・凸凹模様	・吹付け ・ローラー	溶剤 ※水系　・溶剤系 ・弱溶剤系 外観 ※つやあり ・メタリック 樹脂 ※アクリル系 ・シリカ系 ・ポリウレタン系 ※アクリルシリコン系 （可とう形改修用塗材の場合） ・フッ素系
※可とう形改修用仕上塗材	※可とう形改修塗材E ・可とう形改修塗材RE ・可とう形改修塗材CE	※ゆず肌 ・さざ波	※吹付け ・ローラー	
・軽量骨材仕上塗材	・吹付用軽量塗材	・砂壁状	・吹付け	
	・こて塗用軽量塗材	・平たん状	・こて塗り	

仕上塗材の耐候性　※　耐候形１種　（可とう形改修塗材の場合）
・　耐候形２種
※　耐候形３種　（可とう形改修塗材以外の場合）

4 外壁改修工事

6．外壁用塗膜防水材塗り

〈4.1.5〉〈4.2.2〉〈4.8.2〉〈表4.2.6〉
外壁用塗膜防水塗り
仕上げの形状　・　工法・
外壁用仕上塗材の耐候性　※JIS A 6909の耐候性1種相当

下地挙動緩衝材の適用　・適用する　・適用しない
吹付け工法の模様材の種類　・所要量　(kg/㎡)
外壁用仕上塗材の種類　・所要量　(kg/㎡)
コンクリート面のひび割れ部及び欠損部の処理は、改修特記仕様書４章　外壁改修工事（コンクリート打ち放し仕上げ外壁改修）による
モルタル面のひび割れ部、欠損部及び浮き部の処理は、改修特記仕様書４章　外壁改修工事（モルタル塗り仕上げ外壁改修）による
既存塗膜等の除去、下地処理及び下地調整は、改修特記仕様書４章外壁改修工事（塗仕上げ外壁等改修）による

⑦ 壁仕上げ既存塗膜等の除去及び下地処理

〈4.6.3〉

塗膜の劣化部の除去工法	処理範囲
・　サンダー工法 ※　高圧水洗工法 ・　塗膜はく離剤工法 ・　水洗い工法	※　既存仕上面全体 ⊙　図示

⑧ EXP.J交換　⊙エラストマー（ＡＢＣ商会㈱）　⊙鈴屋金物㈱

⑨ ガルバリウム鋼板立平葺き　⊙セキノ興産㈱：ブリッジ-2屋根

⑩ アルミスパンドレル　⊙MTG-70RALC（三協立山アルミ㈱）：ブリッジ-1下部天井

⑪ 疎水剤　⊙ランデックスコートＷＳ疎水剤ＦＣ特殊工法（大日技研工業㈱）

5 建具改修工事

① 一般事項

改修工法　〈5.1.3〉
⊙　かぶせ工法　⊙　撤去工法
新規建具周囲の補修方法及び範囲は図示による。

見本の作成等　〈5.1.5〉
製　作　※　行わない　・　行う（建具表による）
仮　組　※　行わない　・　行う（建具表による）

② アルミニウム製建具

外部に面する建具　〈5.2.2〉〈5.2.4〉〈表5.2.1〉

種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠の見込み寸法(mm)
⊙　Ａ　種	Ｓ－４	Ａ－３	Ｗ－４	７０（引違い，片引き，上げ下げ窓で複層ガラスを使用する時に性能が確保できない場合は、１００）
・　Ｂ　種	Ｓ－５			
・　Ｃ　種	Ｓ－６	Ａ－４	Ｗ－５	※１００　・

※　適用箇所は図示による

表面処理		
外部に面する建具	※　ＢＢ－１種　・　ＢＢ－２種	
内部建具	※　ＢＣ－１種　・　ＢＣ－２種	

ＢＢ－２種，ＢＣ－２種の場合　・ブロンズカラー（※標準色　・濃色）
・ステンカラー

防音ドア，防音サッシ　・　適用する（適用範囲は図示による）
※　適用しない
適用する場合の遮音性の等級　・　Ｔ－１　・　Ｔ－２　・　Ｔ－３

断熱ドア，断熱サッシ　・　適用する（適用範囲は図示による）
※　適用しない
適用する場合の断熱性の等級　・　Ｈ－２　・　Ｈ－３

耐震ドア，耐震サッシ　・　適用する（適用範囲は図示による）
※　適用しない
適用する場合の面内変形追随性の等級　・　Ｄ－１　・　Ｄ－２

⊙三協立山アルミ㈱

3．網戸

使用方法による区分　※外面納まりの可動式　〈5.2.3〉
・内部納まりの開き式

防虫網（線径0.25mm　網目16-18メッシュ）
・ガラス繊維入り合成樹脂　・ｽﾃﾝﾚｽ(SUS 316)　※合成樹脂

防鳥網　※ステンレス（SUS304）線径1.5mm　ピッチ15mm

4．樹脂製建具

外部に面する建具性能等級等　〈5.3.2〉〈表5.3.1〉

種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠の見込み寸法(mm)
・　Ａ　種	Ｓ－４	Ａ－４	Ｗ－４	※建具表による
・　Ｂ　種	Ｓ－５		Ｗ－５	
・　Ｃ　種	Ｓ－６			

※　適用箇所は図示による

防音ドア，防音サッシ　〈表5.3.2〉
・　適用する（適用範囲は図示による）　※　適用しない
適用する場合の遮音性の等級　・　Ｔ－Ａ種　・　Ｔ－Ｂ種

断熱ドア，断熱サッシ　〈表5.3.3〉
・　適用する（適用範囲は図示による）　※　適用しない
適用する場合の断熱性の等級　・　Ｈ－Ａ種　・　Ｈ－Ｂ種　・　Ｈ－Ｃ種

表面色　〈5.3.4〉
・標準色（白）　・特注色（・黒　・ブラウン　・シルバー）

5．鋼製建具

簡易気密型ドアセット　〈5.4.2〉〈5.4.4〉〈表5.4.1〉〈表5.4.2〉
※　使用する（適用範囲は図示とする）
気密性　※　Ａ－３　・
水密性　※　Ｗ－１　・
・　使用しない

外部に面する建具の耐風圧性　※　Ｓ－４　・　Ｓ－５

建具寸法が〈5.4.4(1)〉を超える又は図示された建具に使用する鋼板類の厚さ

区分		使用箇所	厚さ　(mm)
窓	枠類	枠，方立，無目	〈表5.4.2〉に同じ
出入口	枠類	一般部分	2.3
	戸	中骨	2.3
上記以外			〈表5.4.2〉に同じ

標準型鋼製建具　※　使用する　・　使用しない　〈5.4.6〉

5 建具改修工事

6．鋼製軽量建具

簡易気密型ドアセット　〈5.5.2～4〉〈表5.5.1〉
※　使用する（適用箇所は図示による）
気密性　※　Ａ－３　・
・　使用しない

戸の鋼板　※　亜鉛めっき鋼板　・　ビニル被覆鋼板　・　カラー鋼板

標準型鋼製軽量建具　※　使用する　・　使用しない　〈5.5.6〉

標準型鋼製軽量建具の小窓枠，がらり　※　鋼製　・　アルミ製

7．ステンレス製建具

簡易気密型ドアセット　〈5.6.2〉
※　使用する（適用範囲は図示とする）
気密性　※　Ａ－３　・
水密性　※　Ｗ－１　・
・　使用しない

外部に面する建具の耐風圧性　※　Ｓ－４　・　Ｓ－５

表面処理　※　ＨＬ　・　〈5.6.4〉
鋼板の曲げ加工　※　普通曲げ　・　かど出し曲げ　〈5.6.5〉

8．木製建具

(16.7.2～4)
建具材の加工、組立時の含水率　・　Ａ種　※　Ｂ種　・　Ｃ種
かまち戸の樹種　かまちは杉上小節程度　桟，鏡板は杉無節程度
ふすまの上張り　※　新鳥の子程度又はビニル紙程度
ふすまの種類　※　戸ふすま 工法（・　在来型　・　チップ型）

⑨ 建具用金物

〈5.7.2〉〈表5.7.1〉

金物の種類	型式	製造所
シリンダー箱錠		
本締り付きモノロック		
レバーハンドル	レバー長さ　L=130程度	錠前類と同一製造所
モノロック		
シリンダー本締り錠		
グレモン錠		
ドアクローザー		
フロアヒンジ		
ヒンジクローザー	ピボット形	
ピボットヒンジ		JIS表示認証製品
連動装置・調整器他	図示（AW-12,AW-30）	⊙三協立山アルミ㈱

標準型鋼製建具及び標準型軽量鋼製建具(準標準型共)のドアクローザー、シリンダー箱錠は公共工事標準型とする。
握り玉、レバーハンドル、押板類、クレセント取付位置は、建具表による。

マスターキーの製作　・　要　⊙　不要　〈5.7.4〉
・　不要(既存マスターキーで施解錠可能とする。)

10．自動ドア開閉装置

性能　・　引き戸用駆動装置　〈5.8.2〉〈表5.8.1～2〉
・　多機能トイレ出入口引き戸用駆動装置

引き戸用検出装置の種類　・　光線式（反射）センサー　〈5.8.3〉〈表5.8.4〉
・　タッチスイッチ
・
※　多機能トイレ出入口に設置される引き戸用開閉装置は、補助センサー併用とする

凍結防止装置　・　要　※　不要
全半開装置　※　設ける（半開幅＝　）
・　設けない

11．重量シャッター

〈5.10.2〉〈表5.10.1〉

種類	シャッターケース	耐風圧強度	開閉方式	保護装置
・　管理用シャッター	※　設ける ・　設けない	建具表及び図示による	※　上部電動式（手動併用） ・　上部手動式	障害物感知装置（自動閉鎖型）を設ける。
・　防火シャッター ・　外壁用 ・　屋内用	※　設ける ・		※　上部電動式（手動併用）	
・　防煙シャッター				

スラット及びシャッターケース用鋼板　〈5.10.3〉
※溶融亜鉛めっき鋼板(JIS G 3302)
・塗装溶融亜鉛めっき鋼板(JIS G 3312)

12．軽量シャッター

〈5.11.2～4〉〈表5.11.1〉

開閉形式	シャッターケース	耐風圧強度	スラットの形状	保護装置
※　手動式 ・　上部電動式（手動併用）	※　設ける ・　設けない	建具表及び図示による	※　インターロッキング型 ※　オーバーラッピング型	障害物感知装置（自動閉鎖型）を設ける

スラットの材質　〈5.11.3〉
※塗装溶融亜鉛めっき鋼板(JIS G 3312)
・塗装溶融55%アルミニウム－亜鉛合金めっき鋼板(JIS G 3322)

13．オーバーヘッドドア

〈5.12.2～3〉

材質	開閉方式	収納形式	耐風圧性能	ガイドレール
※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバーグラスタイプ	※　バランス式 ・　チェーン式 ・　電動式	※　スタンダード形 ・　ローヘッド形 ・　ハイリフト形 ・　バーチカル形	・　５０ ・　７５ ・１００ ・１２５ (JIS A4715による強さの区分)	※　溶融亜鉛メッキ鋼板 ・　ステンレス鋼板

保護装置
障害物感知装置　※　設ける　・　設けない

⑭ ガラス

〈5.13.2〉〈5.13.3〉
※　外部の建具に使用するガラスは、建築基準法に基づく耐風圧性能を有すること。
※　ガラスの材料、厚さ、それぞれの種類等は建具表及び図示による。
合わせガラスの特性
・　Ⅰ類　・　Ⅱ－１類　・　Ⅱ－２類　・　Ⅲ類

設計年月日	調査	設計	工事名称	全葉	図面 No
2022.03.31			令和３年２月１３日福島県沖地震による七ヶ浜健康スポーツセンター復旧工事		
			図面名称　建築改修工事特記仕様書-2　Scale S=N.S(A1)		Ａ－０３

5 建具改修工事

15. ガラスブロック（中空）

強化ガラスの特性
⊙ Ⅰ類　・ Ⅲ類
熱線吸収板ガラス
性能　・ １種　・ ２種
色調　・ ブルー　・ グレー　・ ブロンズ

複層ガラス　・ Ｔ１　・ Ｔ２　・Ｔ３
断熱性　・ Ｔ４　・ Ｔ５
日射取得性、日射遮蔽性　・ Ｇ　・ Ｓ
封止の加速耐久性による区分　※ Ⅲ類

熱線反射ガラス
日射遮へい性　・ １種　・ ２種　・ ３種
耐久性　・ Ａ類　・ Ｂ類
色調　・ ブルー　・ グレー　・ ブロンズ
・ シルバー
反射皮膜　・ 内側　・ 外側
映像調整　・ 行う　・ 行わない

ガラスの留め材
※ シーリング
・ ガスケット（可動アルミ製建具及び樹脂製建具に限る）
防火戸のガラスの留め材は建築基準法の認定を受けたシーリング材とする。
ガラスの溝の大きさ
・図示　・建具の製造所の仕様による
複層ガラスの保証期間は引き渡し日から１０年間とし、メーカー保証書を提出する。
⊙東北硝子建材㈱

<5.13.5>

表面形状 (JIS A5212)	モジュール呼び寸法による区分（長さ×高さ）		厚さによる区分
正方形	・ １２５×１２５	・ １６０×１６０	・ ８０
	・ ２００×２００	・ ３２０×３２０	・ ９５
長方形	・ ２５０×１２５	・ ３２０×１６０	・ １２５

品質等

ガラスの種別	柄	目地色	金属枠	耐火性能
・ 一般ガラス ・ 乳白ガラス ・ カラーガラス ・ 熱線反射ガラス	・ 無 ・ 有	・ 白 ・ グレー	・ アルミニウム製（表面処理　） ・ ステンレス製（表面仕上　）	・ 規定しない ・ 有（　分間）

6 内装改修工事

① 改修範囲

既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井、壁、床の改修範囲 <6.1.3>
※ 壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う。
・ 図示の範囲
天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲
※ 壁面より両側６００mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う。
・ 図示の範囲
既存天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修
※ 既存のまま
・ 図示の範囲

2. 既存床の撤去・下地補修

合成樹脂塗床の除去方法 <6.2.2(1)>
・ 目荒工法　・ 機械的除去工法

③ 改修後の床の清掃範囲

⊙ 当該室全体　・ 図示の範囲 <6.2.2(3)>

4. 既存壁の撤去・下地補修

間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修方法 <6.3.2(1)>
※ <4.4.9>による　・（　　）

5. 木　材

表面仕上げの程度 <6.5.1(3)>

表面仕上げの種別		適用箇所
機械加工	・Ａ種	AW-12,AW-30の木製下枠
	・Ｂ種	
	・Ｃ種	
手加工	・Ｈ－Ａ種	
	・Ｈ－Ｂ種	
	・Ｈ－Ｃ種	

含水率　下地材　※ Ａ種　・ Ｂ種 <6.5.2(1)><表6.5.3>
造作材　※ Ａ種　・ Ｂ種

造作材の材面の品質　※ Ａ種　・ Ｂ種 <6.5.2(2)><表6.5.4>

⑥ 集成材

造作用集成材は<6.5.2(3)>による <6.5.2>

見付け材面 等級	ＪＡＳによる集成材	その他
	※ １等　・ ２等	※ ＪＡＳ集成材１等同等
単材の樹種	カラマツ(ブリッジ-2ベンチ)	
単材の厚さ(mm)	１０～１５	１０～１５

⊙デザイン企画㈱

7. 床張り用合板

下地用合板 (12.2.1)
※ JASの構造用合板　特類　２等以上　C－D以上

8. 防腐・防蟻・防虫処理

薬剤の加圧注入による防腐・防蟻処理 <6.5.5>
適用部材（　　）　保存処理性能区分　・Ｋ２　・Ｋ３　・Ｋ４
薬剤の加圧注入処理を行ったのち、現場における加工、切断、孔あけ等を行った箇所は、現場にて薬剤の塗布等による防腐・防蟻処理を行う。
防虫処理
ラワン材　保存処理性能区分　※Ｋ１

⑨ 軽量鉄骨天井下地材

野縁などの種類 <6.6.2><表6.6.1>
屋内　※ １９型　⊙ ２５型（室名：アリーナ天井　　）
屋外　・ １９型　※ ２５型

インサート <6.6.4(1)>
・ 既存インサートを使用する　・ あと施工アンカーを設ける

あと施工アンカーの確認試験 <6.6.4(1)>
・ 行う　※ 行わない

耐震性を考慮した補強 <6.6.4(10)>
※ 行わない　・ 行う（補強方法と補強箇所は図示による）

耐風圧性を考慮した補強（ピロティ、屋外軒天井等） <6.6.4(11)>
※ 行わない　・ 行う（補強方法と補強箇所は図示による）

6 内装改修工事

10. 軽量鉄骨壁下地材

スタッド，ランナーなどの種類は<表6.7.1>による。 <6.7.3><表6.7.1>

11. 体育館の鋼製床下地

※ JIS A 6519のJIS表示認証製品

12. ビニル床シート張り

JIS A5705のJIS表示認証製品 <6.8.2><6.8.3>

種類	記号	色柄	厚さ(mm)	特殊機能	工法
※ 発泡層のないもの	※ＦＳ ・ＴＳ	※無地 ・マーブル	※ 2.0 ・ 2.5	・帯電防止 ・耐動荷重	※熱溶接 ・突付け
・ 発泡層のあるもの	・ＨＳ ・ＫＳ	・	・	・	・

目地処理する場合の工法　・熱溶接工法

13. ビニル床タイル張り

JIS A5705のJIS表示認証製品 <6.8.2>

種類	記号	寸法	厚さ(mm)	特殊機能
※ コンポジションビニル床タイル	※ ＫＴ	※ 300×300 ・	※ 2.0 ・	・帯電防止 ・耐動荷重
・ ホモジニアスビニル床タイル	・ ＦＴ	・ 300×300 ・ 450×450	・ 2.0 ・	・帯電防止 ・耐動荷重

目地処理する場合の工法　・熱溶接工法

14. ビニル床タイル･ビニル床シートの特殊機能

帯電防止 <6.8.2>
・ 帯電防止性能評価（JIS A 1455）1.2～3.1程度
又は耐電圧（JIS L 1023)3kV以下
・ 帯電防止性能評価（JIS A 1455）3.2～5.1程度
又は漏えい抵抗値(JIS A 1454) 1×10^10オーム未満
・ 帯電防止性能評価（JIS A 1455）5.2以上
又は漏えい抵抗値(JIS A 1454) 1×10^7オーム未満

耐動荷重
JIS A 1454によるへこみ試験、残留へこみ試験、滑り性試験、層間剥離強度試験(発泡層のあるビニルシートのみ)およびキャスター性試験等の試験後異常がないこと。

15. 視覚障害者用床タイル

<6.8.2>

材質	寸法(mm)
・ 塩化ビニル系　・ せっ器質タイル系	３００×３００

⑯ ビニル幅木

材　種　※ 軟質　・ 硬質　・ 溶接 <6.8.2>
高　さ(mm)　・ ６０　※ ７５　⊙ １００
厚　さ(mm)　・ １．５　※ ２．０

⑰ カーペット敷き

・ タフテッドカーペット <6.9.2～3><表6.9.2>

施工箇所	パイル形状	パイル長さ(mm)	工法	品質	帯電性
	・	・	※全面接着工法 ・グリッパー工法		・<6.9.2(2)>による

⊙ タイルカーペット <6.9.2～3><表6.9.1>

施工箇所	種類	パイル形状	寸法	総厚さ	帯電性
ブリッジ-1	※第１種 ・第２種	※ループパイル ・カットパイル	※500×500 ・	※ 6.5 ・	製造所の仕様による

18. 合成樹脂塗床

材料の種類 <6.10.2>
・ 厚膜型塗床材
・ 弾性ウレタン樹脂系塗床材
・ エポキシ樹脂系塗床材
・ 薄膜型塗床材（エポキシ樹脂系塗床材）

仕上の種類 <6.10.3>
・ 平滑仕上げ　・ 防滑仕上げ

19. フローリング張り

・単層フローリング <6.11.2～6><表6.11.1～6>

種別	樹種	厚さ(mm)	工法	塗装
・ フローリングボード１等	※なら ・	※１５ 幅 ７５ ・ 長さ400以上	・釘止め工法 ・接着工法	※ウレタン樹脂ワニス塗り ・オイルステン塗りの上ワックス ・生地のままワックス ・既塗装品
・ フローリングブロック１等	※なら ・	※１５（303×303） ・	・接着工法	

・複合フローリング

種別	樹種	種別	防湿処理	工法	塗装
・ 複合フローリング	※なら ・さくら ・ひのき ・	・Ａ種 ・Ｂ種 ※Ｃ種	・行う ※行わない	・釘止め工法 ・接着工法	※ウレタン樹脂ワニス塗り ・オイルステン塗りの上ワックス塗り ・生地のままワックス塗り ・既塗装品
・ 大型積層フローリング	・なら ・さくら ・	・	・行う ・行わない	・特殊張り工法（体育館床）	

20. 畳敷き

畳の種別　・ Ａ種　・ Ｂ種 <6.12.2><表6.12.1>
※ Ｃ種　・ Ｄ種（　　）

㉑ 石こうボードその他ボード張り

<6.13.2～3><表6.13.1><表6.13.5>

種類又は記号	種別など	厚さ(mm)		規格番号
けい酸カルシウム板（繊維強化セメント板）0.8ＦＫ又は1.0ＦＫ		壁	・ 8(不燃) ・ 10(不燃) ・ 12(不燃)	JIS A 5430（タイプ2）
		天井	・ 6(不燃) ・ 12(不燃)	
グラスウール吸音ボード（吸音材料）ＧＷ－Ｂ	ガラスクロス(JIS A 3414 EP18程度)額縁張り品	天井	⊙ 25(不燃) 化粧塩ビフィルム	JIS A 6301（32K）
ロックウール化粧吸音板（吸音材料）ＤＲ	※ 内部用 ・ 軒天用	普通	※ 9(不燃) ・ 12(不燃)	JIS A 6301
		立体模様	・ 12(不燃) ・ 15(不燃) ・ 19(不燃)	

6 内装改修工事

せっこうボード（せっこうボード製品）ＧＢ－Ｒ		壁	・ 9.5(準不燃) ※12.5(不燃) ・ 15(不燃)	JIS A 6901
		天井	・ 9.5(準不燃) ※12.5(不燃)	
シージングせっこうボード（せっこうボード製品）ＧＢ－Ｓ		壁	⊙12.5(準不燃)	JIS A 6901
		天井	・ 9.5(準不燃) ※12.5(準不燃)	
不燃積層せっこうボード（せっこうボード製品）ＧＢ－ＮＣ	トラバーチン模様 色　※白 ・黄		9.5(不燃)	JIS A 6901
化粧せっこうボード（せっこうボード製品）ＧＢ－Ｄ	木目模様	壁	・ 9.5(準不燃) ※12.5(不燃)	JIS A 6901
	木目模様（裏桟付き）特殊模様	天井	・ 9.5(準不燃) ※12.5(不燃)	

せっこうボードの目地処理　・ 継目処理工法　※ 突き付けＶ目地工法
・ 突き付け工法　・ 目透し工法

22. 遮音シール材

・アクリル系シーリング材 ※ ジョイントコンパウンド <6.13.2>

23. 壁紙張り

<6.14.2>

施工箇所	品質	防火種別
		・不燃　・準不燃　・その他
		・不燃　・準不燃　・その他

24. タイル張り

タイルの種類　JIS A 5209のJIS表示認証製品 <6.16.3>

施工箇所	形状寸法(mm)	うわぐすり 施ゆう	うわぐすり 無ゆう	役物 有	役物 無	色 標準	色 注文	再生材利用タイル	備考
		・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	

内装タイルの工法 <6.16.3～4>
・ 改良積上げ張り　施工箇所（　　）
・ 接着剤張り　施工箇所（　　）

㉕ 化粧ケイカル板

⊙防汚アクリル樹脂系化粧ケイカル板 t=6（目地シーリング6×6）

㉖ グラスウールボード

⊙ハイラートンレイイン（旭ファーバーグラス㈱）⊙三洋工業東北システム㈱

㉗ ゴムタイル

⊙プラート（東リ㈱）

㉘ 厨房機器取外し＋再設置

⊙タニコー㈱

7 塗装改修工事

① 防火材料

<7.1.3>
※ 屋内の壁及び天井の仕上げは、建築基準法に基づく基材同等の認定表示のあるものとする。
・ 次の箇所を除き防火材料とする。（　　）

② 錆止め塗料塗り

<7.3.2～3><表7.2.2～3><表7.3.1～4>

下地	種別	下地調整	塗装種別	塗料種別
鉄鋼面	新規	※RA種　・RB種　・RC種	※A種(見え掛かり) ※B種(見え隠れ)	※A種 ※B種
	塗替え	・RA種 ※RB種　・RC種	・A種　・B種 ※C種	<9節の場合>
亜鉛めっき鋼面	新規建具	・RA種　・RB種 ※RC種	※A種　・B種　・C種	※A種・B種
	新規	※RA種　・RB種　・RC種	・A種　・B種 ※C種	※C種
	塗替え	・RA種 ※RB種　・RC種	・A種　・B種 ※C種	<9節の場合>

3. 合成樹脂調合ペイント塗り（ＳＯＰ）

<7.2.2～4><7.4.2～5><表7.2.1～3><表7.4.1～3>

下地	種別	下地調整	塗装種別	塗料種別
木部	新規	・RA種 ※RB種　・RC種	※A種(外部) ※B種(内部)　・C種	※1種 ・2種
	塗替え	・RA種 ※RB種　・RC種	・A種 ※B種　・C種	
鉄鋼面	新規	※RA種　・RB種　・RC種	・A種 ※B種　・C種	※1種
	塗替え	・RA種 ※RB種　・RC種	・A種 ※B種　・C種	・2種
亜鉛めっき鋼面	建具塗替	・RA種 ※RB種　・RC種	※A種　・B種　・C種	※1種
	新規	※RA種　・RB種　・RC種	・A種 ※B種　・C種	・2種
	塗替え	・RA種 ※RB種　・RC種	・A種 ※B種　・C種	

4. 合成樹脂エマルションペイント塗り（ＥＰ）

<7.2.5～7><7.10.2><表7.2.4～7><表7.10.1>

下地	種別	下地調整	塗装種別	塗料種別
コンクリート面 ＡＬＣパネル面 押出成形セメント板面	新規	※RA種　・RB種　・RC種	※A種　・B種　・C種	※1種
	塗替え	・RA種 ※RB種　・RC種	・A種 ※B種　・C種	
モルタル面 プラスター面	新規	・RA種 ※RB種　・RC種	※A種　・B種　・C種	※1種
	塗替え	・RA種 ※RB種　・RC種	・A種 ※B種　・C種	
石こうボード その他のボード等の面	新規	※RA種　・RB種　・RC種	※A種　・B種　・C種	※1種
	塗替え	※RA種(継目処理工法) ※RB種(その他)・RC種	・A種 ※B種　・C種	

⑤ ふっ素樹脂塗料

⊙記号：ＦＰ

6. アクリルシリコン樹脂塗装

8-1 耐震改修工事（鉄筋工事）

1. 鉄筋の種類

<8.2.1><表8.2.1>

規格名称	種類の記号	径(mm)
鉄筋コンクリート用棒鋼	※ ＳＤ２９５Ａ ※ ＳＤ３４５	※ Ｄ１６以下　・ ※ Ｄ１９以上　・

2. 溶接金網

※ JIS G 3551のJIS表示認証製品 <8.2.2>
線径(mm)　6.0　×　網目(mm)　100
使用箇所（　　）

3. 鉄筋の継手

径 19 mm 以上　※ ガス圧接　・ 重ね継手 <8.3.4>

4. 柱の帯筋

・ 図示

5. 圧接完了後の抜取試験

試験方法　※ 超音波探傷試験　・ 引張り試験 <8.3.8>

8-2 耐震改修工事（コンクリート工事）

1. 設計基準強度

普通コンクリート（N/mm2) <8.1.3>

設計基準強度	適用箇所
※ ２１	

2. レディーミクストコンクリート

類別　※ Ⅰ類　・ Ⅱ類 <8.1.3><表8.1.1>

3. 打放し仕上げの種別

<8.1.4><表8.1.4>

種別	適用箇所
・ Ａ種	
※ Ｂ種	
・ Ｃ種	

4. セメントの種類

<8.2.5>

セメントの種類	適用範囲
※普通ポルトランドセメント、高炉セメントＡ種 シリカセメントＡ種又はフライアッシュセメントＡ種	建物躯体（下記以外）
・高炉セメントＢ種	基礎、地中梁
・フライアッシュセメントＢ種	基礎、地中梁

5. 骨　材

使用骨材のアルカリシリカ反応による区分 <8.2.5>
※ Ａ　・ Ｂ

6. 混和材料

混和剤　※ AE剤、AE減水剤Ｉ種又は高性能ＡＥ減水剤 <8.2.5>

7. 軽量コンクリート

<8.9.1><表8.9.1>

種別	適用箇所	気乾単位容積質量(t/m3)

8. 無筋コンクリート

<8.11.1>

適用箇所

9. グラウト材

無収縮グラウト材は、製造所で調合された材料を使用する。 <8.2.12>
圧縮強度(N/mm2)　：３０以上
コンシステンシー J14: ロート値(秒)　６～１０
乾燥収縮(×１０$^{-4}$)：０

10. 柱底等の均しモルタル

無収縮モルタル材　・ 使用する　・ 使用しない <8.2.12>

11. 型　枠

せき板の種類　※ 12mm合板　・ <8.2.7>
せき板の塗料　※ 無　・ 有

12. コンクリートの打込み工法

※ 流込み工法　・ 圧入工法 <8.21.8><8.23.5>

13. 既存部分の撤去

既存仕上げの撤去範囲　※ 図示　・ <8.21.2>
既存躯体の撤去範囲　※ 図示　・

8-3 耐震改修工事（あと施工アンカー工事）

1. あと施工アンカー

<8.2.4>
※ 接着系アンカー　〔引張耐力　(KN)，せん断耐力　(KN)〕
アンカーの種類　※カプセル型回転・打撃式
接着剤　※ 有機系　・ 無機系
・ 金属系アンカー　〔引張耐力　(KN)，せん断耐力　(KN)〕
打込み方式　※ 本体打込み式改良型

2. あと施工アンカーの試験

性能確認試験　※ 行わない　・ 行う <8.2.4>
施工確認試験　※ 行う　・ 行わない <8.12.7>

3. 埋込配管等の探査

範囲　※穿孔箇所すべて　・図示 <8.12.4>

8-4 耐震改修工事（鉄骨工事）

① 鉄骨製作工場建入れその他工事

※ 指定性能評価機関の性能評価を受けて、国土交通大臣の認定を受けた下記のグレード以上の工場 <8.1.5>
・ Ｓ　・ Ｈ　・ Ｍ　・ Ｒ　・ Ｊ
⊙ 本物件と同等規模構造の施工実績を有している工場で、監督職員の承諾する工場
⊙鉄骨工事：カメイ㈱宮城支部
⊙斜材接合用ピンのセット：ＪＦＥ商事鉄鋼建材㈱

2. 鋼材の種類

<8.2.8><表8.2.7>

材質	規格
・SS400　・SSC400　・STK400　・STKR400 ・SN400B,C　・SN490B,C　・SM400　・SM490 ・	JIS表示認証製品

3. 高力ボルト

<8.2.9>

ボルト種別	セットの種類
※トルシア形高力ボルト	※建築基準法に基づき認定を受けたもの
・ＪＩＳ形高力ボルト	※２種(F10T)　・
・溶融亜鉛メッキ高力ボルト	※１種(F8T相当)　・

4. 溶接部の試験

※超音波探傷試験 <8.15.12>

5. 錆び止め塗装

<7.3.2～3> による。 <8.17.4>

6. 耐火被覆

<8.18.2～8>

種類	材料・工法	性能(耐火時間)	適用箇所(部位・部分)
・耐火材吹き付け	・乾式吹付けﾛｯｸｳｰﾙ		
	・半乾式吹付けﾛｯｸｳｰﾙ		
	・湿式ロックウール		
	・		
・耐火板張り	・繊維混入けい酸カルシウム板		
・耐火材巻付け	・高断熱ロックウール		
	・		
・ラス張りモルタル塗り			
・耐火塗料			

設計年月日	調査	設計	工事名称	全葉	図面 No
2022.03.31			令和３年２月１３日福島県沖地震による七ヶ浜健康スポーツセンター復旧工事		Ａ－０４
			図面名称 建築改修工事特記仕様書-3　Scale S=N.S(A1)		

7．アンカーボルト (7.2.4)

種　別	適　用　箇　所
・Ａ　種	
※Ｂ　種	
・Ｃ　種	

8．既存部分の撤去
既存仕上げの撤去範囲　※ 図示　・ 〈8.22.2〉
既存躯体の撤去範囲　※ 図示　・

8-5 耐震改修工事（柱補強工事）

1．工　法
・ 溶接金網巻き工法及び溶接閉鎖フープ巻き工法 〈8.23.5〉
溶接金網の継ぎ手　※ 重ね継ぎ手
コンクリート及び構造躯体用のモルタルの打設
・ 圧入工法　・ 流し込み工法
・ 鋼板巻き工法 〈8.23.6〉
・ 帯板巻き付け工法 〈8.23.6〉

2．既存部分の撤去
既存仕上げの撤去範囲　※ 図示　・ 〈8.23.2〉
既存躯体の撤去範囲　※ 図示　・

8-6 耐震改修工事（耐震スリット）

1．スリットの種類
・ 完全スリット　・ 部分スリット 〈8.25.1〉

2．スリットの充填材
耐火材の使用　・ 使用する　・ 使用しない 〈8.25.2〉
適用箇所　※ 図示
遮音材の使用　・ 使用する　・ 使用しない
適用箇所　※ 図示

8-7 耐震改修工事（連続繊維補強工事）

1．連続繊維シート
・下地処理 〈8.2.13〉〈8.24.6〉
・ひび割れ部改修
範囲　・図示による（　　）
種類　・

連続繊維補強材の強度試験
・引張強度試験
※JIS A 1191（コンクリート用連続繊維シートの引張試験方法）による
・
試験数量　・図示による（　　）
・付着強度試験
※JIS A 6909（建築用仕上塗材）による
・
試験数量　・図示による（　　）

8-8 土工事及び地業工事

1．埋戻し及び盛土
埋戻し及び盛土 〈8.28.3〉
・Ａ種　適用場所（　　）
・Ｂ種　適用場所（　　）
・Ｃ種　適用場所（　　）　土質（　　）
受渡場所（　　）
・Ｄ種　適用場所（　　）

2．建設発生土の処理
・構外に搬出し適切に処理する。
・構外指示の場所に搬出する。
受入れ施設名・住所（km）
・構内指示の場所に敷きならす。
・構内指示の場所にたい積する。

3．山留めの撤去
鋼矢板等の抜き後の処理 〈8.28.3〉
・ ※直ちに砂で充填する
山留めの存置
・行う　（存置範囲　※図示（・　　））
・

4．砂利地業
材料 〈8.2.15〉〈8.28.4〉
※再生クラッシャラン
・切込み砂利又は切込み砕石
厚さ及び適用範囲

厚さ	適　用　箇　所
※６０	・基礎スラブ下　・基礎梁下　・土間コンクリート下 ・土に接するスラブ下　・
・	・

5．捨コンクリート地業
厚さ及び適用範囲 〈8.2.15〉〈8.28.4〉

厚さ	適　用　箇　所
※５０	・基礎スラブ下　・基礎梁下　・土間コンクリート下 ・土に接するスラブ下
・	・

6．床下防湿層
材料 (4.6.2)
・
※ポリエチレンフィルム厚さ0.15mm以上
施工範囲 (4.6.5)
・図示（　　）

9-1 環境配慮改修工事（石綿含有建材の処理工事）

1．石綿含有建材の除去工事
施工調査 〈9.1.1、3～5〉
※石綿含有建材の事前調査
工事着手に先立ち、目視及び貸与する設計図書等によって石綿を含有している吹き付け材、成形板、建築材料等の使用の有無について調査する。
調査範囲（・　　・図示　　）
貸与資料（　　）

・分析による石綿含有建材の調査
分析対象
アクチノライト、アモサイト、アンソフィライト、クリソライト、クロシドライト、トレモライト
分析方法

材　料　名	定性分析方法	定量分析方法
	JIS A 1481 または JIS A 1481-2	JIS A1481-3または JIS A 1481-4
・	・　箇所	・　箇所
・	・　箇所	・　箇所
・	・　箇所	・　箇所

サンプル数　1箇所あたり３サンプル
採取箇所　・図示　・

・石綿粉じん濃度測定 〈9.1.1〉
測定点　測定時期、場所及び

適用	測定名称	測　定　時　期	測　定　場　所	測定個所数
・	測定１	処理作業前	処理作業室内	・計　点
・	測定２		調査対象室外部の付近	・計　点
・	測定３	処理作業中	処理作業室内	・計　点
・ ・	測定４		セキュリティゾーン入口	・計　点
	測定５		集じん・排気装置の排出口（処理作業室外の場合）	出口吹出し風速 1m/sec以下の位置
	測定６		処理作業室外 ・施工区画周辺 ・敷地境界	・計　点 （各施工箇所ごと）
・	測定７	処理作業後（シート養生中）	処理作業室内	・計　点
・	測定８	処理作業後シート撤去後1週間以降	処理作業室内	・計　点
・	測定９		調査対象室外部の付近	・計　点

測定方法
・自動測定器による測定

測　定　名　称	測　定　方　法
・測　定　４ ・測　定　５	粉じん相対濃度計（デジタル粉じん計）、パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器（リアルタイムファイバーモニター）等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定

・JIS K 3850-1に基づいた測定

測　定　名　称	メンブレンフィルタ直径(mm)	試料の吸引流量 (L/min)	試料の吸引時間 (min)
・測定４　・ ・測定５	25	5	30
・測定 ・	47	10	120
・測定 ・	47	10	240
・測定 ・			

石綿含有建材の処理
・石綿含有吹付け材の除去
除去対象範囲　・図示　・
除去工法　・　※9.1.3(2)(7)による
除去した石綿含有吹付け材等の飛散防止措置
※湿潤化　・固形化
除去した石綿含有吹付け材等の処分
・埋立処分（管理型最終処分場）
・中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）
・石綿含有保温材等の除去
除去対象範囲　・図示　・
除去工法　・破砕して除去　・手ばらし
除去した石綿含有保温剤等の飛散防止
※湿潤化　・固形化
除去した石綿含有保温材等の処分
・埋立処分（管理型最終処分場）
・中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）
・石綿含有成形板の除去
除去対象範囲　・図示
除去した石綿含有成形板の処分
・石綿含有せっこうボード
※埋立処分（管理型最終処分場）
・石綿含有せっこうボードを除く石綿含有成形板
・埋立処分（安定型最終処分場）
・中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）
石綿含有建材除去後の仕上げ工事　・図示　・

9-2 環境配慮改修工事（断熱化工事）

1．断　熱　材
断熱材の打込み及び現場発泡工法 (19.9.2)(19.9.3)

種　類		箇　所	厚さ(mm)	備　考
・ ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材	・Ａ種ビーズ法 ※Ａ種押出法２種ｂ		・ 25 ・	JIS A 9521の JIS表示認証製品
※ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材（Ａ種）	・２種ｂ ・３種ｂ（スキン層あり）	下記以外 接地部分及び屋根防水部分ピット内部	※ 25 ・	
・ 硬質ウレタンフォーム断熱材	・ ・	・	・	
・ フェノールフォーム断熱材	・ ・	・	・	JIS A 9521の JIS表示認証製品
・ 吹付け硬質ウレタンフォーム断熱材	※Ａ種１Ｈ ・	・	※ 30 ・	JIS A 9526による難燃性・２級　※３級
・	・	・	・	

※　施工範囲は建築工事標準詳細図(図7-01-1)による。

上記以外に用いる断熱材

種	類	箇　所	厚さ(mm)	備　考
・ ＪＩＳＡ発泡プラスチック保温材	・Ａ種ビーズ法		※ 25	JIS表示認証製品
	※Ａ種押出法２種ｂ	下記以外		
	※Ａ種押出法３種ｂ（スキン層あり）	接地部分及び屋根防水部分ピット内部		
・ グラスウール保温材	※24Ｋ品		※ 100 ・	JIS表示認証製品

※　グラスウール使用部分の室内側防湿シート
※　被覆品　・防湿層ポリエチレンフィルム(t0.15)張り　(重ね100)

10 パネル・押出成形セメント板工事 コンクリートブロック・ＡＬＣ

1．コンクリートブロック帳壁及び塀
ブロックの種類 (8.3.2)(表8.3.1)
※　空洞ブロック　C(１６)

11 舗装工事

1．再　生　材
※　使用する　・　使用しない (22.1.3)

2．盛土材料
路床の盛土材料　・Ａ種　※Ｂ種　・Ｃ種　・Ｄ種 (22.2.3)

3．フィルター層及び凍上抑制層用材料
フィルター層　※　砂 (22.2.2)(22.2.3)
凍上抑制層　※　再生クラッシャラン　・　切込砂利又は切込砕石

4．路床安定処理
路床安定処理添加材料 (22.2.2)(22.2.3)(表22.2.1)
※　普通ポルトランドセメント　・　高炉セメントＢ種
・　フライアッシュセメントＢ種
・　生石灰（・特号　・１号）　・　消石灰(・特号　・１号)

5．砂の粒度試験
※　行わない　・　行う (22.2.3)

6．路床土の支持力比（ＣＢＲ）試験
※　行わない　・　行う（※　乱した土　・　乱さない土） (22.2.5)

7．路床の締固め度の試験
・　行わない　※　行う（箇所:埋戻し及び盛土部） (22.2.5)

8．路盤材料
※　再生クラッシャラン　ＲＣ－４０ (22.3.3)(表22.3.1)
（透水性舗装の場合を除く）
・　クラッシャラン　Ｃ－４０
・　クラッシャランスラグ　ＣＳ－４０

9．路盤の締固め度の試験
※　行う (22.3.5)

10．アスファルト舗装
加熱アスファルト混合物の種類 (22.4.2)(22.4.4)(表22.4.4)

表　層	※　再生密粒度アスファルト混合物（１３） ・　密粒度アスファルト混合物（１３） ・　細粒度アスファルト混合物（１３） ・	舗装の厚さは図示による
基　層	※　再生粗粒度アスファルト混合物（２０） ・　粗粒度アスファルト混合物（２０） ・	

舗装の平坦性は、通行の支障となる水たまりを生じない程度とする
アスファルト混合物等の抽出試験　※行わない　・行う (22.4.6)
早強ポルトランドセメント　・　使用する　※　使用しない (22.5.3)
溶接金網　※　あり　・　なし

11．コンクリート舗装

12．カラー舗装 (22.6.2)

種　類		部　位	厚　さ(mm)
加熱系	※　アスファルト混合物	・　車道部　・　歩道部	図示による
	・　石油樹脂系混合物	・　車道部　・　歩道部	
	・　ニート工法	・　車道部　・　歩道部	３～５
常温系	・　塗布工法	・　車道部　・　歩道部	１程度以下

着色骨材・自然石（　　） (22.6.3)

13．透水性アスファルト舗装
構成　・図示 (22.7.2)(22.7.6)
開粒度アスファルト混合物等の抽出試験　※行わない　・行う
舗装の平たん性は著しい不陸がないものとする

14．ブロック系舗装
・　インターロッキングブロック舗装 (22.8.2)(22.8.4)(表22.8.1)
・　コンクリート平板舗装　※　砂目地
・　モルタル目地
・　舗石舗装基層　※　コンクリート版　・　アスファルト混合物

15．砂利敷き
※　Ａ種（通路）※　Ｂ種（建物周囲その他）　・ (22.9.2)

16．区　画　線
※　ＪＩＳＫ５６６５　３種１号

12 ユニット及びその他の工事

1．フリーアクセスフロア (20.2.2)

施工場所	工法	仕上り高 (mm)	適用地震時水平力(Ks)	耐荷重性能(N)	表面仕上げ
	・溝工法（置敷工法）		・ 1.0G ※ 0.6G	・ 3,000 ・ 5,000 ・	・帯電防止床タイル ・タイル
	・支柱一体型パネル工法（置敷工法）				
	・支柱分離型パネル工法（支柱調整式工法）				

ボーダー部　※　一般部分の仕様に準ずる　・　図示による
床表面仕上げ材の品質は標準仕様書19章による。
配線取出し用切り欠きパネルは１枚／ｍ以上とする。
空調用吹き出し(吸い込み）パネル　※　なし
・　有り（※固定式　・可変式）
施工箇所は図示

2．可動間仕切（パーテーション） (20.2.3)
構造形式による種類　スタッド式（内蔵）
構成基材　・アルミニウム合金系　・スチール系
パネル表面材　焼付塗装鋼板（標準色）　ｔ＝０．５以上
遮音性　３６dB/500Hz以上
防火性能　不燃

3．移動間仕切（スライディングドア） (20.2.4)
パネルの操作方法による種類　規定しない
パネル表面材の材質及び仕上げ　製造所仕様の化粧鋼板（標準色）ｔ＝０．５以上
パネル圧接装置の操作方法　ハンドル回転式又はプッシュ式
遮音性　３６dB/500Hz以上
防火性能　不燃
取り付け用あと施工アンカー　材質，寸法等は図示又は製造所の仕様による

4．トイレブース (20.2.5)
表面材　メラミン樹脂系化粧板（標準色）
幅　木　ステンレス製 Ｈ＝６０
フレーム　アルミ製
扉　厚４０中心吊りアール形アルミ製エッジ，帽子掛け戸当たり付き

5．階段滑り止め（ノンスリップ） (20.2.6)
材　種　ステンレス（SUS304）
ビニールタイヤ入り（幅約35mm）
取り付け方法　※　接着工法　・　埋込み工法

6．床目地棒 (20.2.7)
ステンレスＦＢ（SUS304）　ｔ５～６×Ｈ１２
（床仕上げが異なる場合に設ける。但し、建具部は建具表による。）

7．鏡 (20.2.9)
耐湿鏡　ｔ＝５　ステンレスフレーム付き

8．表　示 (20.2.10)
衝突防止表示　ＨＬ仕上げ　Φ３０程度　市販品　ステンレス製
誘導標識　市販品
室名札　アクリル板

9．点　検　口

施工箇所	材　種	寸　法	形　式
天　井	※　アルミニウム製 ・	※　４５０×４５０ ・　６００×６００	※　目地タイプ ・　額縁タイプ
床	※　アルミニウム製 ・	・　４５０×４５０ ※　６００×６００	※　一般形貼物用 ・　一般形充填用

10．視覚障害者用誘導ブロック
屋　外　※　コンクリート製　・　磁器質タイル
（※　１００角　・　１５０角）

13 総揮発性有機化合物（ＴＶＯＣ）測定仕様書

1．一般事項
試料採取および測定は，厚生労働省の「室内空気中化学物質の採取方法と測定方法」（以下「厚労省の測定方法」という。）の新築住宅の例に準拠して行う。

2．測定対象化学物質
測定対象化学物質は，下記４ 1)，2)の区分に従い，表の①から⑭の１４物質及びＴＶＯＣ又は表の①から⑨の９物質及びＴＶＯＣとする。

3．測定方法
1）　クロマトグラム上で「n-ヘキサン」から「n-ヘキサデカン」までの部分に検出される物質のピーク値を「トルエン」に換算した値をＴＶＯＣ濃度とする。
2）　トルエン換算で 2.0μg/m3 未満のピークは測定の対象としない。
3）　上位１０ピークについて物質を特定して濃度の測定を行う。

表　測定対象化学物質及び室内濃度指針値

化学物質名	室内濃度指針値		
①ホルムアルデヒド	100　μg/m3	0.08　ppm
②トルエン	260　μg/m3	0.07　ppm
③キシレン	200　μg/m3	0.05　ppm
④エチルベンゼン	3,800　μg/m3	0.88　ppm
⑤スチレン	220　μg/m3	0.05　ppm
⑥パラジクロロベンゼン	240　μg/m3	0.04　ppm
⑦テトラデカン	330　μg/m3	0.04　ppm
⑧アセトアルデヒド	48　μg/m3	0.03　ppm
⑨ノナナール	(暫定)41　μg/m3	0.007　ppm
⑩フタル酸ジ-n-ブチル	17　μg/m3	0.0015　ppm
⑪フタル酸ジ-2-エチルヘキシル	100　μg/m3	0.0063　ppm
⑫クロルピリホス	1　μg/m3	0.00007　ppm
⑬ダイアジノン	0.29　μg/m3	0.00002　ppm
⑭フェノブカルブ	33　μg/m3	0.0038　ppm
⑮総揮発性有機化合物（ＴＶＯＣ）	400　μg/m3	（暫定目標値）

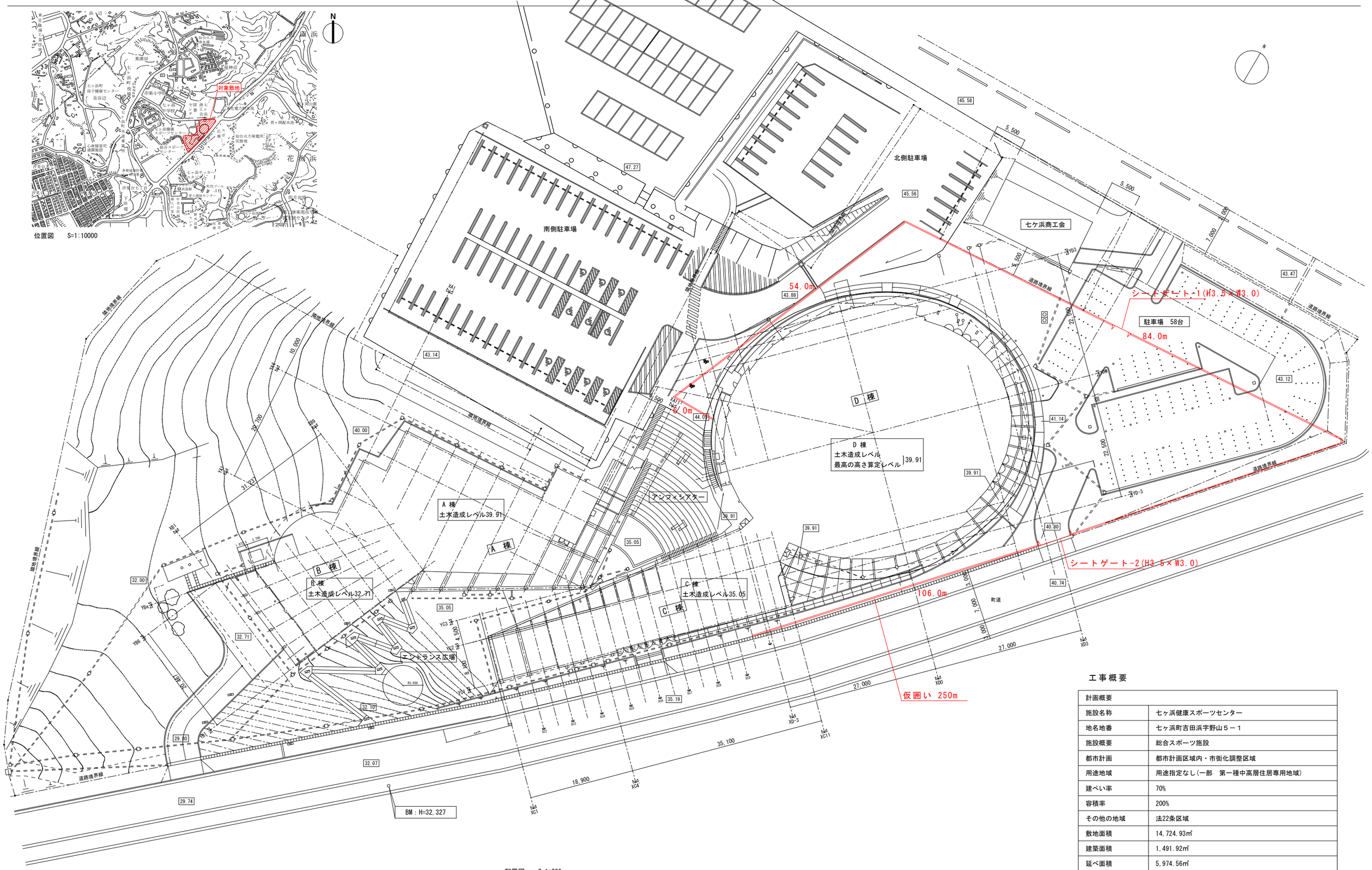
4．測定する室
1）　１４物質及びＴＶＯＣ濃度を測定する室等
・　室名：
2）　９物質及びＴＶＯＣ濃度を測定する室
・　室名：
・　屋外(周囲の建物から離れた場所１か所)

5．測定結果等報告書の提出
次の事項を記載した報告書を２部提出する。
1）　測定結果（アセトアルデヒドについては，試料採取時の気温が20℃に満たない場合には，「厚労省の測定方法」に定める計算式で20℃，湿度50%に，ホルムアルデヒドについては25℃，湿度50%に補正した濃度を報告すること。）
2）　試料採取時の状況（気温・湿度(屋外，室内)，天候、風の状況、日射進入状況，採取年月日・時間，窓の開閉状況，機械換気量，工事完成から試料採取までの日数）
3）　試料採取方法，測定方法，使用した測定機器
4）　ＴＶＯＣ濃度の算出に使用したクロマトグラムの写し

6．その他
表の化学物質①から⑤のうち，いずれかの物質の濃度が室内濃度指針値を超える場合は，工事目的物の引渡しを受けない。
ＴＶＯＣの測定の結果，暫定目標値を超える場合は，発生原因の究明及び汚染物質の発生を低減するための対策について，協議を行うこと。

設計年月日	調査	設計	工事名称	全葉	図面　Ｎｏ
2022.03.31			令和３年２月１３日福島県沖地震による七ヶ浜健康スポーツセンター復旧工事		
			図面名称　建築改修工事特記仕様書-4　Scale S=N.S(A1)		Ａ－０５

位置図　S=1:10000



配置図　S=1:300

※　Z1=Z0+90=TP:35.14=BM+2.813

工事概要

計画概要	
施設名称	七ヶ浜健康スポーツセンター
地名地番	七ヶ浜町吉田浜字野山５－１
施設概要	総合スポーツ施設
都市計画	都市計画区域内・市街化調整区域
用途地域	用途指定なし(一部　第一種中高層住居専用地域)
建ぺい率	70%
容積率	200%
その他の地域	法22条区域
敷地面積	14,724.93㎡
建築面積	1,491.92㎡
延べ面積	5,974.56㎡
主要構造(階数)	ＲＣ造(3階)　一部　Ｓ造

		設計年月日	調査	設計	工事名称	全葉	図面　No
		2022.03.31			令和３年２月１３日福島県沖地震による七ヶ浜健康スポーツセンター復旧工事		Ａ－０６
					図面名称　配置図　Scale S=1/300(A1) S=1/600(A3)		

外部仕上表

屋根		床		壁		天井	
展望ﾃﾗｽ-1.2 ﾊｰﾌﾞｶﾞｰﾃﾞﾝ	露出断熱ｱｽﾌｧﾙﾄ防水+FD-Lｼｽﾃﾑ +ｱｸｱｼｲﾙ工法+野芝 :ｱｽﾌｧﾙﾄ防水-1 〃 〃 +ﾊｰﾌﾞ 〃	ｻｰﾋﾞｽｺｰﾄ-1 ﾗｲﾄｺｰﾄ	ｺﾝｸﾘｰﾄこて仕上	外 壁	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し仕上 +疎水剤	ﾎﾟﾙﾃｨｺｰ-1.2 ﾋﾞﾛﾃｨｰ -1.2	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し仕上 +疎水剤 ｱﾙﾐｽﾊﾟﾝﾄﾞﾚﾙ貼
展望ﾃﾗｽ-4 ﾌﾞﾘｯｼﾞ屋根	露出ｱｽﾌｧﾙﾄ防水(冷熱工法)+歩行用仕上材 :ｱｽﾌｧﾙﾄ防水-2 ｽﾃﾝﾚｽ平葺(ｼｰﾑ溶接工法)	ﾎﾟﾙﾃｨｺｰ-1.2.3 ｻｰﾋﾞｽｺｰﾄ-2 ﾋﾞﾛﾃｨｰ -1.2	豆砂利洗出仕上 ﾎﾞｰﾀﾞｰ ｺﾝｸﾘｰﾄこて仕上 靴ふきﾏｯﾄ-1.2		一部 ｱﾙﾐｽﾊﾟﾝﾄﾞﾚﾙ	ﾌﾞﾘｯｼﾞ-1 ｻｰﾋﾞｽｺｰﾄ-1.2	ｹｲｶﾙ板 t4 + VP
陸屋根-1.2	露出断熱ｱｽﾌｧﾙﾄ防水 :ｱｽﾌｧﾙﾄ防水-3	屋外ﾌﾞﾘｯｼﾞ-1.2	ｺﾝｸﾘｰﾄ小叩き仕上 誘導表示 手摺-1.、 靴ふきﾏｯﾄ-2	ｴﾚﾍﾞｰﾀｰ機械室 外壁 ****	ｺﾝｸﾘｰﾄ打 5のまま + 深透深違型防水		
ﾊﾞｰﾃﾞﾙｰﾌ 屋根-1～3,	露出断熱ｼｰﾄ防水 ; 〃 露出断熱塗膜防水 〃			鉄骨部 及び鉄部	ﾌｯ素樹脂塗装塗り		
屋根-4 屋根-5	露出ｱｽﾌｧﾙﾄ防水 :ｱｽﾌｧﾙﾄ防水-3 ｽﾃﾝﾚｽｱﾙﾐﾒｯｷ板 t0.5二重立平葺	室外機置場-1	ｺﾝｸﾘｰﾄこて仕上				
		ﾗｲﾄｺｰﾄ階段	ｺﾝｸﾘｰﾄこて仕上	竪 樋	配管用鋼管 65A、100A + ﾌｯ素樹脂塗装塗り		
屋外機置場-2	露出ｱｽﾌｧﾙﾄ防水 雨受台	ﾊﾞﾙｺﾆｰ-1	塗膜防水(ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟ型) 手摺-2	屋 上 ﾀﾗｯﾌﾟ	SUS 304 34Φ HL		
ﾙｰﾌﾄﾞﾚｲﾝ	鋳鉄製 たて型, よこ型, 中継ﾄﾞﾚｲﾝ, 65A用 100A用	ﾊﾞﾙｺﾆｰ-2	ｳｯﾄﾞﾃﾞｯｷ敷込+ｺﾝｸﾘｰﾄこて仕上げ 手摺-2,靴ふきﾏｯﾄ-2				
ｵｰﾊﾞｰﾌﾛｰ管	SUS304HL 50Φ打込み	ﾊﾞﾙｺﾆｰ-3	塗膜防水(ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟ型)				
煙突上部	陣笠						

内部仕上表

階	室名	下地	床	巾木 下地	巾木	巾木 H	壁 下地	壁	天井 下地	天井	天井 H	備考
1A	ｴﾝﾄﾗﾝｽﾎｰﾙｰﾙ-1	C + M	豆砂利洗出仕上 ﾎﾞｰﾀﾞｰ: ｺﾝｸﾘｰﾄこて仕上	C	——	——	C	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し仕上+疎水剤 PB t12.5 + EP	C	ｱﾙﾐﾊﾟﾝﾄﾞﾚﾙ貼	2,880	
○	ｴﾚﾍﾞｰﾀｰ 機械室	C	ｺﾝｸﾘｰﾄこて仕上 + 床用塗料	C	ｺﾝｸﾘｰﾄ巾木	100	C	ｺﾝｸﾘｰﾄ打ちのまま ｸﾞﾗｽｸｰﾙｸﾛｽ貼り t50	C	ｺﾝｸﾘｰﾄ打ちのまま	直天井	
○1B	空調機械室	C	ｺﾝｸﾘｰﾄこて仕上 + 床用塗料, ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟ型	C	ｺﾝｸﾘｰﾄ巾木	100	C	ｺﾝｸﾘｰﾄ打ちのまま 柱型表わし	C	木毛板打込み表わし	直天井 5,620	冷凍機基礎,AEX基礎,AHU基礎
○	消火ﾎﾟﾝﾌﾟ室	C	ｺﾝｸﾘｰﾄこて仕上 + 床用塗料, ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟ型	〃	ｺﾝｸﾘｰﾄ巾木	100	〃	ｺﾝｸﾘｰﾄ打ちのまま	C	ｺﾝｸﾘｰﾄ打ちのまま	2,750	消火ﾎﾟﾝﾌﾟ基礎
○	監視室-1	C + M	P ｼｰﾄ	〃	PB + P巾木	100	〃	PB t12.5 + EP	S	PB t9.5 + EP	2,340	
○	熱源機械室	C	ｺﾝｸﾘｰﾄこて仕上 + 床用塗料	〃	ｺﾝｸﾘｰﾄ巾木	100	〃	ｺﾝｸﾘｰﾄ打ちのまま 柱型表わし	C	木毛板打込み表わし	直天井 5,620	ﾎﾞｲﾗｰ基礎 2ヶ所、ﾎﾟﾝﾌﾟ基礎、熱交換機基礎、貯湯機基礎
○	ろ過機室-1	〃	〃 〃	〃	〃	〃	〃	〃 〃	〃	〃	直天井 4,780	ﾌﾟｰﾙろ過機基礎、浴槽ろ過機基礎
○	ろ過機室-2	C	ｺﾝｸﾘｰﾄこて仕上 + 床用塗料	C	ｺﾝｸﾘｰﾄ巾木	100	C	ｺﾝｸﾘｰﾄ打ちのまま 外壁:木毛セメント板 t25打込み 柱型表わし	C	木毛板打込み表わし	直天井 5,620	ﾎﾟﾝﾌﾟ機基礎、浴槽ろ過機基礎 煙突
○	監視室員用便所 監視室員用湯沸	C + M	Pｼｰﾄ	C	P巾木	100	C	PB t12.5 +合成樹脂系仕上塗材 PB t12.5+ EP(不燃)	S	PB t9.5 + EP	2,340	ｷｯﾁﾝｾｯﾄ-2
○1C	受水槽ﾎﾟﾝﾌﾟ室	C	ｺﾝｸﾘｰﾄこて仕上 + 床用塗料	C	ｺﾝｸﾘｰﾄ巾木	100	C	ｺﾝｸﾘｰﾄ打ちのまま 柱型表わし	C	木毛板打込み表わし	直天井 3,960	受水槽基礎、給水ﾎﾟﾝﾌﾟ機基礎
	自家発電機室	〃	〃 〃	〃	〃	〃	〃	〃 〃	〃	〃	直天井 3,960	発電機基礎、配線用ﾋﾟｯﾄ、配線用ﾋﾟｯﾄ蓋、防油堤
	電 気 室	〃	〃 〃	〃	〃	〃	〃	〃 〃	〃	〃	直天井 3,960 4,480	ｷｭｰﾋﾞｸﾙ基礎、配線用ﾋﾟｯﾄ、配線用ﾋﾟｯﾄ蓋
	LPG 置場	C	ｺﾝｸﾘｰﾄこて仕上 + 床用塗料	C	ｺﾝｸﾘｰﾄ巾木	100	C	ｺﾝｸﾘｰﾄ打ちのまま 柱型表わし	C	木毛板打込み表わし	直天井 4,480	
2A	ﾚｽﾄｺｰﾅｰ -2 受付-1 ｼｮｯﾌﾟ	C + M	ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ	C	木製巾木 + OSW	180	C	PB t12.5 ｶﾞﾗｽﾌﾞﾛｯｸ200角	S	PB t9.5 + EP	2,860	受付ｶｳﾝﾀｰ -1 ﾊﾞｯｸｶｳﾝﾀｰ、ｼｮｯﾌﾟｶｳﾝﾀｰ -1.2
	ｴﾝﾄﾗﾝｽﾎｰﾙ前室 ﾚｽﾄｺｰﾅｰ -1	C + M	ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ, ｺﾞﾑﾀｲﾙ 誘導表示 上り框:木製(ﾌﾞﾅ)+OSW	〃	〃 〃		C	PB t12.5 + EP 一部多彩模様塗	〃	〃	〃	
	下足ｺｰﾅｰ	C + M	ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ	〃	〃 〃	〃	C	〃	〃	〃	〃	下足入
	ﾌﾟﾛﾑｶｰﾄﾞ -1	〃	ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ	〃	木製巾木 + OSW	180	C	PB t12.5 + EP 一部多彩模様塗	〃	PB t9.5 + EP	2,860	公衆電話ｶｳﾝﾀｰ、自販機ｶﾊﾞｰ
○	監視室-2	C + M	P ｼｰﾄ	C	P巾木	100	C	PB t12.5(不燃) + 合成樹脂系仕上塗材	〃	PB t9.5(準不燃) + 合成樹脂系仕上塗材	2,700	ｶｳﾝﾀｰ -1、収納家具-1
	事務室	C + M	ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ	C	木製巾木 + OSW	180	C S	PB t12.5 + EP	〃	PB t9.5 + EP	2,860 2,700	収納ｶｳﾝﾀｰ -1、収納家具-1
○	応接ｺｰﾅｰ	C + M	ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ	C	木製巾木 + OSW	180	C	PB t12.5(不燃) + 多彩模様塗,ｶﾞﾗｽﾌﾞﾛｯｸ200角	〃	PB t9.5(準不燃) + EP	2,700	収納家具-3.4
○	事務室倉庫	〃	P ｼｰﾄ	C S	P巾木	100	C S	PB t12.5(不燃) + EP	〃	〃	2,500	可動収納ｼｽﾃﾑ(既製品)、上部整理棚-1.2
○	男子・女子更衣室	〃	P ｼｰﾄ	〃	P巾木	100	〃	PB t12.5(不燃) + EP	〃	PB t9.5(準不燃) + EP	〃	
	廊 下-1	C + M	ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ	C S	木製巾木 + OSW	180	C S	PB t12.5 + EP	S	PB t9.5 + EP	2,500	

凡 例

図面凡例						下地凡例		基材凡例				仕上凡例						防火材料認定番号	
⊠	天井改め口	▽	室名札	w	巾	C	ｺﾝｸﾘｰﾄ	FB	せっこうﾎﾞｰﾄﾞ	PL	薄塗り石膏ﾌﾟﾗｽﾀｰt3	OP	酸性調合ﾍﾟｲﾝﾄ塗り	Pｼｰﾄ	ﾋﾞﾆｰﾙ張ｼｰﾄ			PB t12.5	不燃 第1003号
⊠	床改め口	CH	ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ	d	奥行	CR	ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ	RB	せっこうﾗｽﾎﾞｰﾄﾞ			EP	合成樹脂ｴﾏﾙｼﾞｮﾝﾍﾟｲﾝﾄ塗り	Pﾀｲﾙ	ﾋﾞﾆｰﾙ張ﾀｲﾙ			PB t9.5	準不燃 第2001号
Ⓗ	ﾏﾝﾎｰﾙ	BB	ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞﾎﾞｯｸｽ	h	高さ	M	ﾓﾙﾀﾙ	VN	合板			AEP	ｱｸﾘﾙ樹脂ｴﾅﾒﾙ塗り	NPC	ﾆｰﾄﾞﾙﾊﾟﾝﾁｶｰﾍﾟｯﾄ			AB(F-S.C)	不燃 第1001号
BM	ﾍﾞﾝﾁﾏｰｸ	C	ｶｰﾃﾝ	l	長さ	ﾗｽM	ﾗｽﾓﾙﾀﾙ	AH(F)	無石綿ｽﾚｰﾄﾌﾚｷｼﾌﾞﾙ板			VP	塩化ﾋﾞﾆｰﾙ樹脂ｴﾅﾒﾙ塗り	P巾木	ﾋﾞﾆｰﾙ巾木			FGB	不燃 第1424号
←○→	工事範囲	VB	ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞ	t	厚さ	W	水	AH(S)	無石綿ｽﾚｰﾄ			CL	ｸﾘﾔｰﾗｯｶｰ塗り	Vｸﾛｽ	ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ			PL	不燃(個) 第11101号
—○—	仕上区分	CR	ｶｰﾃﾝﾚｰﾙ			S	軽量鉄骨	AH(C)	無石綿ｾﾒﾝﾄけい酸ｶﾙｼｳﾑ板			OSW	*性ｽﾃｲﾝ*****ﾜｯｸｽ仕上	ｸﾛｽ	ｸﾛｽ				
○	部分詳細*出し	RS	ﾛｰﾙｽｸﾘｰﾝ			PL	ﾌﾟﾗｽﾀ	BWH	ﾛｯｸｳｰﾙ吸音板			長期-P	***塗材塗り					○	建告示33-ﾆﾄより排煙設備の設置免除される部分を示す。
≪ ≫	別途工事							FGB	曲面用**強化せっこうﾎﾞｰﾄﾞ			EP(D)	合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝ*****					○	建告示33-ﾛ
±0	床高											AC	ｱｸﾘﾙ樹脂ﾜﾆｽ塗り	SOP	****ﾍﾟｲﾝﾄ塗り				
———	水勾配(矢印方向は下りを示す)							(W)	配水 を示す			OSP	油性ｽﾃｲﾝ塗り+ﾎﾟﾘｳﾚﾀﾝ艶消しFP		ﾌｯ素樹脂塗料塗り				

		設計年月日	調査	設計	工事名称	全葉	図面 No
		2022.03.31			令和３年２月１３日福島県沖地震による七ヶ浜健康スポーツセンター復旧工事		Ａ－０７
					図面名称 既存仕上表-1 Scale S=N.S.(A1) S=N.S.(A3)		

内部仕上表

階	室名	下地	床		下地	巾木	H	下地	壁	下地	天井	H	備考
○2A	前室-1	C + M	P シート		C	PB+P巾木	180	S	PB t12.5 + EP(不燃)	S	PB t9.5 + EP(準不燃)	2,500	整理棚-3
○	ﾘﾈﾝ室	〃	〃		C S	PB+P巾木	100	C S	〃 〃	〃	〃 〃	〃	ﾘﾈﾝ棚-1,ﾘﾈﾝ棚-2
○	湯沸室-1	〃	P シート		S	PB+P巾木	100	〃 〃	〃 〃	〃	〃 〃	〃	ｷｯﾁﾝｾｯﾄ-1
○	前室-2	〃	ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ		C S	木製巾木 + OSW	180	C S	PB t12.5 + EP(不燃)	〃	〃 〃	〃	
○	多目的便所-1	〃	P シート		——	PB+P巾木	——	〃 〃	PB t12.5 +合成樹脂系仕上塗材(不燃)	〃	〃 〃	〃	ﾗｲﾆﾝｸﾞ-1、補助手摺-1.2　ﾍﾞﾋﾞｰｼｰﾄ
○	多目的便所-2	〃	P シート		——	PB+P巾木	——	〃 〃	PB t12.5 +合成樹脂系仕上塗材(不燃)	〃	〃 〃	〃	ﾗｲﾆﾝｸﾞ-1、補助手摺-1.2　ﾍﾞﾋﾞｰｼｰﾄ
○	男子便所-1	〃	せっ器質100角ﾀｲﾙ　一部Pシート + 目地棒		——	——	——	〃 〃	陶器質100角ﾀｲﾙ	〃	〃 〃	〃	ﾗｲﾆﾝｸﾞ-2、洗面ｶｳﾝﾀｰ -1　便 所ﾌﾞｰｽ
○	女子便所-1	〃	せっ器質100角ﾀｲﾙ　一部Pシート + 目地棒		——	——	——	〃 〃	陶器質100角ﾀｲﾙ	〃	〃 〃	〃	洗面ｶｳﾝﾀｰ -1　便 所ﾌﾞｰｽ
○	前室-3	〃	ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ		C S	木製巾木 + OSW	180	〃 〃	PB t12.5 + EP(不燃)	〃	PB t9.5 + EP(準不燃)	〃	
	掃除具置場	〃	P シート			P巾木	100	〃 〃	PB t12.5 + EP	〃	PB t9.5 + EP	2,500	ﾗｲﾆﾝｸﾞ-3
○	ﾊﾞｰﾃﾞﾗｳﾝｼﾞ	C	ｽﾀｲﾛﾌｫｰﾑt25+押えｺﾝｸﾘｰﾄt80+M+ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟ		C	〃	〃	C	PB t12.5 + EP一部多彩模様塗(不燃) 柱型、梁型表わし	——	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し仕上+疎水剤	吹抜	空調ｶﾊﾞｰ
	前室-4	C + M	ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ　〃		C S	〃	〃	C S	PB t12.5 + EP	S	PB t9.5 + EP	2,500	ﾍﾞﾝﾁ
○	女子ﾛｯｶｰ室 脱衣-3.4	〃	籐むしろ		〃 〃	〃	〃	〃 〃	PB t12.5 +合成樹脂系仕上塗材(不燃)	〃	PB t9.5 +合成樹脂系仕上塗材(準不燃)	2,700	ﾛｯｶｰ -1.2
○	女子洗面ｺｰﾅｰ	〃	籐むしろ		〃 〃	〃	〃	〃 〃	〃 〃	〃	〃	〃	洗面ｶｳﾝﾀｰ
○	女子脱衣室	C + M	籐むしろ		C S	木製巾木 + OSW	180	C S	PB t12.5 +合成樹脂系仕上塗材(不燃)	〃	PB t9.5 +合成樹脂系仕上塗材(準不燃)	2,700	脱衣棚　洗面ｶｳﾝﾀｰ
○	女子浴室	C	室内ｱｽﾌｧﾙﾄ防水+押えｺﾝｸﾘｰﾄt80+M +せっ器質150角ﾀｲﾙ	Z2-90	——	——	——	C + M	陶器質150角ﾀｲﾙ	〃	AB(F) t5.0 合成樹脂系仕上塗材(不燃)	2,700	木製浴槽縁、 吐水口、ｶﾗﾝ台、排水溝-1、浴槽手摺
○	便所-2	〃	P シート	Z2-90	——	P巾木	——	C + M S	PB t12.5 +合成樹脂系仕上塗材(不燃)	〃	PB t9.5 +合成樹脂系仕上塗材(準不燃)	2,185	
	前室-6	C	籐むしろ　豆砂利洗い出し仕上	Z2-90	——	木製巾木 + OSW	——	C + M	PB t12.5 +合成樹脂系仕上塗材　丸ﾓｻﾞｲｸﾀｲﾙ貼	〃	PB t9.5 +合成樹脂系仕上塗材	2,160	
	前室-5、廊下-4	C + M	ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ		C S	木製巾木 + OSW	100	C S	PB t12.5 + EP	〃	PB t9.5 + EP	2,500	ﾍﾞﾝﾁ
○	男子ﾛｯｶｰ室 脱衣-1.2	〃	籐むしろ		〃 〃	〃	〃	〃 〃	PB t12.5 +合成樹脂系仕上塗材(不燃)	〃	PB t9.5 +合成樹脂系仕上塗材(準不燃)	2,700	ﾛｯｶｰ -1.2
○	男子洗面ｺｰﾅｰ	〃	籐むしろ		〃 〃	〃	〃	〃 〃	〃 〃	〃	〃 〃	〃	洗面ｶｳﾝﾀｰ
○	男子脱衣室	〃	籐むしろ		C S	木製巾木 + OSW	100	C S	PB t12.5 +合成樹脂系仕上塗材(不燃)	〃	PB t9.5 +合成樹脂系仕上塗材(準不燃)	2,700	脱衣棚　洗面ｶｳﾝﾀｰ
○	男子浴室	〃	せっ器質100角ﾀｲﾙ		——	——	——	C + M	陶器質150角ﾀｲﾙ	〃	AB(F) t5.0 合成樹脂系仕上塗材(不燃)	2,700	木製浴槽縁、 吐水口、ｶﾗﾝ台、排水溝-1、浴槽手摺
○	便所-3	〃	P シート		——	P巾木	——	C + M S	PB t12.5 +合成樹脂系仕上塗材(不燃)	〃	PB t9.5 +合成樹脂系仕上塗材(準不燃)	2,185	
	前室-7、廊下-5	〃	籐むしろ　豆砂利洗い出し仕上		——	木製巾木 + OSW	——	C + M	PB t12.5 +合成樹脂系仕上塗材	〃	PB t9.5 +合成樹脂系仕上塗材	2,160	
	清掃員控室 控室	〃	ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ		C S	PB+P巾木	100	C S	PB t12.5 + EP	S	PB t9.5 + EP	2,500	ｷｯﾁﾝｾｯﾄ-2 x 2
	ｼｬﾜｰﾌﾞｰｽ	C + M	せっ器質100角ﾀｲﾙ			——			丸ﾓｻﾞｲｸﾀｲﾙ貼		耐水PB t9.5 +合成樹脂系仕上塗材	2,250	
2A	倉庫-2	C	床用塗料	Z2-90	C	——	——	C	ｺﾝｸﾘｰﾄ打ちのまま　柱型表わし	c	ｺﾝｸﾘｰﾄ打ちのまま　柱型表わし	直天井	
	ﾊﾞｰﾃﾞｿﾞｰﾝ	C + M	室内ｱｽﾌｧﾙﾄ防水+ｽﾀｲﾛﾌｫｰﾑt25+ 押えｺﾝｸﾘｰﾄt80+M+豆砂利洗い出し仕上	Z2-90	——	——	——	C + M	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し仕上 腰:丸ﾓｻﾞｲｸﾀｲﾙ貼 柱型:ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し フっ素塗料塗り H=1350まで 仕上フっ素塗料塗り	S	木製浴槽　ｽﾗﾌﾞ下端 ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し仕上 +フっ素塗料塗り	段天井	
	かぶり湯	C + M	室内ｱｽﾌｧﾙﾄ防水+ｽﾀｲﾛﾌｫｰﾑt25+ 押えｺﾝｸﾘｰﾄt80+M+豆砂利洗い出し仕上	Z2-180	——	——		〃	丸ﾓｻﾞｲｸﾀｲﾙ貼	——	——		木製すのこ
	全身浴	C	室内ｱｽﾌｧﾙﾄ防水+ｽﾀｲﾛﾌｫｰﾑt25+押えｺﾝｸﾘｰﾄ t80+M+丸ﾓｻﾞｲｸﾀｲﾙ貼 排水溝 樹脂製ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ	Z2-740	——	——		〃	丸ﾓｻﾞｲｸﾀｲﾙ貼 一部無釉丸ﾓｻﾞｲｸﾀｲﾙ	——	——		手摺B-1
	歩行浴	C + M	室内ｱｽﾌｧﾙﾄ防水+ｽﾀｲﾛﾌｫｰﾑt25+押えｺﾝｸﾘｰﾄ t80+M+丸ﾓｻﾞｲｸﾀｲﾙ貼 排水溝 樹脂製ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ	Z2-630	——	——		〃	丸ﾓｻﾞｲｸﾀｲﾙ貼 一部無釉丸ﾓｻﾞｲｸﾀｲﾙ	——	——		手摺B-4
	ｽﾁｰﾑｱﾛﾏ	〃	室内ｱｽﾌｧﾙﾄ防水+ｽﾀｲﾛﾌｫｰﾑt25+押えｺﾝｸﾘｰﾄ t80+M+無釉丸ﾓｻﾞｲｸﾀｲﾙ貼	Z2-90	——	(ｻｳﾅ工事による)		C + M	丸ﾓｻﾞｲｸﾀｲﾙ貼	S	丸ﾓｻﾞｲｸﾀｲﾙ貼		
	ﾌｨﾝﾗﾝﾄﾞｻｳﾅ	〃	室内ｱｽﾌｧﾙﾄ防水+ｽﾀｲﾛﾌｫｰﾑT25+押えｺﾝｸﾘｰﾄ t80+M+ｽﾉｺ	Z2-90	——	(ｻｳﾅ工事による)		——		——	——		
	冷水浴	〃	室内ｱｽﾌｧﾙﾄ防水+ｽﾀｲﾛﾌｫｰﾑt25+押えｺﾝｸﾘｰﾄ t80+M+丸ﾓｻﾞｲｸﾀｲﾙ貼 排水溝 樹脂製ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ	Z2-810	——	——		C + M	丸ﾓｻﾞｲｸﾀｲﾙ貼 一部無釉丸ﾓｻﾞｲｸﾀｲﾙ	——	——		手摺B-1
	打たせ湯	〃	〃　〃	Z2-180	——	——		〃	〃　〃	——	——		石製椅子 、打たせ湯ﾉｽﾞﾙ取付金物、木製ﾊﾟｰﾃｰｼｮﾝ
	ﾚｸﾘｰｼｮﾝﾌﾟｰﾙ	〃	〃　〃	Z2-1150	——	——		〃	〃　〃	——	——		手摺B-6、ﾗﾀﾞｰ手摺、排水金物
	子供ﾌﾟｰﾙ	〃	〃　〃	Z2-650	——	——		〃	〃　〃	——	——		ﾗﾀﾞｰ手摺
	寝湯	C + M	室内ｱｽﾌｧﾙﾄ防水+ｽﾀｲﾛﾌｫｰﾑt25+押えｺﾝｸﾘｰﾄ t80+M+丸ﾓｻﾞｲｸﾀｲﾙ貼 排水溝 樹脂製ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ	Z2-490	——	——		C + M	丸ﾓｻﾞｲｸﾀｲﾙ貼 一部無釉丸ﾓｻﾞｲｸﾀｲﾙ	——	——		手摺B-5

		設計年月日 2022.03.31	調査	設計	工事名称　令和３年２月１３日福島県沖地震による七ヶ浜健康スポーツセンター復旧工事 図面名称　既存仕上表-2　Scale S=N.S.(A1) S=N.S.(A3)	全葉	図面 No Ａ－０８

内部仕上表

階	室名	下地	床		下地	巾木	H	下地	壁	下地	天井	H	備考
2B	ﾊﾞｰﾃﾞﾝﾃﾞｯｷ	C	M +ﾃﾞｯｷｳｯﾄﾞ(根太組下地)	Z2-90	——	——	——	C	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し仕上 + ﾌｯ素樹脂塗料塗り	C	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し仕上+ﾌｯ素塗料塗り	2,860	
	ﾀﾗｿ湯	〃	丸ﾓｻﾞｲｸﾀｲﾙ	Z2-870	——	——			丸ﾓｻﾞｲｸﾀｲﾙ貼　浴槽縁:木製	——	——		手摺 B-7
	圧注浴	〃	〃	Z2-910	——	——			〃　〃	——	——		手摺 B-8
	気泡浴	C	丸ﾓｻﾞｲｸﾀｲﾙ	Z2-910	——	——			丸ﾓｻﾞｲｸﾀｲﾙ貼　浴槽縁:木製	——	——		手摺 B-7
2C	ﾌﾞﾘｯｼﾞ-1	C + M	ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ		——	——	——	——	——	S	PB t9.5 + EP	2,860	踏段-2.3
	ﾌﾟﾛﾑﾅｰﾄﾞ-2	C + M			C	木製巾木 + OSW	180	C	PB t12.5 + EP　柱型表わし	〃	〃	2,860	下足入
	前室-8	C + M			S	〃	〃	S	PB t12.5 + 多彩模様塗	〃	PB t9.5 + EP	2,700	収納家具-8
	女子中央ﾛｯｶｰ室	〃	〃		C S	〃	〃	C S	PB t12.5 + 合成樹脂系仕上塗材	〃	PB t9.5 + 合成樹脂系仕上塗材	〃	ﾛｯｶｰ3.4 ﾍﾞﾝﾁ
	女子洗面ｺｰﾅｰ -2	〃	ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ		C S	木製巾木 + OSW	180	C S	PB t12.5 + 合成樹脂系仕上塗材	〃	PB t9.5 + 合成樹脂系仕上塗材	〃	洗面ｶｳﾝﾀｰ -6
○	女子ｼｬﾜｰ室	〃	室内ｱｽﾌｧﾙﾄ防水+押えｺﾝｸﾘｰﾄ+せっ器質100角		——	——		S	PB t12.5 + 陶器質100角ﾀｲﾙ(不燃)	〃	AB(C) t6.0 + 合成樹脂系仕上塗材(不燃)	〃	ｼｬﾜｰﾌﾞｰｽ
○	便所-4	〃	P シート		S	P巾木	100	〃	PB t12.5 +合成樹脂系仕上塗材(不燃)	〃	PB t9.5 + EP(準不燃)	〃	
	前室-9	〃	ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ		C S	木製巾木 + OSW	180	S	PB t12.5 + 多彩模様塗	〃	PB t9.5 + EP	〃	収納家具-8
	男子中央ﾛｯｶｰ室	〃	〃		C S	〃	〃	C S	PB t12.5 + 合成樹脂系仕上塗材(不燃)	〃	PB t9.5 +合成樹脂系仕上塗材	〃	ﾛｯｶｰ -3.4、壁点検口、　掲示板
	男子洗面ｺｰﾅｰ -2	〃	〃		C S	木製巾木 + OSW	180	C S	PB t12.5 + 合成樹脂系仕上塗材	〃	PB t9.5 +合成樹脂系仕上塗材	〃	洗面ｶｳﾝﾀｰ -7
○	男子ｼｬﾜｰ室	〃	室内ｱｽﾌｧﾙﾄ防水+押えｺﾝｸﾘｰﾄ+せっ器質100角		——	——		S	PB t12.5 + 陶器質100角ﾀｲﾙ(不燃)	〃	AB(C)t6.0 +合成樹脂系仕上塗材(不燃)	〃	ｼｬﾜｰﾌﾞｽ
○	便所-5	〃	P シート		S	P巾木	100	S	PB t12.5 + 合成樹脂系仕上塗材(不燃)	〃	PB t9.5 + EP(準不燃)	2,700	
	ﾌｨｯﾄﾈｽｽﾀｼﾞｵ	C + M	ｷｰﾌﾛｰﾏﾏｯﾄ + ｼﾞﾑ用ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ		C S	木製巾木 + OSW	180	C	鏡貼り(H=2,160) + 有孔ﾗﾜﾝ合板t5.5 + OSW	S	有孔ﾗﾜﾝ合板t5.5 + OSW,ｸﾞﾗｽｳｰﾙ敷込 t30	2,860	収納家具-5、鏡
	ﾄﾚｰﾆﾝｸﾞﾙｰﾑ	C + M	ｺﾞﾑﾀｲﾙ		〃 〃	〃	〃	〃 〃	鏡貼り(H=2,160)　PB t12.5 + 多彩模様塗	C S	有孔ﾗﾜﾝ合板t5.5 + OSW,ｸﾞﾗｽｳｰﾙ敷込 t25	一部吹抜 2,860	収納家具-7、鏡
	受付-2	C + M	ｺﾞﾑﾀｲﾙ		〃 〃	木製巾木 + OSW	180	C S	PB t12.5 + ﾗﾜﾝ合板t5.5 + OSW	S	有孔ﾗﾜﾝ合板t5.5 + OSW,ｸﾞﾗｽｳｰﾙ敷込 t25	2,860	収納家具-6、受付ｶｳﾝﾀｰ -2、　体力能測定ｶｳﾝﾀｰ、休憩ﾃｰﾌﾞﾙx2
○	SK	C + M	P シート		C S	P巾木			PB t12.5 + EP (不燃)	S	PB t9.5 + EP(準不燃)	2,700	
2D	ｱﾘｰﾅ	C + S + 1	ｱﾘｰﾅ用ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ	Z2-500 ﾃﾗﾌﾞ	——	ﾗﾜﾝ合板t12 + OSW	——	C.S S	有孔ﾗﾜﾝ合板t12 + OSW,ｸﾞﾗｽｳｰﾙ　Pﾋｰﾀｰ 後部:EP	S	ｸﾞﾗｽｳｰﾙ ｸﾛｽ貼　t25 鉄骨:OP, ﾃﾞｯｷﾌﾟﾚｰﾄ:OP	直天井	可動ﾈｯﾄ、ﾊﾞﾚｰﾎﾞｰﾙ支柱基礎. 金具、床下点検口、床換気口、ｺｰﾄﾗｲﾝ、吊ﾊﾟﾄﾝ
	本部室･湯沸ｺｰﾅｰ	C + M	ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ		C S	P巾木	100	C S	PB t12.5 + EP	〃	PB t9.5 + EP+ 一部ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し仕上 +浸水剤	2,367	ｷｯﾁﾝｾｯﾄ-1
○	放送室	〃	〃		〃 〃	〃	〃	〃 〃	PB t12.5 + EP(不燃)	〃	PB t9.5 + EP(準不燃)	〃	ｶｳﾝﾀｰ -3
	遊戯室	C + M	ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ		C S	P巾木	100	C S	PB t12.5 + EP	S	PB t9.5 + EP 一部ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し仕上 + 疎水剤	2,367	
○	器具庫-1	C	P シート		C	P巾木	100	C	ｺﾝｸﾘｰﾄ打ちのまま 一部PB t12.5(不燃)	C	ｺﾝｸﾘｰﾄ打ちのまま	直天井	
	器具庫-2	〃	P シート		C	P巾木	100	C S	ｺﾝｸﾘｰﾄ打ちのまま 一部PB t12.5	〃	〃	〃	
	器具庫-3.4.5	〃	P ﾀｲﾙ		——	——	——	C	ｺﾝｸﾘｰﾄ打ちのまま	〃	〃	〃	整理棚
	収納庫-3.4	〃	P ﾀｲﾙ		——	——	——	〃	〃	〃	〃	〃	
	EPS-1～6	C	P ﾀｲﾙ		——	——	——	〃	ｺﾝｸﾘｰﾄ打ちのまま	C	ｺﾝｸﾘｰﾄ打ちのまま	直天井	
	廊下-3	C + M	P シート ﾎﾞｰﾀﾞｰ: 集成材 + OSW		C	P巾木	100	C	PB t12.5 + EP　柱型表わし	S	PB t9.5 + EP	2,909	
	前室-10	〃	P シート ﾎﾞｰﾀﾞｰ: 集成材 + OSW		C S	P巾木	100	C S	PB t12.5 + EP	〃	PB t9.5 + EP	2,500	
○	男子便所-2	〃	せっ器質100角ﾀｲﾙ		——	——	——	C + M S	陶器質100角ﾀｲﾙ PB t12.5(不燃) + 陶器質100角ﾀｲﾙ	〃	PB t9.5 + EP(準不燃)	〃	ﾗｲﾆﾝｸﾞ-13、洗面ｶｳﾝﾀｰ -7、便所ﾌﾞｰｽ
○	多目的便所-3	〃	P シート		——	P巾木	——	C + M S	PB t12.5 + 合成樹脂系仕上塗材(不燃)	〃	PB t9.5 + EP(準不燃)	〃	補助手摺-1.2
	前室-11	〃	P シート ﾎﾞｰﾀﾞｰ: 集成材 + OSW		C S	P巾木	100	C S	PB t12.5 + EP	〃	PB t9.5 + EP	〃	
○	女子便所-2	〃	せっ器質100角ﾀｲﾙ		——	——	——	C + M S	陶器質100角ﾀｲﾙ PB t12.5(不燃) + 陶器質100角ﾀｲﾙ	〃	PB t9.5 + EP(準不燃)	〃	ﾗｲﾆﾝｸﾞ-13、洗面ｶｳﾝﾀｰ -7、便所ﾌﾞｰｽ
○	多目的便所-4	〃	P シート		——	P巾木	——	C + M S	PB t12.5 +合成樹脂系仕上塗材(不燃)	S	PB t9.5 + EP(準不燃)	2,500	補助手摺-1.2
	階段-5～8	〃	床用塗料 〃		——	——	——	C	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し仕上 + 疎水剤	——	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し仕上 + 撥水剤	直天井	手摺3、ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟ金物
	SK	C + M	P シート 〃 〃			P巾木		C + M S	PB t12.5 + EP	S	PB t9.5 + EP	2,500	

		設計年月日 2022.03.31	調査	設計	工事名称　令和３年２月１３日福島県沖地震による七ヶ浜健康スポーツセンター復旧工事 図面名称　既存仕上表-3　Scale S=N.S.(A1) S=N.S.(A3)	全葉	図面 No Ａ－０９

内部仕上表

階	室名	下地	床		下地	巾木	H	下地	壁	下地	天井	H: Z3'から	備考
3A	ﾘｳｯｸｽﾙｰﾑ	C + M	ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ	Z3+180	C	木製巾木 + OSW	180	C S	PB t12.5 + EP　柱型、水平梁型表わし	—— S	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し仕上 + 疎水剤 PB t9.5 + EP + 木製ﾙｰﾊﾞｰ	勾配付天井 2,860	
○	前室-12	〃	〃	Z3+180	〃	〃	〃	C	PB t12.5 + EP (不燃)	——	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し仕上 + 疎水剤	勾配付天井	
	ｴﾝﾄﾗﾝｽﾎｰﾙｰ3	〃	ｺﾞﾑﾀｲﾙ　一部鏡真表示	〃	〃	木製巾木 + OSW	180	C	PB t12.5 + EP　柱型、水平梁型表わし	——	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し仕上 + 疎水剤	勾配付天井	手摺-2
	ﾌﾞﾘｯｼﾞ-2	〃	〃	〃	C	P巾木	100	——	——　柱 OP	S	PB t9.5 + EP	2,680	踏段-2.3
○	前室-13	〃	ｺﾞﾑﾀｲﾙ	〃	C S	木製巾木 + OSW	180	S	PB t12.5 + EP (不燃)	〃	PB t9.5 + EP(準不燃)	2,680	
○	男子便所-3	〃	P ｼｰﾄ	〃	〃 〃	P巾木	100	C + M S	PB t12.5 +合成樹脂系仕上塗材(不燃)	〃	〃	2,500	洗面ｶｳﾝﾀｰ 、 ﾗｲﾆﾝｸﾞ-6.7
○	女子便所-3		P ｼｰﾄ	〃	〃 〃			C + M S	PB t12.5 +合成樹脂系仕上塗材(不燃)	〃	PB t9.5 + EP(準不燃)	2,500	洗面ｶｳﾝﾀｰ
	機械室	〃	床用塗料	Z3+180	〃 〃	P巾木	100	C S	PB t12.5	——	——	直天	
○3C	客席 ｶｳﾝﾀｰ	〃	直貼ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ 室内ｱｽﾌｧﾙﾄ防水+押えｺﾝｸﾘｰﾄ+Pｼｰﾄ	Z3+180 Z3+360	〃 〃	木製巾木 + OSW	180	S	PB t12.5 + EP (不燃)　柱型、水平梁型表わし	C S	PB t9.5(準不燃) + EP + 木製ﾙｰﾊﾞｰ ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し仕上 + 疎水剤	2,680 勾配付天井	ﾊﾞｰｶｳﾝﾀｰ、ﾊﾞｯｸｶｳﾝﾀｰ -2
○	厨房	〃	室内ｱｽﾌｧﾙﾄ防水+合成樹脂系塗床材	Z3+360	〃 〃	塗床材立上げ	100	C + M S	PB t12.5 + 吹付ﾀｲﾙ(不燃)	〃	AB(F) t5.0 VP(不燃)　梁型:補修の上VP	2,500	厨房機器一式
	休憩室	〃	ｺﾝﾊﾟﾈ t12　ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ 一部P ｼｰﾄ	Z3+360	〃 〃	PB + P巾木	〃	C S	PB t12.5 + EP (不燃)	〃	PB t9.5 + E　梁型:補修の上EP	〃	
○	便所-6	〃	P ｼｰﾄ　〃	Z3+360	〃 〃	P巾木	100	C S	PB t12.5 +合成樹脂系仕上塗材(不燃)	〃	PB t9.5 + EP(準不燃)　梁型:補修の上EP	〃	
	食品庫	C + M	合成樹脂系塗床材	Z3+360	C S	塗床材立上げ	360	C S	PB t12.5 + 吹付ﾀｲﾙ	〃	PB t9.5 + VP	2,500	木製棚
3D	ﾗﾝﾆﾝｸﾞｺｰｽ	C + M	弾性舗装床材		C	PB + P巾木	100	C	PB t12.5 + EP　柱型表わし	S	有孔ﾗﾜﾝ合板t5.5 + OSW	勾配付天井	
	観客席-1～4	C + M	P ｼｰﾄ		——	——	——	C	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し仕上 + 疎水剤 一部PB t12.5 + ﾗﾜﾝ合板 + EP　柱型梁型表わし	——	——		ﾍﾞﾝﾁ、 手摺-1、ﾀﾗｯﾌﾟ-3.3'、ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟ金物
RD	ｷｬｯﾄｳｫｰｸ	C	ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾃ仕上		——	——	——	——	——	——	——		ｷｬｯﾄｳｫｰｸ手摺、ﾒﾝﾃ用ｺﾞﾝﾄﾞﾗ
共通	階段室	C	ｺﾝｸﾘｰﾄこて仕上 + ｺﾞﾑﾀｲﾙ		C	P巾木	300	C'	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し仕上 + 疎水剤 PB t12.5	C S	PB t9.5 + EP 一部ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し仕上		ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟ金物　手摺-2.3
	ELVﾋﾟｯﾄ	〃	ｺﾝｸﾘｰﾄこて仕上 + 浸透深達型防水		——	——	——	〃	ｺﾝｸﾘｰﾄ打ちのまま + 浸透深達型防水	C	ｺﾝｸﾘｰﾄ打ちのまま	直天井	釜場600x600x600H
	ｴﾚﾍﾞｰﾀｰ機械室	〃	ｺﾝｸﾘｰﾄこて仕上 + 床用塗料		——	——	——	〃	ｺﾝｸﾘｰﾄ打ちのまま + ｸﾞﾗｽｳｰﾙｸﾛｽ貼t50	〃	ｺﾝｸﾘｰﾄ打ちのまま + ｸﾞﾗｽｳｰﾙｸﾛｽ貼 t50	〃	
	ｴﾚﾍﾞｰﾀｰ室	C	ｺﾝｸﾘｰﾄこて仕上 + 浸透深達型防水		——	——	——	C	ｺﾝｸﾘｰﾄ打ちのまま + 浸透深達型防水	C	ｺﾝｸﾘｰﾄ打ちのまま	直天井	
	ﾋﾟｯﾄ	C	ｺﾝｸﾘｰﾄこて仕上		——	——	——	C	ｺﾝｸﾘｰﾄ打ちのまま	C	ｺﾝｸﾘｰﾄ打ちのまま	直天井	
	ﾄﾚﾝﾁ	〃	ｺﾝｸﾘｰﾄこて仕上		——	——	——	〃	ｺﾝｸﾘｰﾄ打ちのまま	〃	〃	〃	
	貯水槽-1～3	〃	ｺﾝｸﾘｰﾄこて仕上 + 浸透深達型防水		——	——	——	〃	ｺﾝｸﾘｰﾄ打ちのまま + 浸透深達型防水	〃	〃	〃	
	貯水槽-4(海水)	C	ｺﾝｸﾘｰﾄこて仕上 + 浸透深達型防水		——	——	——	C	ｺﾝｸﾘｰﾄ打ちのまま + 浸透深達型防水	C	ｺﾝｸﾘｰﾄ打ちのまま	直天井	
	階段-1.2	C + M	ｺﾝｸﾘｰﾄこて仕上 + 床用塗料		——	——	——	——					ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟ金物　手摺-5
	階段-3	〃	ｺﾞﾑﾀｲﾙ		C	木製巾木 + OSW	180	——		C	段裏 ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し仕上	——	〃　手摺-4
	階段-4	C + M	ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ		——	——	——	——		C	段裏 ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し仕上	——	ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟ金物　手摺-2

		設計年月日	調査	設計	工事名称	全葉	図面 No
		2022.03.31			令和３年２月１３日福島県沖地震による七ヶ浜健康スポーツセンター復旧工事 図面名称：既存仕上表-4 Scale S=N.S.(A1) S=N.S.(A3)		Ａ－１０

改修工事内容リスト

㊌=災害復旧対応工事 ㊀=経年変化対応工事

棟	室　名	部　位	既　　存		改　　修		備　考	
			仕上・仕様		仕上・仕様		工事区分	参考図面
C	厨房							
		巾木	塗床材　立上t=100	破損	P巾木	撤去　新設	㊌	A-21
								A-29
		壁	PBt=12.5＋吹付タイル	破損	耐水PBt=12.5+化粧ケイカル板t=6	撤去　新設	㊌	A-30
					(910×1,820)			
					厨房機器	取外し＋再取付	㊌	
	ブリッジ-1							
		床	タイルカーペット	破損	タイルカーペットt=6.5	撤去　新設	㊌	A-17
								A-28
		巾木						
		壁						
		天井	PB t=9.5+EP	破損	PB t=9.5+EP	撤去　張替＋塗装	㊌	
	ブリッジ-2							
		床	ゴムタイル	破損	ゴムタイルt=5.0	撤去　張替	㊌	A-22
		巾木	P巾木	破損	P巾木	撤去　張替	㊌	A-31
		壁	―					
		天井	PB t=9.5+EP	破損	PB t=9.5+EP	撤去　張替＋塗装	㊌	
	ブリッジ-2							
		ベンチ	ペルポック集成材t=25+OSW	破損	カラマツ集成材t=25+OSW	撤去　新設	㊌	A-22
								A-23

改修工事内容リスト

(サ)=災害復旧対応工事　(ケ)=経年変化対応工事

棟	室　名	部　位	既　　存		改　　修		備　考	
			仕上・仕様		仕上・仕様		工事区分	参考図面
C	ブリッジ-2							
		エキスパンションジョイント	金属製	破損	壁：プラスチック製	撤去　新設	(サ)	A-22
					屋根：アルミ製			A-23
								A-24
								A-25
	ブリッジ-2							
		AW-100A、AW-100B	アルミ見切	破損	アルミ見切	撤去　新設	(サ)	A-57

設計年月日	調査	設計	工事名称	令和３年２月１３日福島県沖地震による七ヶ浜健康スポーツセンター復旧工事	全葉	図面　No	
2022.03.31			図面名称	改修工事内容リスト-2　Scale S=N.S.(A1) S=N.S.(A3)		Ａ－１２	

改修工事内容リスト

(サ)=災害復旧対応工事　(ケ)=経年変化対応工事

棟	室　名	部　位	既　　存		改　　修		備　考	
			仕上・仕様		仕上・仕様		工事区分	参考図面
D	アリーナ							
		架構鉄骨	レイキング柱	変形	レイキング柱	変形部分交換溶接(工場)建入	(サ)	S-01～S-07
			レイキング柱	脱落	レイキング柱	建入	(サ)	
			ジョイント(柱脚柱頭)部金属セット	劣化	ジョイント部金属セット	撤去　新設取付	(サ)	
			鉄骨見え掛り部分 FP	劣化	FP	再塗装	(ケ)	A-53
		天井鉄骨下地	吊ボルト	基準不適	天井鉄骨下地	撤去　根太受け新設	(サ)	A-51
								A-52
		照明器具固定鉄骨下地	吊ボルト	基準不適	照明器具固定鉄骨下地	撤去　直付用(照明器具)に新設	(サ)	A-53
								A-54
		天井	グラスウールt=25＋グラスクロス額面張	(劣化)落下	グラスウールt=25	既存撤去　新設	(サ)	A-50
					＋化粧塩ビフィルム平張			A-51
								A-52
								A-53
		外壁	コンクリート打放し仕上	ヘアークラック	コンクリート打放し仕上	0.2mm以上エポキシ充填	(サ)	A-36
								A-37

※ FP：ふっ素樹脂塗装

設計年月日	調査	設計	工事名称	全葉	図面 No
2022.03.31			令和３年２月１３日福島県沖地震による七ヶ浜健康スポーツセンター復旧工事		Ａ－１３
			図面名称 改修工事内容リスト-3　Scale S=N.S.(A1) S=N.S.(A3)		

改修工事内容リスト

(サ)=災害復旧対応工事 (ケ)=経年変化対応工事

棟	室名	部位	既存		改修		備考	
			仕上・仕様		仕上・仕様		工事区分	参考図面
D	アリーナ							
		外壁	コンクリート打放し仕上＋疎水剤	劣化	コンクリート打放し仕上＋疎水剤	高圧洗浄＋色合せ＋再塗装	(ケ)	A-36
								A-37
		AW-2アルミ製嵌殺窓	アルミ製	変形	アルミ製	撤去(但し、方立、下枠は残す)　かぶせ型アルミサッシ新設	(サ)	A-34
								A-39
			カーテンBOX	変形	カーテンBOX	撤去　新設	(サ)	A-41
								A-50
								A-55
								A-56
		3F AW-30Hアルミ製嵌殺窓付	アルミ製	変形	アルミ製嵌殺窓付　竪軸回転窓	撤去　新設	(サ)	A-33
		竪軸回転窓						A-39
								A-58
		AW-12,AW-30建具金物	アルミ製	劣化	アルミ製建具金物	撤去　新設	(サ)	A-59
		サッシ内ガラス	AW-2　FL10	割れ	FL10+飛散防止フィルム	撤去　新設	(サ)	A-37
								A-41
			AW-12,AW-30　FL5	割れ	FL5	撤去　新設	(サ)	A-55
		軒天						
		室外機置場-1,1'	コンクリート打放し仕上＋疎水剤	劣化	コンクリート打放し仕上＋疎水剤	高圧洗浄＋色合わせ＋再塗装	(ケ)	A-48

		設計年月日	調査	設計	工事名称	全葉	図面No
		2022.03.31			令和３年２月１３日福島県沖地震による七ヶ浜健康スポーツセンター復旧工事		Ａ－１４
					図面名称 改修工事内容リスト-4　Scale S=N.S.(A1) S=N.S.(A3)		

改修工事内容リスト

サ=災害復旧対応工事　ケ=経年変化対応工事

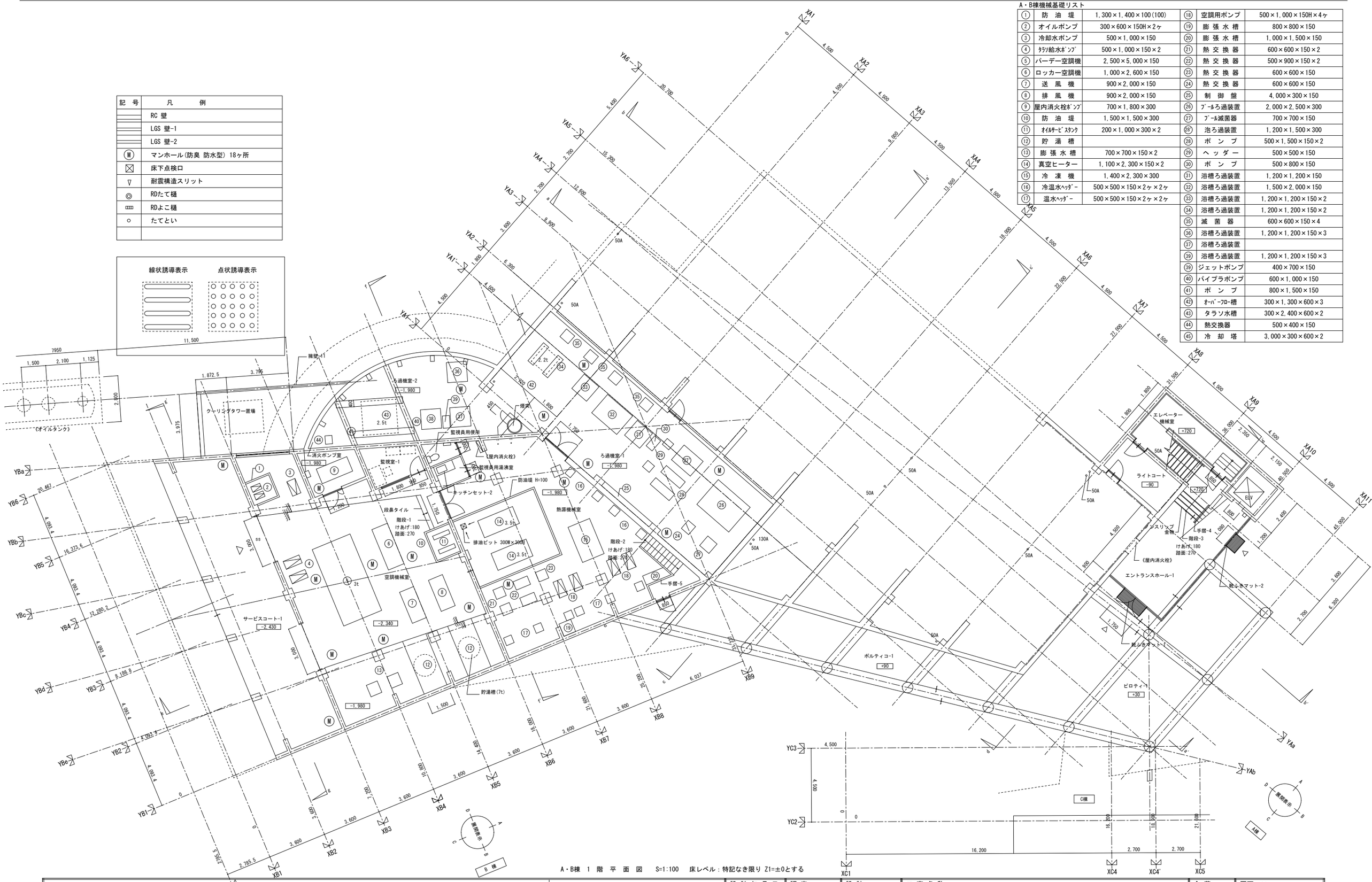
棟	室　名	部　位	既　　存		改　　修		備　考	
			仕上・仕様		仕上・仕様		工事区分	参考図面
D	アリーナ							
		内壁	コンクリート打放し仕上	クラック	コンクリート打放し仕上	エポキシ充填	サ	A-43
								A-44
			コンクリート打放し仕上＋疎水剤	劣化	コンクリート打放し仕上＋疎水剤	高圧洗浄＋色合わせ＋再塗装	ケ	A-45
								A-46
								A-47
		観客席前手摺	強化ガラスt=4.0	割れ	強化ガラスt=4.0	撤去　新設	サ	A-33
		強化ガラス						A-40
								A-54-1

		設計年月日	調査	設計	工事名称	令和３年２月１３日福島県沖地震による七ヶ浜健康スポーツセンター復旧工事	全葉	図面　No
		2022.03.31			図面名称	改修工事内容リスト-5　Scale S=N.S.(A1) S=N.S.(A3)		Ａ－１５

記号	凡例
	RC 壁
	LGS 壁-1
	LGS 壁-2
Ⓜ	マンホール(防臭 防水型) 18ヶ所
⊠	床下点検口
▽	耐震構造スリット
◎	RDたて樋
▭	RDよこ樋
○	たてとい

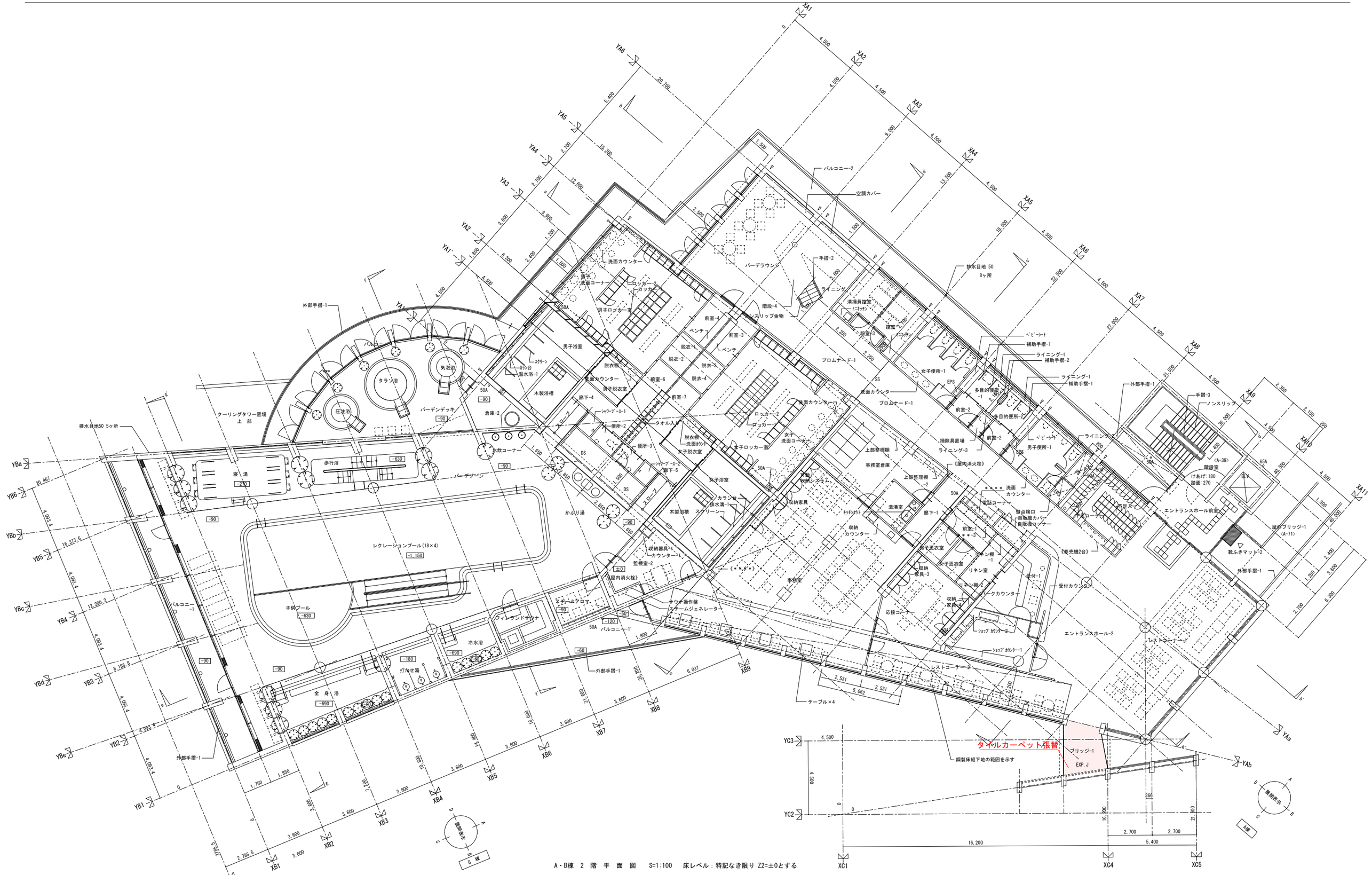
A・B棟機械基礎リスト

①	防 油 堤	1,300×1,400×100(100)	⑱	空調用ポンプ	500×1,000×150H×4ヶ
②	オイルポンプ	300×600×150H×2ヶ	⑲	膨 張 水 槽	800×800×150
③	冷却水ポンプ	500×1,000×150	⑳	膨 張 水 槽	1,000×1,500×150
④	ﾀﾗｿ給水ﾎﾟﾝﾌﾟ	500×1,000×150×2	㉑	熱 交 換 器	600×600×150×2
⑤	パーデー空調機	2,500×5,000×150	㉒	熱 交 換 器	500×900×150×2
⑥	ロッカー空調機	1,000×2,600×150	㉓	熱 交 換 器	600×600×150
⑦	送 風 機	900×2,000×150	㉔	熱 交 換 器	600×600×150
⑧	排 風 機	900×2,000×150	㉕	制 御 盤	4,000×300×150
⑨	屋内消火栓ﾎﾟﾝﾌﾟ	700×1,800×300	㉖	ﾌﾟｰﾙろ過装置	2,000×2,500×300
⑩	防 油 堤	1,500×1,500×300	㉗	ﾌﾟｰﾙ滅菌器	700×700×150
⑪	ｵｲﾙｻｰﾋﾞｽﾀﾝｸ	200×1,000×300×2	㉘	泡ろ過装置	1,200×1,500×300
⑫	貯 湯 槽		㉙	ポ ン プ	500×1,500×150×2
⑬	膨 張 水 槽	700×700×150×2	㉚	ヘ ッ ダ ー	500×500×150
⑭	真空ヒーター	1,100×2,300×150×2	㉛	ポ ン プ	500×800×150
⑮	冷 凍 機	1,400×2,300×300	㉜	浴槽ろ過装置	1,200×1,200×150
⑯	冷温水ﾍｯﾀﾞｰ	500×500×150×2ヶ×2ヶ	㉝	浴槽ろ過装置	1,500×2,000×150
⑰	温水ﾍｯﾀﾞｰ	500×500×150×2ヶ×2ヶ	㉞	浴槽ろ過装置	1,200×1,200×150×2
			㉟	浴槽ろ過装置	1,200×1,200×150×2
			㊱	滅 菌 器	600×600×150×4
			㊲	浴槽ろ過装置	1,200×1,200×150×3
			㊳	浴槽ろ過装置	
			㊴	浴槽ろ過装置	1,200×1,200×150×3
			㊵	ジェットポンプ	400×700×150
			㊶	パイプラポンプ	600×1,000×150
			㊷	ポ ン プ	800×1,500×150
			㊸	ｵｰﾊﾞｰﾌﾛｰ槽	300×1,300×600×3
			㊹	タラソ水槽	300×2,400×600×2
			㊺	熱交換器	500×400×150
				冷 却 塔	3,000×300×600×2



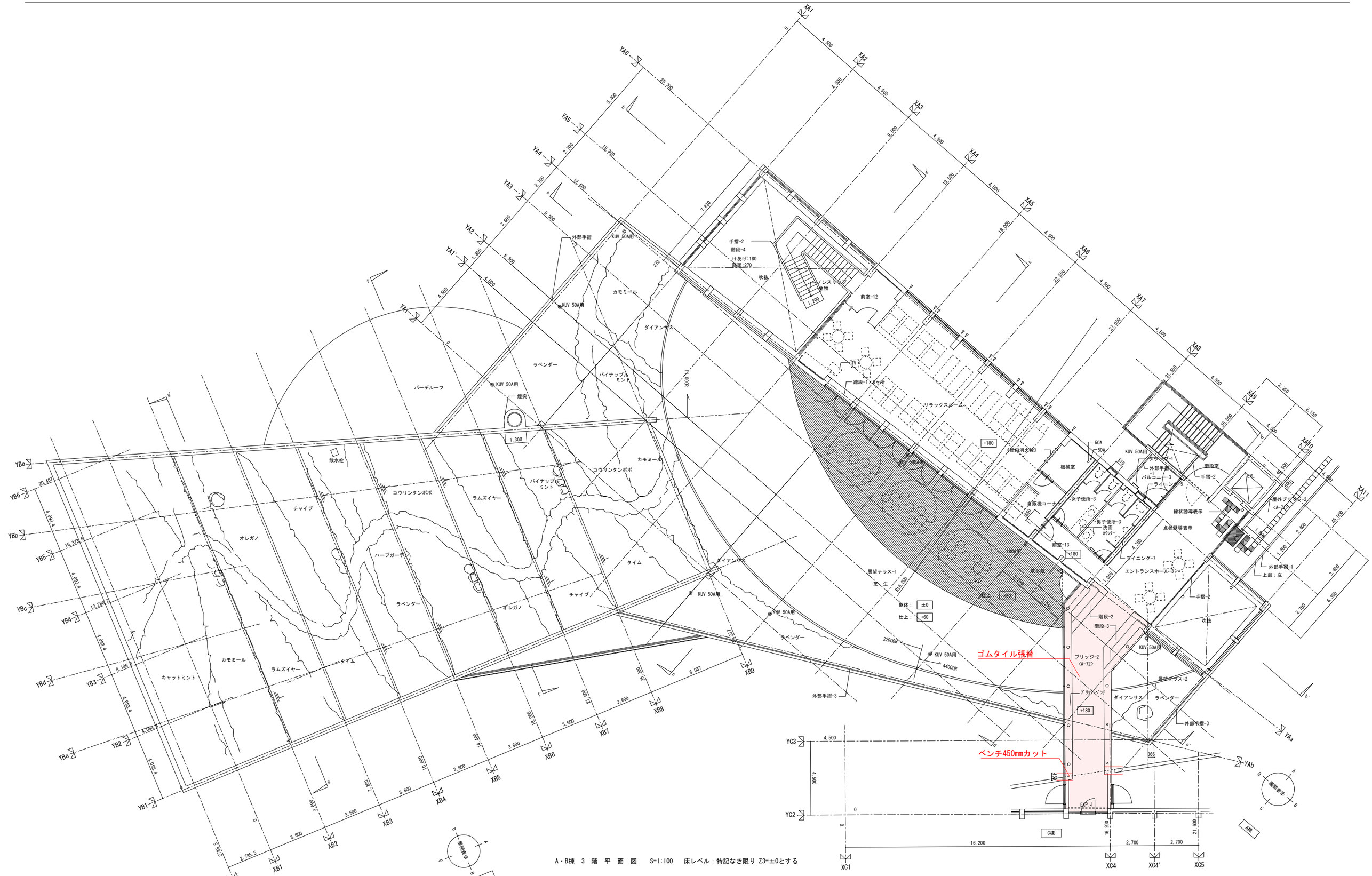
A・B棟 1 階 平 面 図 S=1:100 床レベル：特記なき限り Z1=±0とする

		設計年月日	調査	設計	工事名称 令和３年２月１３日福島県沖地震による七ヶ浜健康スポーツセンター復旧工事	全葉	図面 No
		2022.03.31			図面名称 Ａ，Ｂ棟 平面図-1 Scale S=1/100(A1) S=1/200(A3)		Ａ－１６



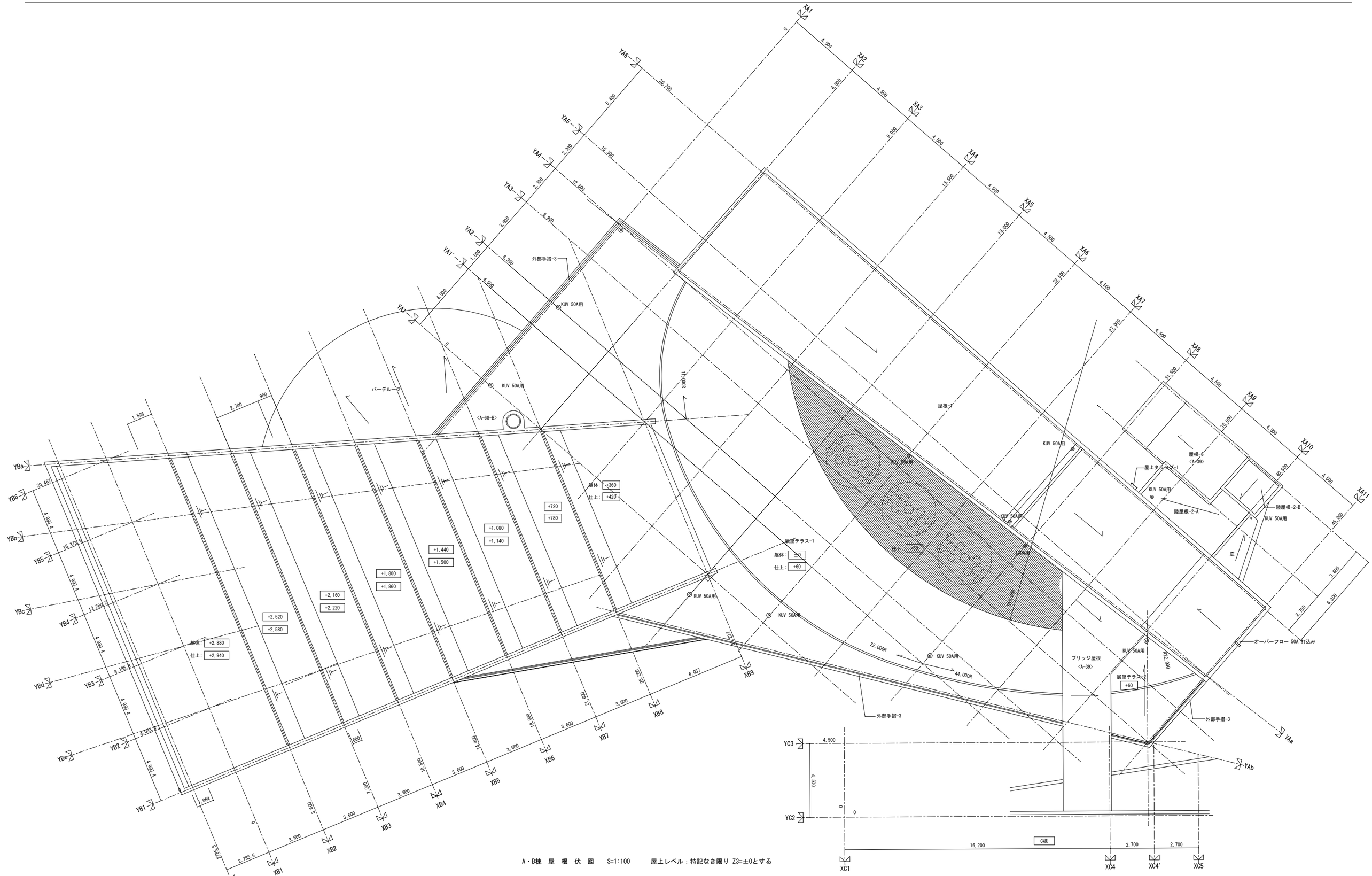
A・B棟 2 階 平 面 図 S=1:100 床レベル：特記なき限り Z2=±0とする

		設計年月日	調査	設計	工事名称	全葉	図面 No
		2022.03.31			令和３年２月１３日福島県沖地震による七ヶ浜健康スポーツセンター復旧工事		Ａ－１７
					図面名称 Ａ，Ｂ棟 平面図-2 Scale S=1/100(A1) S=1/200(A3)		



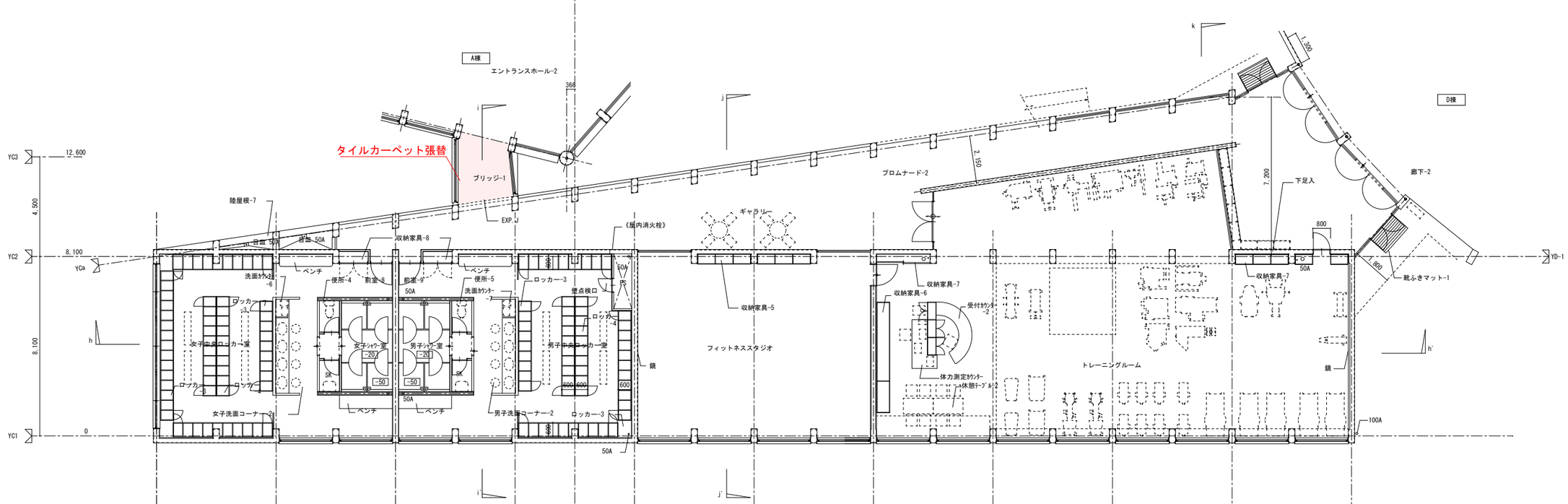
A・B棟 3 階 平 面 図 S=1:100 床レベル：特記なき限り Z3=±0とする

		設計年月日	調査	設計	工事名称	全葉	図面 No
		2022.03.31			令和３年２月１３日福島県沖地震による七ヶ浜健康スポーツセンター復旧工事		Ａ－１８
					図面名称 Ａ，Ｂ棟 平面図-3	Scale S=1/100(A1) S=1/200(A3)	

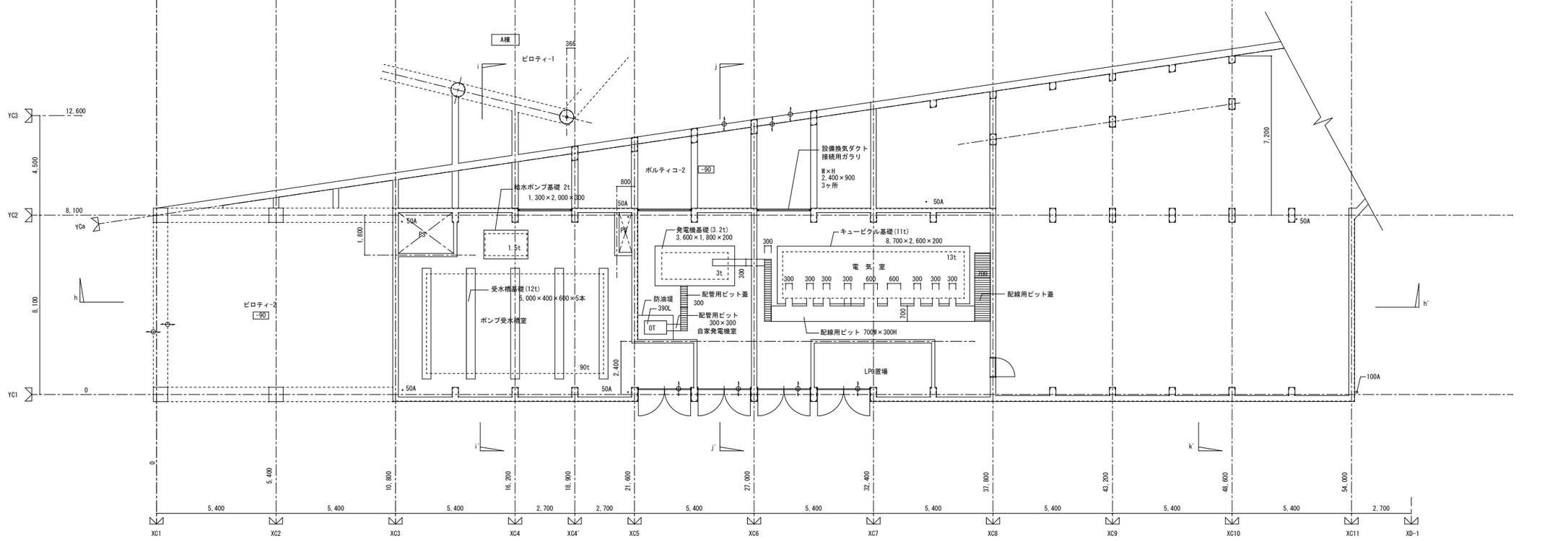


A・B棟 屋 根 伏 図 S=1:100 屋上レベル：特記なき限り Z3=±0とする

		設計年月日	調査	設計	工事名称	全葉	図面 No
		2022.03.31			令和３年２月１３日福島県沖地震による七ヶ浜健康スポーツセンター復旧工事		Ａ－１９
					図面名称 Ａ，Ｂ棟 平面図-4 Scale S=1/100(A1) S=1/200(A3)		

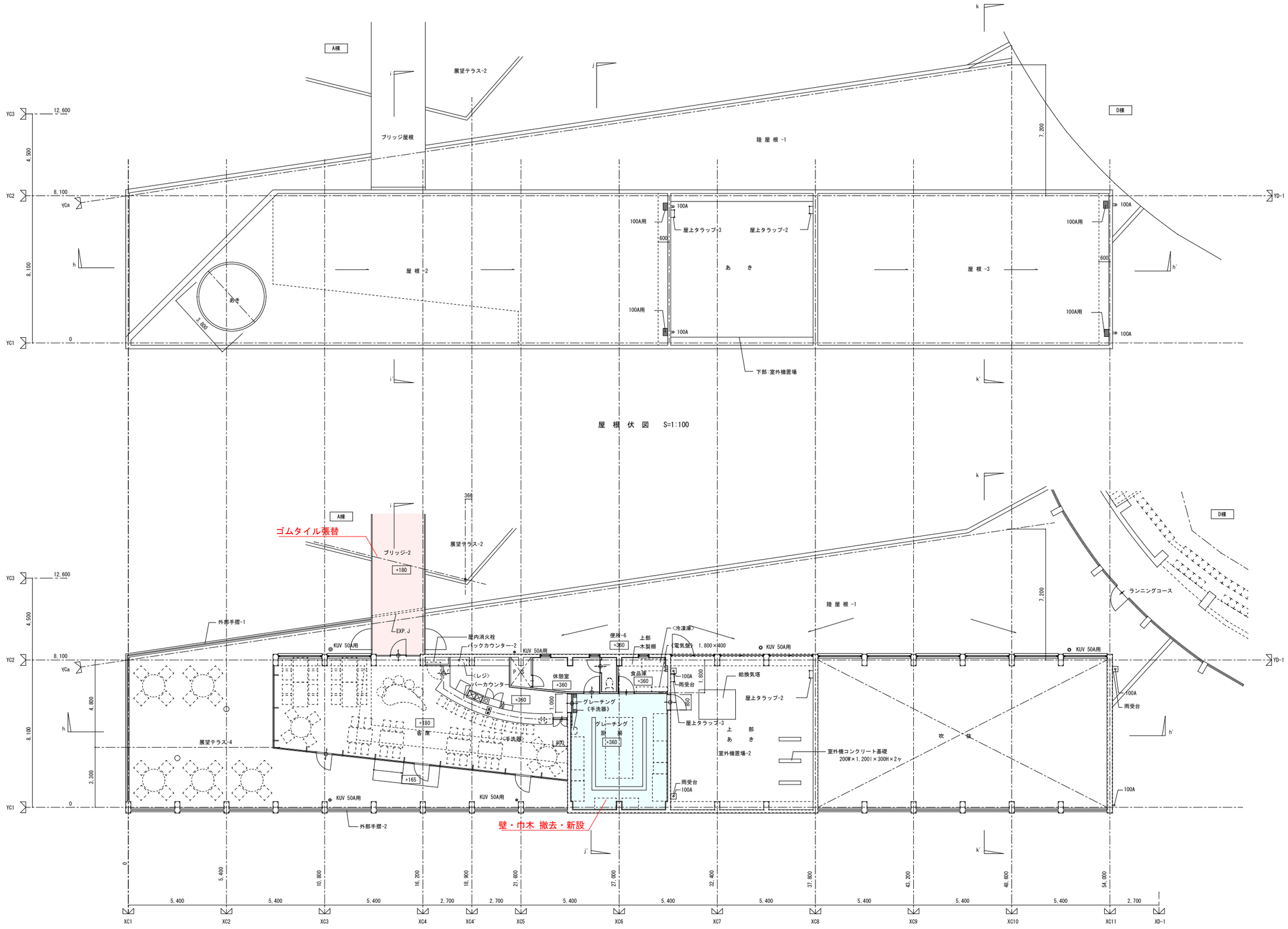


2 階 平 面 図　S=1:100



1 階 平 面 図　S=1:100　　床レベル：特記なき限り Z1、Z2=±0とする

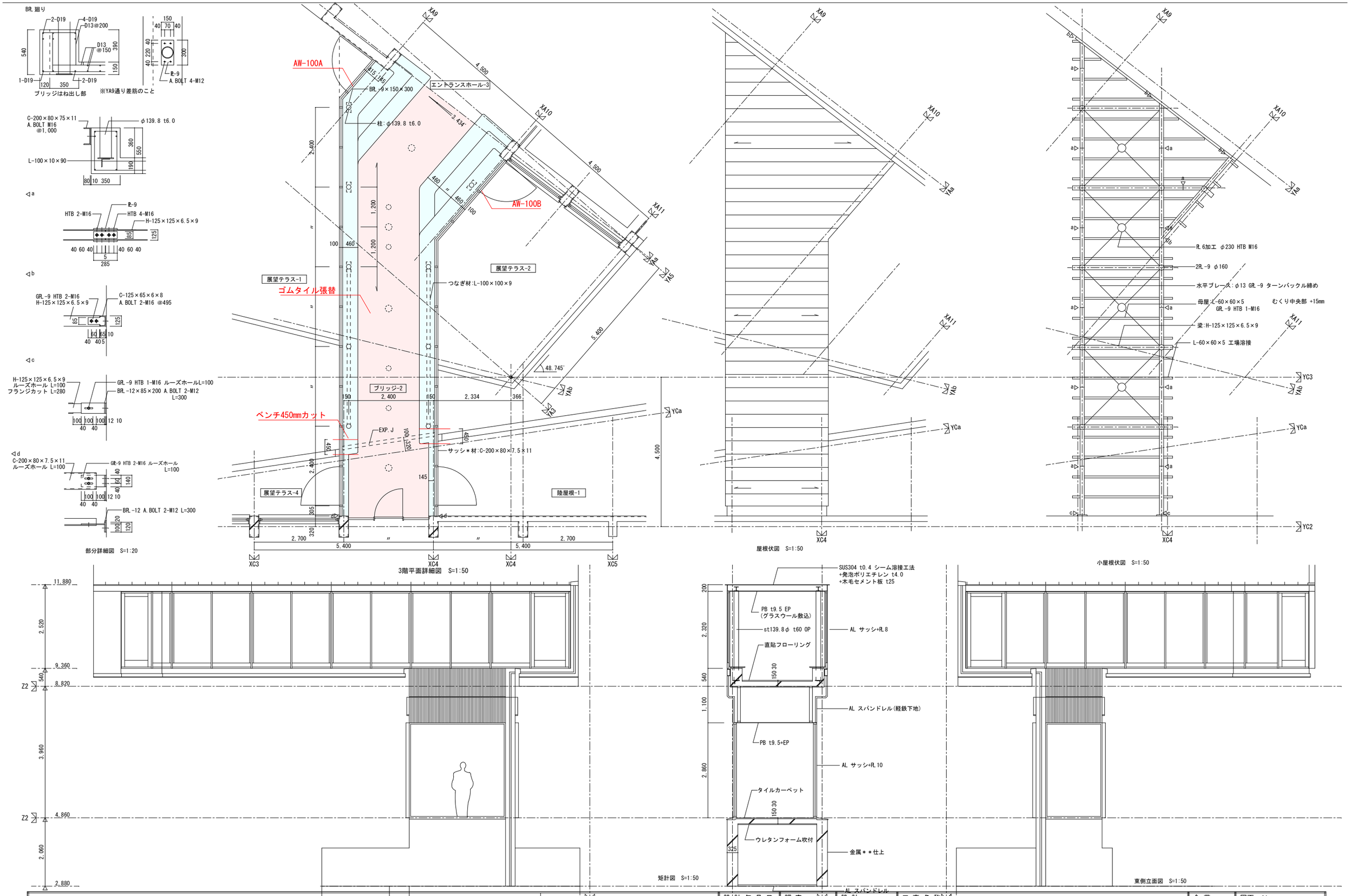
		設計年月日	調査	設計	工事名称 令和３年２月１３日福島県沖地震による七ヶ浜健康スポーツセンター復旧工事	全葉	図面 No
		2022.03.31			図面名称 Ｃ棟 平面図-1　Scale S=1/100(A1) S=1/200(A3)		Ａ－２０



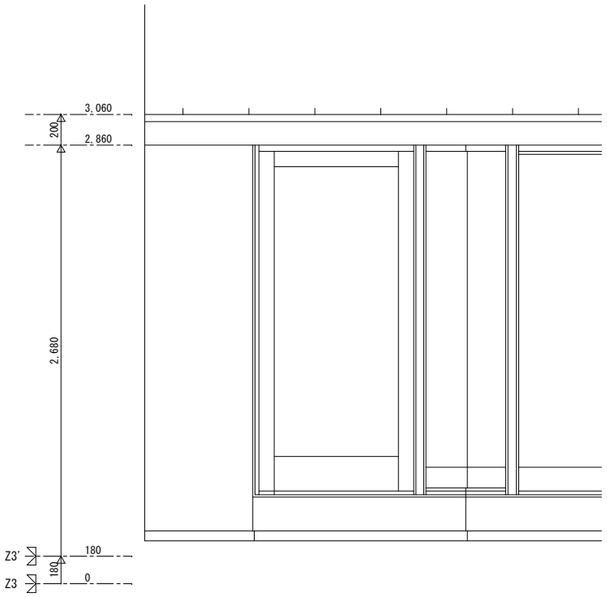
屋根伏図 S=1:100

3 階 平 面 図 S=1:100 床レベル：特記なき限り Z3=±0とする

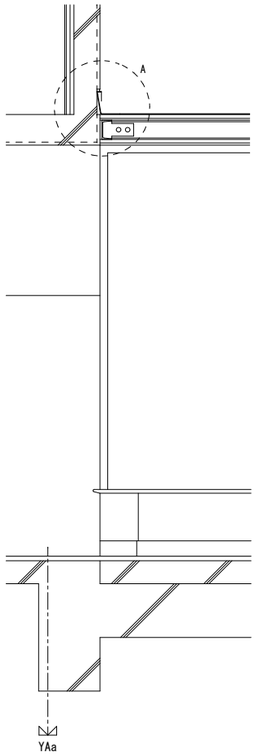
	設計年月日 2022.03.31	調査	設計	工事名称 令和３年２月１３日福島県沖地震による七ヶ浜健康スポーツセンター復旧工事	全葉	図面No A－２１
				図面名称 C棟 平面図-2	Scale S=1/100(A1) S=1/200(A3)	

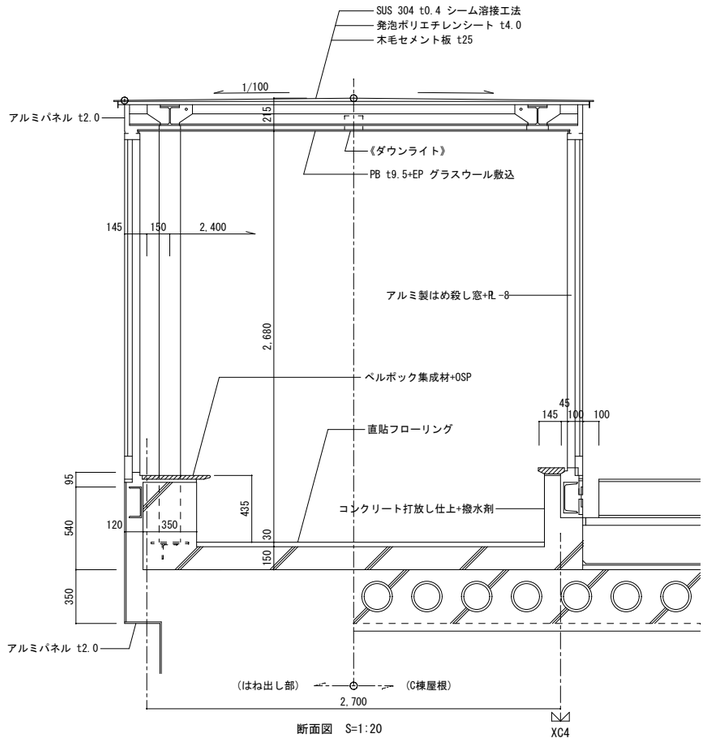


設計年月日	調査	設計	工事名称	全葉	図面No
2022.03.31			令和３年２月１３日福島県沖地震による七ヶ浜健康スポーツセンター復旧工事		Ａ－２２
			図面名称 ブリッジ-2 詳細図-1	Scale S=1:50(A1) S=1:100(A3)	

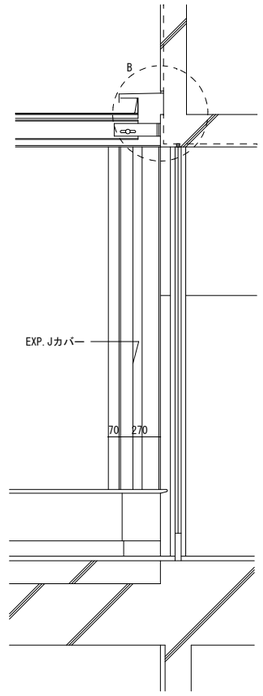


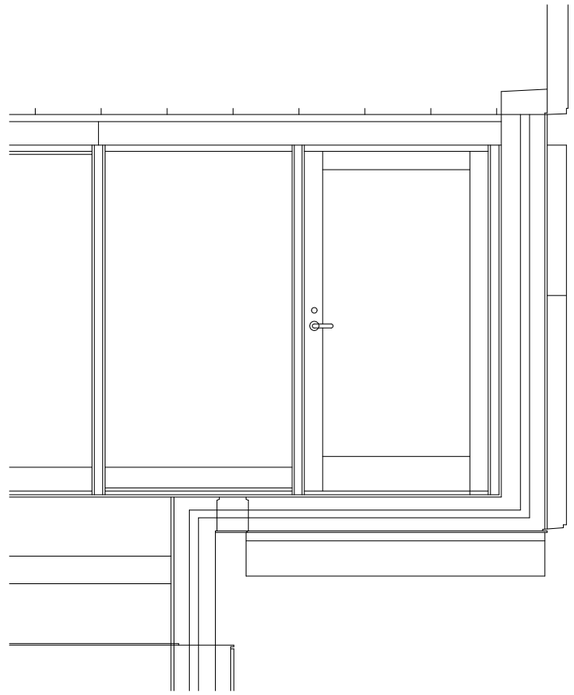
立面図　S=1:20



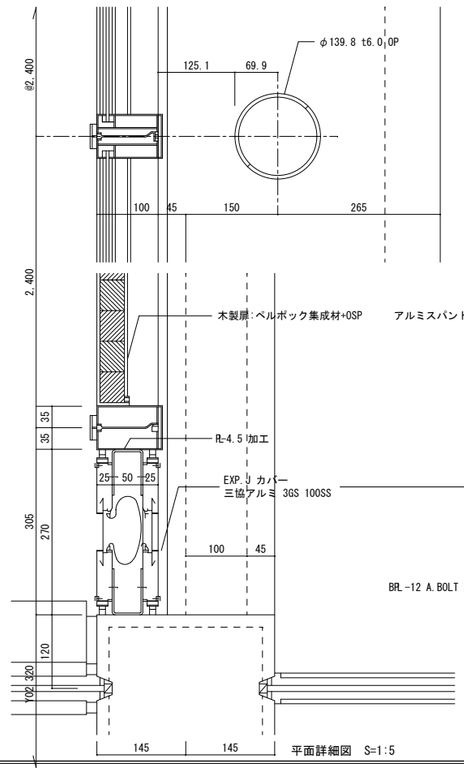


断面図　S=1:20

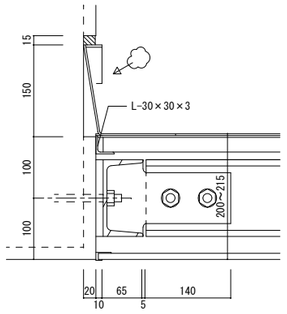




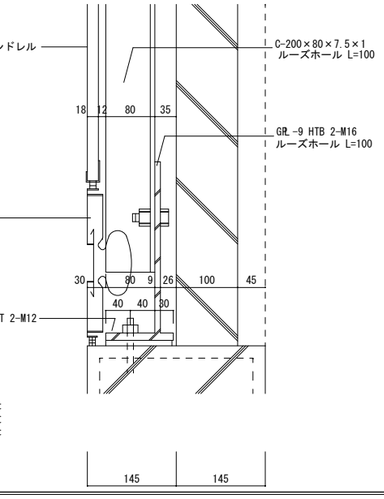
立面図　S=1:20

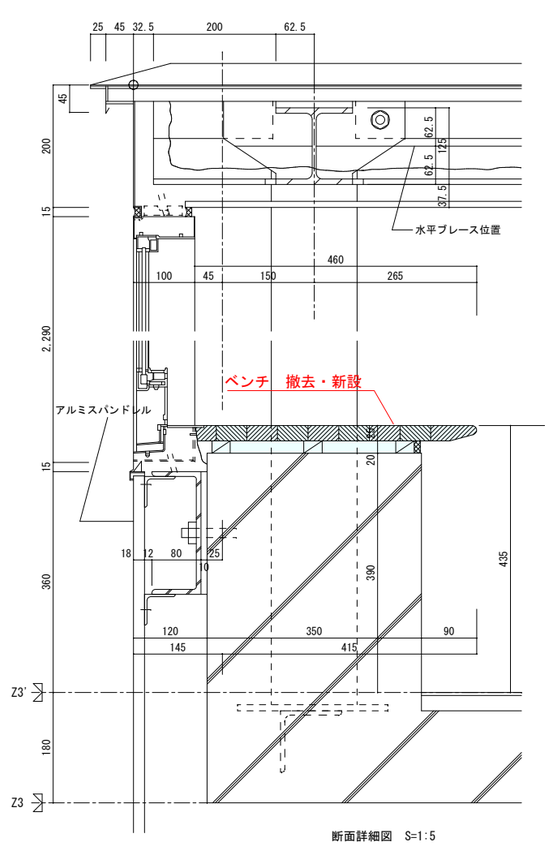


平面詳細図　S=1:5

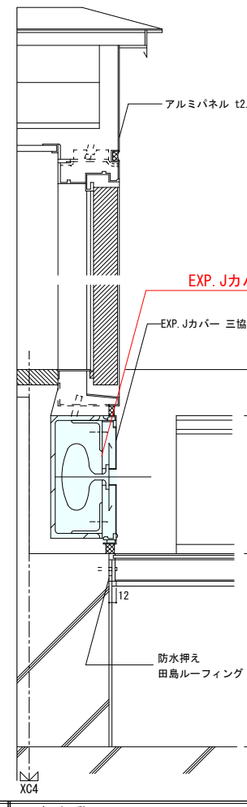


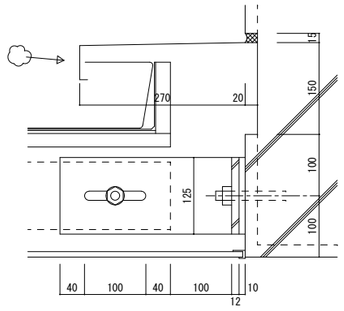
A部詳細図　S=1:5





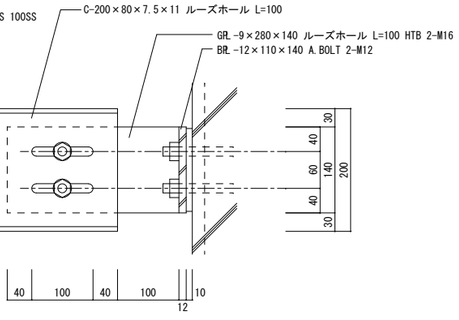
断面詳細図　S=1:5



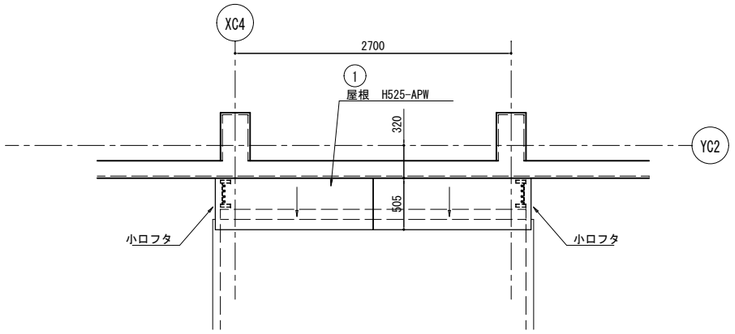


B部詳細図　S=1:5

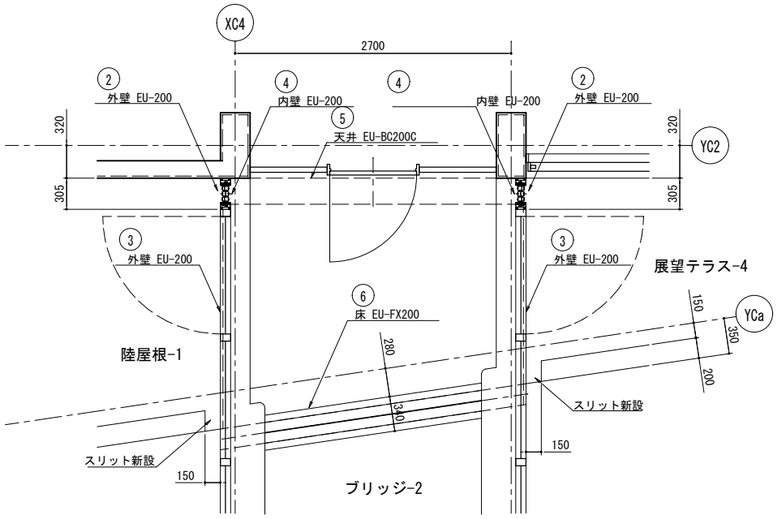
※金属屋根　エキスパンションクリア100mm確保



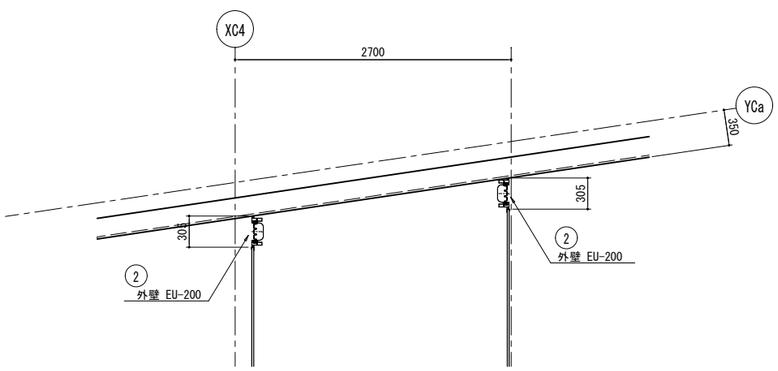
	設計年月日	調査	設計	工事名称	令和３年２月１３日福島県沖地震による七ヶ浜健康スポーツセンター復旧工事	全葉	図面 No
	2022.03.31			図面名称	ブリッジ-2 詳細図-2	Scale S=1: 50(A1) S=1:100(A3)	A－２３



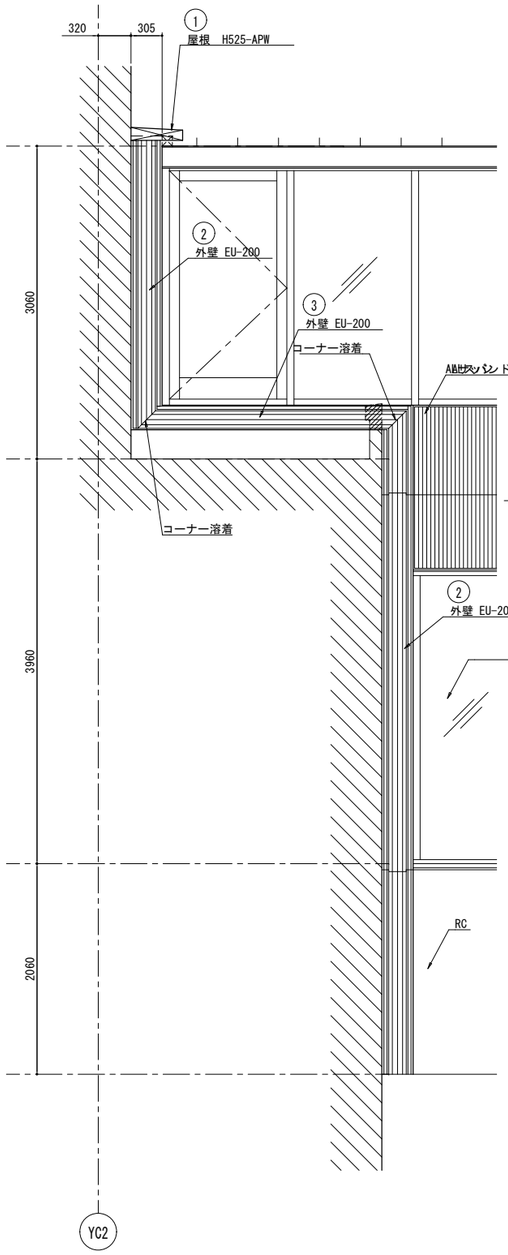
屋根伏図



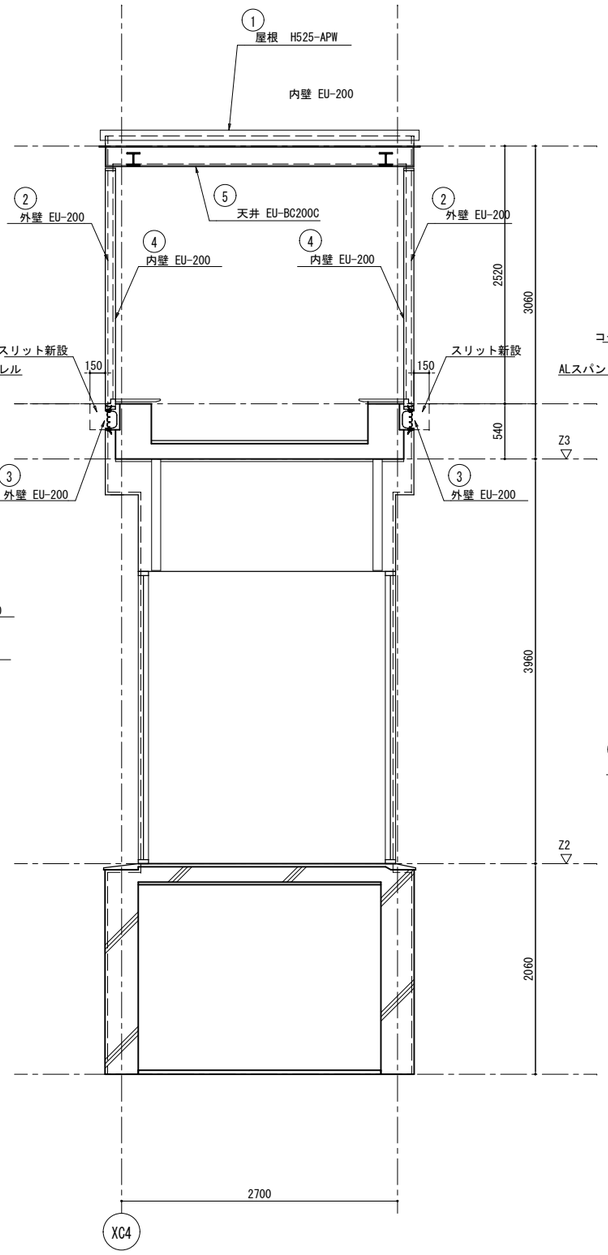
３階平面図



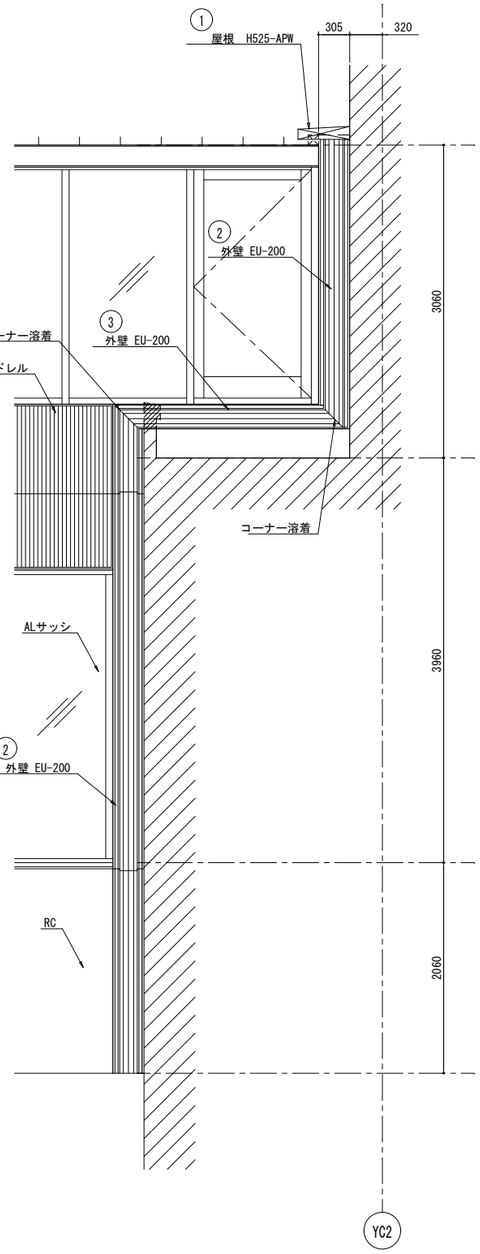
２階平面図



東側立面図



断面図

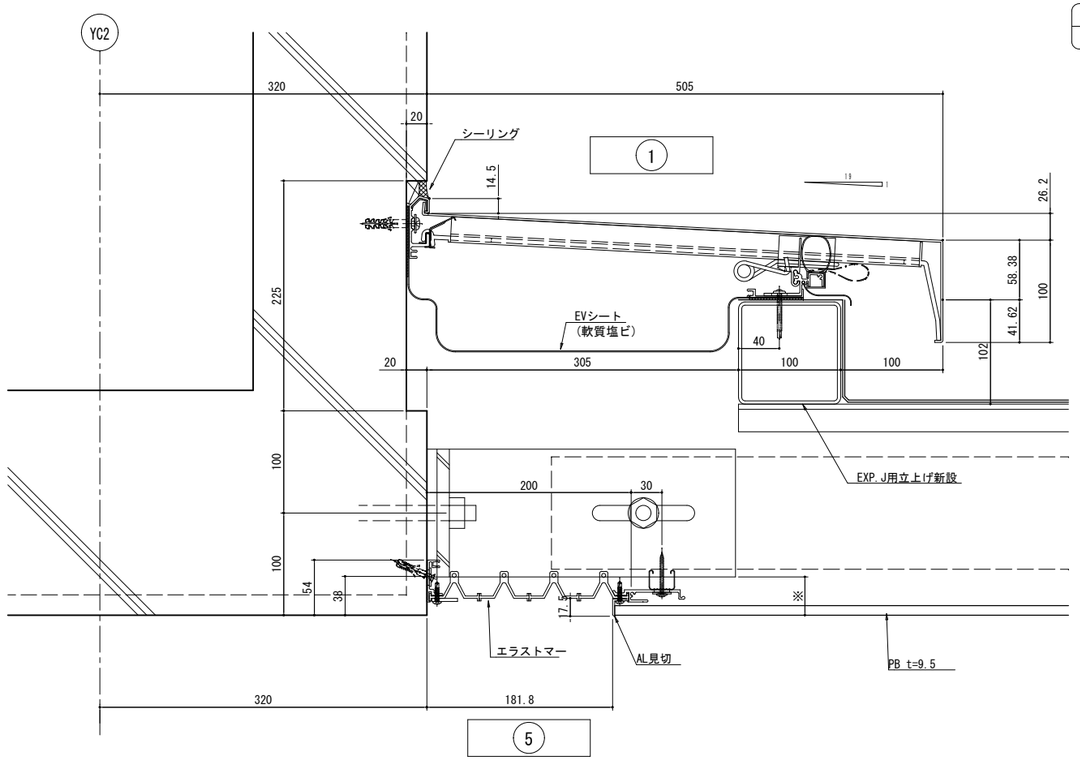


西側立面図

		設計年月日	調査	設計	工事名称	全葉	図面 No
		2022.03.31			令和３年２月１３日福島県沖地震による七ヶ浜健康スポーツセンター復旧工事		Ａ－２４
					図面名称 ブリッジ-2 EXP-J 詳細図-1 Scale S=1: 30(A1) S=1: 60(A3)		

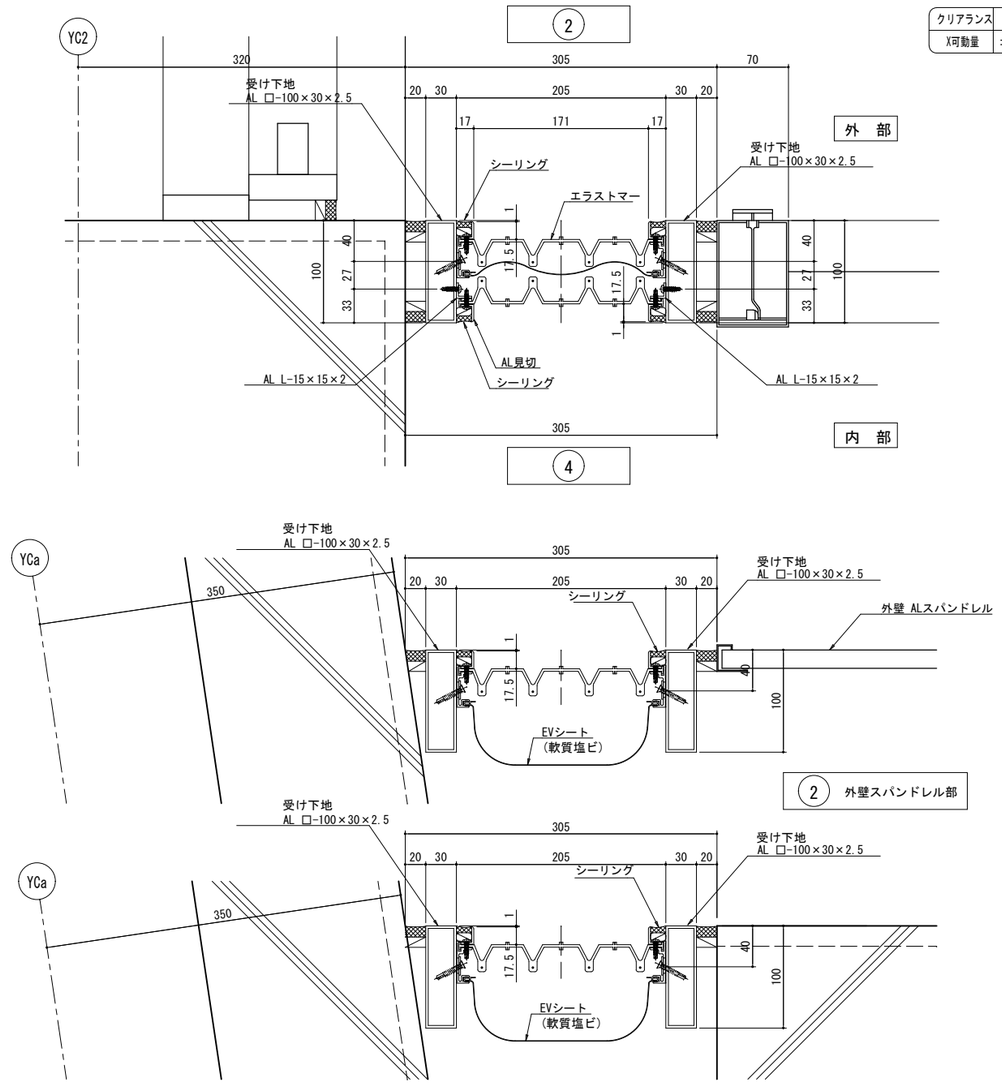
① アルミEXP.J 屋根+屋根 H525-APW ⑤ エラストマーEXP.J 天井＋天井 EW-BC200 S=1:3

クリアランス	200mm
X可動量	±100



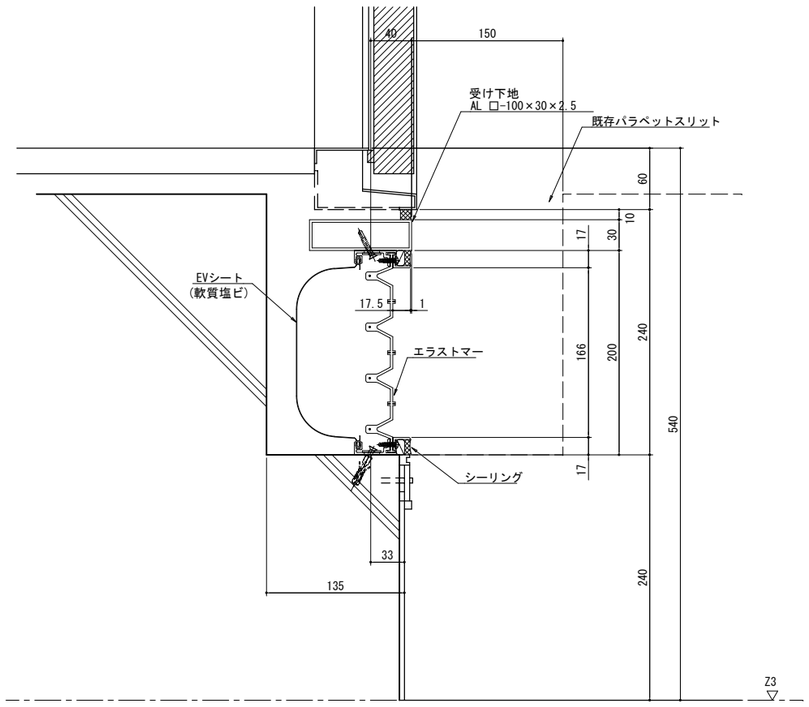
② エラストマーEXP.J 外壁＋外壁 ④ エラストマーEXP.J 内壁＋内壁 EW-200 S=1:3

クリアランス	200mm
X可動量	±100



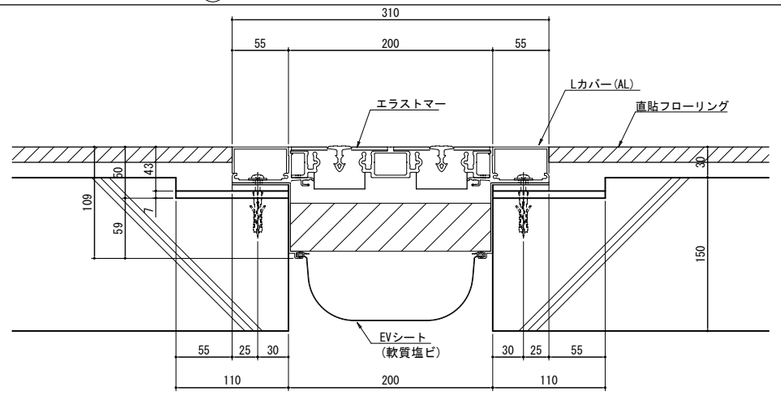
③ エラストマーEXP.J 外壁＋外壁(側面) EW-200 S=1:3

クリアランス	200mm
X可動量	±100

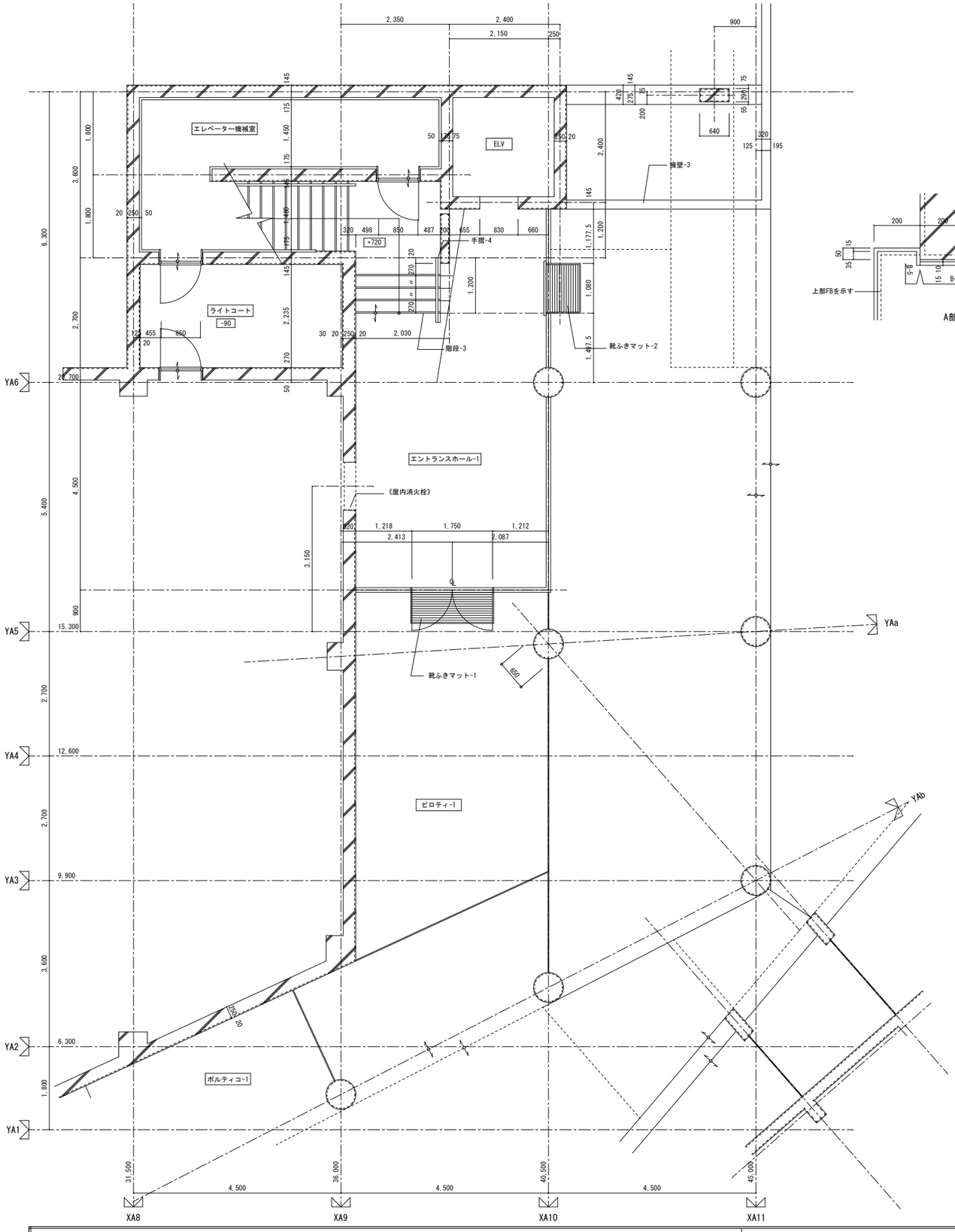


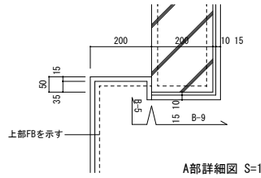
⑥ エラストマーEXP.J 床＋床 EU-FX200 S=1:3

クリアランス	200mm
X可動量	±60

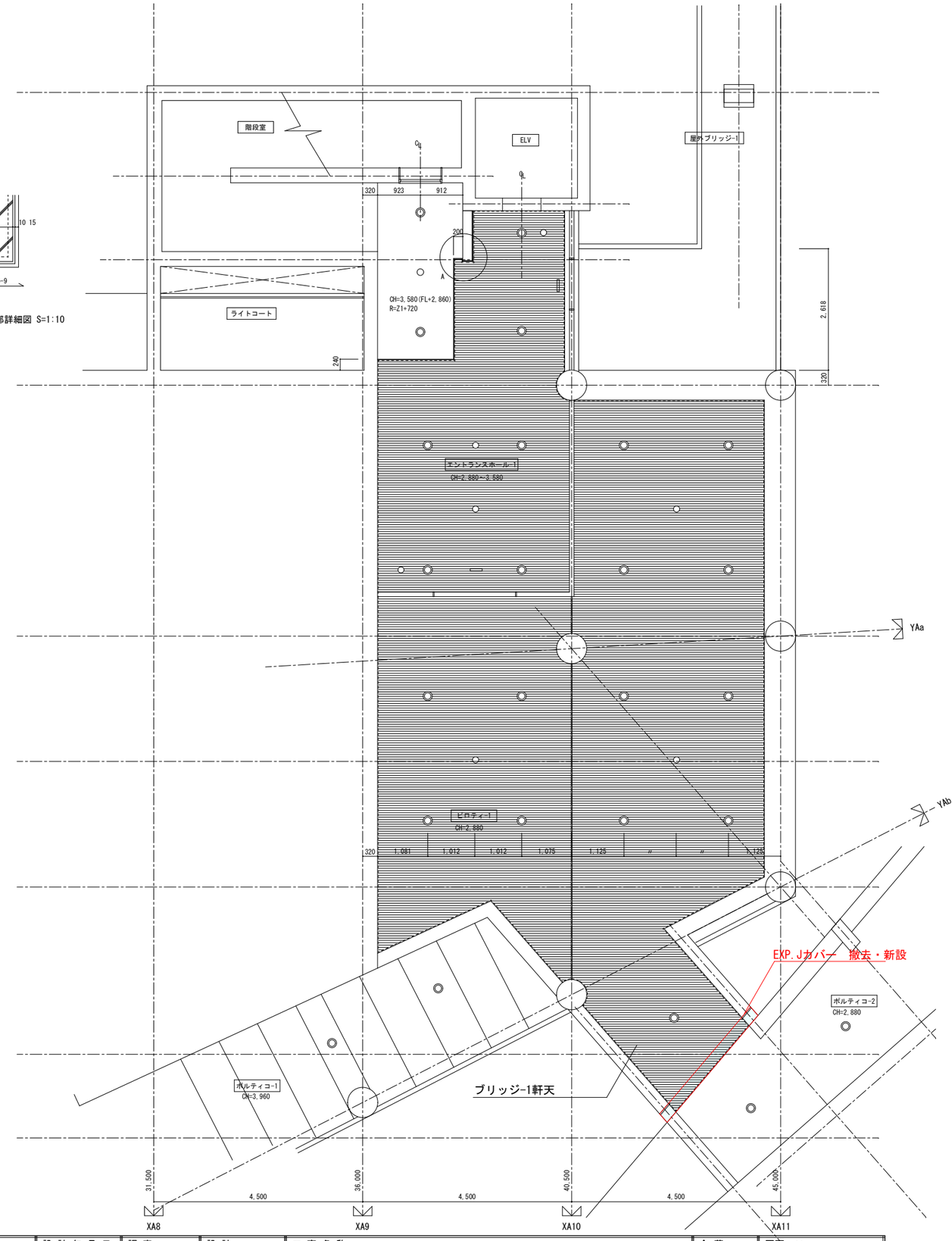


設計年月日	調査	設計	工事名称	全葉	図面 No
2022.03.31			令和３年２月１３日福島県沖地震による七ヶ浜健康スポーツセンター復旧工事		Ａ－２５
			図面名称 ブリッジ-2 EXP-J 詳細図-2	Scale S=1: 3(A1) S=1: 6(A3)	

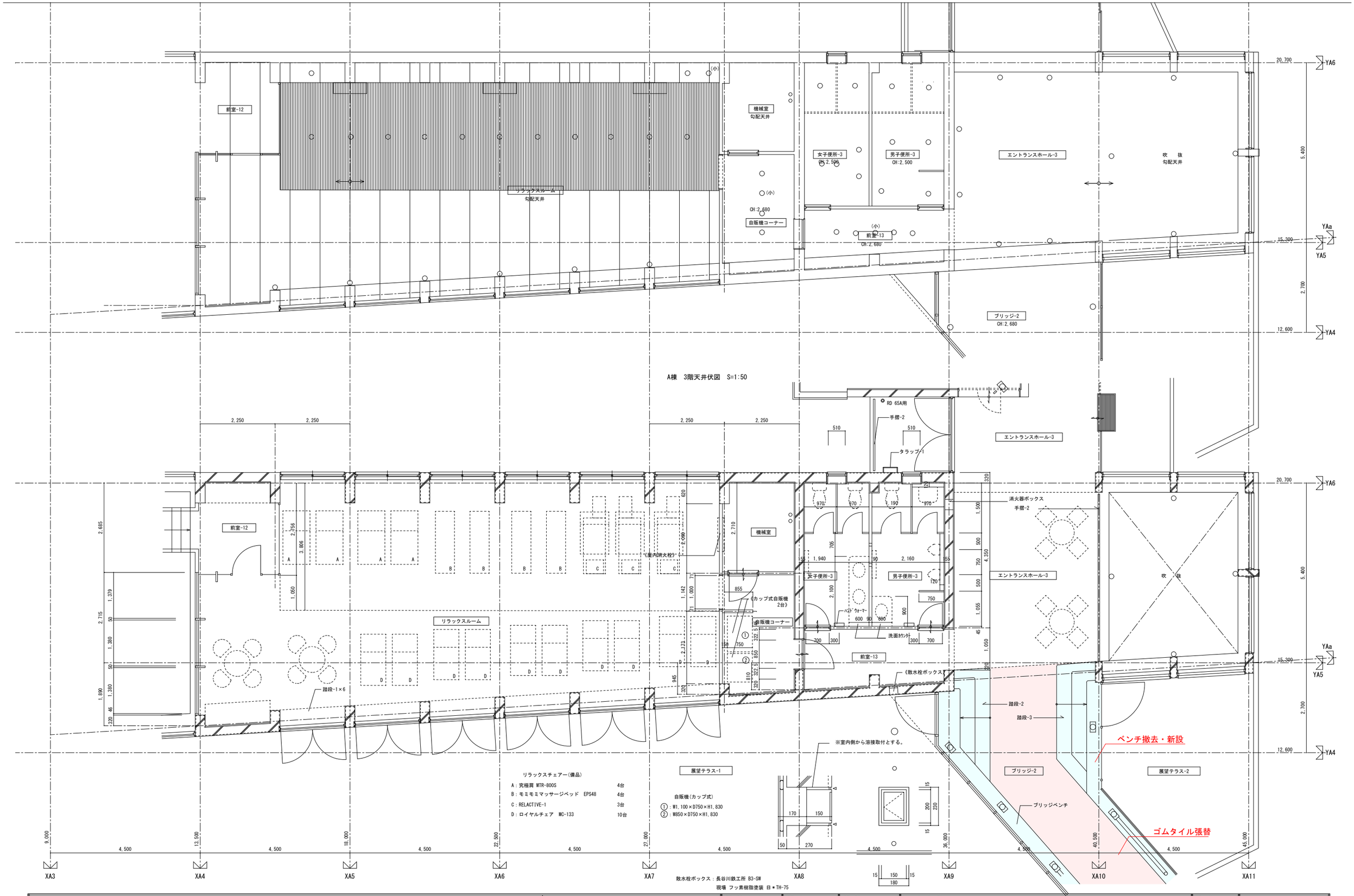




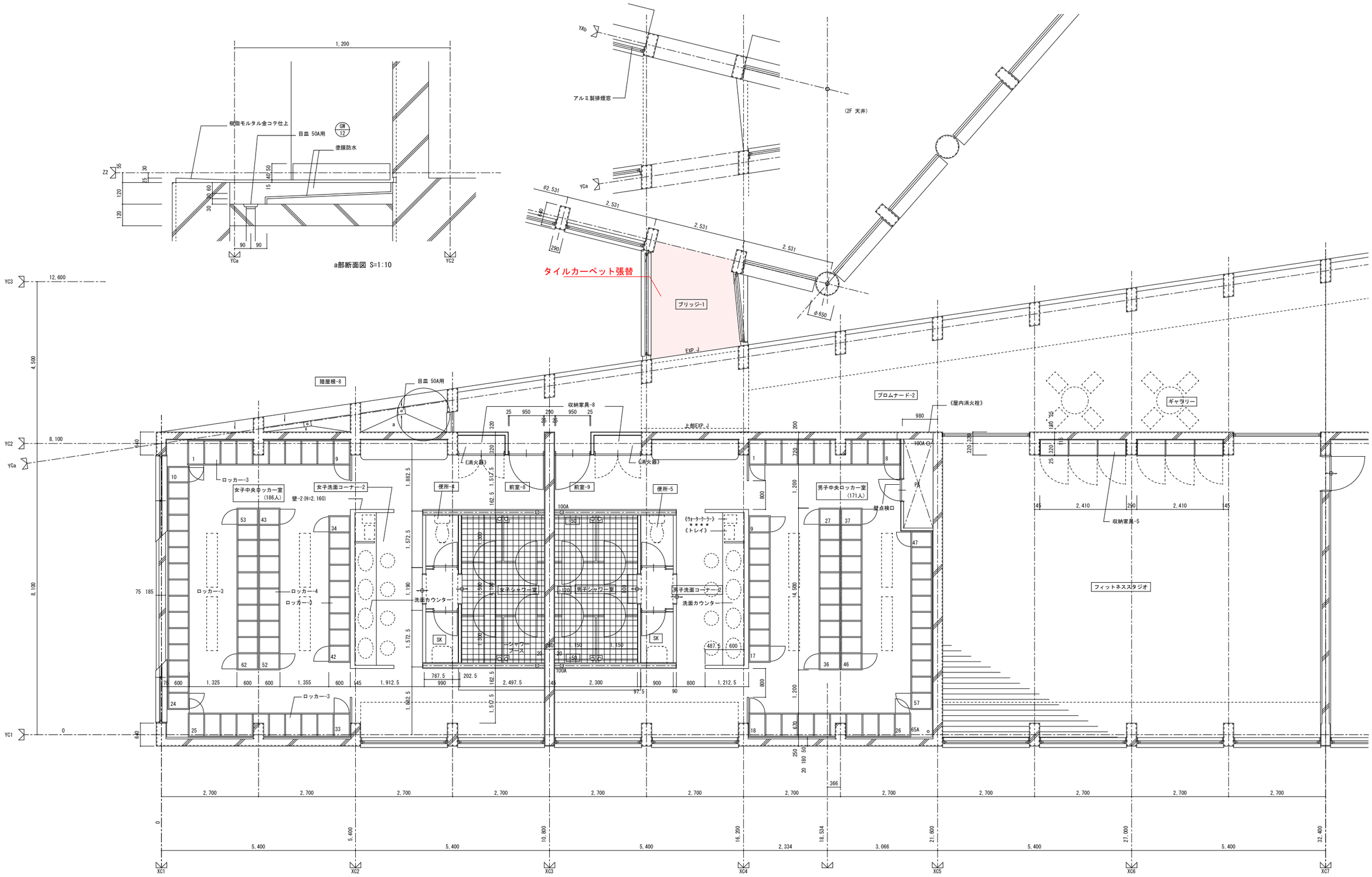
A部詳細図 S=1:10



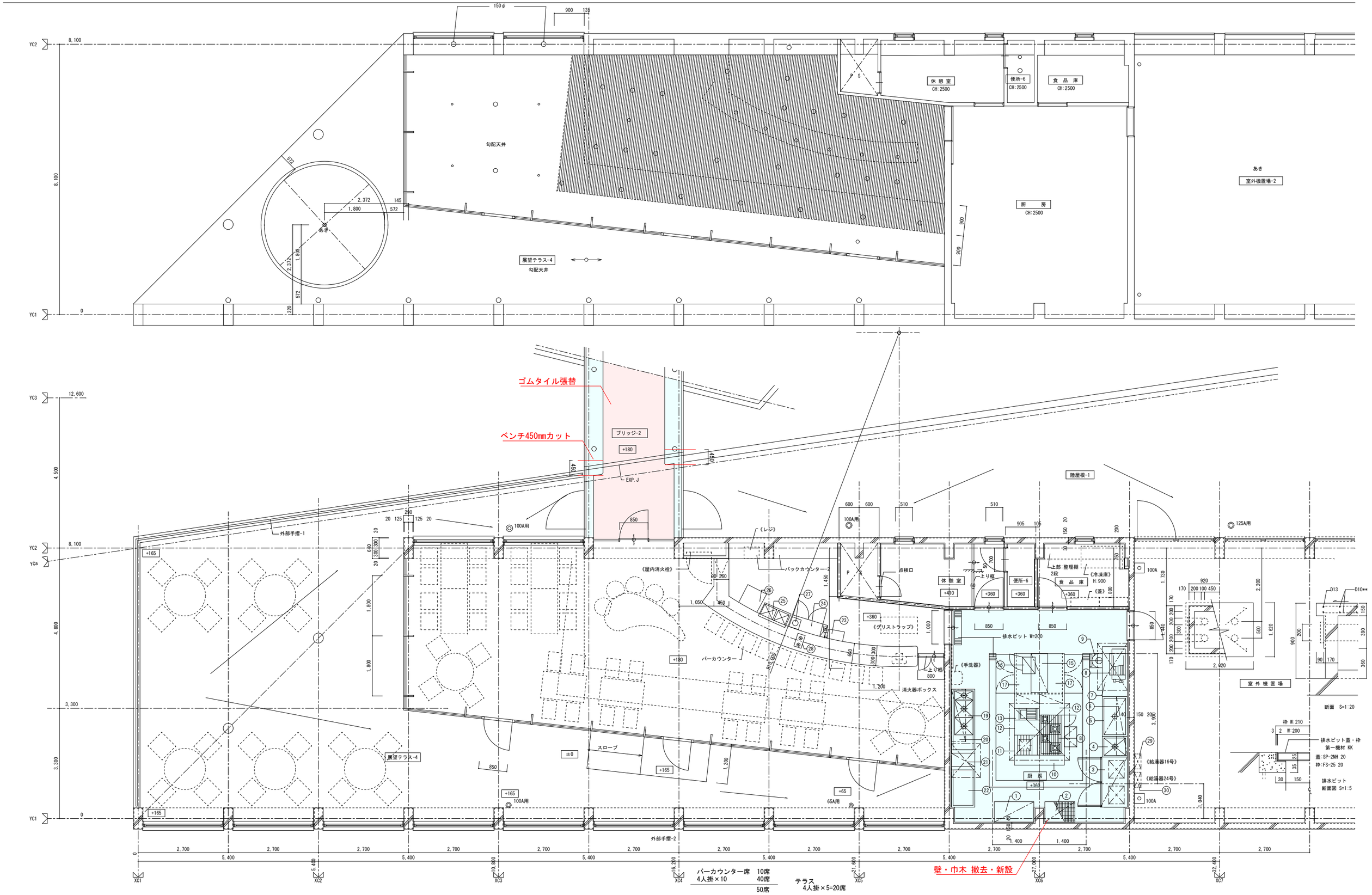
	設計年月日 2022.03.31	調査	設計	工事名称 令和３年２月１３日福島県沖地震による七ヶ浜健康スポーツセンター復旧工事	全葉	図面No	
				図面名称 ピロティ平面詳細・天井伏図	Scale S=1/50(A1) S=1/100(A3)		Ａ－２６



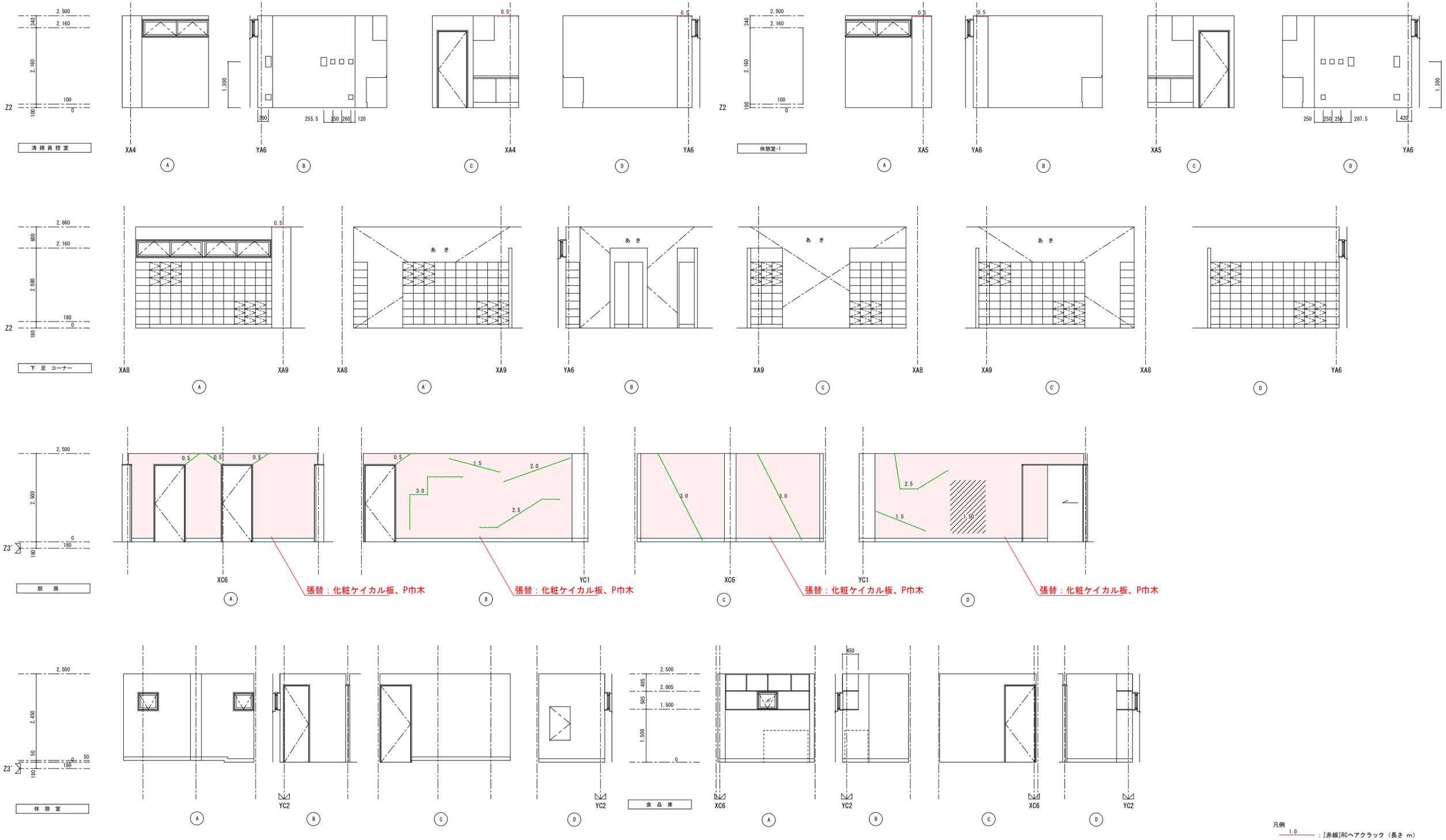
設計年月日	調査	設計	工事名称	全葉	図面No
2022.03.31			令和３年２月１３日福島県沖地震による七ヶ浜健康スポーツセンター復旧工事		Ａ－２７
			図面名称：Ａ棟3階平面詳細図・天井伏図　Scale S=1: 50(A1) S=1:100(A3)		



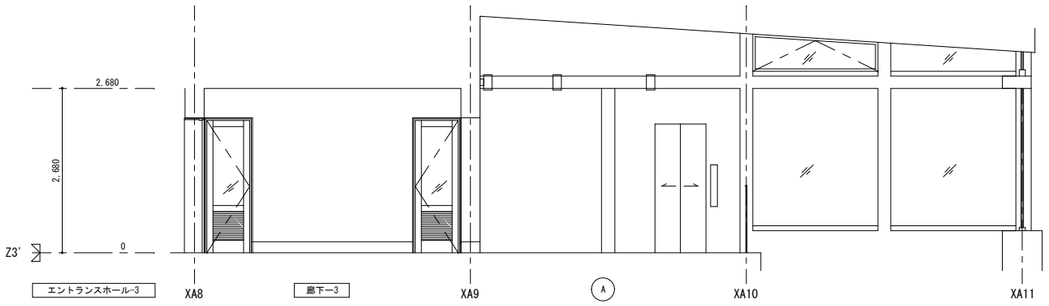
		設計年月日	調査	設計	工事名称	全葉	図面 No
		2022.03.31			令和３年２月１３日福島県沖地震による七ヶ浜健康スポーツセンター復旧工事		Ａ－２８
					図面名称 C棟2階平面詳細図 Scale S=1/50(A1) S=1/100(A3)		

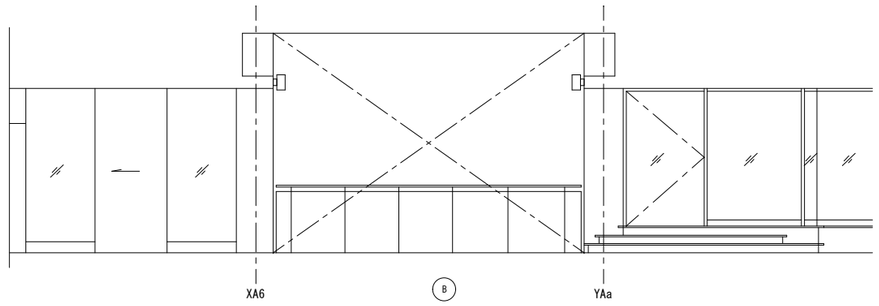


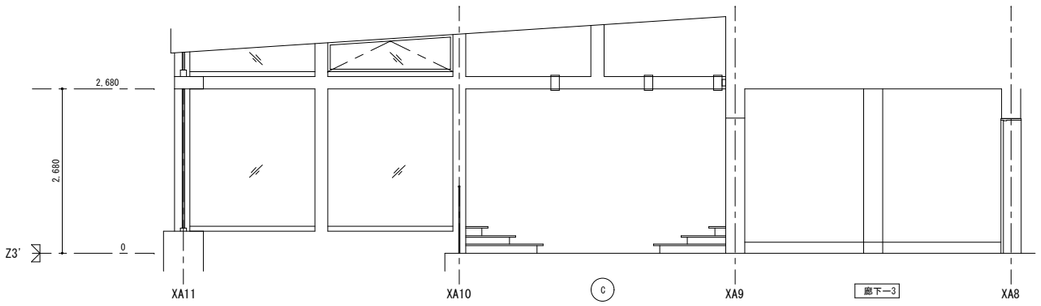
設計年月日	調査	設計	工事名称	全葉	図面 No
2022.03.31			令和３年２月１３日福島県沖地震による七ヶ浜健康スポーツセンター復旧工事		Ａ－２９
			図面名称 C棟3階平面詳細図・天井伏図	Scale S=1/50(A1) S=1/100(A3)	

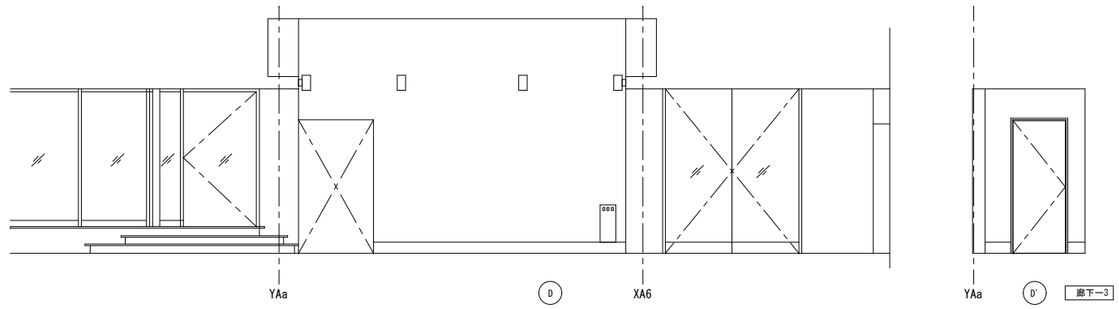


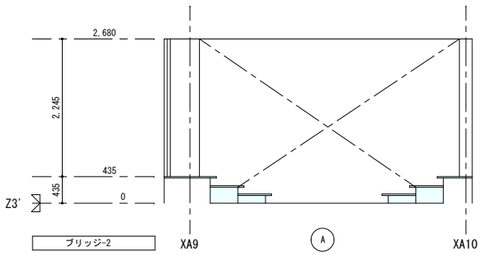
		設計年月日 2022.03.31	調査	設計	工事名称 令和３年２月１３日福島県沖地震による七ヶ浜健康スポーツセンター復旧工事	全葉	図面 No
					図面名称 C棟展開図-1 Scale S=1: 50(A1) S=1:100(A3)		A－３０

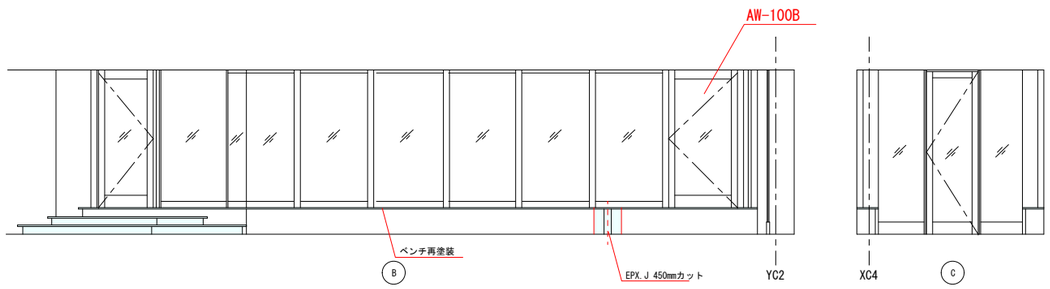


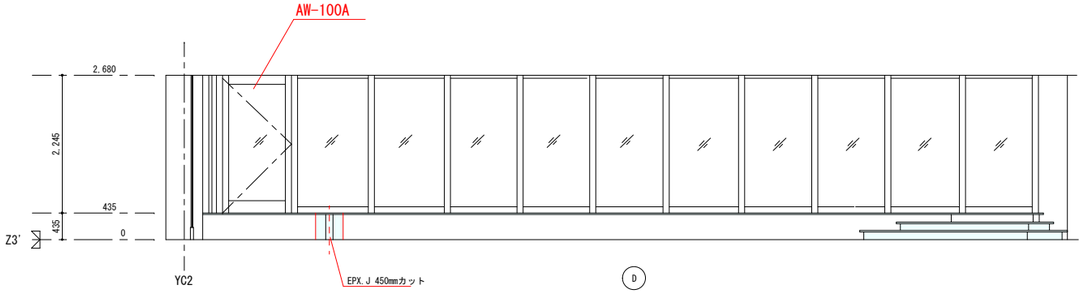


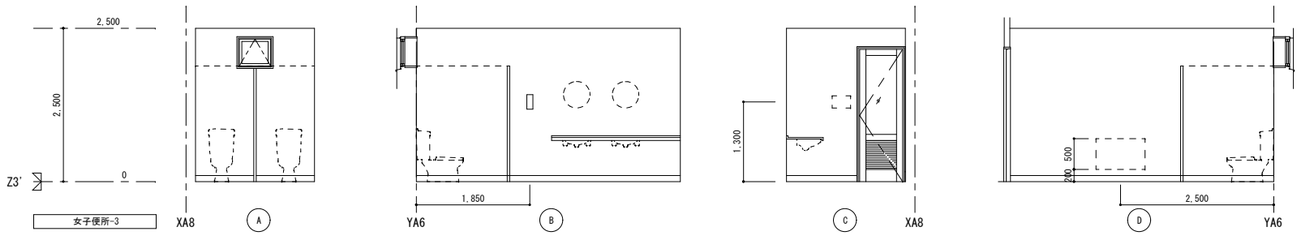


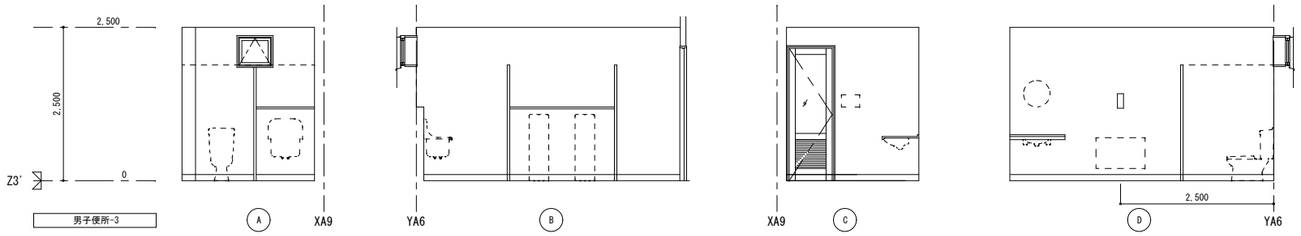




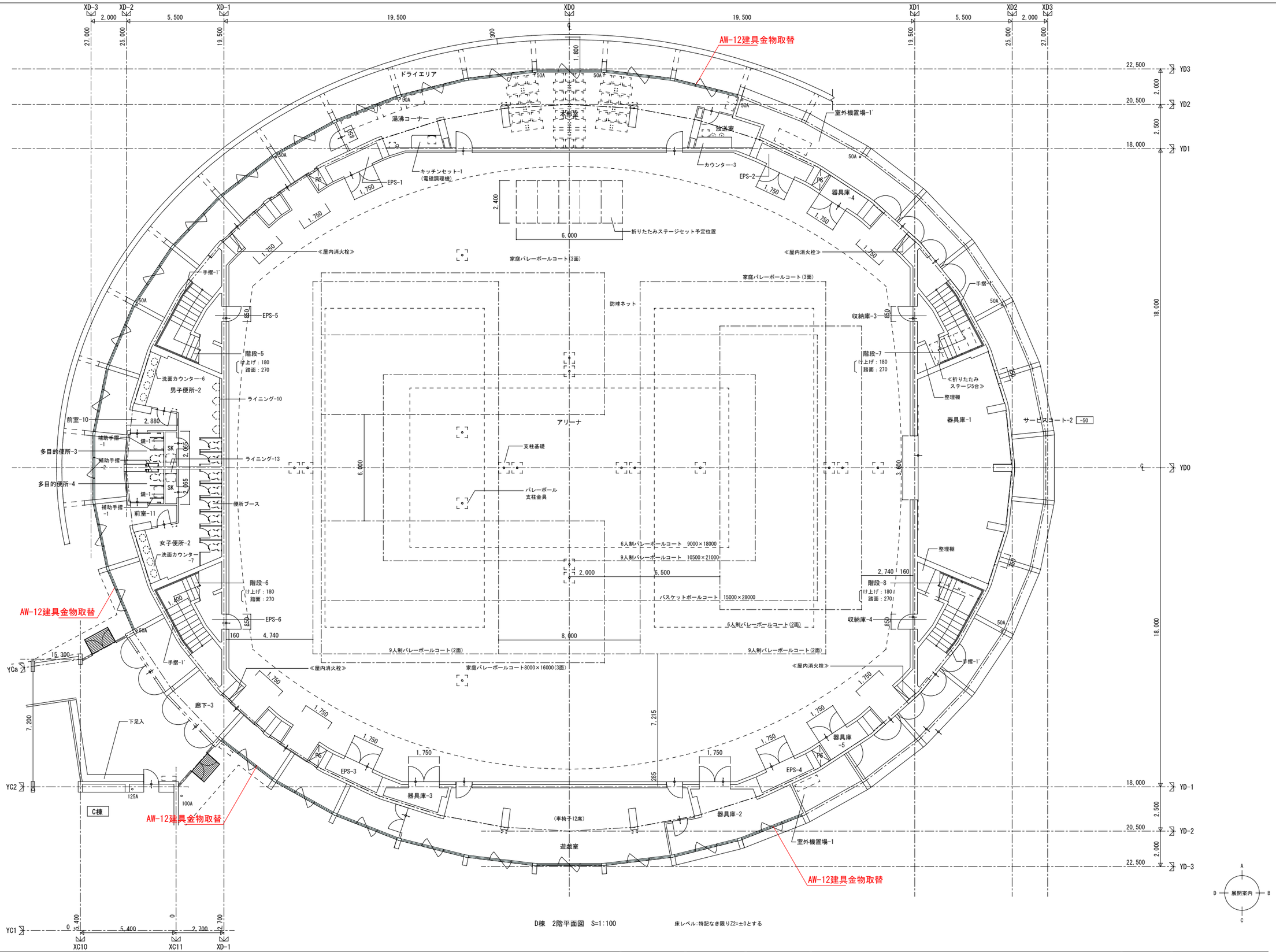








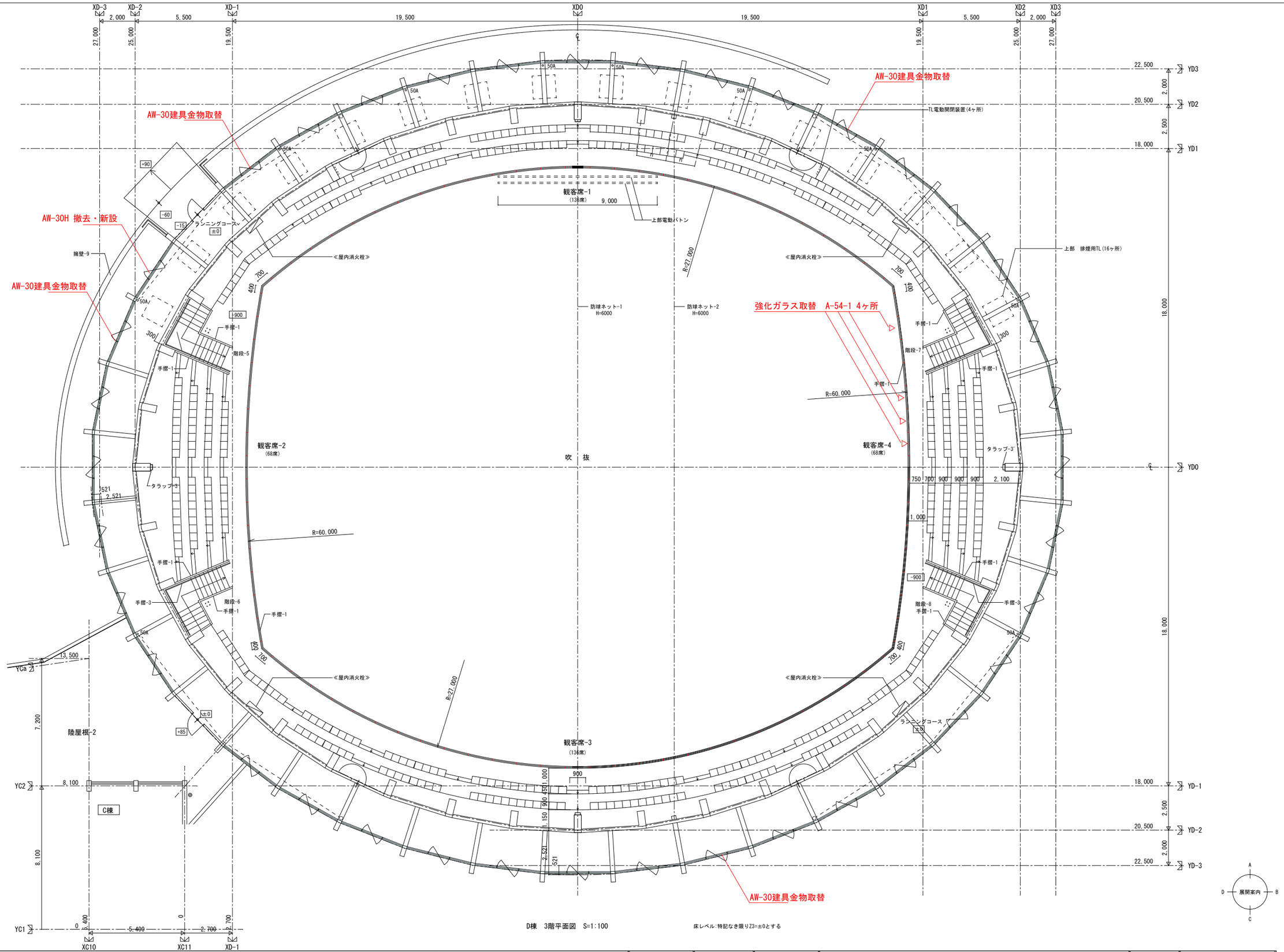
		設計年月日	調査	設計	工事名称	全葉	図面No
		2022.03.31			令和３年２月１３日福島県沖地震による七ヶ浜健康スポーツセンター復旧工事		Ａ－３１
					図面名称 C棟展開図-2 / Scale S=1: 50(A1) S=1:100(A3)		



D棟　2階平面図　S=1:100

床レベル：特記なき限りZ2=±0とする

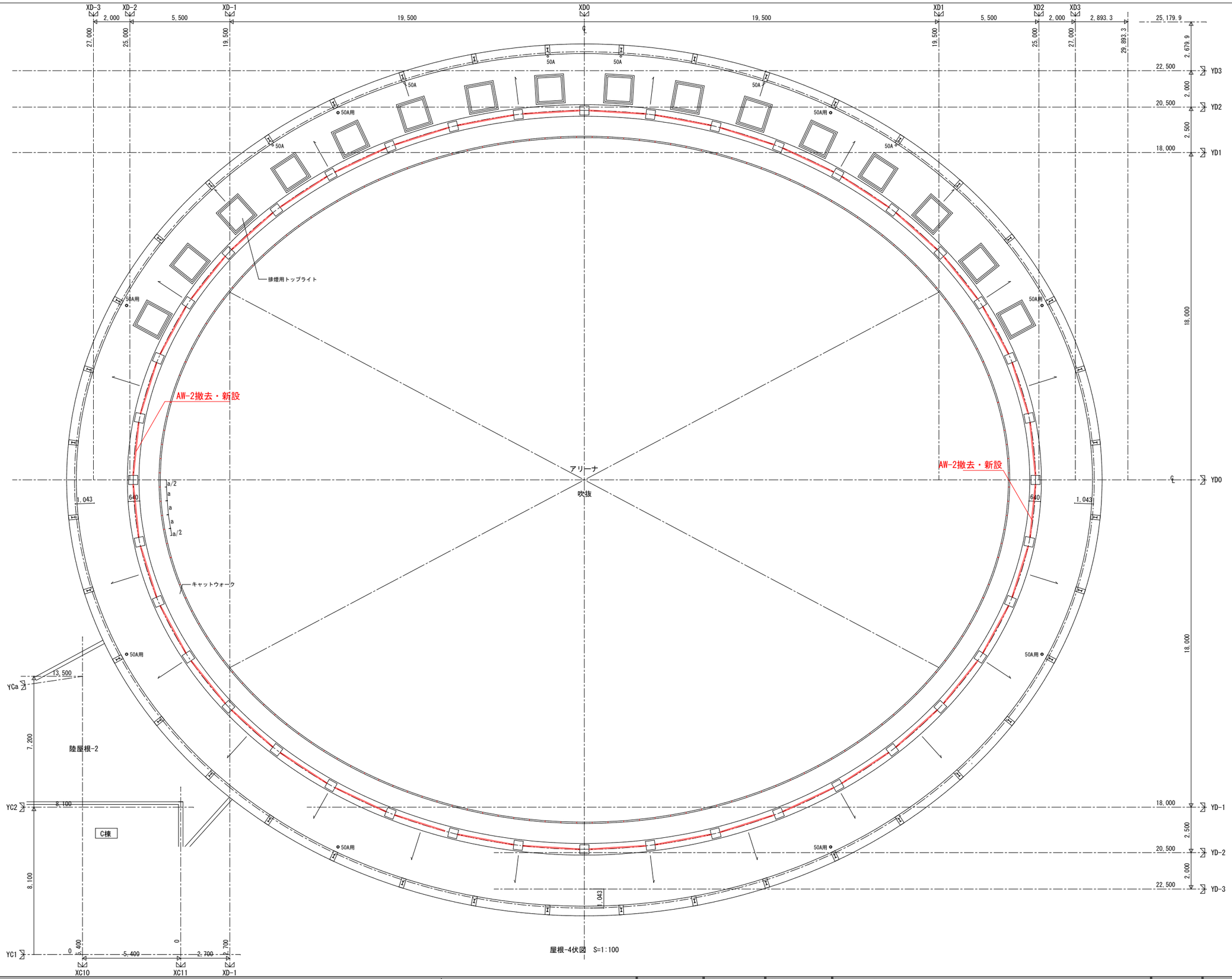
		設計年月日	調査	設計	工事名称	全葉	図面No
		2022.03.31			令和３年２月１３日福島県沖地震による七ヶ浜健康スポーツセンター復旧工事		Ａ－３２
					図面名称：Ｄ棟２階平面図　Scale：S=1/100(A1) S=1/200(A3)		



D棟 3階平面図 S=1:100

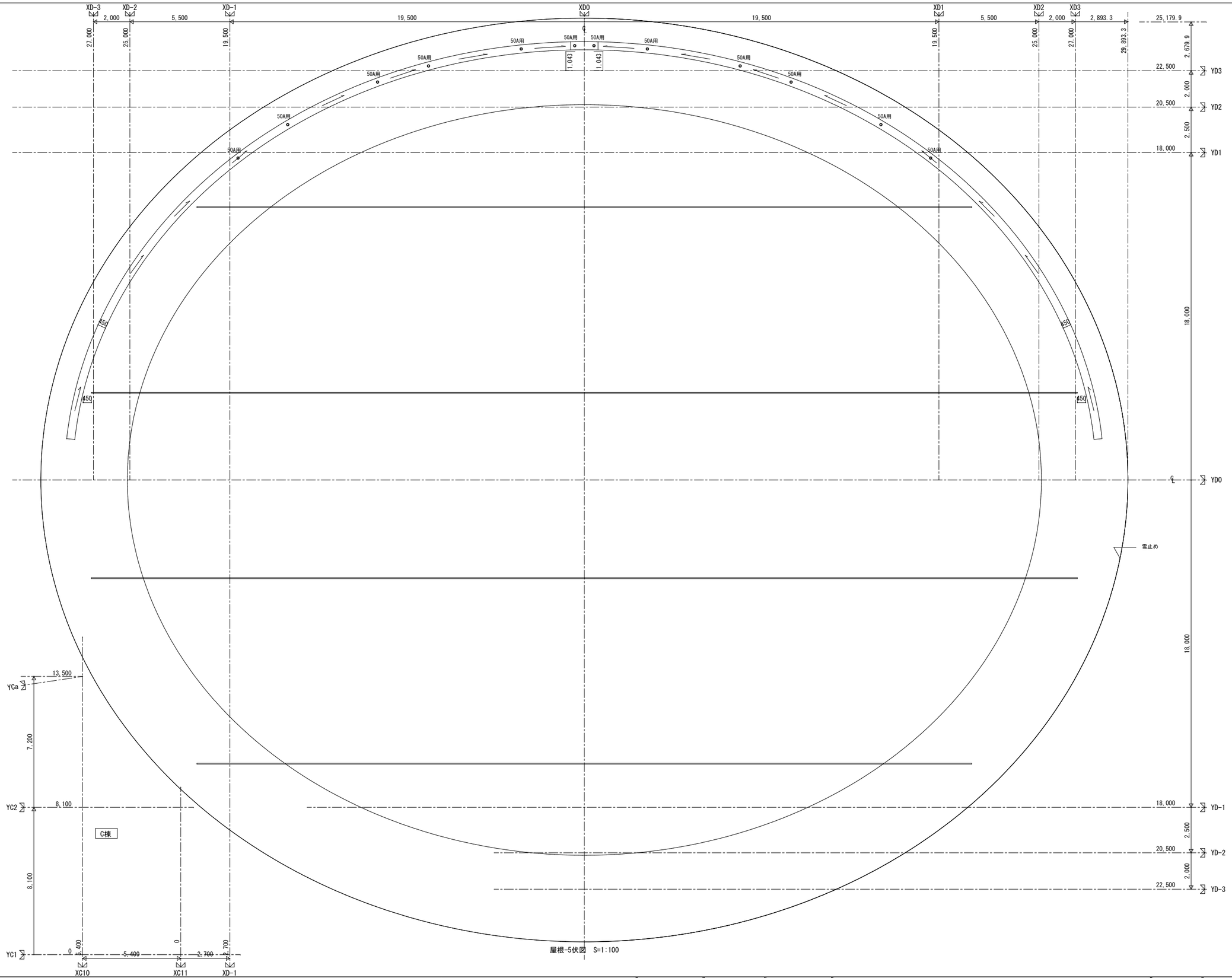
床レベル:特記なき限りZ3=±0とする

設計年月日	調査	設計	工事名称	全葉	図面No
2022.03.31			令和３年２月１３日福島県沖地震による七ヶ浜健康スポーツセンター復旧工事		Ａ－３３
			図面名称 D棟3階平面図 Scale S=1/100(A1) S=1/200(A3)		



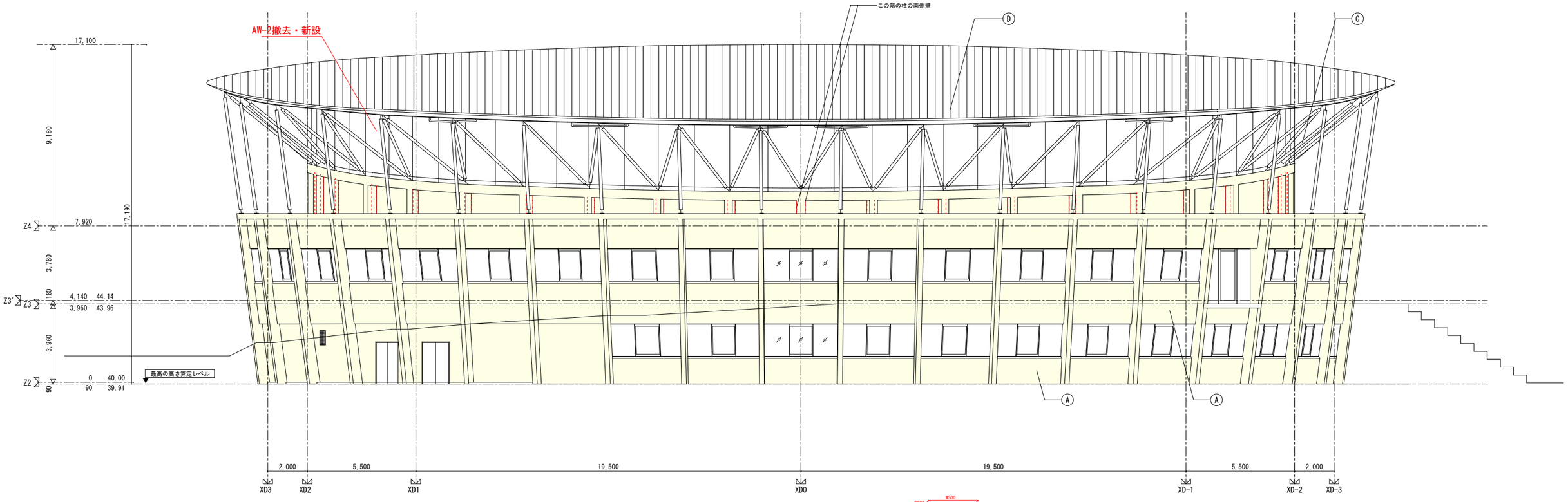
屋根-4伏図 S=1:100

		設計年月日 2022.03.31	調査	設計	工事名称 令和３年２月１３日福島県沖地震による七ヶ浜健康スポーツセンター復旧工事	全葉	図面 No
					図面名称 D棟屋根-4伏図 Scale S=1/100(A1) S=1/200(A3)		A－３４

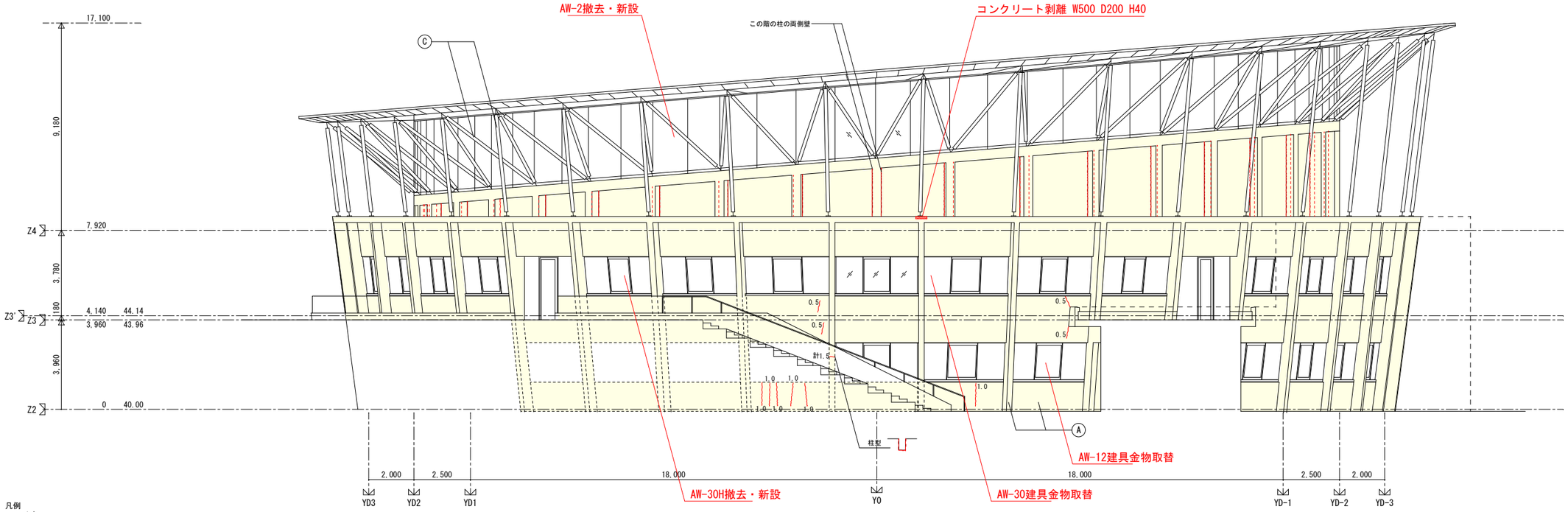


屋根-5伏図　S=1:100

		設計年月日 2022.03.31	調査	設計	工事名称 令和３年２月１３日福島県沖地震による七ヶ浜健康スポーツセンター復旧工事	全葉	図面 No
					図面名称 Ｄ棟屋根-5伏図 Scale S=1/100(A1) S=1/200(A3)		Ａ－３５



D棟　北側立面図　S=1:100



D棟　西側立面図　S=1:100

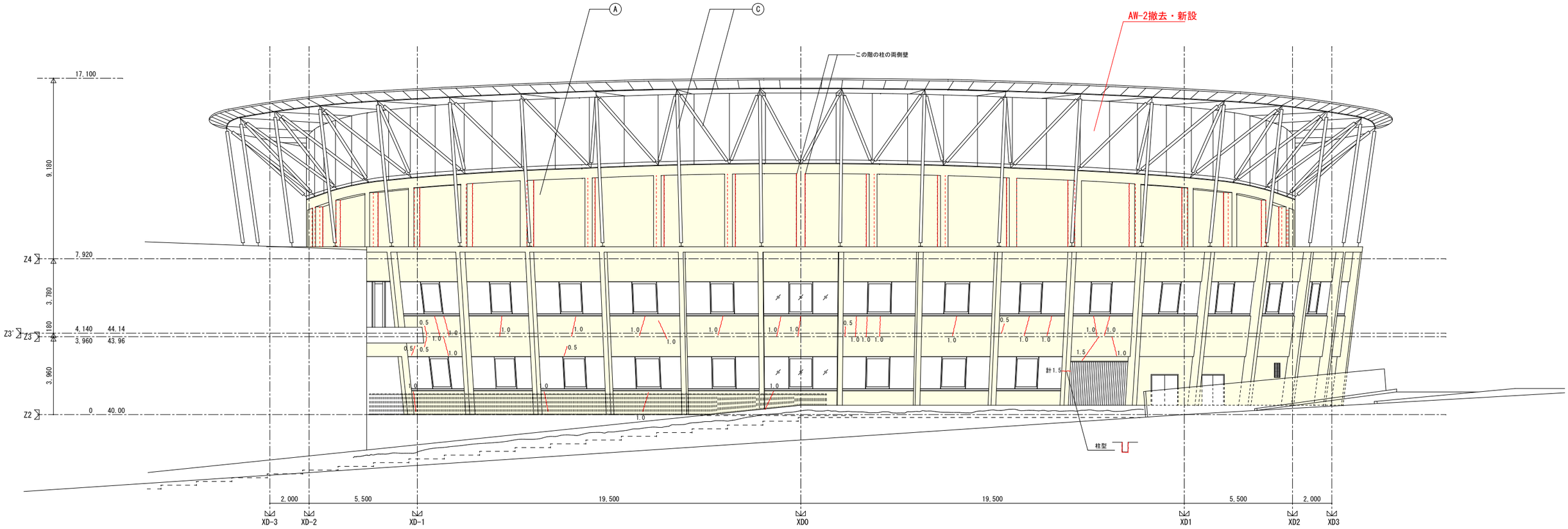
凡例

1.0 ：[赤線]RCへアクラック（長さ m）

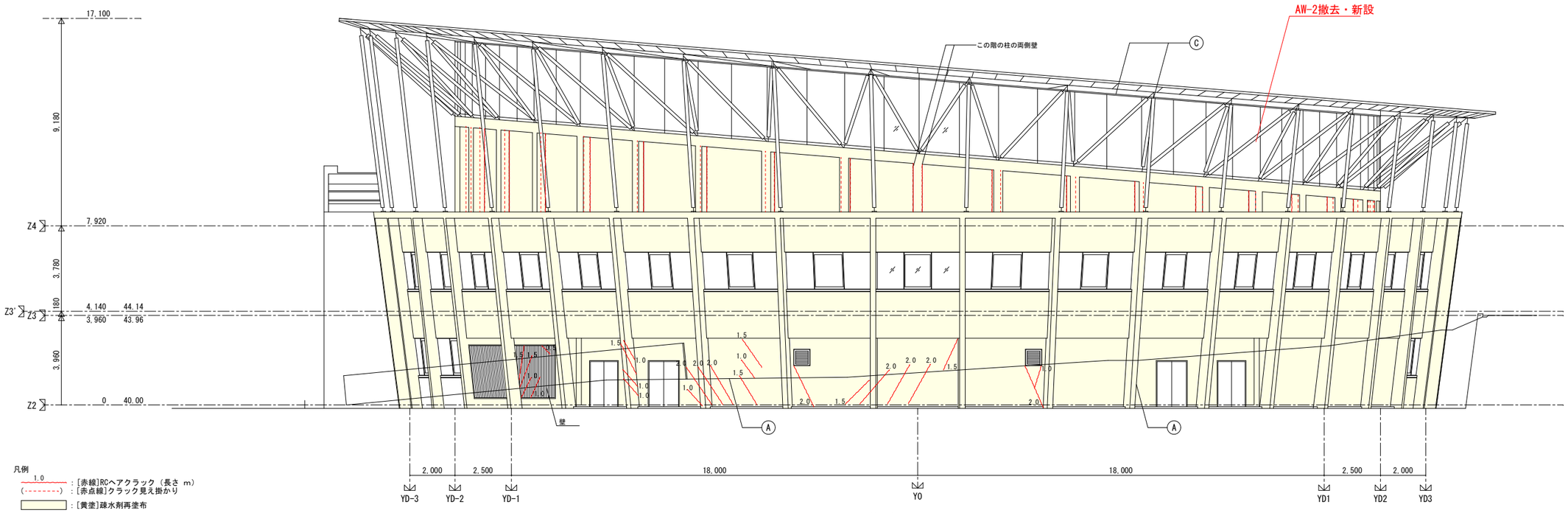
（- - - - - -）：[赤点線]クラック見え掛かり

：[黄塗]疎水剤再塗布

		設計年月日	調査	設計	工事名称	令和３年２月１３日福島県沖地震による七ヶ浜健康スポーツセンター復旧工事	全葉	図面 No
		2022.03.31			図面名称	D棟 北側・西側立面図　Scale S=1:100(A1) S=1:200(A3)		A－36



D棟　南側立面図　S=1:100



凡例

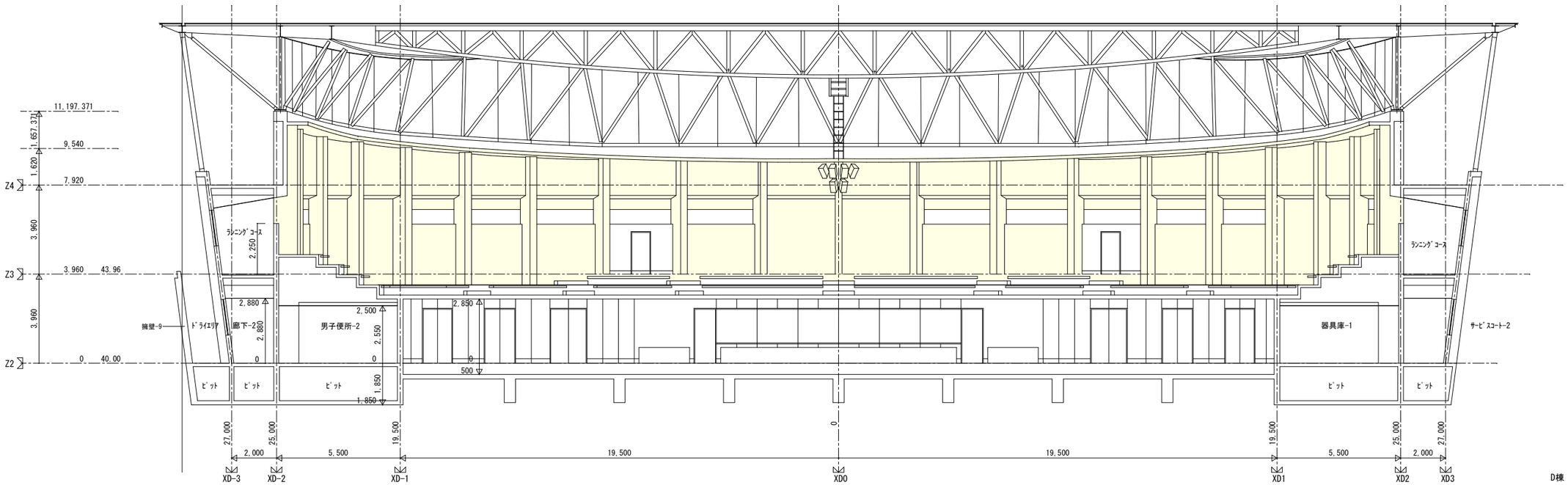
1.0 ：[赤線]RCヘアクラック（長さ m）

(--------) ：[赤点線]クラック見え掛かり

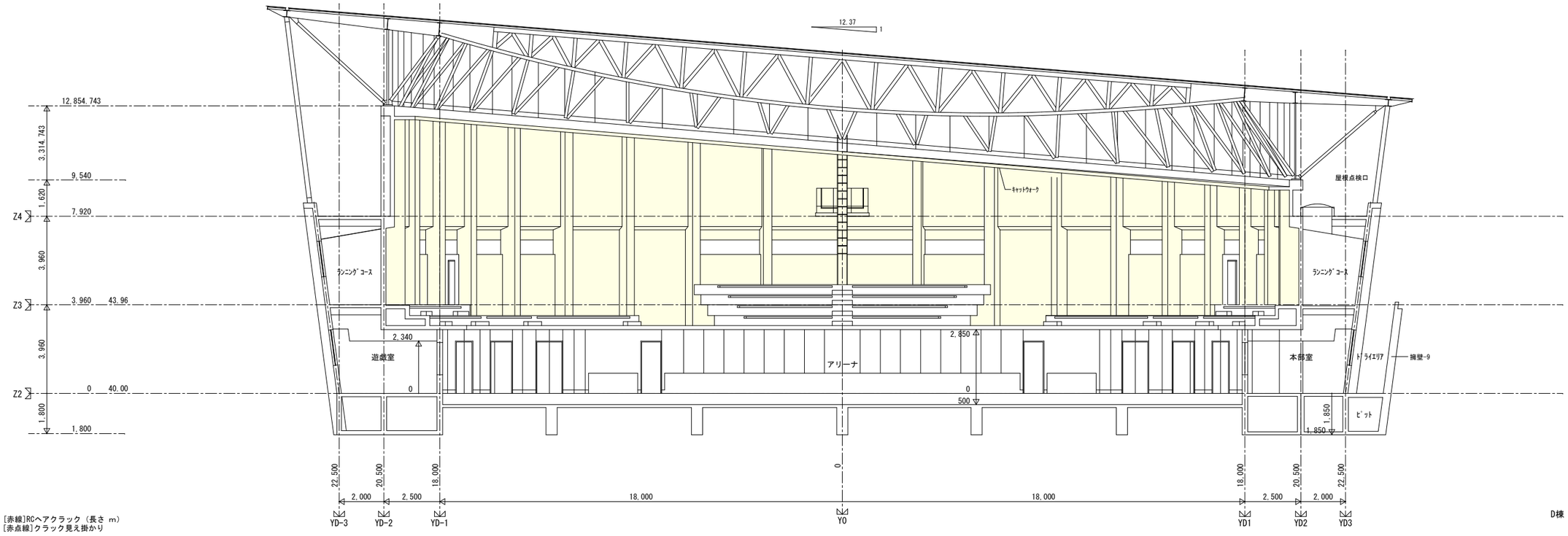
▭ ：[黄塗]疎水剤再塗布

D棟　東側立面図　S=1:100

		設計年月日 2022.03.31	調査	設計	工事名称 令和３年２月１３日福島県沖地震による七ヶ浜健康スポーツセンター復旧工事	全葉	図面 No
					図面名称 D棟 南側・東側立面図 Scale S=1:100(A1) S=1:200(A3)		A－37



D棟　長軸　断面図　S=1:100



D棟　短軸　断面図　S=1:100

凡例

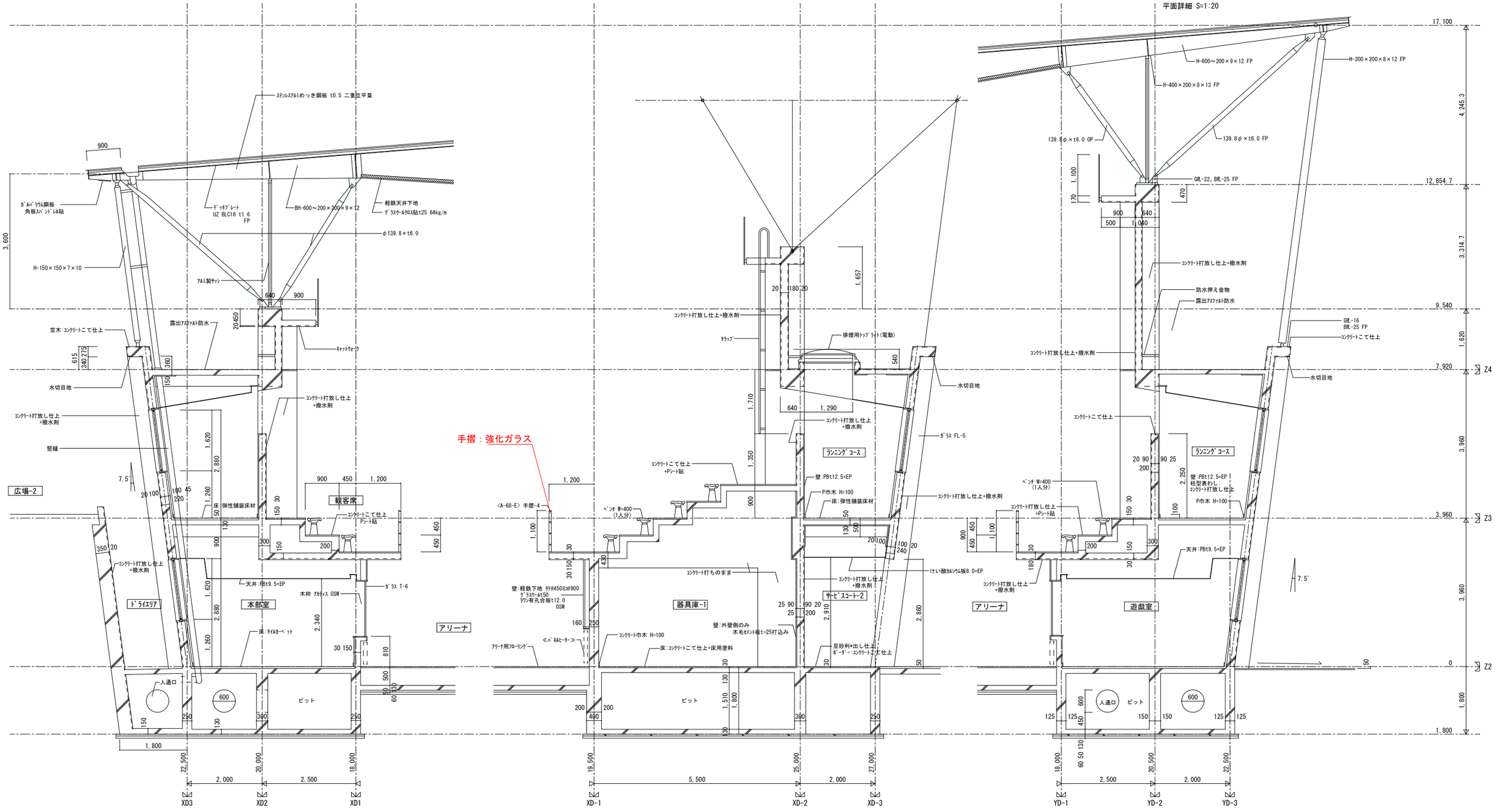
1.0 ：[赤線]RCヘアクラック（長さ m）

（- - - - - -）：[赤点線]クラック見え掛かり

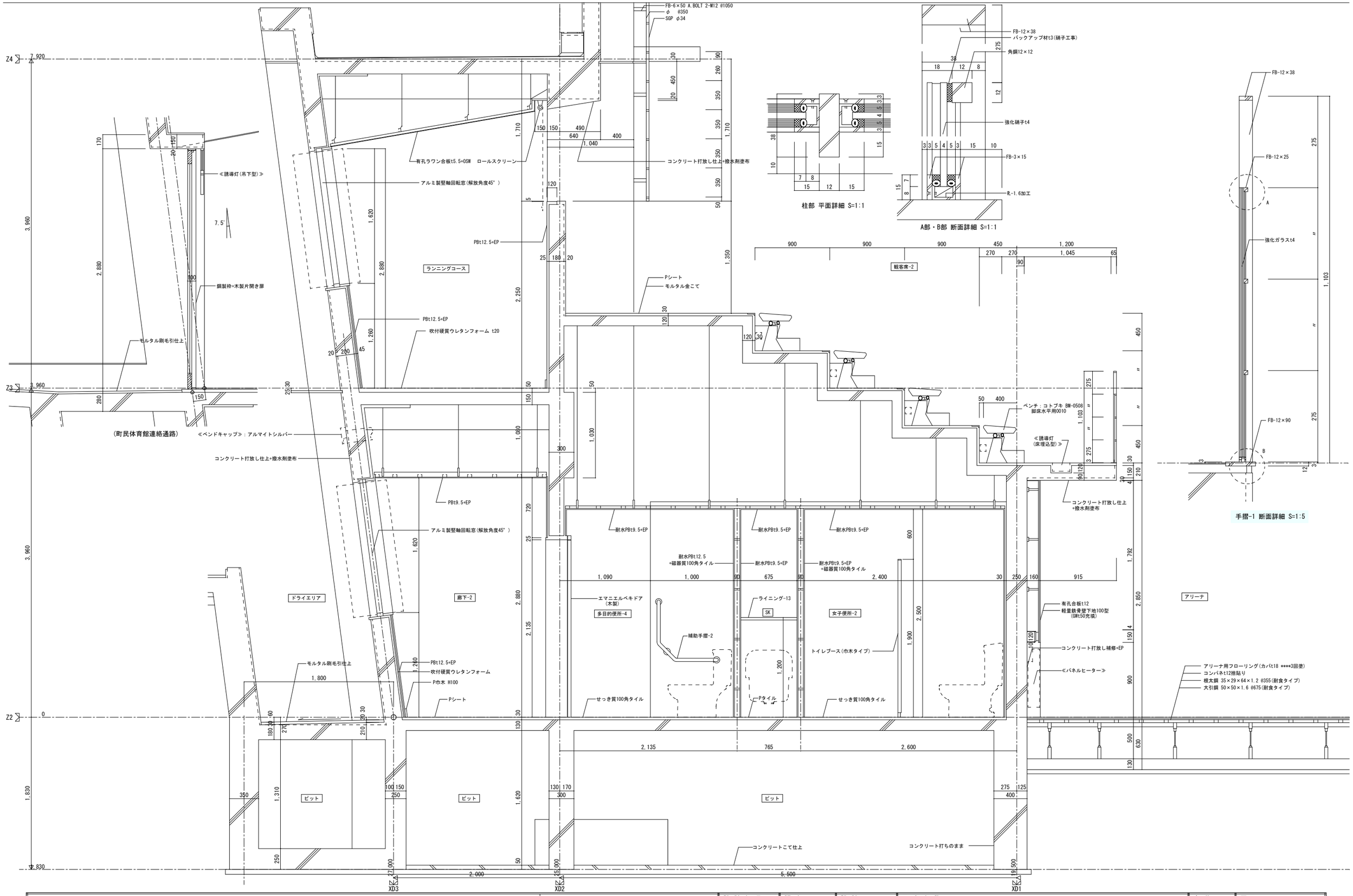
：[黄塗]コンクリート打放仕上

：[赤塗]PB貼替

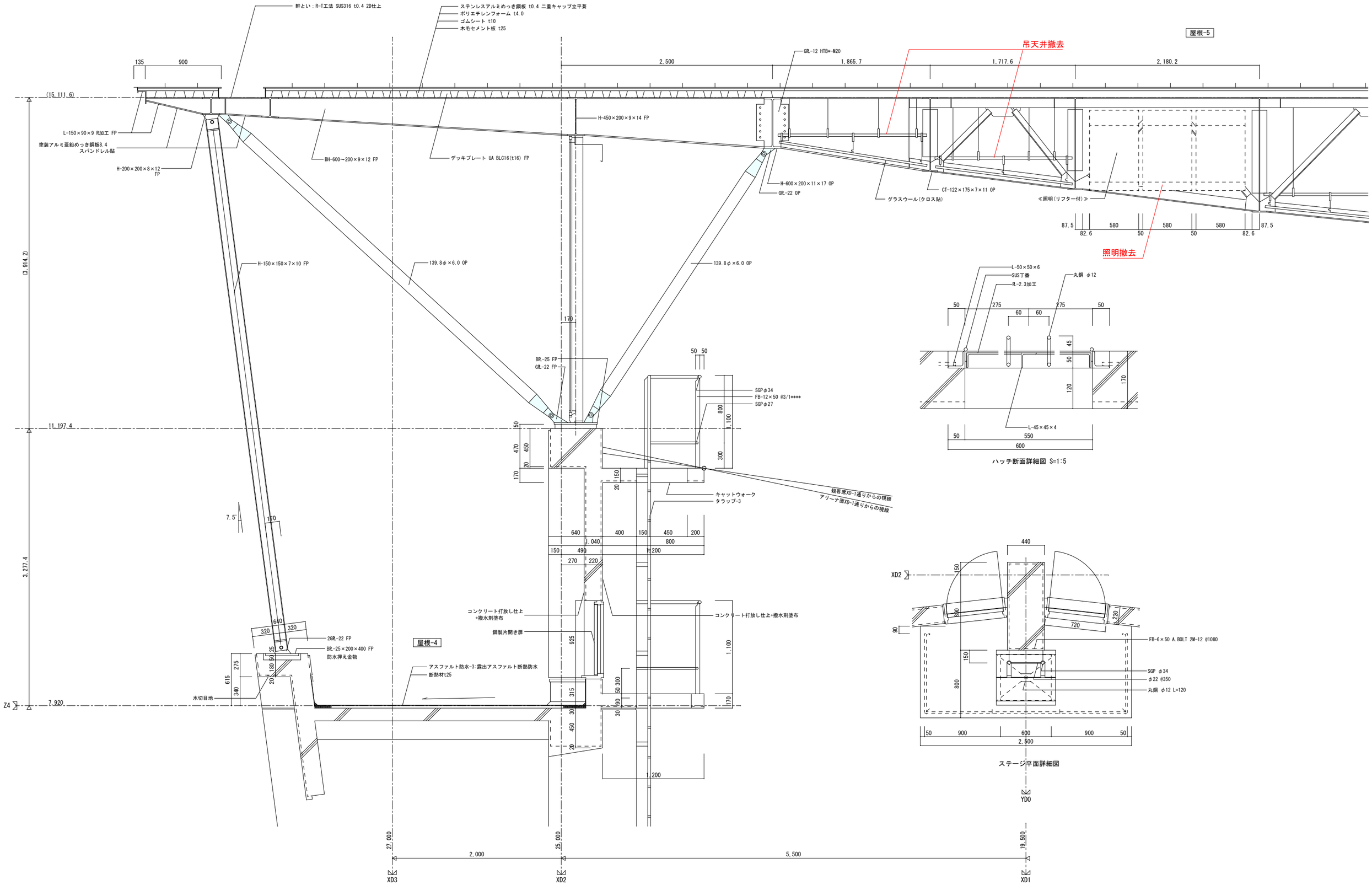
		設計年月日	調査	設計	工事名称	令和３年２月１３日福島県沖地震による七ヶ浜健康スポーツセンター復旧工事	全葉	図面 No
		2022.03.31			図面名称	Ｄ棟断面図　Ｓｃａｌｅ S=1/100(A1) S=1/200(A3)		Ａ－３８



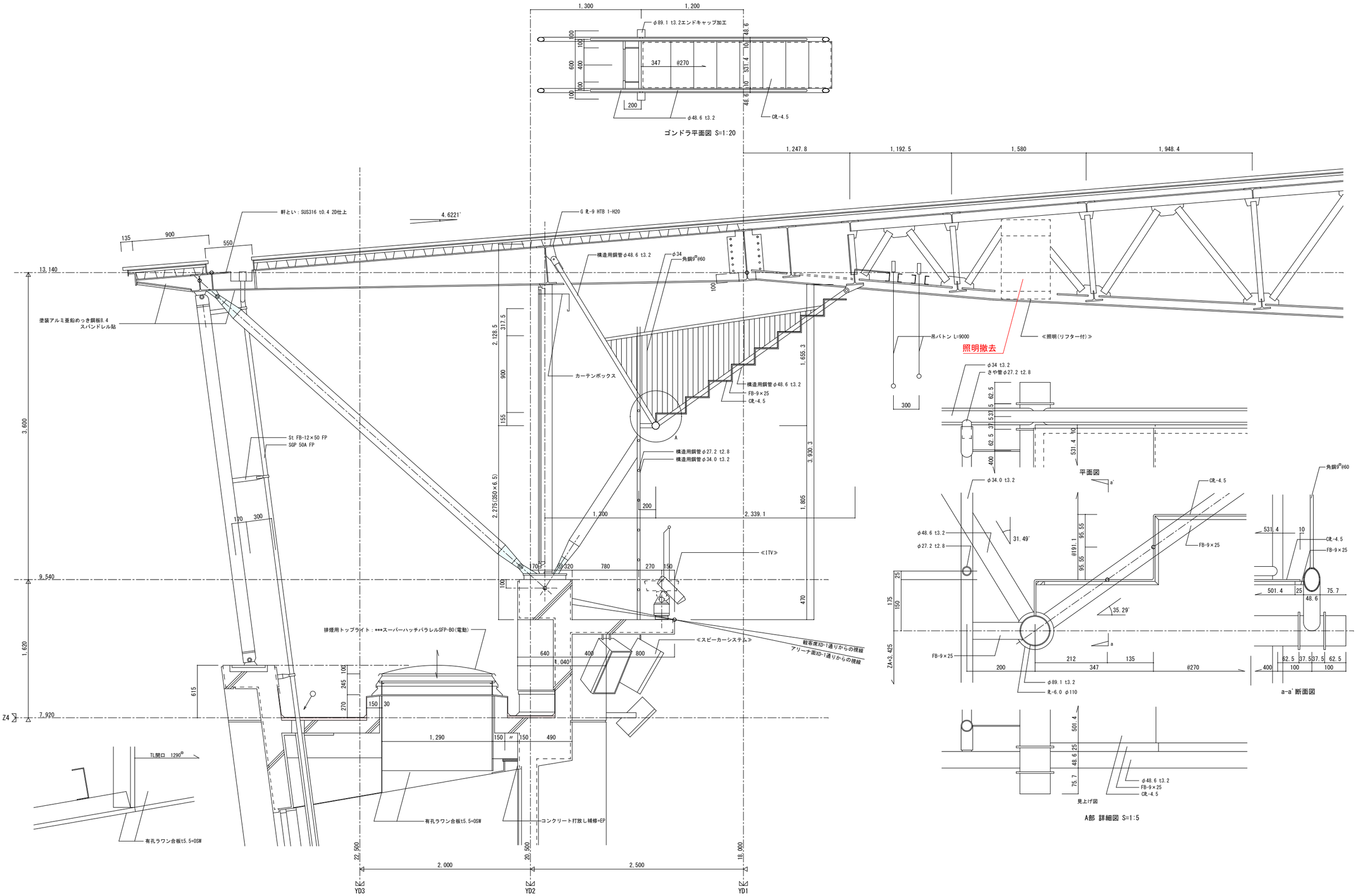
設計年月日	調査	設計	工事名称	全葉	図面 No
2022.03.31			令和３年２月１３日福島県沖地震による七ヶ浜健康スポーツセンター復旧工事		Ａ－３９
			図面名称 D棟矩計図-1 / Scale S=1/50(A1) S=1/100(A3)		



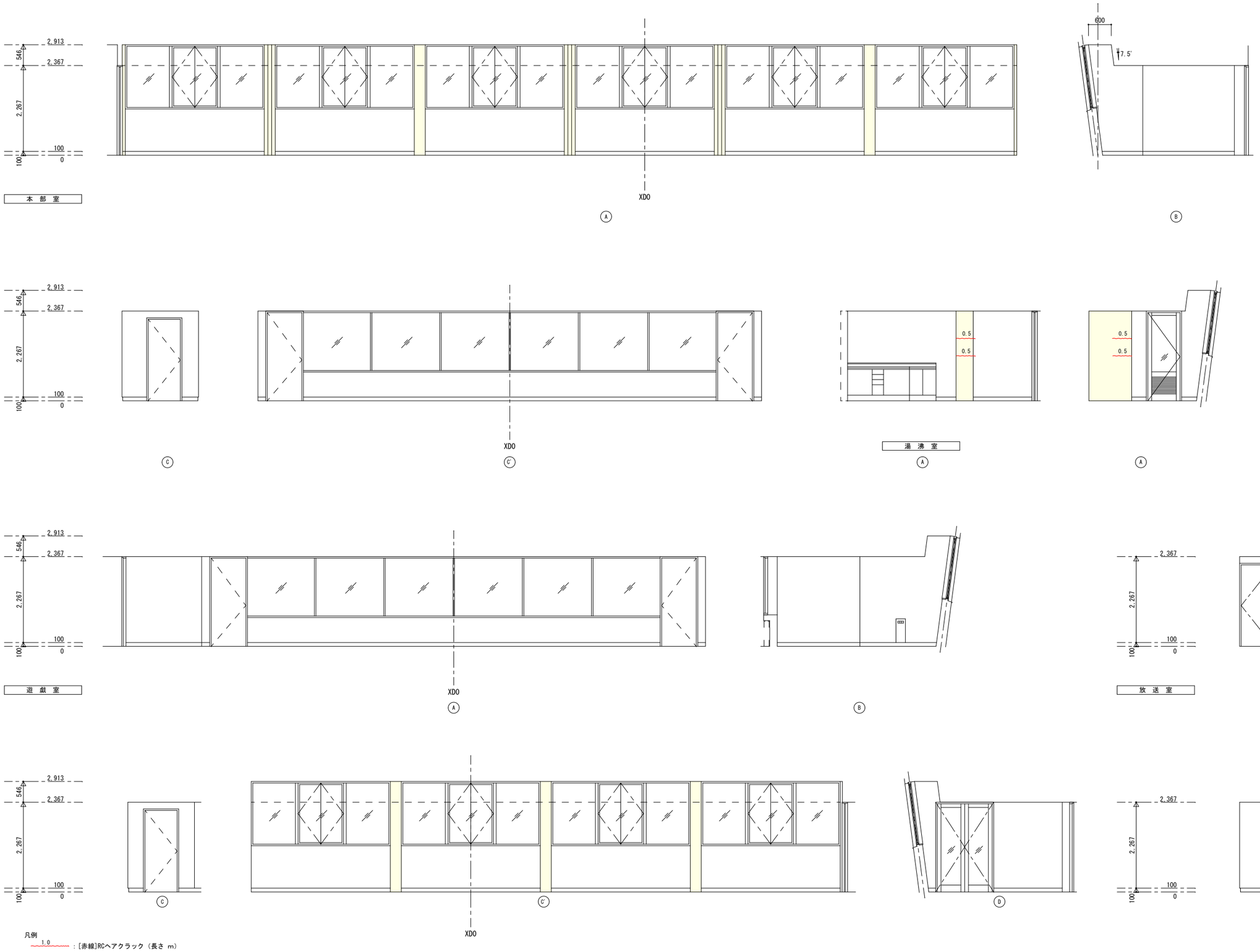
設計年月日	調査	設計	工事名称	全葉	図面 No
2022.03.31			令和３年２月１３日福島県沖地震による七ヶ浜健康スポーツセンター復旧工事		Ａ－４０
			図面名称 D棟矩計図-2 Scale S=1/20(A1) S=1/40(A3)		



		設計年月日	調査	設計	工事名称	全葉	図面 No
		2022.03.31			令和３年２月１３日福島県沖地震による七ヶ浜健康スポーツセンター復旧工事		Ａ－４１
					図面名称 D棟矩計図-3 Scale S=1/20(A1) S=1/40(A3)		



	設計年月日 2022.03.31	調査	設計	工事名称	令和３年２月１３日福島県沖地震による七ヶ浜健康スポーツセンター復旧工事	全葉	図面 No
				図面名称	D棟矩計図-4 Scale S=1/20(A1) S=1/40(A3)		A－42

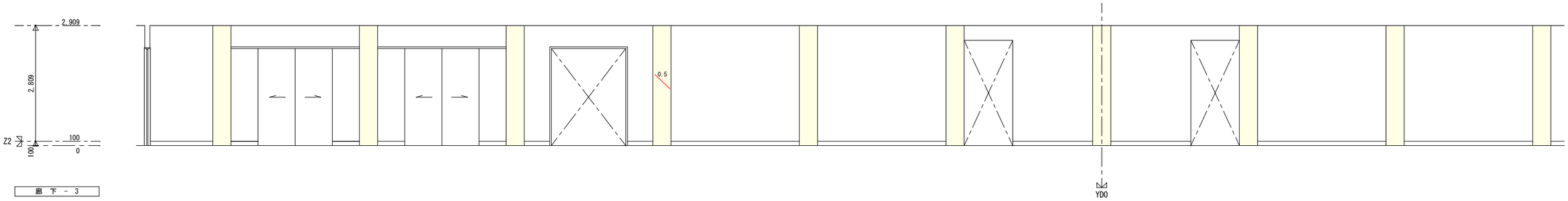


凡例

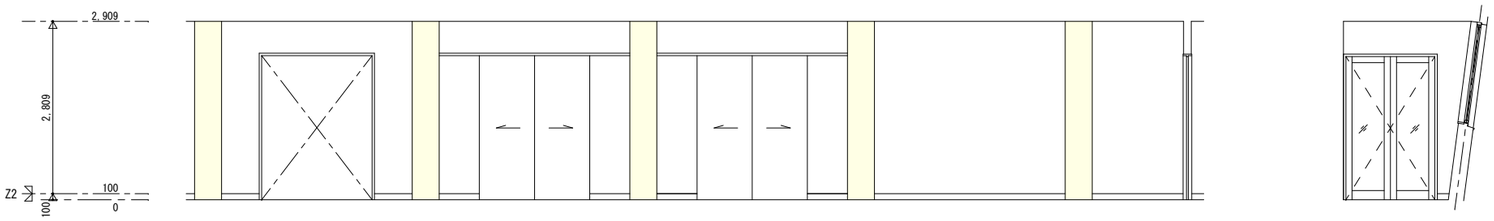
1.0 ：[赤線]RCヘアクラック（長さ m）

：[黄塗]コンクリート打放仕上

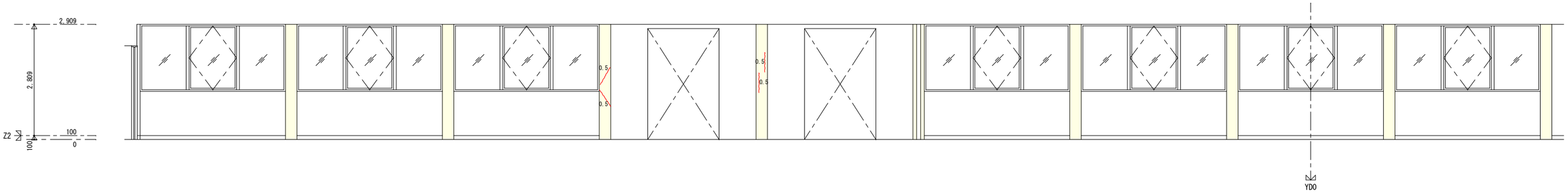
		設計年月日	調査	設計	工事名称	全葉	図面 No
		2022.03.31			令和３年２月１３日福島県沖地震による七ヶ浜健康スポーツセンター復旧工事		Ａ－４３
					図面名称 D棟展開図-1 Scale S=1: 50(A1) S=1:100(A3)		



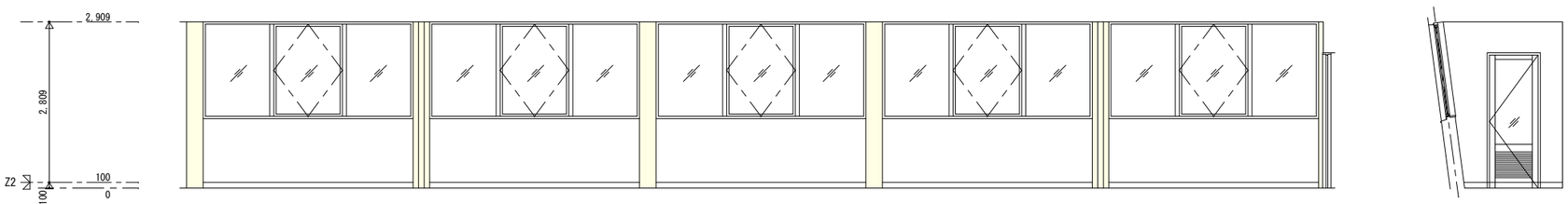
Ⓐ



Ⓑ



Ⓒ



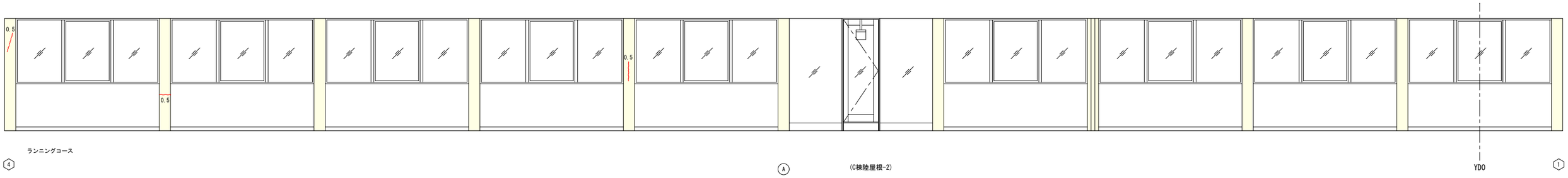
凡例

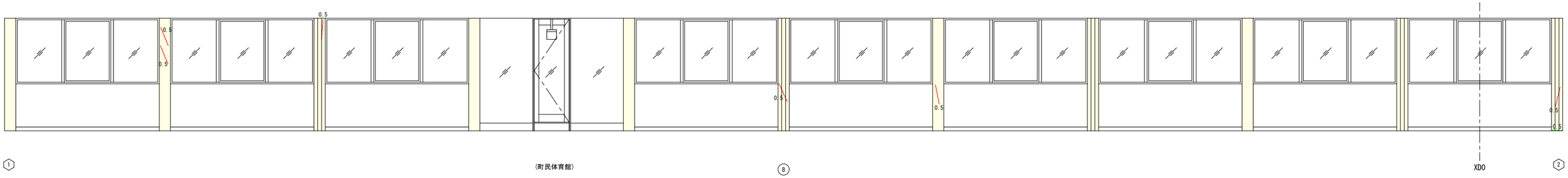
1.0 ：[赤線]RCへアクラック（長さ m）

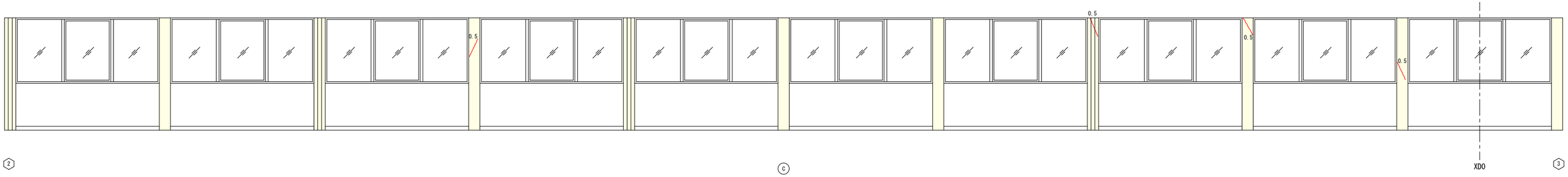
：[黄塗]コンクリート打放仕上

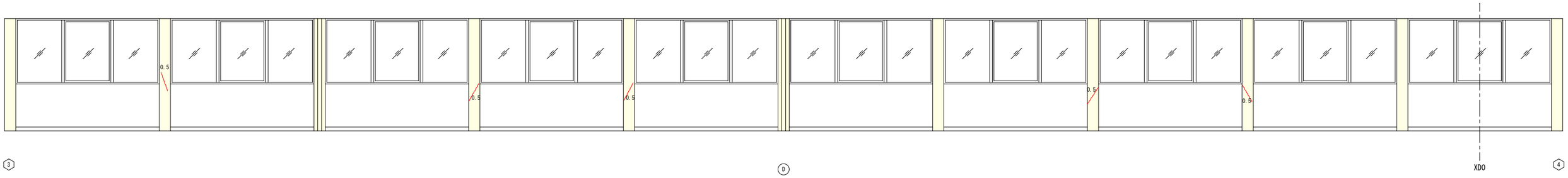
Ⓓ

		設計年月日 2022.03.31	調査	設計	工事名称 令和３年２月１３日福島県沖地震による七ヶ浜健康スポーツセンター復旧工事	全葉	図面 No
					図面名称 Ｄ棟展開図-2 Scale S=1: 50(A1) S=1:100(A3)		Ａ－４４







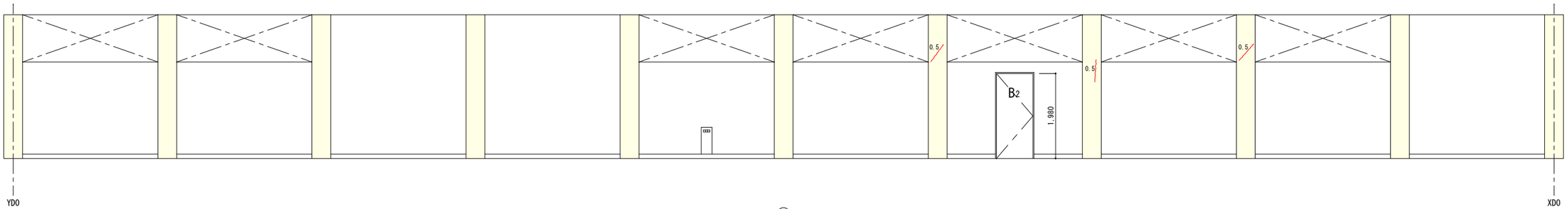


凡例

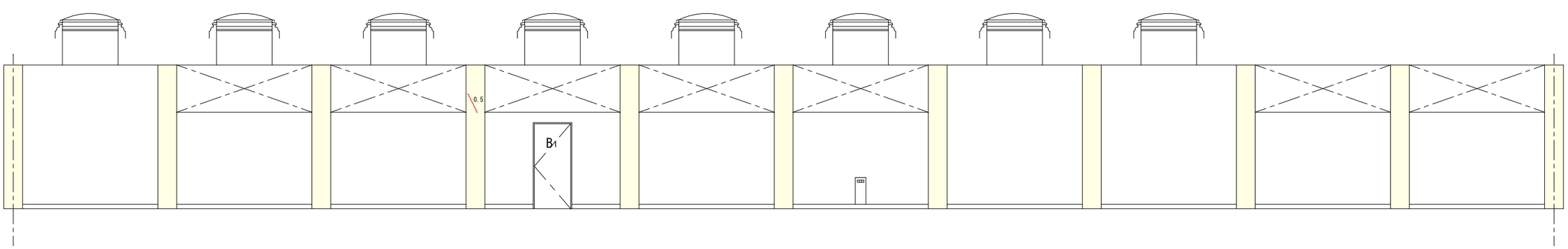
1.0 ：[赤線]RCヘアクラック（長さ m）

：[黄塗]コンクリート打放仕上

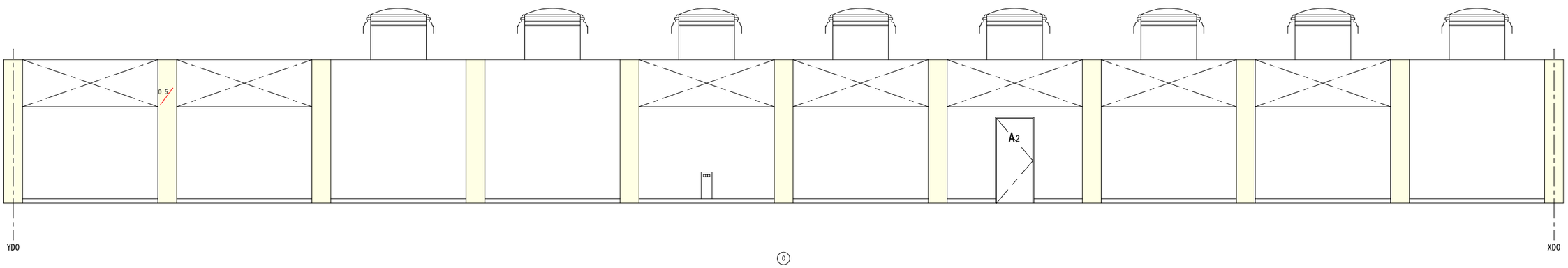
		設計年月日 2022.03.31	調査	設計	工事名称 令和３年２月１３日福島県沖地震による七ヶ浜健康スポーツセンター復旧工事	全葉	図面 No
					図面名称 D棟展開図-3 Scale S=1: 50(A1) S=1:100(A3)		Ａ－４５



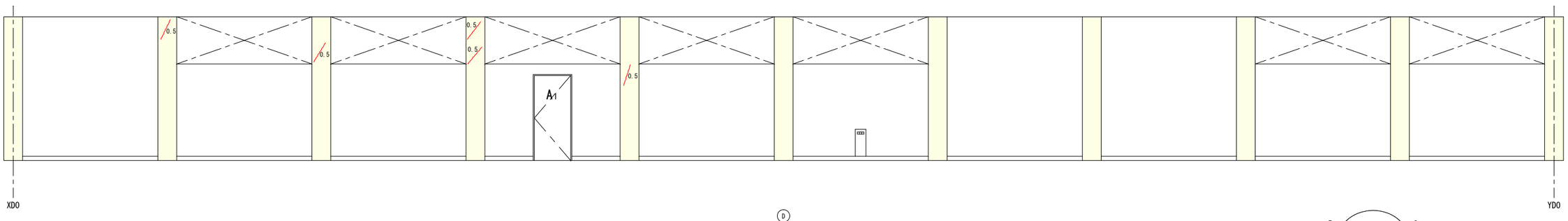
Ⓐ



Ⓑ



Ⓒ



Ⓓ

凡例

1.0 ：[赤線]RCヘアクラック（長さ m）

：[黄塗]コンクリート打放仕上

	設計年月日 2022.03.31	調査	設計	工事名称 令和３年２月１３日福島県沖地震による七ヶ浜健康スポーツセンター復旧工事	全葉	図面 No
				図面名称 Ｄ棟展開図-4 Scale S=1: 50(A1) S=1:100(A3)		Ａ－４６

凡例

1.0 ：[赤線]RCへアクラック（長さ m）

：[黄塗]コンクリート打放仕上

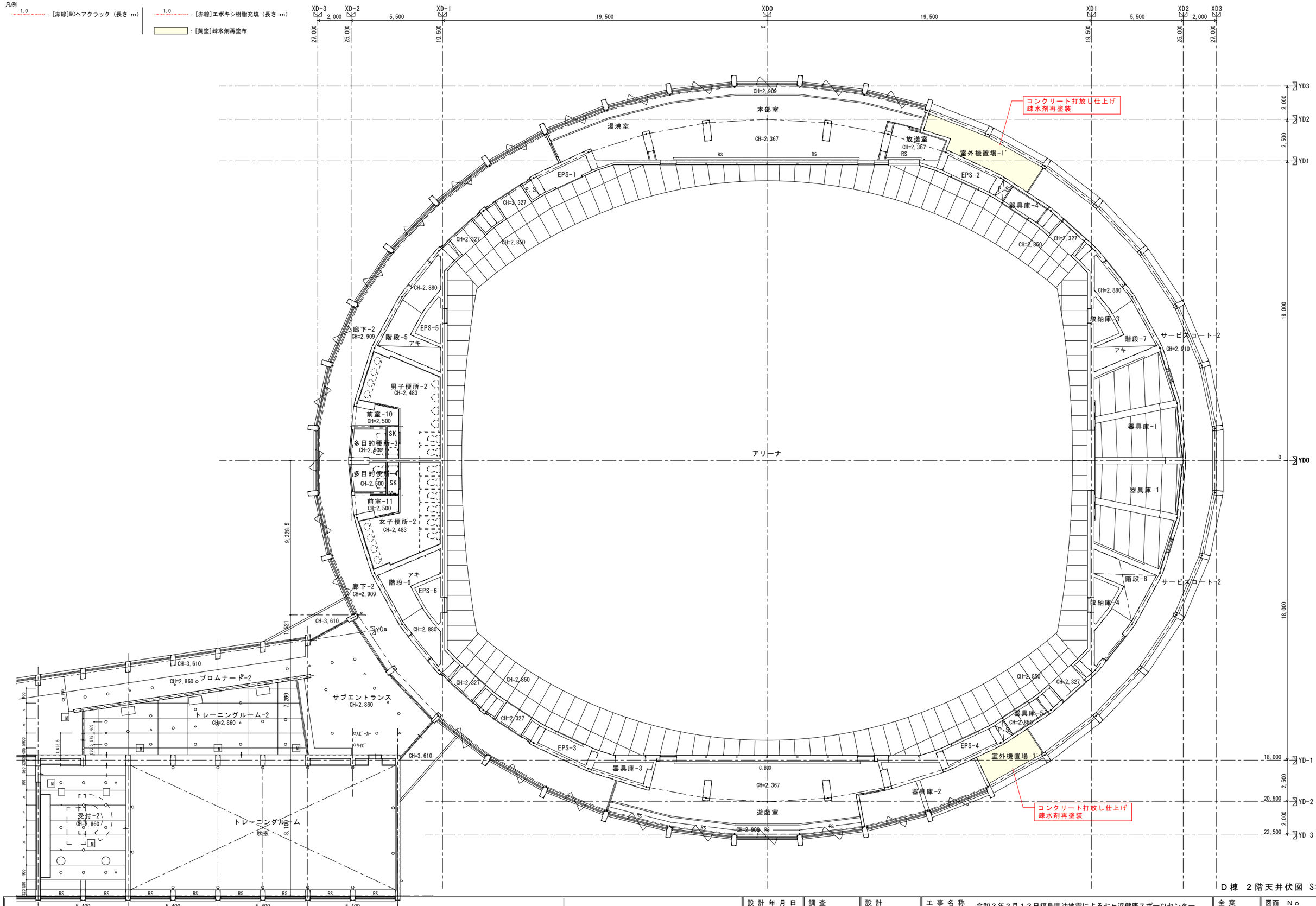
	設計年月日 2022.03.31	調査	設計	工事名称 令和３年２月１３日福島県沖地震による七ヶ浜健康スポーツセンター復旧工事	全葉	図面 No	
				図面名称 D棟展開図-5 Scale S=1:100(A1) S=1:200(A3)		A－４７	

凡例

1.0 ：[赤線]RCヘアクラック（長さ m）

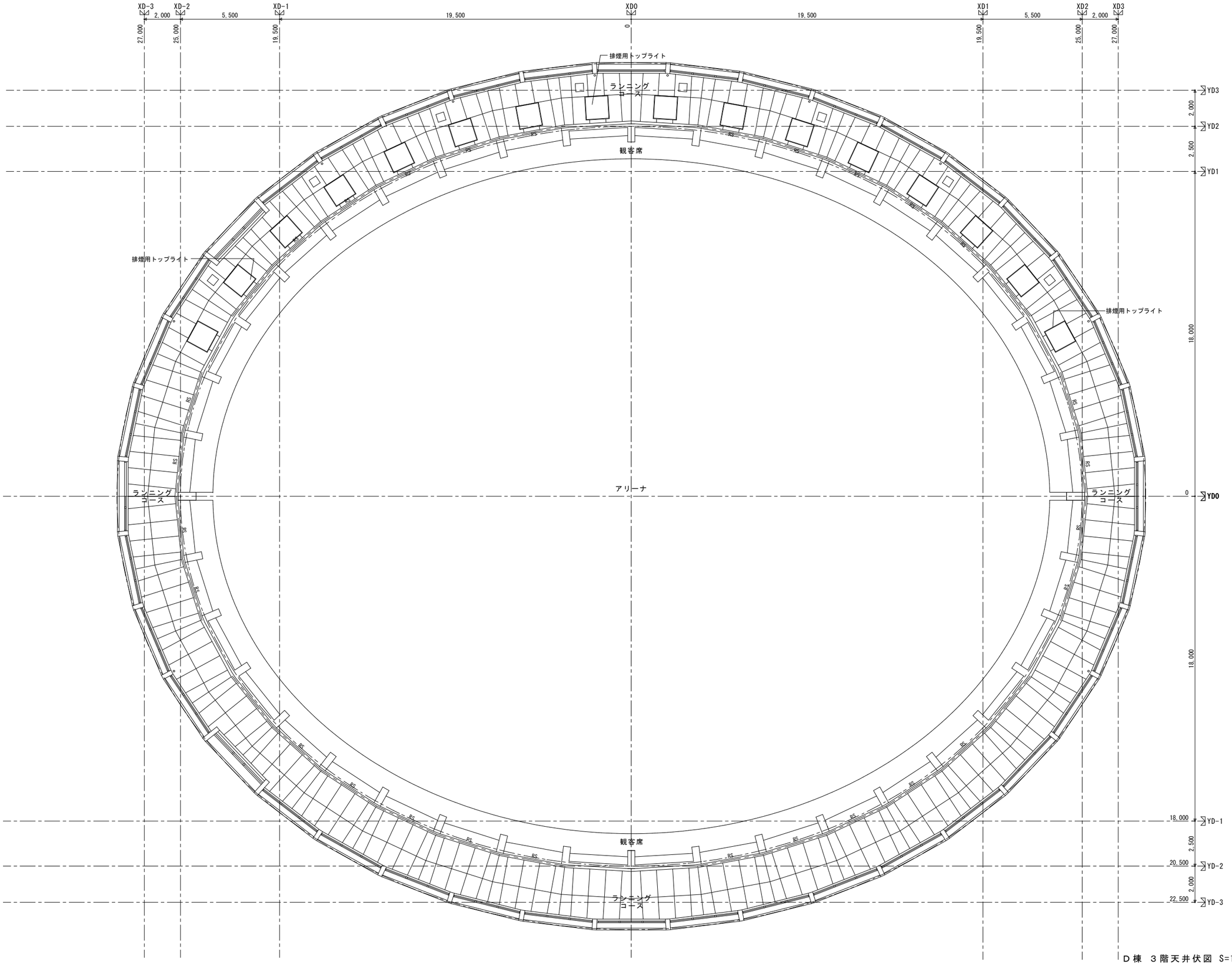
1.0 ：[赤線]エポキシ樹脂充填（長さ m）

：[黄塗]疎水剤再塗布



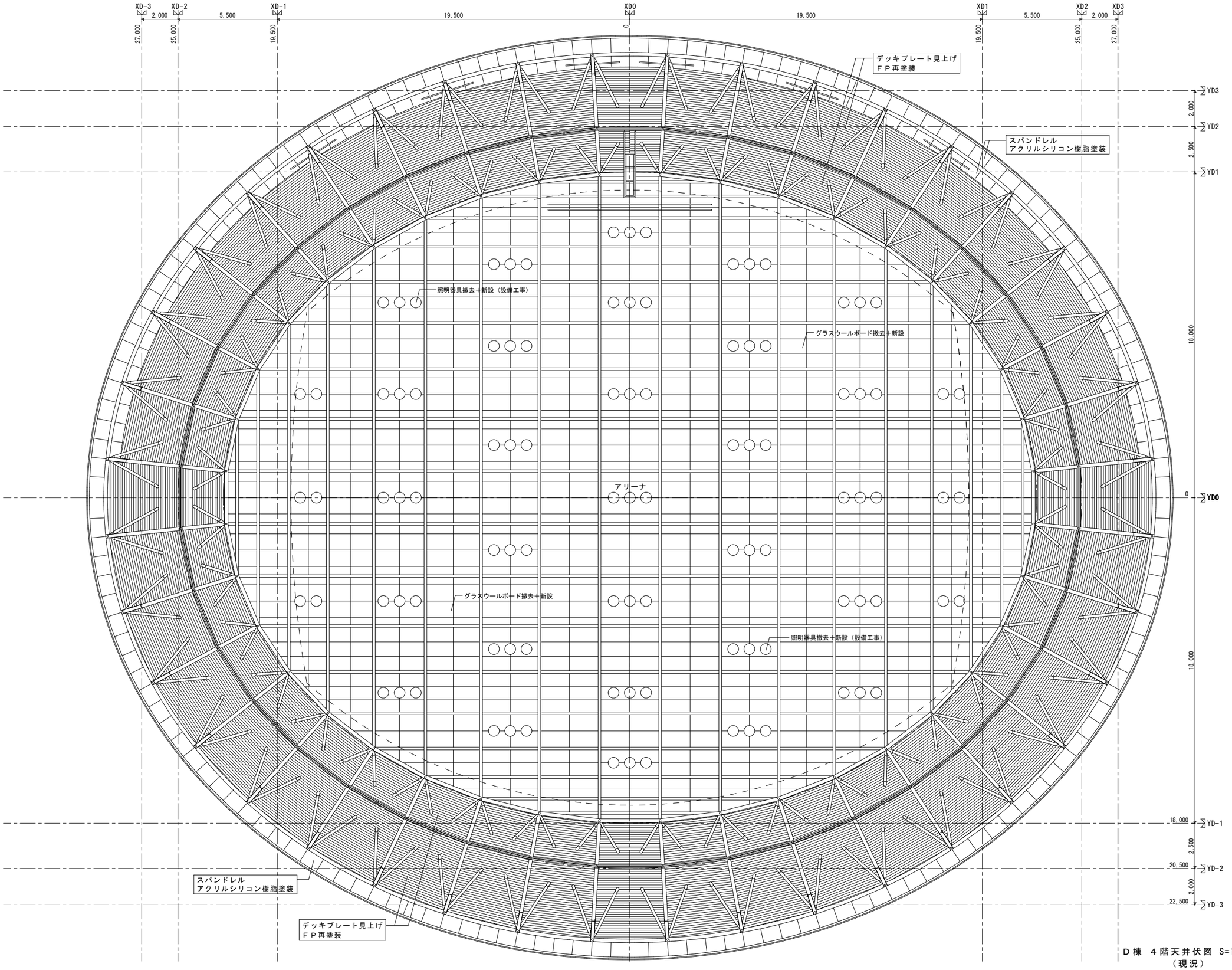
D棟　２階天井伏図 S=1:100

設計年月日	調査	設計	工事名称	全葉	図面 No
2022.03.31			令和３年２月１３日福島県沖地震による七ヶ浜健康スポーツセンター復旧工事		Ａ－４８
			図面名称：アリーナ 天井伏図-1　Scale：S=1：100(A1) S=1：200(A3)		



Ｄ棟　３階天井伏図 S=1:100

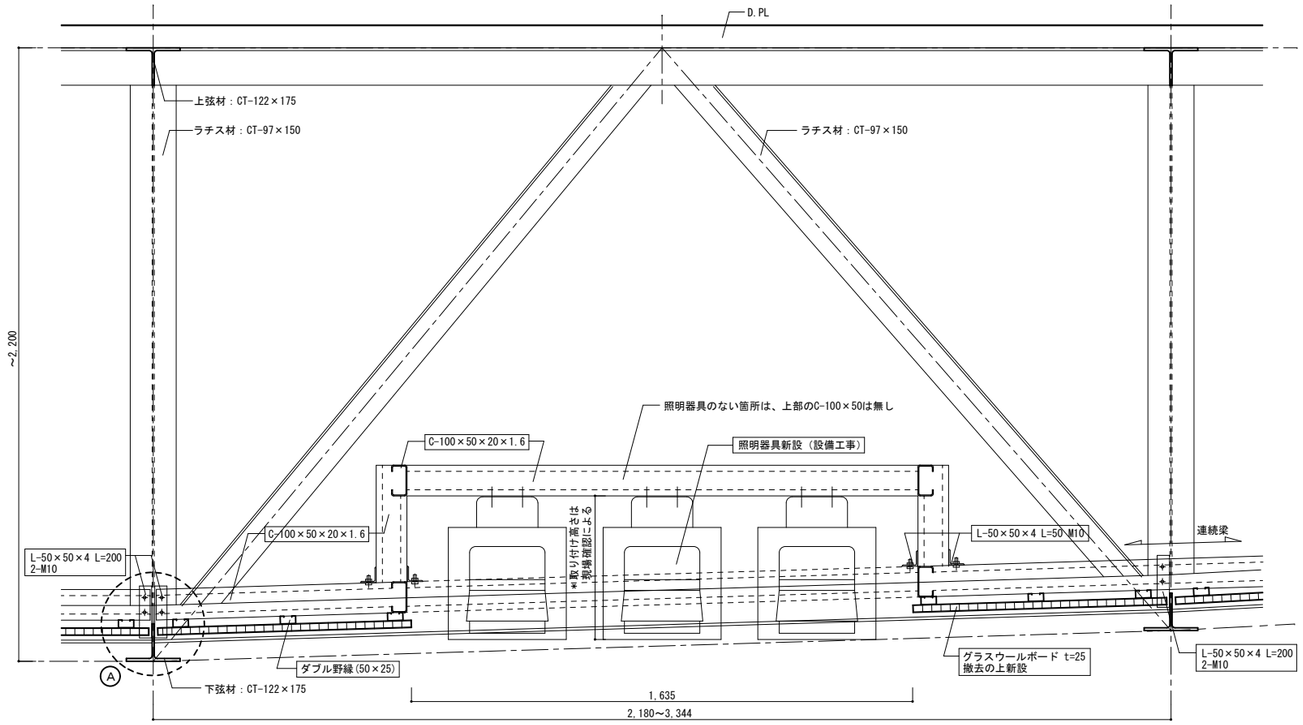
	設計年月日 2022.03.31	調査	設計	工事名称	令和３年２月１３日福島県沖地震による七ヶ浜健康スポーツセンター復旧工事	全葉	図面 No
				図面名称	アリーナ 天井伏図-2 Scale S=1：100(A1) S=1：200(A3)		Ａ－４９



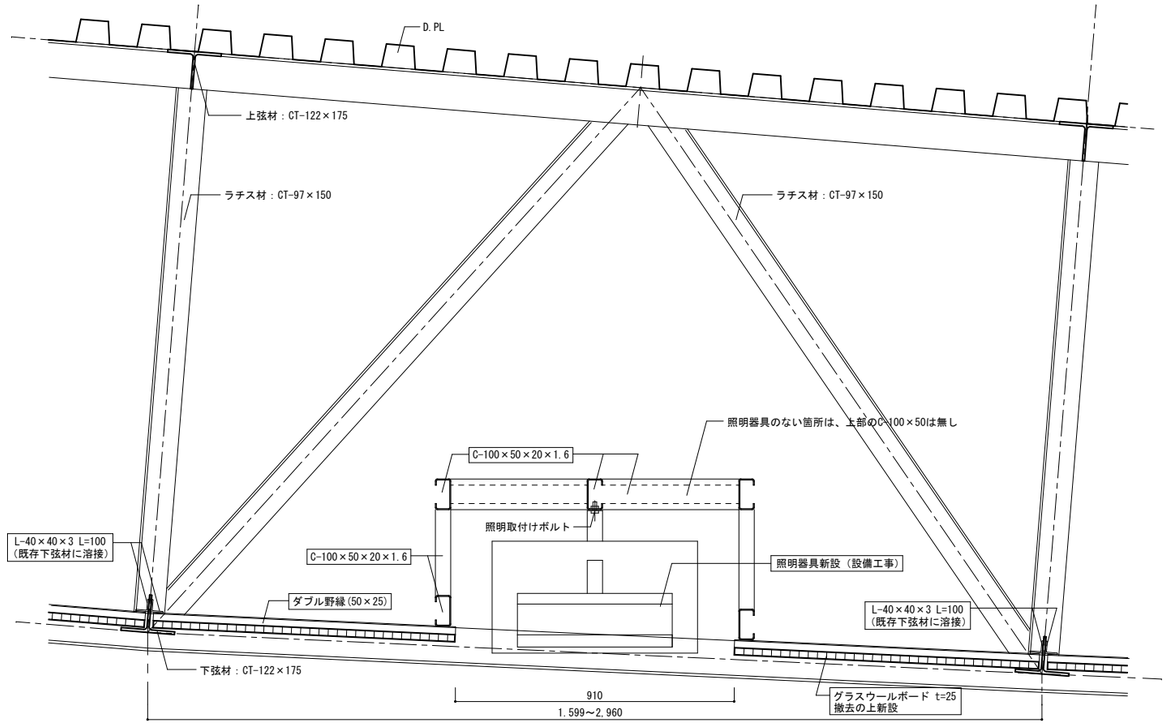
Ｄ棟　４階天井伏図 S=1:100
（現況）

＊改修後の天井伏図は、アリーナ天井詳細図参照

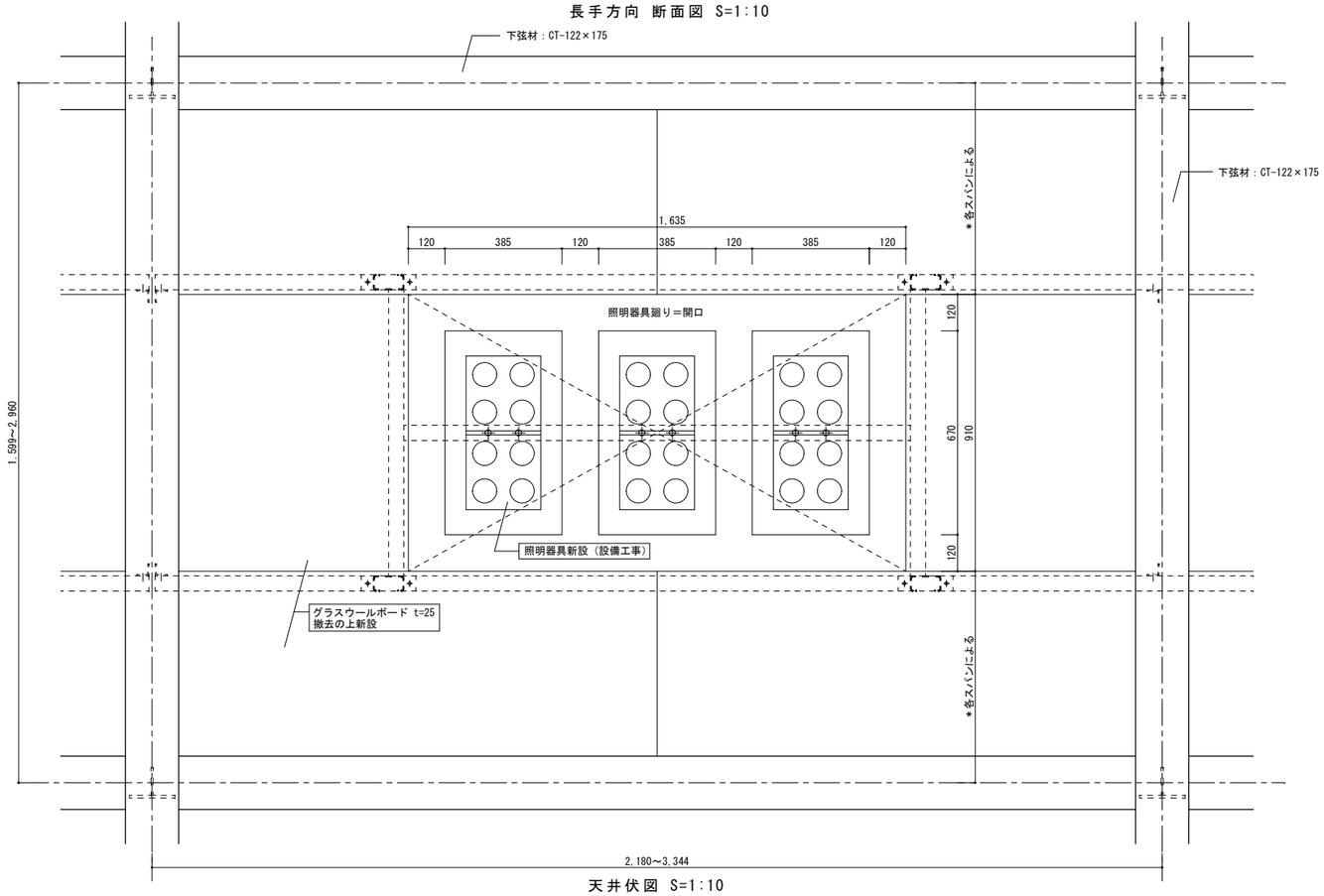
設計年月日	調査	設計	工事名称	全葉	図面 No
2022.03.31			令和３年２月１３日福島県沖地震による七ヶ浜健康スポーツセンター復旧工事		Ａ－５０
			図面名称：アリーナ 天井伏図-3　Scale：S=1：100(A1) S=1：200(A3)		



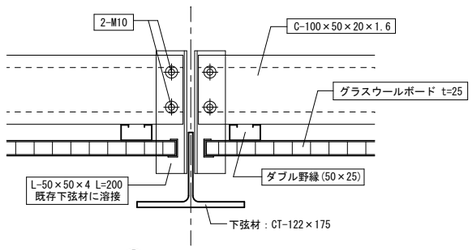
長手方向 断面図 S=1:10



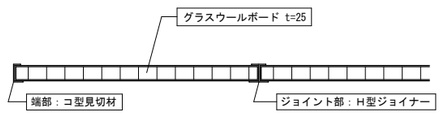
短手方向 断面図 S=1:10



天井伏図 S=1:10



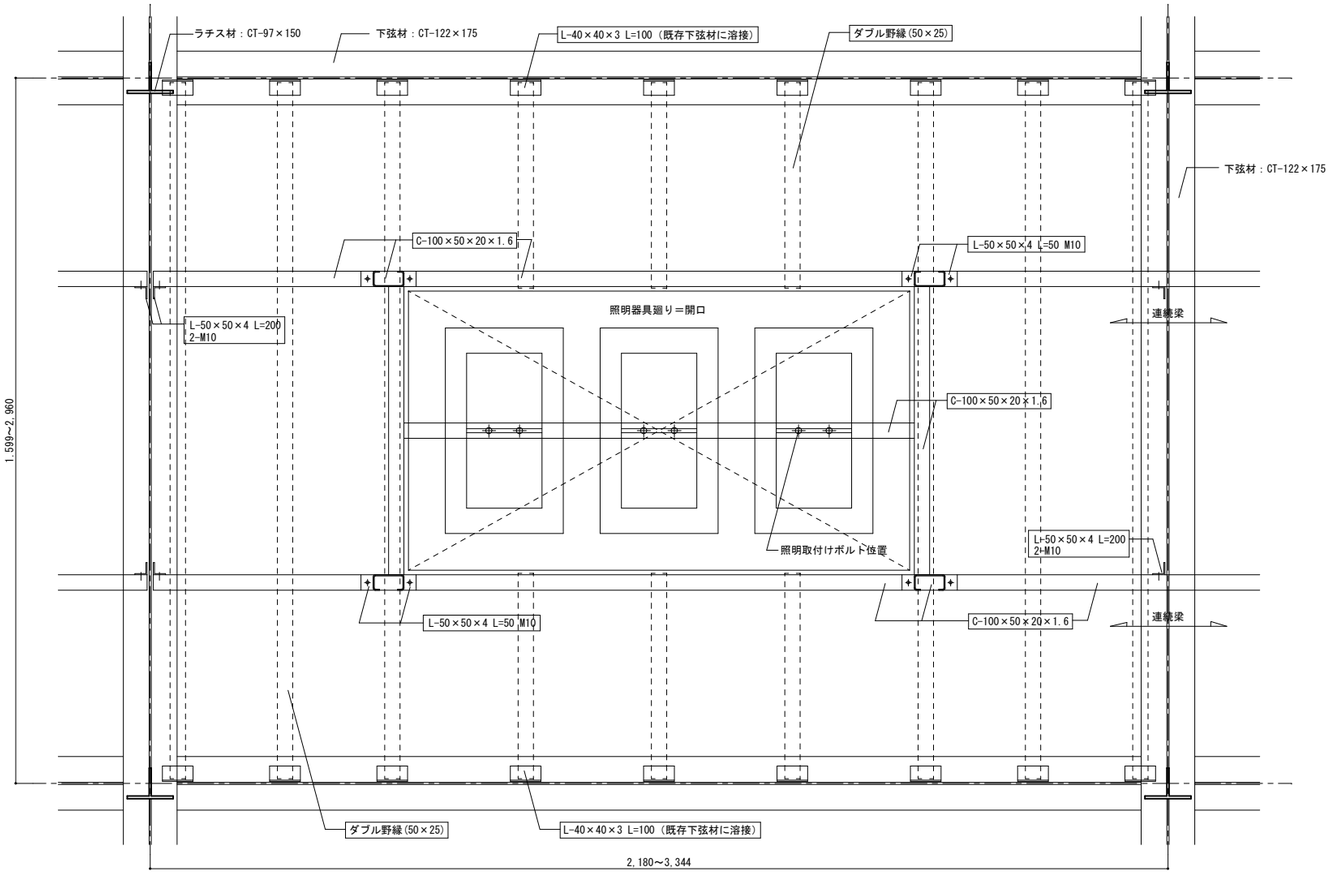
Ⓐ 詳細図 S=1:5



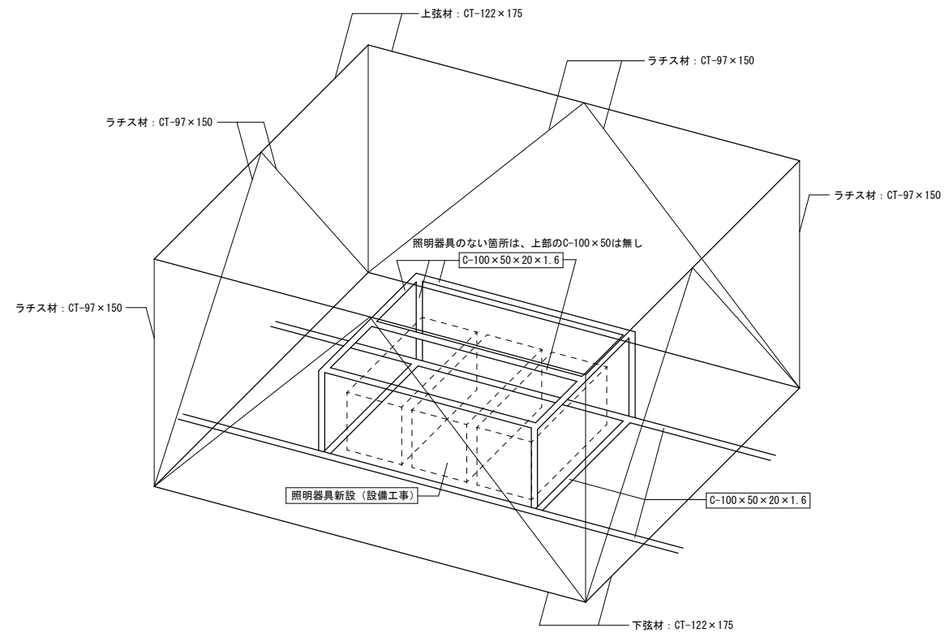
グラスウールボード 詳細図 S=1:5

＊新設鋼材は全てC-100×50×20×1.6
＊照明器具のない箇所は、上部のC-100×50は無し
＊既存LGS（吊ボルト、野縁等）は撤去
＊グラスウールボードはハイラートンレイイン同等品
（旭ファイバーグラス）
＊LGSダブル野縁は@500以下とする

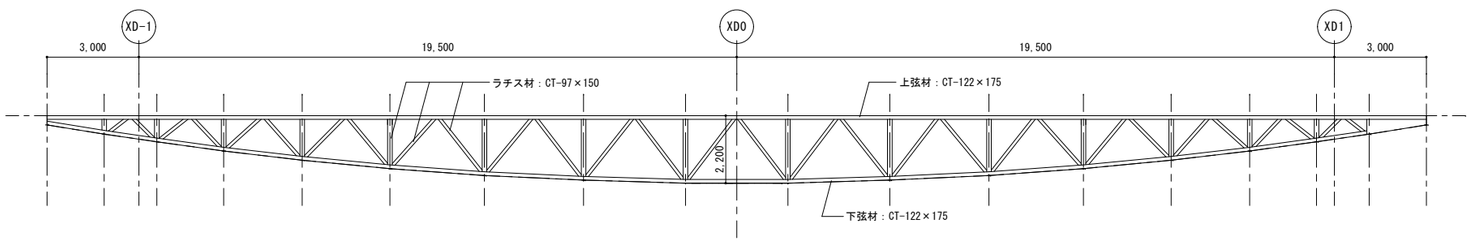
	設計年月日	調査	設計	工事名称	令和３年２月１３日福島県沖地震による七ヶ浜健康スポーツセンター復旧工事	全葉	図面 No
	2022.03.31			図面名称	アリーナ 天井詳細図-1 Scale S=図示(A1)		Ａ－５１

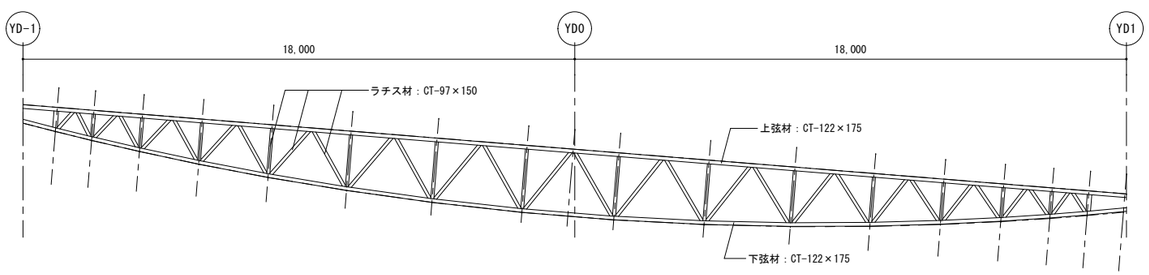


天井見下図 S=1:10



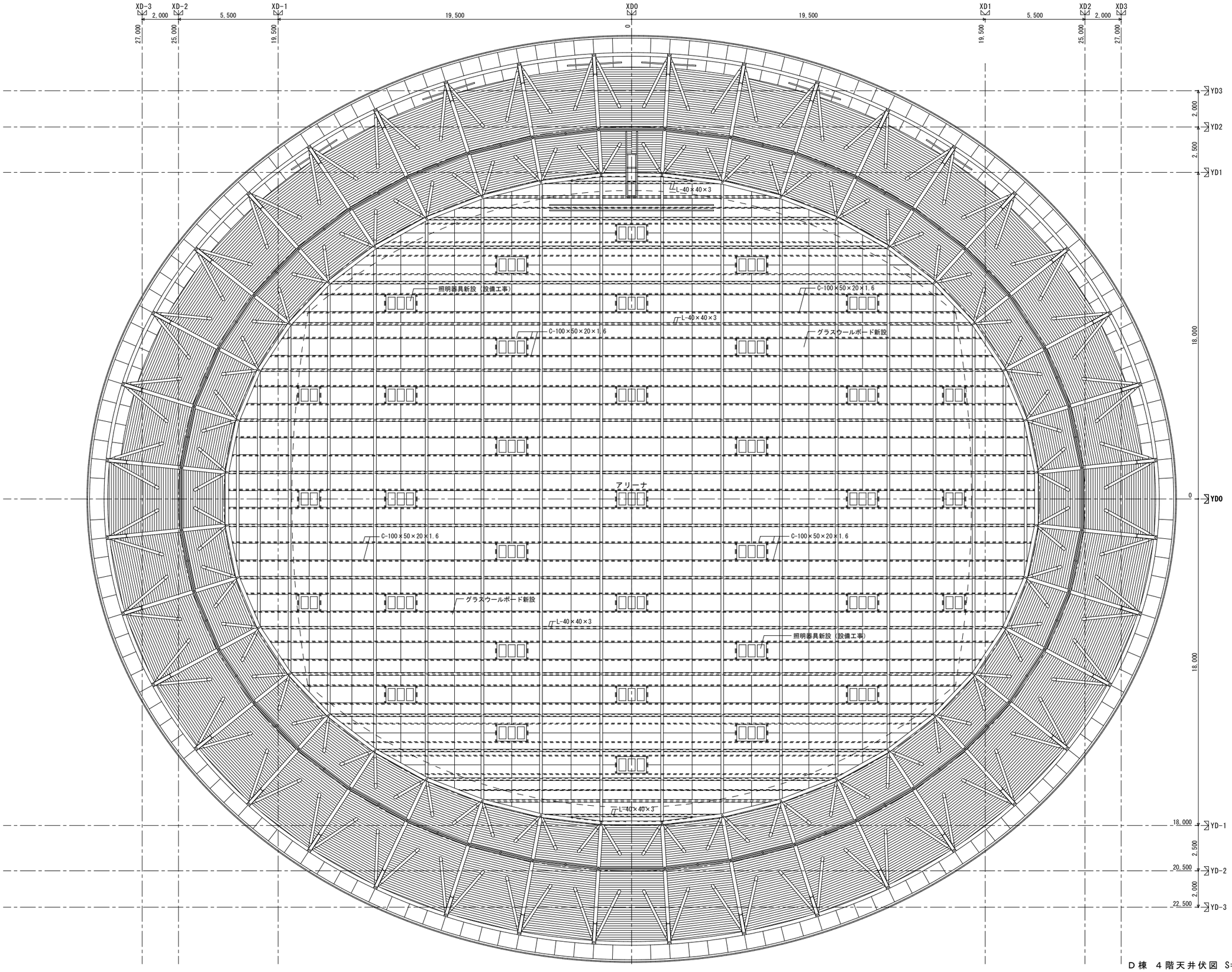
アクソメイメージ図





梁トラス断面図 S=1:100

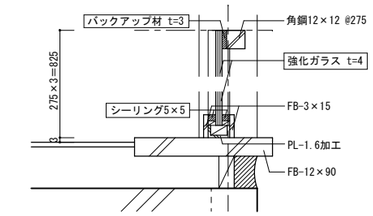
		設計年月日	調査	設計	工事名称	令和３年２月１３日福島県沖地震による七ヶ浜健康スポーツセンター復旧工事	全葉	図面 No
		2022.03.31			図面名称	アリーナ 天井詳細図-2 Scale S=図示(A1)		Ａ－５２



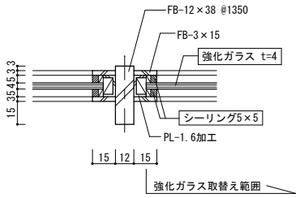
D棟 4階天井伏図 S=1:100

		設計年月日 2022.03.31	調査	設計	工事名称 令和３年２月１３日福島県沖地震による七ヶ浜健康スポーツセンター復旧工事	全葉	図面 No
					図面名称 アリーナ 天井詳細図-3 Scale S=図示(A1)		Ａ－５３

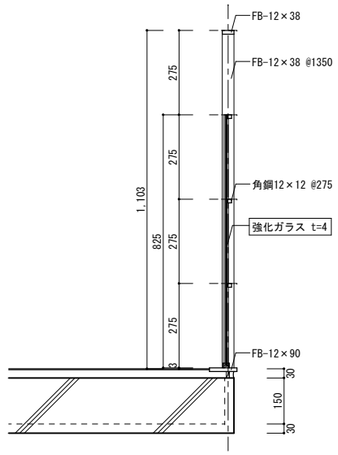
名称	縮尺	註
アリーナ２階 観客席手摺	図示	強化ガラス取替え＝1ヵ所、シーリング：SR-1、手摺鋼材は既存のまま



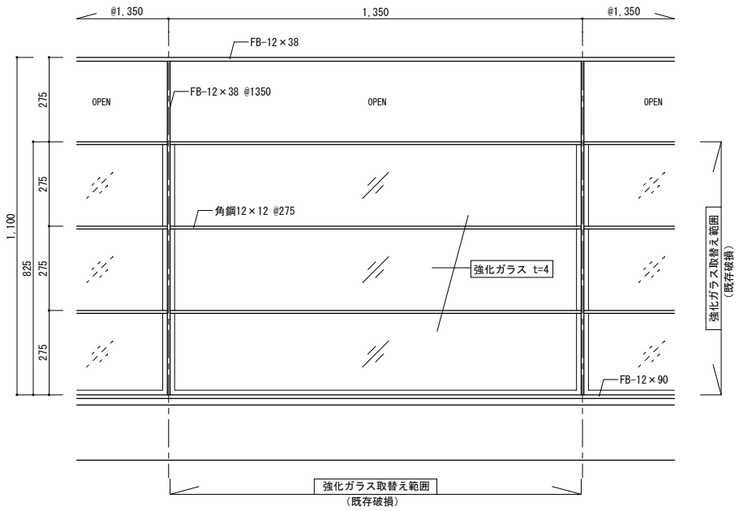
断面詳細図 S=1:2



平面詳細図 S=1:2



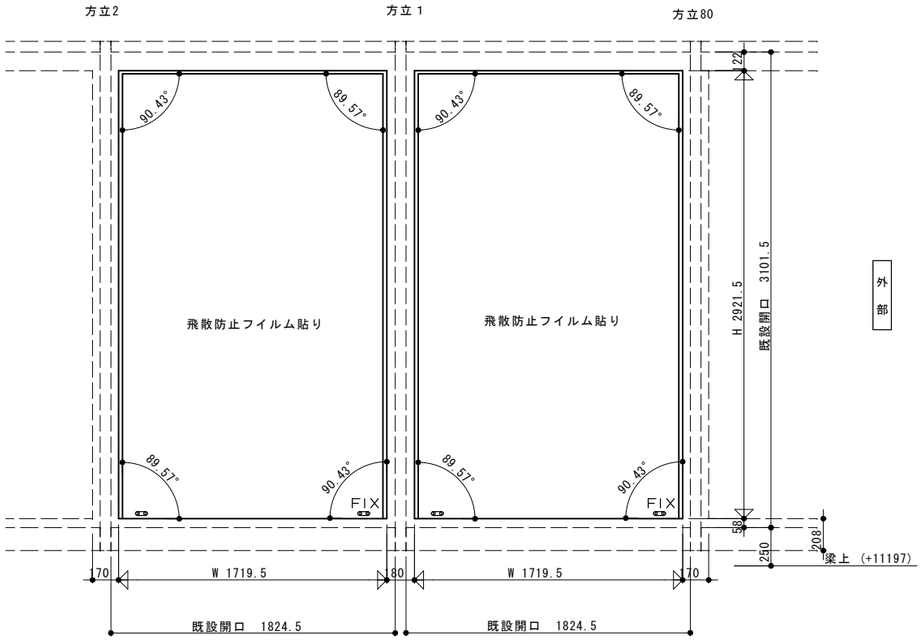
断面図 S=1:10



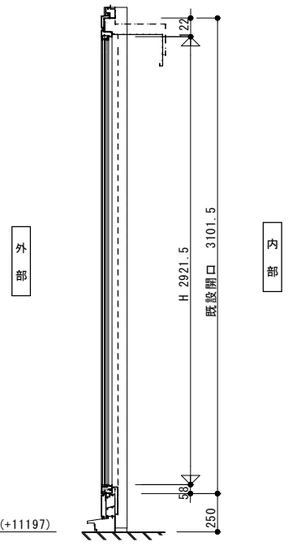
正面図 S=1:10

設計年月日	調査	設計	工事名称	全葉	図面 No
2022.03.31			令和３年２月１３日福島県沖地震による七ヶ浜健康スポーツセンター復旧工事		Ａ－５４
			図面名称 アリーナ 雑詳細図 Scale S=図示(A1)		

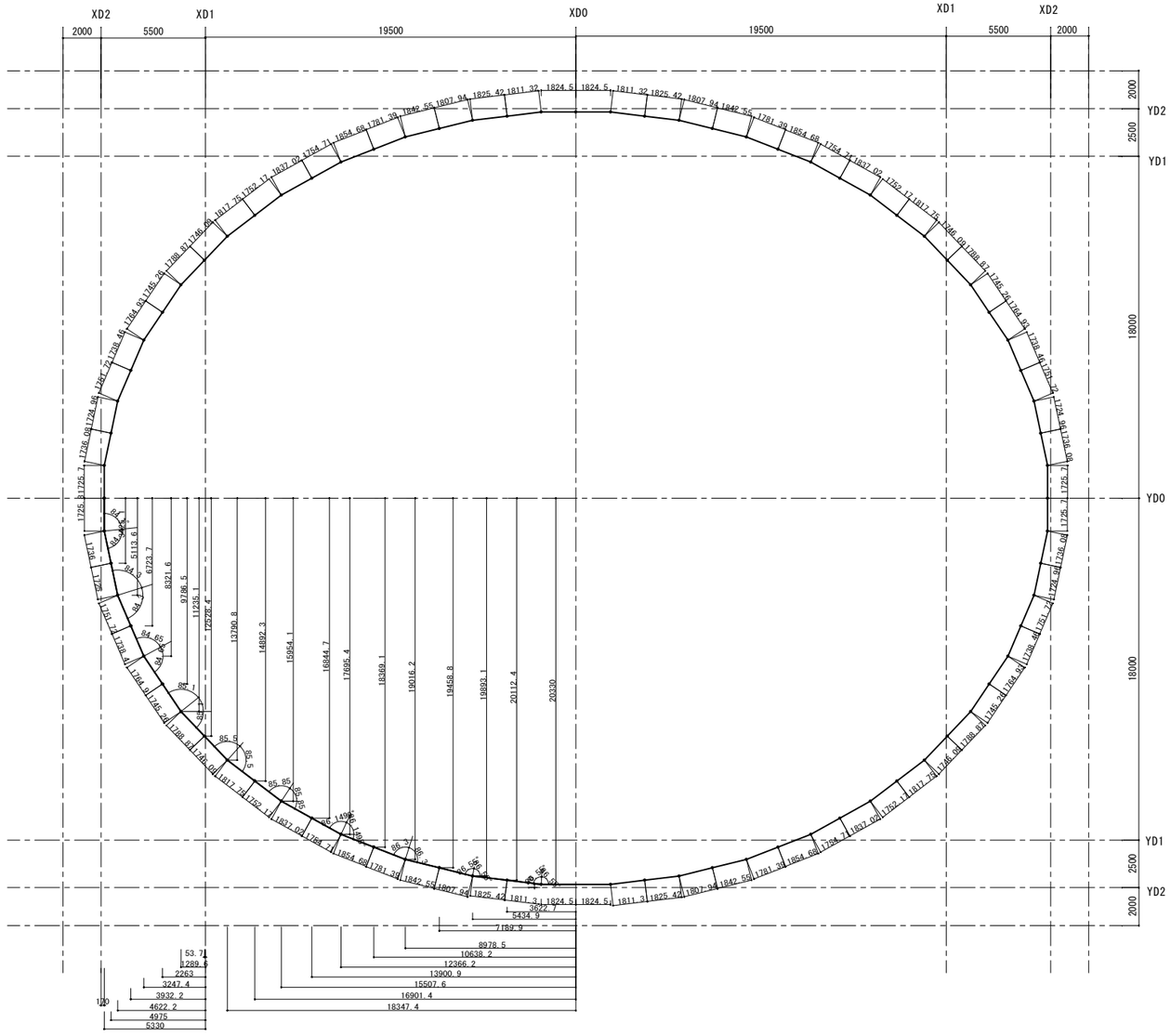
窓番	AW-2N	数量	80	金具	
ｼﾘｰｽﾞ	ＭＴＧ７０Ｒ　ＡＬＣ ２４０／Ｔ２			ドレンカット	
色仕上	複合皮膜標準色				
間口	29				
ｶﾞﾗｽ押え	シール				
ガラス	フロート板ガラス 10 飛散防止フイルム貼り				
備考		取付場所	アリーナ上部	品質確認	照査
				水密 / 強度 / 安全性 / 施工性	



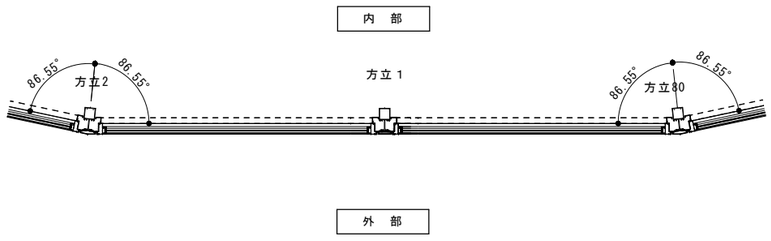
姿図 S=1:20



断面図 S=1:20



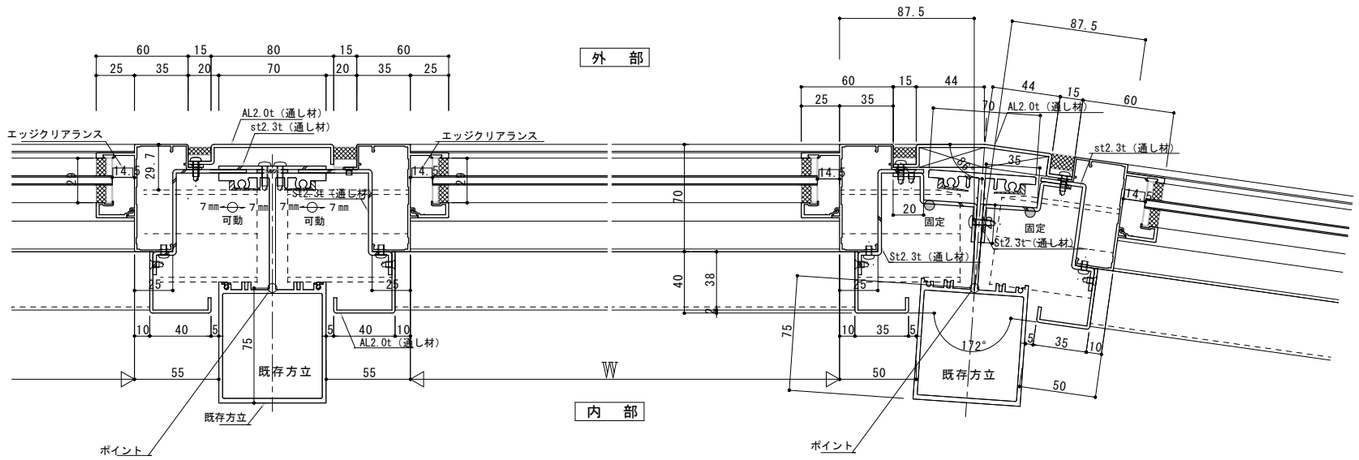
サッシ平面ポイント図 S=1:150



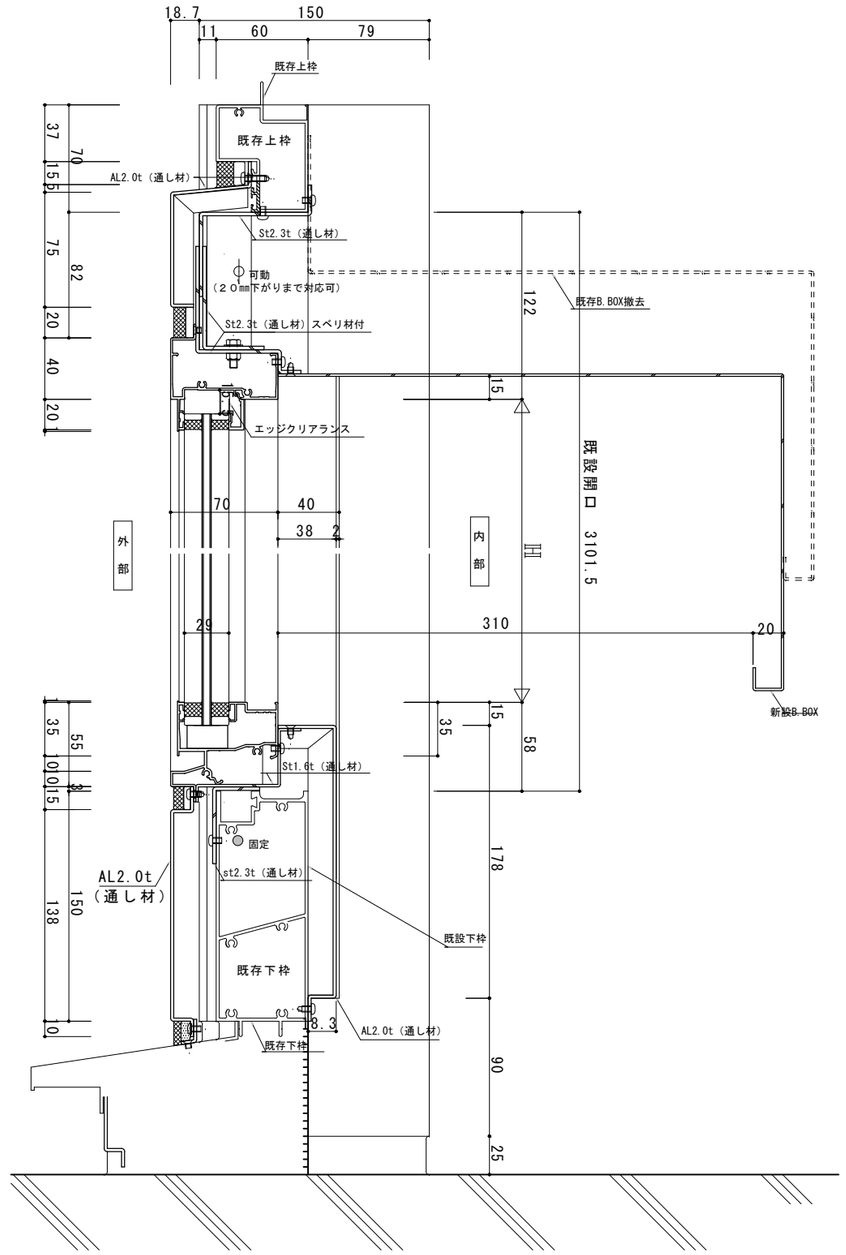
平面図 S=1:20

		設計年月日	調査	設計	工事名称	全葉	図面 No
		2022.03.31			令和３年２月１３日福島県沖地震による七ヶ浜健康スポーツセンター復旧工事		Ａ－５５
					図面名称 アルミ製建具詳細図-1（AW-2） Scale S=図示(A1)		

＊タテ枠部は角度付きの箇所は固定とし、角度無しの箇所は７㎜可動とする。
＊上部からの荷重に対して対応する為、無目にスチール材を取付て、これを
上枠のスチール材で挟み込み下がり２０㎜まで対応可とする。
下枠は固定とする。



AW-2N 平面図 S=1:2

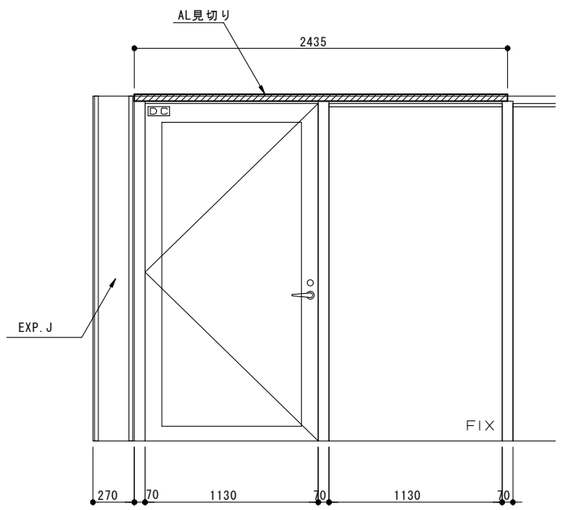


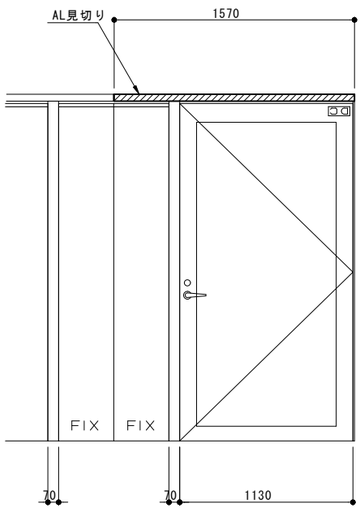
AW-2N 断面図 S=1:2

		設計年月日	調査	設計	工事名称	全葉	図面 No
		2022.03.31			令和３年２月１３日福島県沖地震による七ヶ浜健康スポーツセンター復旧工事		
					図面名称 アルミ製建具詳細図-2（AW-2） Scale S=図示(A1)		Ａ－５６

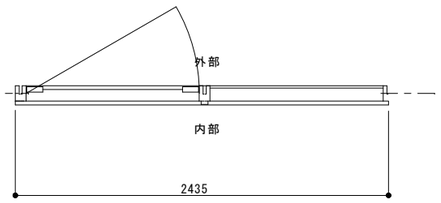
窓番	AW-100A	数量	1	金具					
シリーズ	AL見切り								
色仕上	複合皮膜標準色								
溝幅									
ガラス押え									
ガラス									
備考		取付場所		品質確認				照査	
				水密	強度	安全性	施工性		

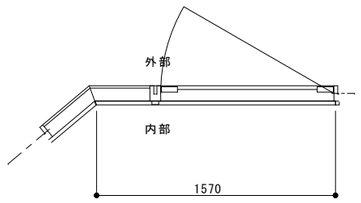
窓番	AW-100B	数量	1	金具					
シリーズ	AL見切り								
色仕上	複合皮膜標準色								
溝幅									
ガラス押え									
ガラス									
備考		取付場所		品質確認				照査	
				水密	強度	安全性	施工性		



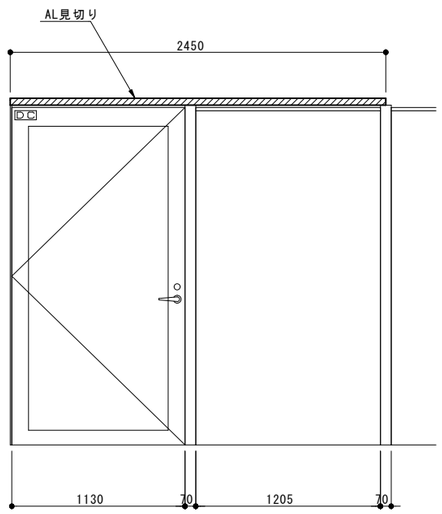


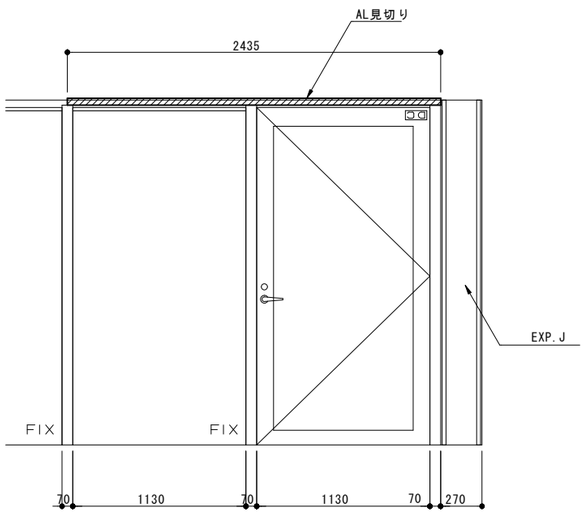
姿図 S=1:20



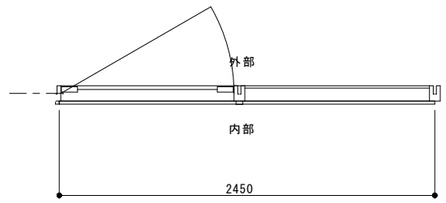


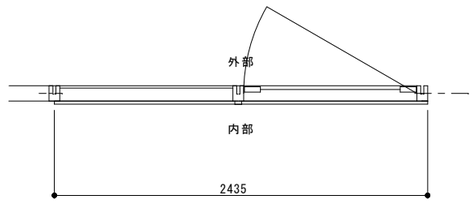
平面図 S=1:20



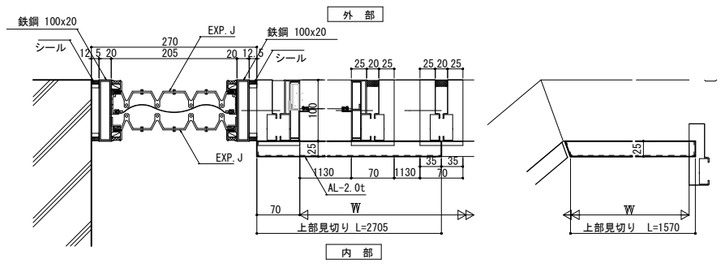


姿図 S=1:20

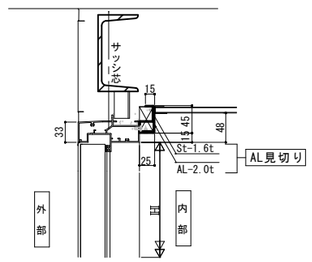




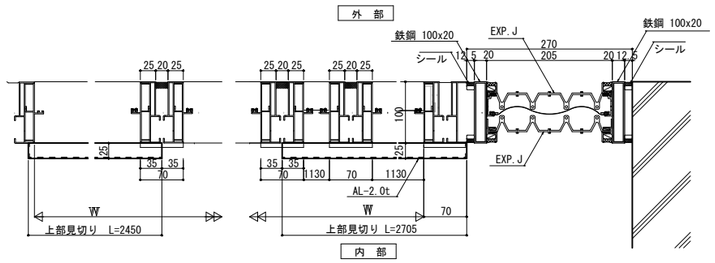
平面図 S=1:20



平面図 S=1:5



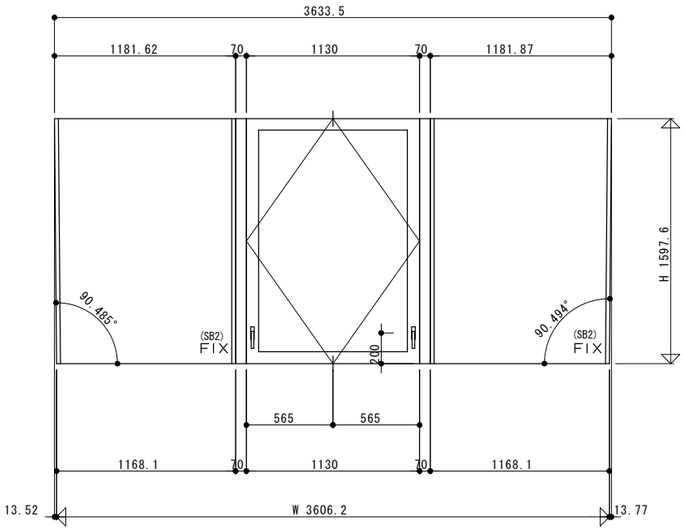
断面図 S=1:5

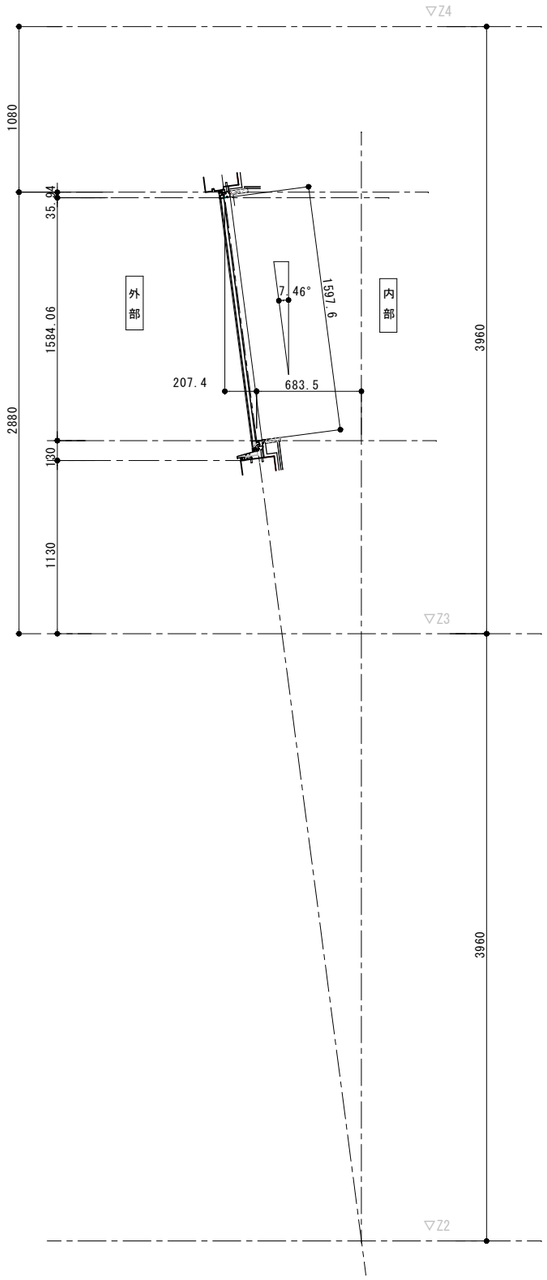


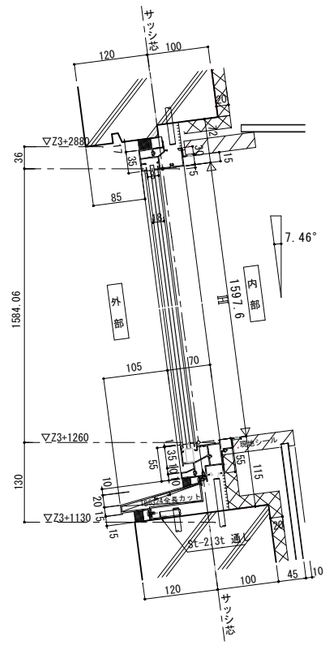
平面図 S=1:5

		設計年月日	調査	設計	工事名称	全葉	図面 No
		2022.03.31			令和３年２月１３日福島県沖地震による七ヶ浜健康スポーツセンター復旧工事		
					図面名称 アルミ製建具詳細図-3（AW-100A, AW-100B） Scale S=図示(A1)		Ａ－５７

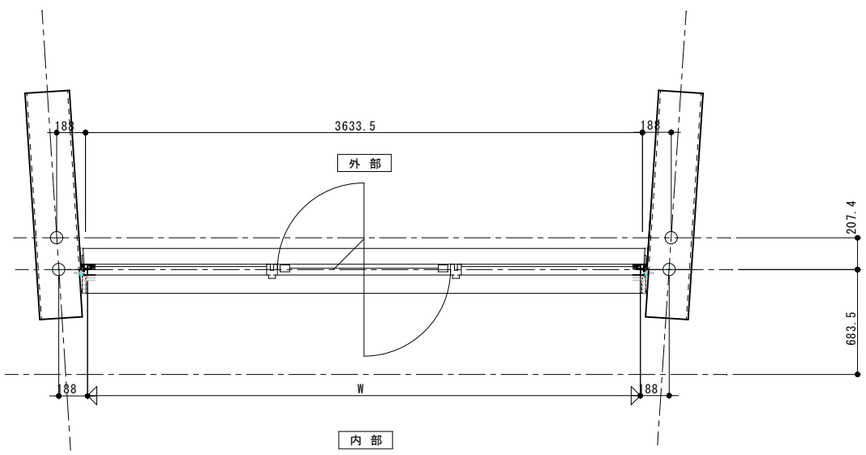
窓番	AW-30	数量	1	金具	
シリーズ	ＭＴＧ－７０Ｒ／同面 Ｓ－５／Ｔ－２			ハンドル 調整器　３０°６０°９０°ストップ	
色仕上	複合皮膜標準色				
溝幅	１８				
ガラス押え	シール				
ガラス	FL5				
備考		取付場所		品質確認：水密 / 強度 / 安全性 / 施工性	照査

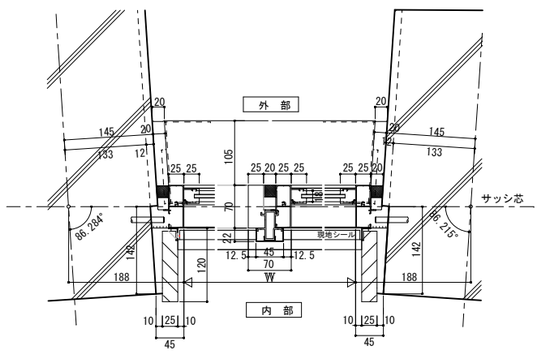






断面図 S=1:5

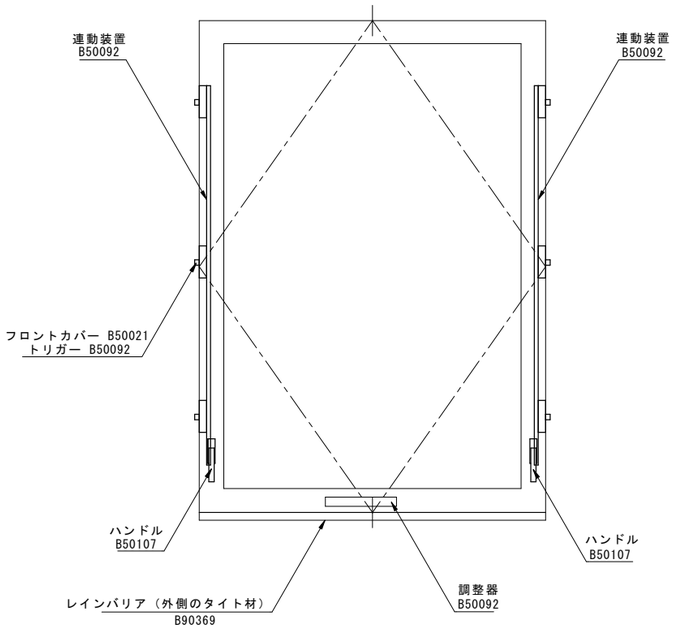




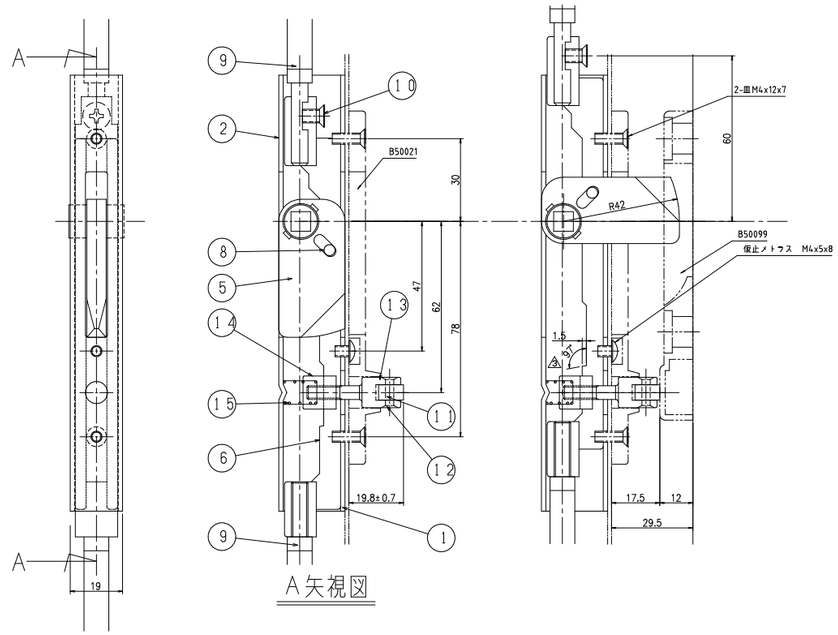
平面図 S=1:5

	設計年月日	調査	設計	工事名称	全葉	図面 No
	2022.03.31			令和３年２月１３日福島県沖地震による七ヶ浜健康スポーツセンター復旧工事		Ａ－５８
				図面名称：アルミ製建具詳細図-4（AW-30）　Scale S=図示(A1)		

窓番 数量	AW-12(2F)：24ヵ所 AW-30(3F)：37ヵ所 計　61ヵ所	金具						
		ハンドル B50107A						
		調整器　B50232C Aタイプ						
色仕上		トリガー						
溝幅		フロントカバー B50021						
ガラス押え		連動装置 B50092						
ガラス		レインバリア　B90369A						
		取付 場所		品質確認				照査
備考				水密	強度	安全性	施工性	

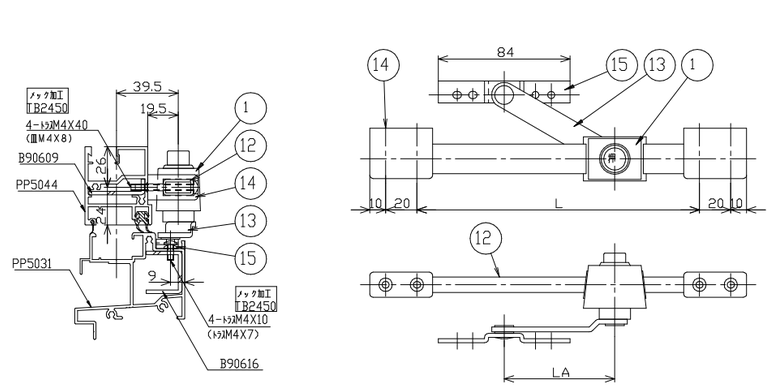


連動装置



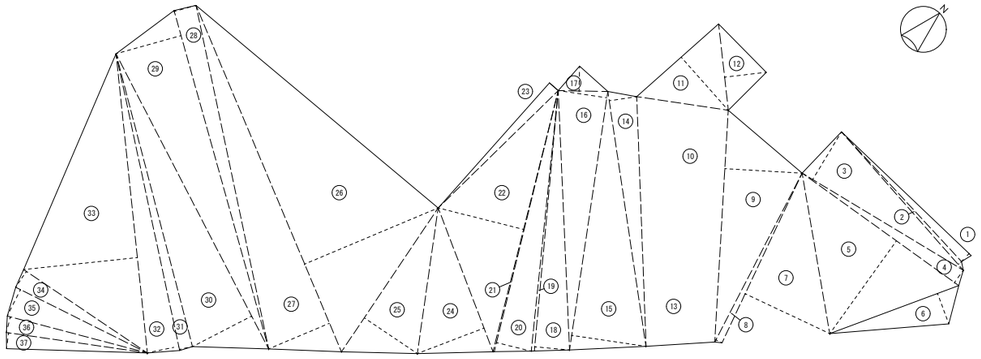
15	トリガースプリング
14	トリガーブロック
13	トリガーピン
12	トリガーベース
11	トリガーローラー
10	調整ネジ
9	ロッド
8	ピン
7	スライダー（B）
6	スライダー（A）
5	デッドボルト
4	ハウジング（D）
3	ハウジング（C）
2	ハウジング（B）
1	ハウジング（A）

調整器



16	組付ビス
15	枠ブラケット
14	脚子ブラケット
13	アーム
12	パイプ
11	ガイド
10	化粧リング
9	ワッシャ
8	押ボタン
7	スプリング
6	ストッパー
5	軸B
4	軸A
3	リング
2	本体台座
1	本体

	設計年月日 2022.03.31	調査	設計	工事名称	令和３年２月１３日福島県沖地震による七ヶ浜健康スポーツセンター復旧工事	全葉	図面　No
				図面名称	アルミ製建具詳細図-5（AW-12, AW-30）　Scale S=図示(A1)		Ａ－５９



敷地求積図　　S=1:800

敷地面積求積表　（単位：㎡）

①	46.77 x 2.99 = 139.8423	⑮	68.16 x 19.60 = 1335.9360	㉙	91.52 x 17.62 = 1612.5824
②	47.72 x 1.14 = 54.4008	⑯	68.16 x 12.84 = 875.1744	㉚	86.66 x 17.37 = 1505.2842
③	48.94 x 14.50 = 709.6300	⑰	12.94 x 6.46 = 83.5924	㉛	79.15 x 3.49 = 276.2335
④	50.29 x 3.95 = 198.6455	⑱	68.24 x 9.12 = 622.3488	㉜	78.46 x 8.35 = 655.1410
⑤	50.29 x 29.87 = 1502.1623	⑲	68.34 x 0.79 = 53.9886	㉝	76.98 x 30.15 = 2320.9470
⑥	35.90 x 8.45 = 303.3330	⑳	70.15 x 9.34 = 655.2010	㉞	38.93 x 4.98 = 193.8714
⑦	48.95 x 24.40 = 1194.3800	㉑	70.24 x 0.33 = 23.1792	㉟	38.40 x 7.77 = 298.3680
⑧	49.62 x 1.79 = 88.8198	㉒	70.24 x 22.97 = 1613.4128	㊱	37.79 x 4.20 = 158.7180
⑨	60.53 x 20.24 = 1225.1272	㉓	43.69 x 3.04 = 132.8176	㊲	37.18 x 4.18 = 155.4124
⑩	67.18 x 20.09 = 1484.0062	㉔	40.32 x 18.66 = 752.3712	合計	29449.8674
⑪	28.38 x 18.86 = 535.2468	㉕	45.22 x 16.71 = 755.6262	敷地面積	= 合計 x 1/2 = 14724.9337
⑫	22.67 x 10.95 = 248.2363	㉖	97.99 x 37.81 = 3705.0019	地積	= 14724.93
⑬	67.18 x 17.44 = 1171.6192	㉗	97.99 x 18.22 = 1785.3778		
⑭	67.22 x 7.23 = 486.0006	㉘	91.62 x 5.87 = 537.8094		

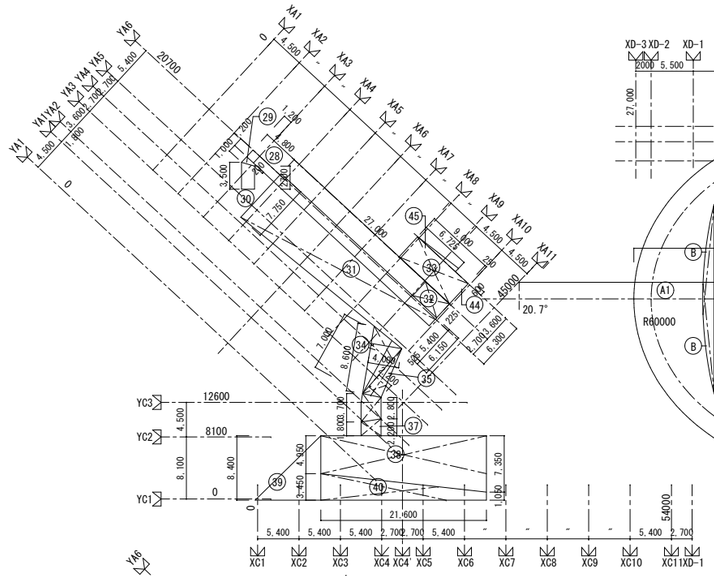
敷地面積求積表　（単位：㎡）

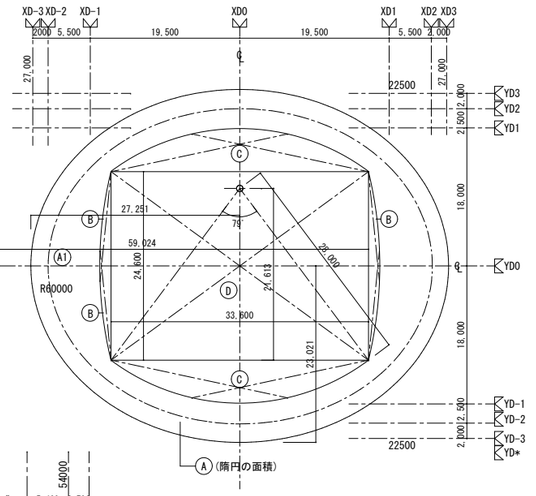
	1階床面積		2階床面積		3階床面積
①	(12.000 + 18.170) x 18.000 = 271.530	⑫	(12.000 + 19.873) x 23.400/2 = 372.921	㉘	1.200 x 4.800 = 6.00
②	(10.100)^2 x 3.14 x 83 ° /360° = (73.849)	⑬	(11.000)^2 x 3.14 x 83 ° /360° = (84.431)	㉙	(0.200 + 1.000) x 1.200/2 = 0.720
	13.300 x 7.650/2 = (50.870)		14.200 x 8.401/2 = (59.647)	㉚	(2.700 + 3.500) x 1.200/2 = 3.720
	73.849 - 50.870 = 22.970		84.431 - 59.647 = 24.784	㉛	(7.750 + 6.150) x 27.00/2 = 187.650
③	13.300 x 2.700/2 = 17.955	⑭	14.200 x 2.900/2 = 20.590	㉜	2.700 x 4.500 = 12.150
④	4.800 x 4.725/2 = 11.340	⑮	4.725 x 4.800/2 = 11.340	㉝	3.800 x 9.000 = 32.400
⑤	12.000 x 6.035/2 = 36.222	⑯	(12.825 + 13.120) x 4.725/2 = 61.306	㉞	8.600 x 4.100/2 = 17.630
⑥	6.075 x 18.450 = 112.083	⑰	(20.925 + 26.325) x 11.025/2 = 260.456	㉟	7.400 x 2.200/2 = 8.140
⑦	4.725 x 3.600 = 17.010	⑱	(10.930 + 26.475) x 29.850/2 = 558.568	㊱	(2.800 + 3.700) x 2.700/2 = 8.775
⑧	10.800 x 4.275 = 46.170	⑲	2.700 x 4.500 = 12.150	㊲	(1.800 + 2.200) x 2.700/2 = 5.400
⑨	10.800 x 8.400 = 90.720	⑳	3.600 x 9.000 = 32.400	㊳	(4.950 + 7.350) x 21.600/2 = 132.840
⑩	10.800 x 8.400 = 90.720	㉑	(2.350 + 3.350) x 2.700/2 = 7.695	㊴	8.100 x 8.400/2 = 34.020
⑪	5.400 x 8.400 = 45.360	㉒	(1.350 + 3.350) x 13.500/2 = 31.725	㊵	(1.050 + 3.450) x 21.600/2 = 48.800
㊷	0.250 x 2.400 = 0.600	㉓	54.000 x 8.400 = 453.600	㊶	3.140 x 27.521 x 23.021 = (1989.381) Ⓐ
		㉔	(32.400 + 34.400) x 2.000/2 = 66.800		(60.000)^2 x 3.14 x 20.7° /360° - 21.600 x59.024/2 = (12.521) Ⓑ
		㉕	6.300 x 2.300/2 = 7.245		(28.000)^2 x 3.14 x 79° /360° - 35.600 x21.615/2 = (153.308) Ⓒ
		㉖	3.140 x 25.000 x 20.500 = 1609.250		38.514 x 21.600 = (768.960) Ⓓ
		㉗	3.140 (27.000 x 22.500 - 25.00 x 20.500)		
			x 27/40 = 201.352		Ⓐ - { Ⓓ 2(Ⓑ + Ⓒ) } = 884.363
		㊸	0.250 x 2.400 = 0.600	㊹	0.250 x 2.400 = 0.600
		㊻	(28.100 x 4.000 + 4.500 x1.400 +4500x2.000)/2	㊺	6.725 x 0.600/2 = 2018
			+30.024 x1 = 93.874		
1階床面積	= (① + ② ・・・ + ⑪ + ⑫ = 762.68	2階床面積	= (⑫ + ⑬ ・・・ + ㉖ + ㊸ = 3,826.65	3階床面積	= (㉘ + ㉙ ・・・ + ㊶ + ㊹ + ㊺ = 1,385.23

延床面積　= 1階床面積 + 2階床面積 + 3階床面積　= 5,974.56

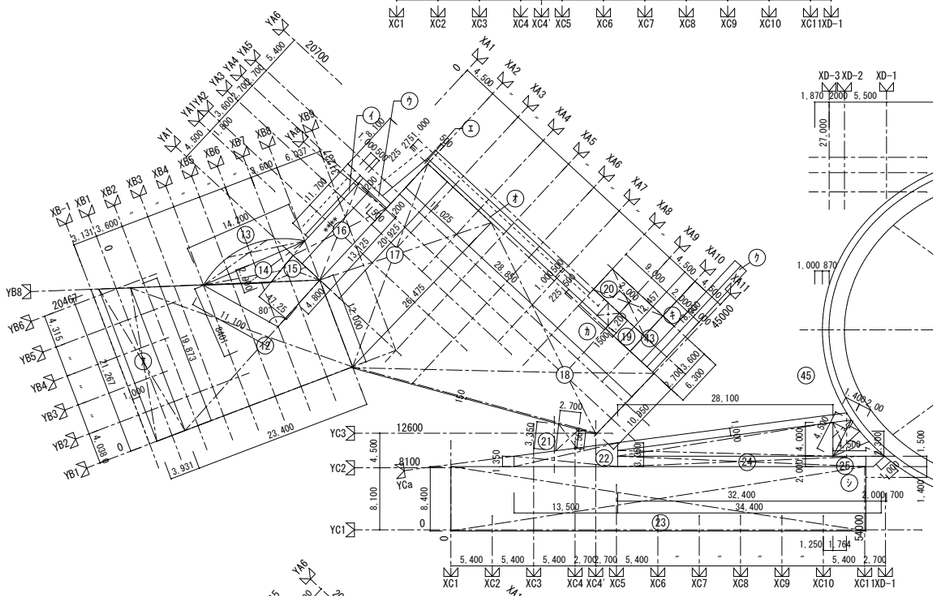
建築面積表　（単位：㎡）

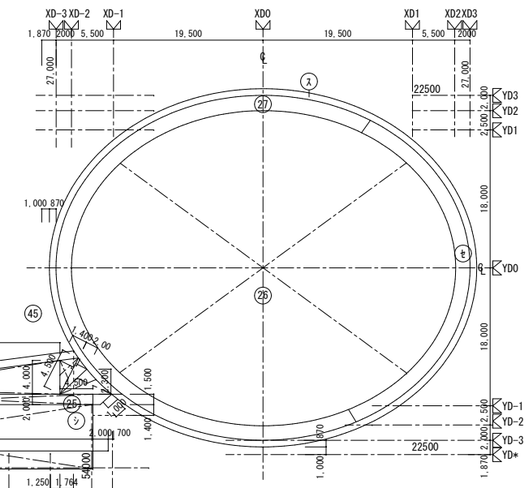
㋐	(19.873 + 21.267) x 3.391/2 = 80.861	㋙	2.000 x 18.500 = 37.000	○	
㋑	11.700 x 0.500 = 5.850	○		○	
㋒	(0.500 + 0.200) x 4.500/2 = 1.575	○			
㋓	(0.500 + 1.500) x 8.100/2 = 8.100	○			
㋔	31.500 x 0.500 = 15.750				
㋕	1.000 x 1.200 = 1.200	㋚	2.000 x 1.400/2 = 1.400		
㋖	2.000 x 13.500 = 27.000	㋛	3.14 x (24.691 x 29.391-22.500 x 27.000) = 389.584		
		㋜	3.14 x (27.00 x 22.500-22.500 x 22.500) x 7/40 = 96.947		
建築面積	= 2階床面積 + (㋐ + ・・・ + ㋖) = 3,828.654 + 665.267 = 4,491.921				



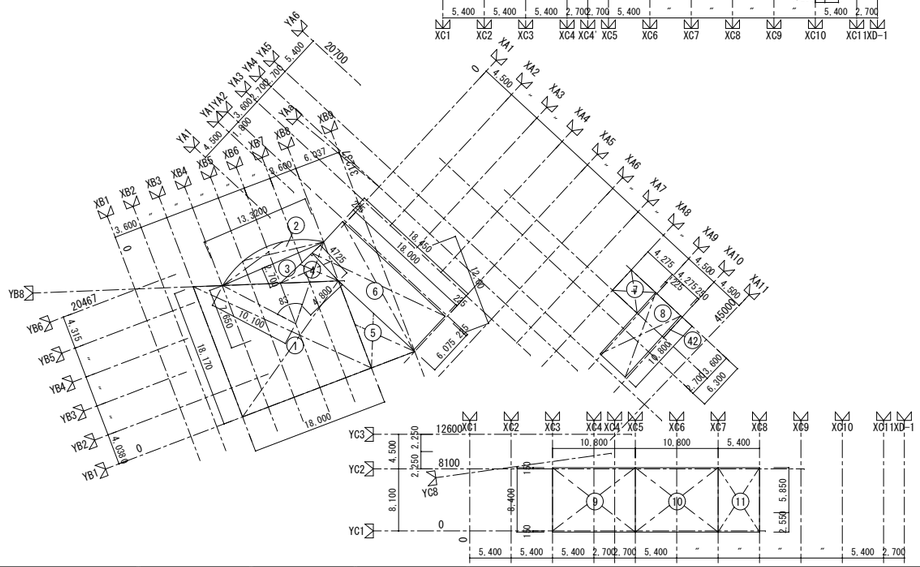


3 階



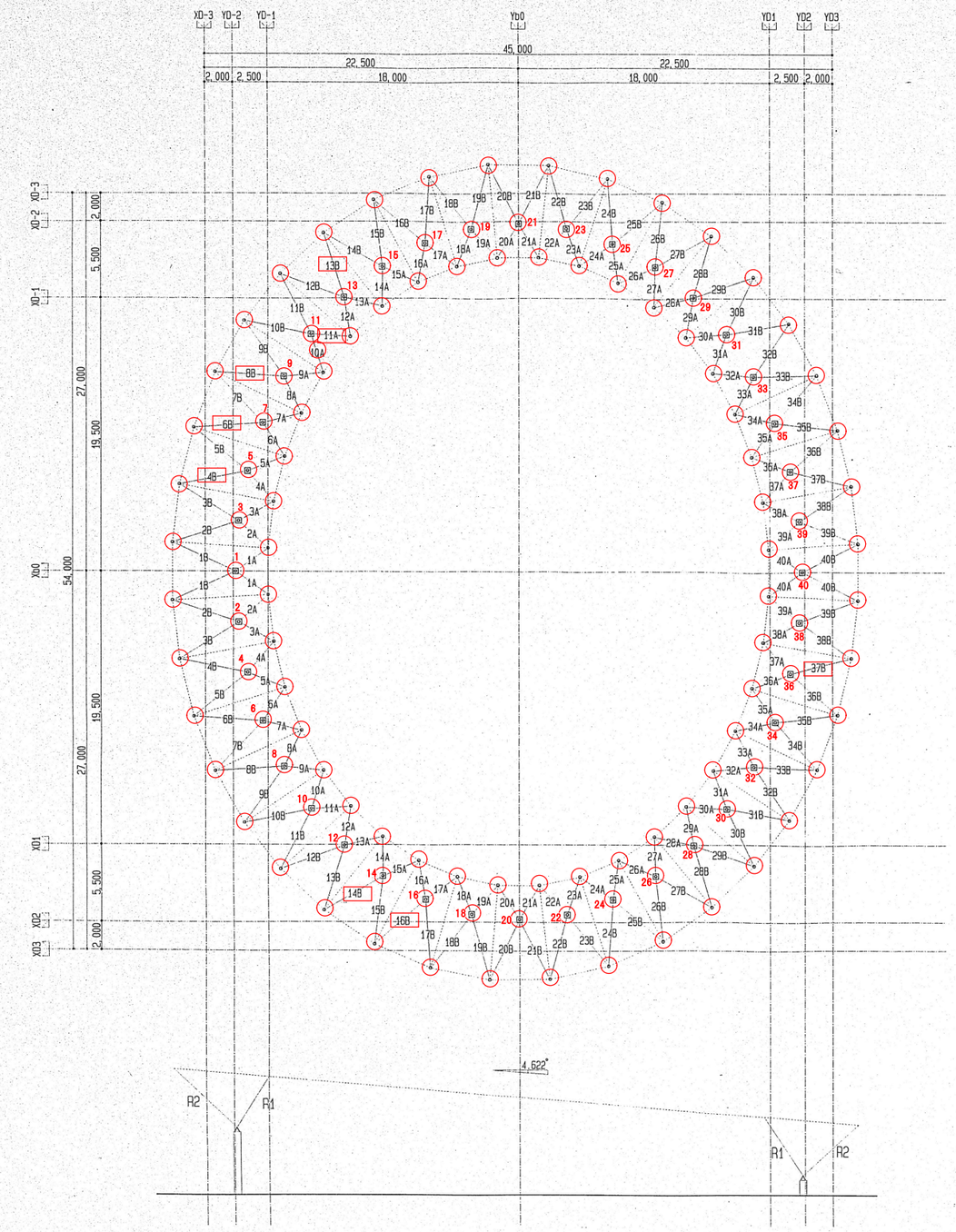


2 階

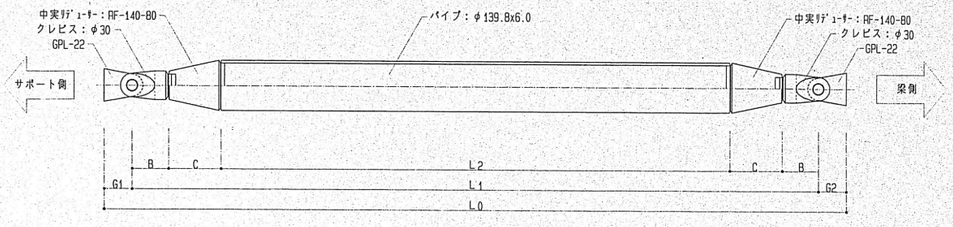


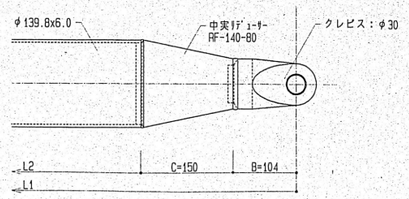
床面積求積図　・建築面積求積図　S=1:400

		設計年月日 2022.03.31	調査	設計	工事名称　令和３年２月１３日福島県沖地震による七ヶ浜健康スポーツセンター復旧工事 図面名称　求積図・求積表　Scale S=1:400(A1) S=1:800(A3)	全葉	図面 No A－６０



部材番号図　　S1:200





【 R１材（内側）部材リスト 】

	No.	L0	G1	G2	C	B	L1	L2
	1A	4295.9	375	150	150	104	3770.9	3262.9
	2A	4314.0	375	150	150	104	3789.0	3281.0
	3A	4281.9	375	150	150	104	3756.9	3248.9
	4A	4329.0	375	150	150	104	3804.0	3296.0
	5A	4267.1	375	150	150	104	3742.1	3234.1
	6A	4345.2	375	150	150	104	3820.2	3312.2
	7A	4253.6	375	150	150	104	3728.6	3220.6
	8A	4362.4	375	150	150	104	3837.4	3329.4
	9A	4242.5	375	150	150	104	3717.5	3209.5
	10A	4381.3	375	150	150	104	3856.3	3348.3
R4/03/16	11A	4235.2	375	150	150	104	3710.2	3202.2
	12A	4402.9	375	150	150	104	3877.9	3369.9
	13A	4233.7	375	150	150	104	3708.7	3200.7
	14A	4428.4	375	150	150	104	3903.4	3395.4
	15A	4240.0	375	150	150	104	3715.0	3207.0
	16A	4458.3	375	150	150	104	3933.3	3425.3
	17A	4255.5	375	150	150	104	3730.5	3222.5
	18A	4493.4	375	150	150	104	3968.4	3460.4
	19A	4280.7	375	150	150	104	3755.7	3247.7
	20A	4532.0	375	150	150	104	4007.0	3499.0
	21A	4315.5	375	150	150	104	3790.5	3282.5
	22A	4569.5	375	150	150	104	4044.5	3536.5
	23A	4356.0	375	150	150	104	3831.0	3323.0
	24A	4604.1	375	150	150	104	4079.1	3571.1
	25A	4400.5	375	150	150	104	3875.5	3367.5
	26A	4632.4	375	150	150	104	4107.4	3599.4
	27A	4446.1	375	150	150	104	3921.1	3413.1
	28A	4653.4	375	150	150	104	4128.4	3620.4
	29A	4490.0	375	150	150	104	3965.0	3457.0
	30A	4667.9	375	150	150	104	4142.9	3634.9
	31A	4530.7	375	150	150	104	4005.7	3497.7
	32A	4676.7	375	150	150	104	4151.7	3643.7
	33A	4567.1	375	150	150	104	4042.1	3534.1
	34A	4680.2	375	150	150	104	4155.2	3647.2
	35A	4598.6	375	150	150	104	4073.6	3565.6
	36A	4679.0	375	150	150	104	4154.0	3646.0
	37A	4625.1	375	150	150	104	4100.1	3592.1
	38A	4672.9	375	150	150	104	4147.9	3639.9
	39A	4646.9	375	150	150	104	4121.9	3613.9
	40A	4660.6	375	150	150	104	4135.6	3627.6

【 R２材（外側）部材リスト 】

	No.	L0	G1	G2	C	B	L1	L2
	1B	6546.1	375	300	150	104	5871.1	5363.1
	2B	6559.1	375	300	150	104	5884.1	5376.1
	3B	6527.9	375	300	150	104	5852.9	5344.9
R4/03/16	4B	6561.3	375	300	150	104	5886.3	5378.3
	5B	6500.1	375	300	150	104	5825.1	5317.1
R4/03/16	6B	6555.6	375	300	150	104	5880.6	5372.6
	7B	6463.5	375	300	150	104	5788.5	5280.5
R3/02/13	8B	6542.0	375	300	150	104	5867.0	5359.0
	9B	6418.5	375	300	150	104	5743.5	5235.5
	10B	6519.7	375	300	150	104	5844.7	5336.7
	11B	6364.9	375	300	150	104	5689.9	5181.9
	12B	6488.7	375	300	150	104	5813.7	5305.7
R4/03/16	13B	6303.2	375	300	150	104	5628.2	5120.2
R4/03/16	14B	6447.7	375	300	150	104	5772.7	5264.7
	15B	6234.1	375	300	150	104	5559.1	5051.1
R4/03/16	16B	6396.0	375	300	150	104	5721.0	5213.0
	17B	6159.2	375	300	150	104	5484.2	4976.2
	18B	6333.0	375	300	150	104	5658.0	5150.0
	19B	6080.9	375	300	150	104	5405.9	4897.9
	20B	6260.6	375	300	150	104	5585.6	5077.6
	21B	6004.4	375	300	150	104	5329.4	4821.4
	22B	6180.7	375	300	150	104	5505.7	4997.7
	23B	5932.4	375	300	150	104	5257.4	4749.4
	24B	6101.3	375	300	150	104	5426.3	4918.3
	25B	5870.7	375	300	150	104	5195.7	4687.7
	26B	6027.2	375	300	150	104	5352.2	4844.2
	27B	5821.2	375	300	150	104	5146.2	4638.2
	28B	5961.5	375	300	150	104	5286.5	4778.5
	29B	5784.3	375	300	150	104	5109.3	4601.3
	30B	5905.9	375	300	150	104	5230.9	4722.9
	31B	5758.8	375	300	150	104	5083.8	4575.8
	32B	5860.2	375	300	150	104	5185.2	4677.2
	33B	5743.5	375	300	150	104	5068.5	4560.5
	34B	5823.3	375	300	150	104	5148.3	4640.3
	35B	5736.3	375	300	150	104	5061.3	4553.3
	36B	5793.8	375	300	150	104	5118.8	4610.8
R4/03/16	37B	5736.5	375	300	150	104	5061.5	4553.5
	38B	5770.8	375	300	150	104	5095.8	4587.8
	39B	5743.1	375	300	150	104	5068.1	4560.1
	40B	5752.3	375	300	150	104	5077.3	4569.3

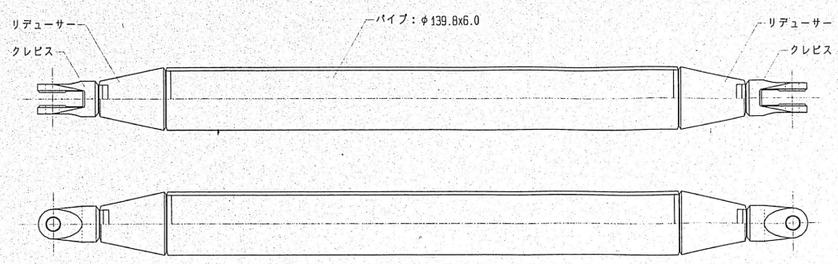
改修事項

1. ○印の支柱R1、R2、SP1の柱頭・柱脚のクレビス接合部及び躯体側G.PLについて、G.PL/クレビス/ピン/ワッシャー/ロックボルトの劣化・変形・緩み・抜落ち等の現況点検を行う。
2. ○印の支柱R1、R2、SP1の柱頭・柱脚のクレビス接合部及び躯体側G.PLについて、G.PLとクレビスのサビ・腐食の除去、　変形修正を行う。
3. ○印の支柱R1、R2、SP1の柱頭・柱脚のクレビス接合部について、ピン/ワッシャー/ロックボルトの一式交換を行う。
4. ○印の支柱R1、R2、SP1の柱頭・柱脚のクレビス接合部について、ピンの脱落防止のためワッシャー全周の現場溶接を行う。
5. □印の脱落・座屈した支柱は、変形の修正かパイプ材の交換をして再セットする。

		設計年月日	調査	設計	工事名称	全葉	図面 No
		2022.03.26			令和３年２月１３日福島県沖地震による七ヶ浜健康スポーツセンター復旧工事		S−01
					図面名称：D棟　クレビス型トラス部改修キープラン　Scale：S=1:200(A1) S=1:400(A3)		

クレビス型特殊ＫＴトラス材標準図

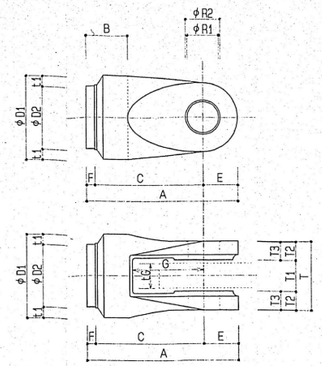
※製品は特注品。改修特記仕様書-3参照のこと



【使用材料】

使用部品名	仕様	ＪＩＳ規格番号	材　料	備　考
パイプ	構造用	ＪＩＳ Ｇ ３４４４	ＳＴＫ４００	
リデューサー	構造用	ＪＩＳ Ｇ ３２０１	ＳＦ４９０（ＳＭ４９０相当）	
クレビス		ＪＩＳ Ｇ ３２０１	ＳＦ４９０（ＳＭ４９０相当）	
ピ　ン	9.5T	ＪＩＳ Ｇ ４１０５	ＳＣＭ４３５	
ワッシャー		ＪＩＳ Ｇ ３１０１	ＳＳ４００	
ボルト	4T	ＪＩＳ Ｂ １０５１		

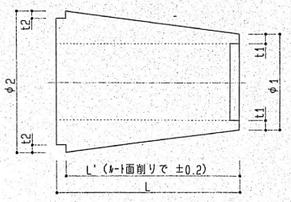
クレビス



材質
ＳＭ４９０相当
鍛造品（ＳＦ４９０）

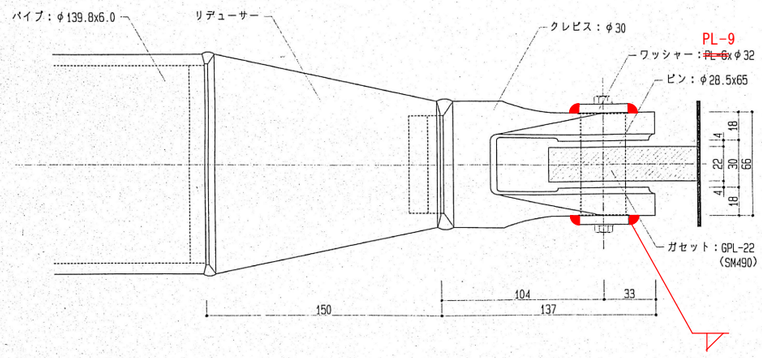
呼び	30
穴径	φ30
ピン径	φ28.5
φＲ１	30
φＲ２	33
A	145
B	40
C	104
φＤ１	80
φＤ２	60
E	33
F	8
G	約68
T	66
Ｔ１	30
Ｔ２	18
Ｔ３	17.5
ｔ１	10
ｔＧ	28
部品番号	Cn-3-30

リデューサー



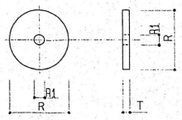
材質
中実材（丸棒切断）
ＳＭ４９０相当（ＳＦ４９０）

呼び	30
穴径	φ30
材　質	SM490
タイプ	中実
φ１	80
φ２	114
ｔ１	10
L	150
L'	140
パイプ	φ114.3
部品番号	RF-114-80



取付詳細図　Ｓ１：２

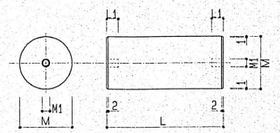
ワッシャー



材質
ＳＳ４００

呼び	30
穴径	φ30
材　質	SS400
R	φ32.0
R1	φ 7.5
T	~~6.0~~ 9.0
重　量	0.0379
部品番号	P-30

ピ　ン



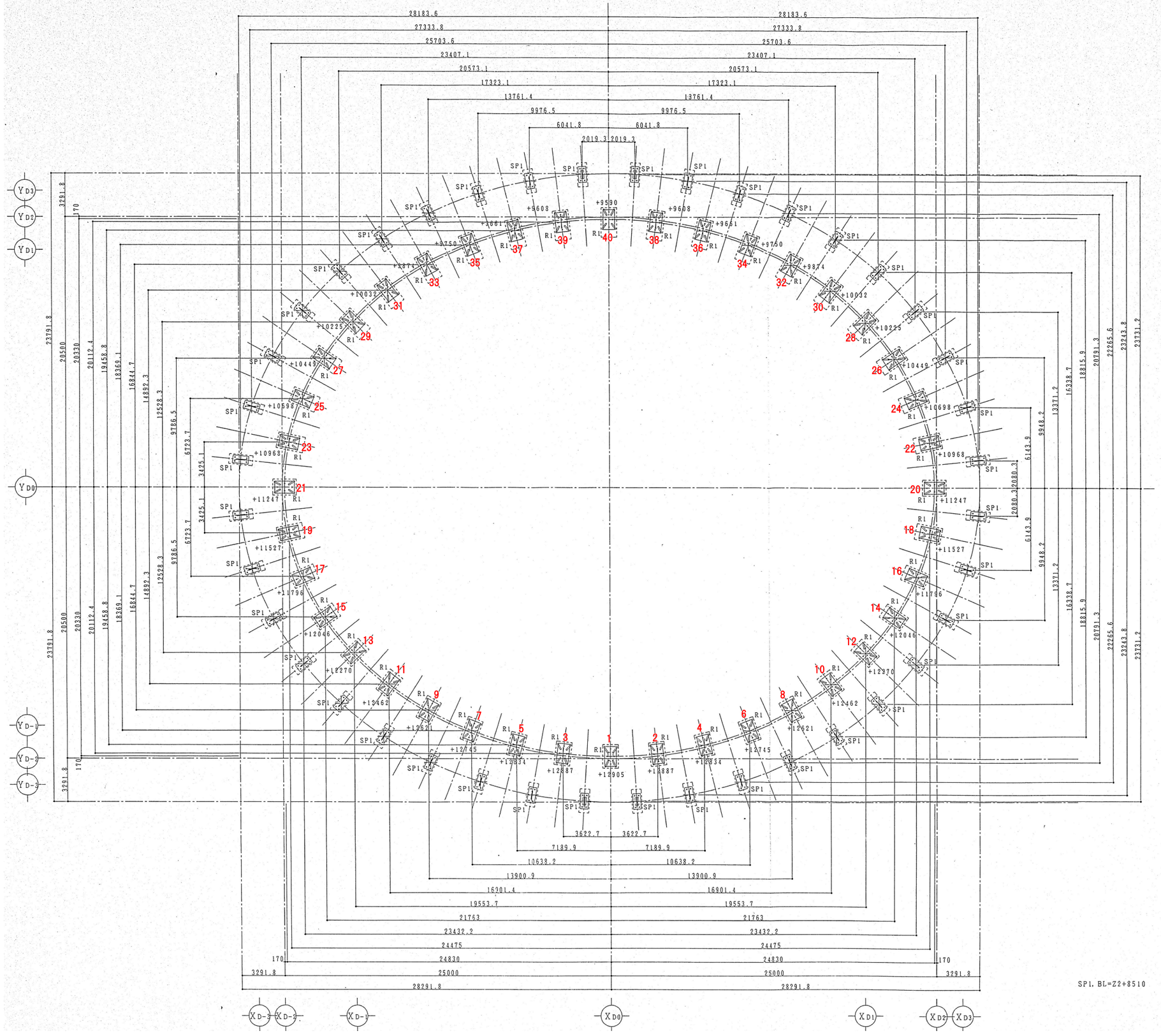
材質
ＳＣＭ４３５（熱処理材）

呼び	30
穴径	φ30
材　質	SCM435
ピン径 M	φ28.5
ネジ径 M1	M６
L	65.0
L1	10.0
重　量	0.326
部品番号	P-30

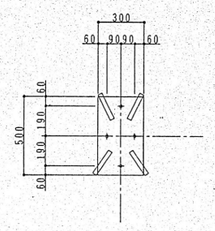
改修事項

1. 支柱R1、R2、SP1の柱頭・柱脚のクレビス接合部及び躯体側G.PLについて、G.PL/クレビス/ピン/ワッシャー/ロックボルトの劣化・変形・緩み・抜落ち等の現況点検を行う。
2. 支柱R1、R2、SP1の柱頭・柱脚のクレビス接合部及び躯体側G.PLについて、G.PLとクレビスのサビ・腐食の除去、　変形修正を行う。
3. 支柱R1、R2、SP1の柱頭・柱脚のクレビス接合部について、ピン/ワッシャー/ロックボルトの一式交換を行う。
4. 支柱R1、R2、SP1の柱頭・柱脚のクレビス接合部について、ピンの脱落防止のためワッシャー全周の現場溶接を行う。
5. 脱落・座屈した支柱は、変形の修正かパイプ材の交換をして再セットする。

		設計年月日	調査	設計	工事名称	全葉	図面 No
					令和３年２月１３日福島県沖地震による七ヶ浜健康スポーツセンター施設被害調査及び復旧工事		
					図面名称 D棟　クレビス型トラス材標準図 / Scale S=1:2(A1) S=1:4(A3)		S−02



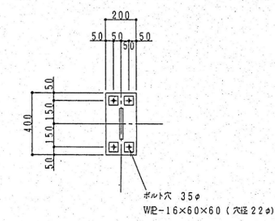
R1	40 台	R1, R2



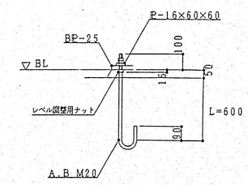
R1, R2 材及びベースプレートは、別途とする。
(川鉄建築図面による)

BASE	BP-25×300×500	部 材	P-139.8φ×6.0
A.BOLT	4-M20 L=600 DN		P-139.8φ×6.0
備 考			

SP1	40 台	SP1



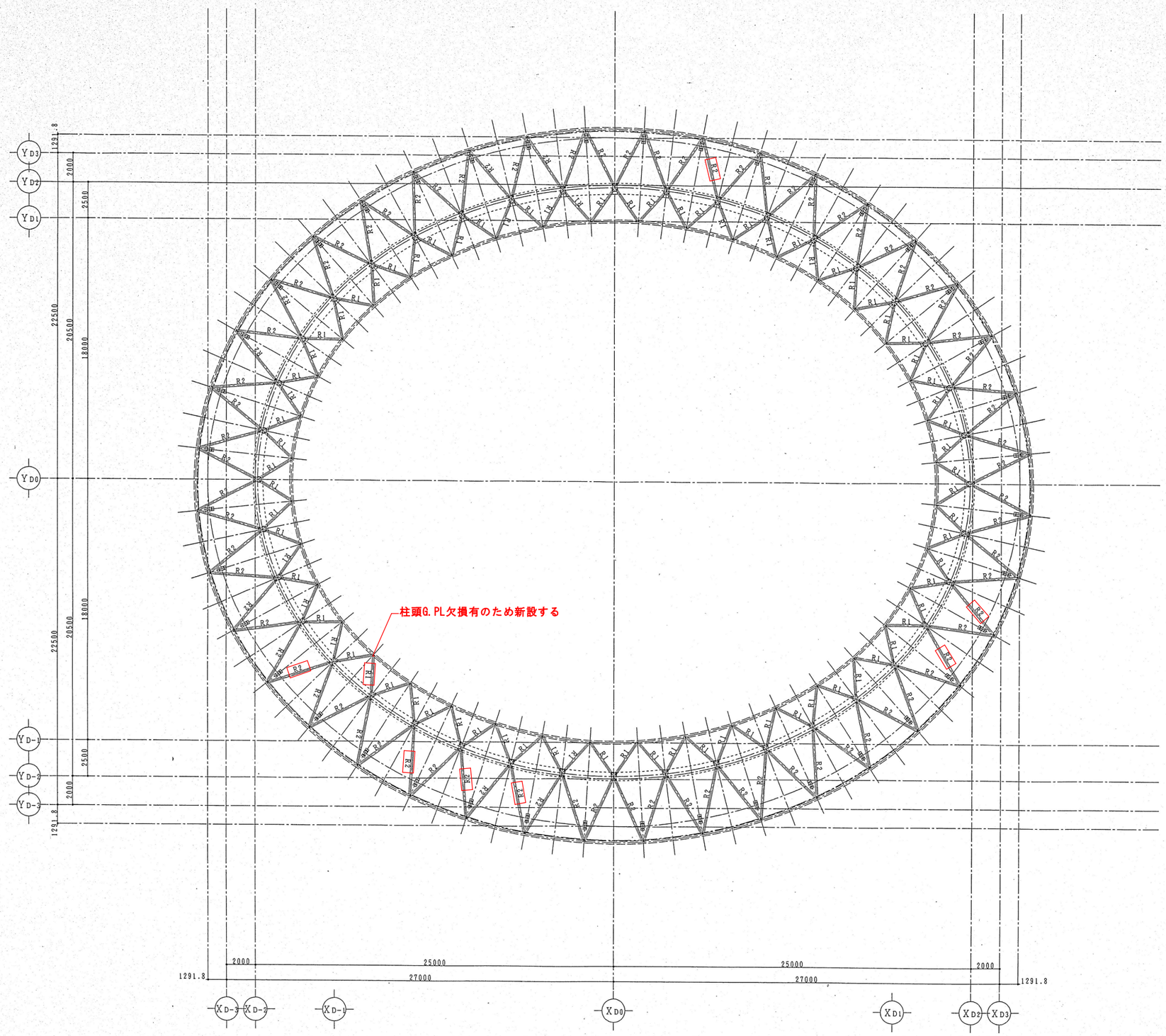
BASE	BP-25×200×400	部 材	H-150×150×7×10
A.BOLT	4-M20 L=600 DN		
備 考			



	設計年月日 2022.03.26	調査	設計	工事名称	令和３年２月１３日福島県沖地震による七ヶ浜健康スポーツセンター復旧工事	全葉	図面 No
				図面名称	D棟 レイキング柱アンカー番号位置図 Scale S=1:150(A1) S=1:300(A3)		S-03

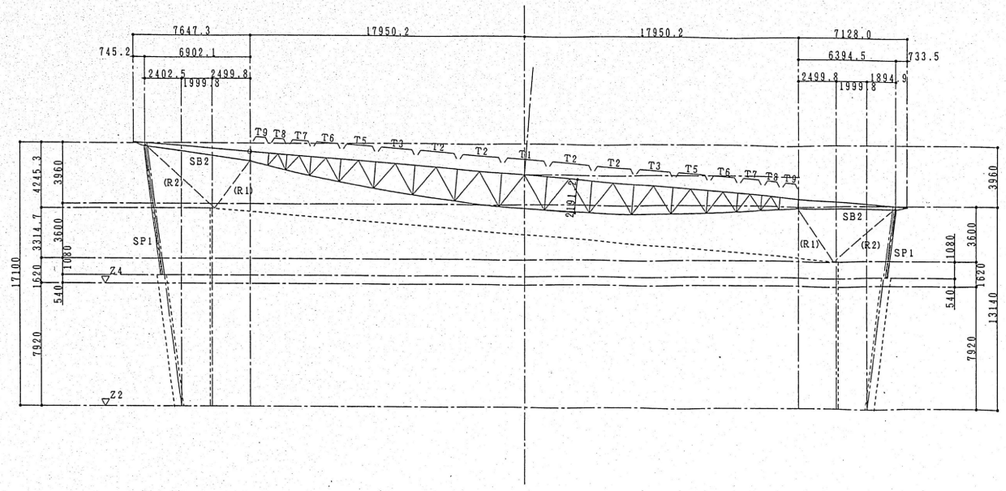
鉄骨部材リスト表

符号	位置	部材	継手マーク	備考
SP1	外郭支柱	H-150×150×7×10	J12	
R1	内郭 レイキング柱	P-139.8φ×6.0	J13	別途工事
R2	外郭 レイキング柱	P-139.8φ×6.0	J12	別途工事

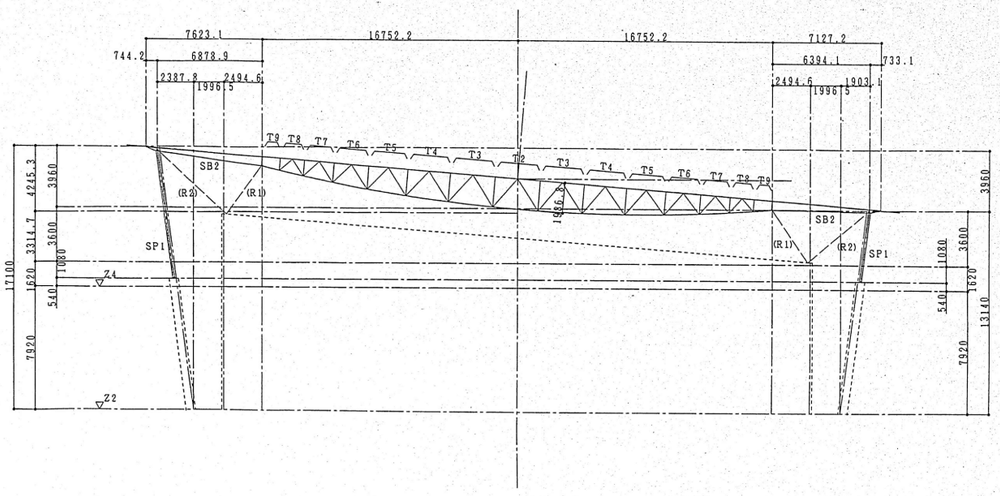


＊ □印の脱落・座屈した支柱は、変形の修正かパイプ材の交換をして再セットする。

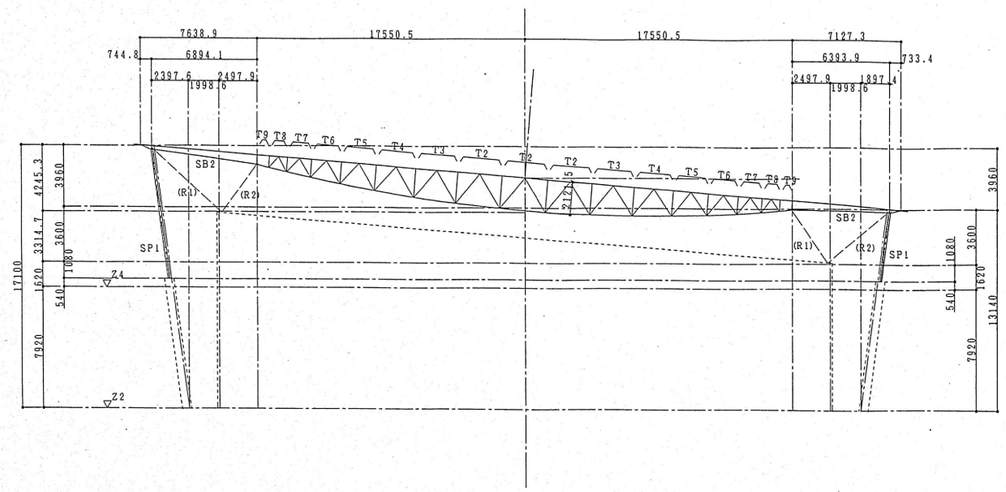
		設計年月日	調査	設計	工事名称	全葉	図面 No
		2022.03.26			令和３年２月１３日福島県沖地震による七ヶ浜健康スポーツセンター復旧工事		S−04
					図面名称 D棟 Z4柱頭伏図 Scale S=1:150(A1) S=1:300(A3)		



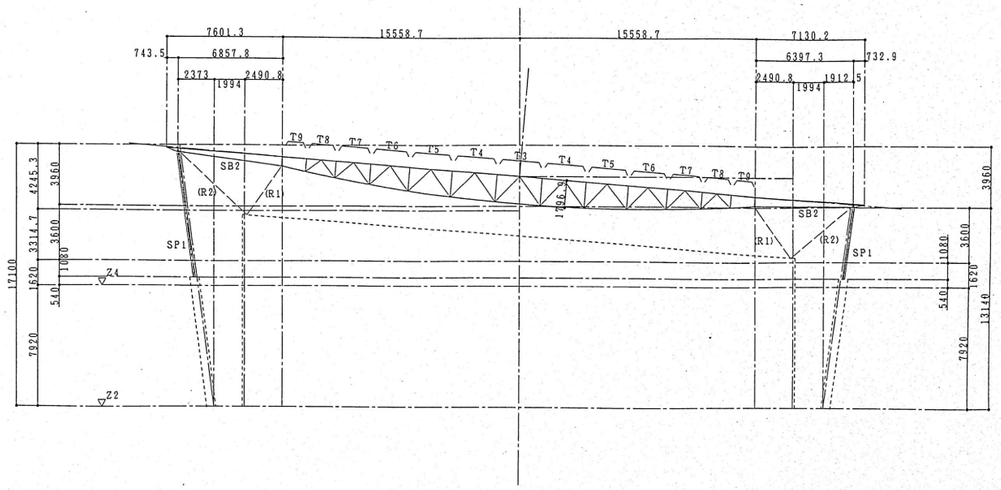
DS8通　軸組図



DS6通　軸組図

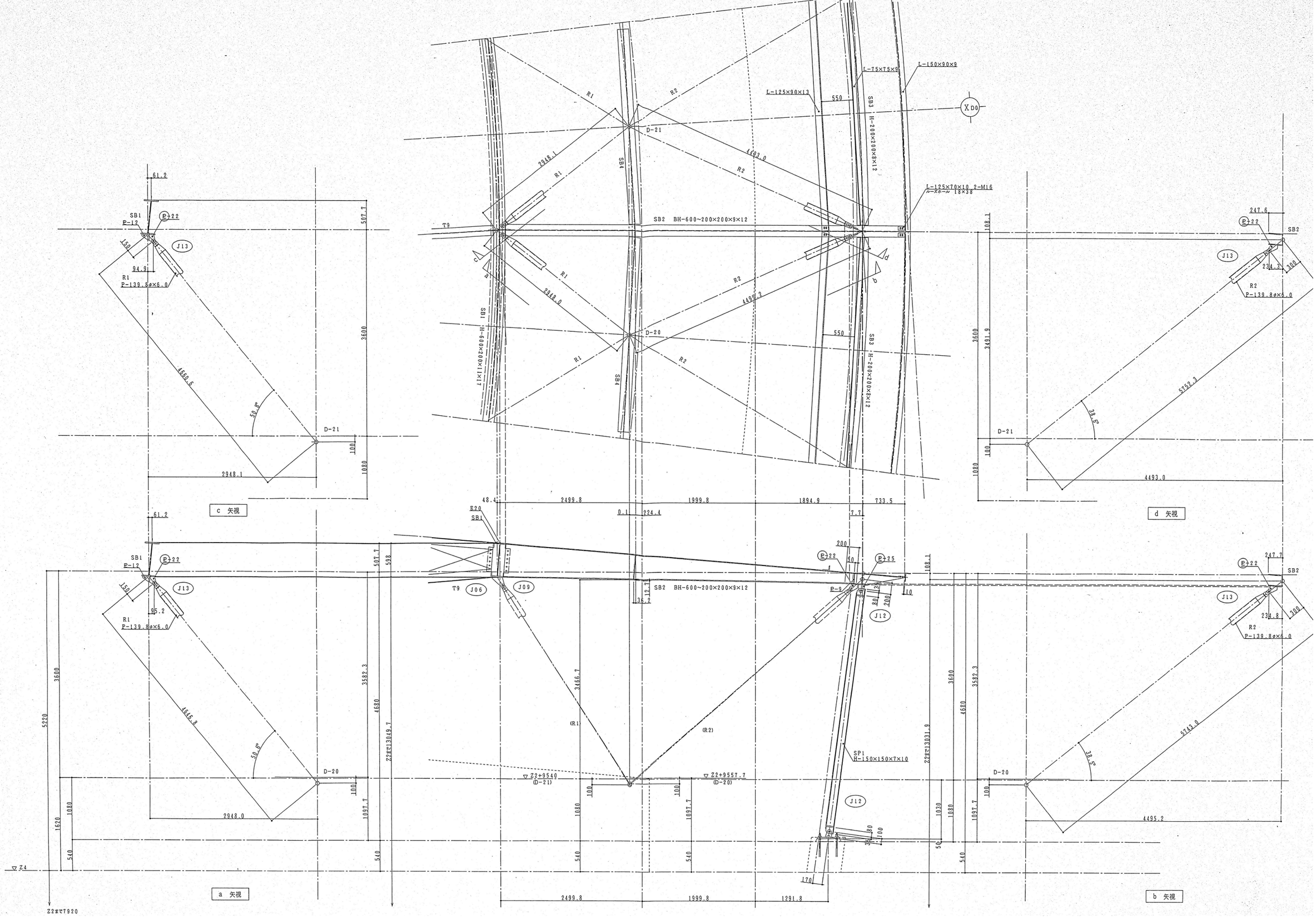


DS7通　軸組図

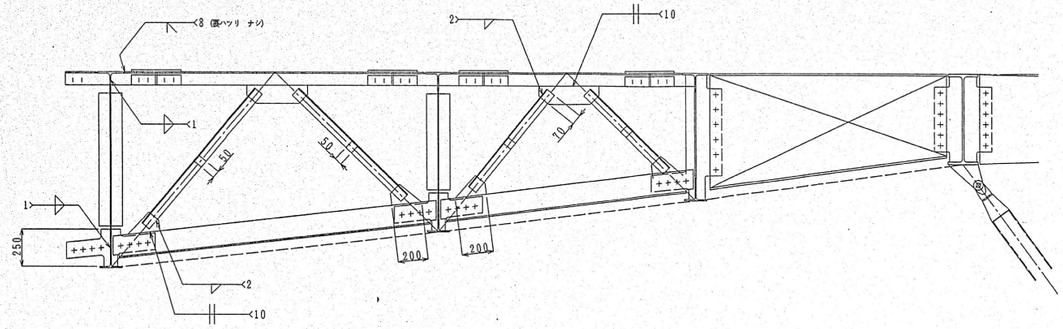


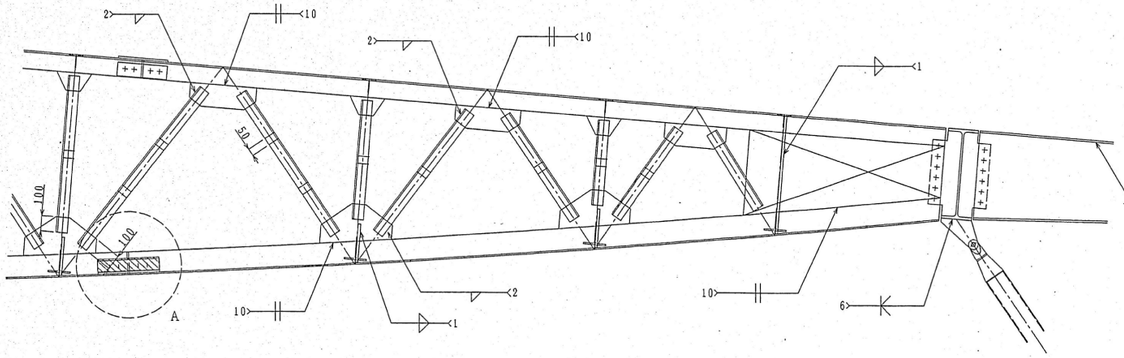
DS5通　軸組図

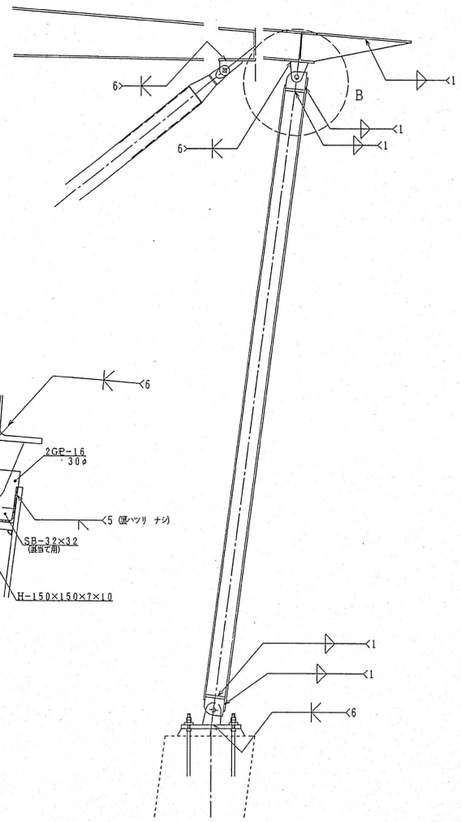
		設計年月日	調査	設計	工事名称	全葉	図面No
		2022.03.26			令和３年２月１３日福島県沖地震による七ヶ浜健康スポーツセンター復旧工事		S−05
					図面名称 D棟　軸組図(参考) Scale S=1:200(A1) S=1:400(A3)		

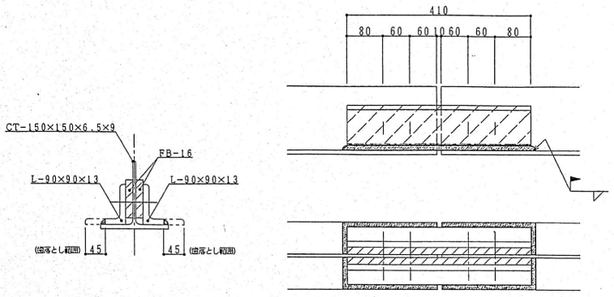


		設計年月日	調査	設計	工事名称	全葉	図面No
		2022.03.26			令和3年2月13日福島県沖地震による七ヶ浜健康スポーツセンター復旧工事		S−06
					図面名称 D棟 鉄骨詳細図(参考) Scale S=1:30(A1) S=1:60(A3)		

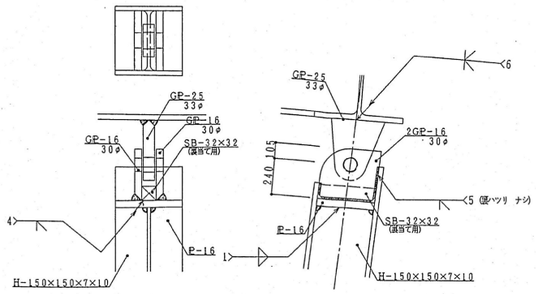




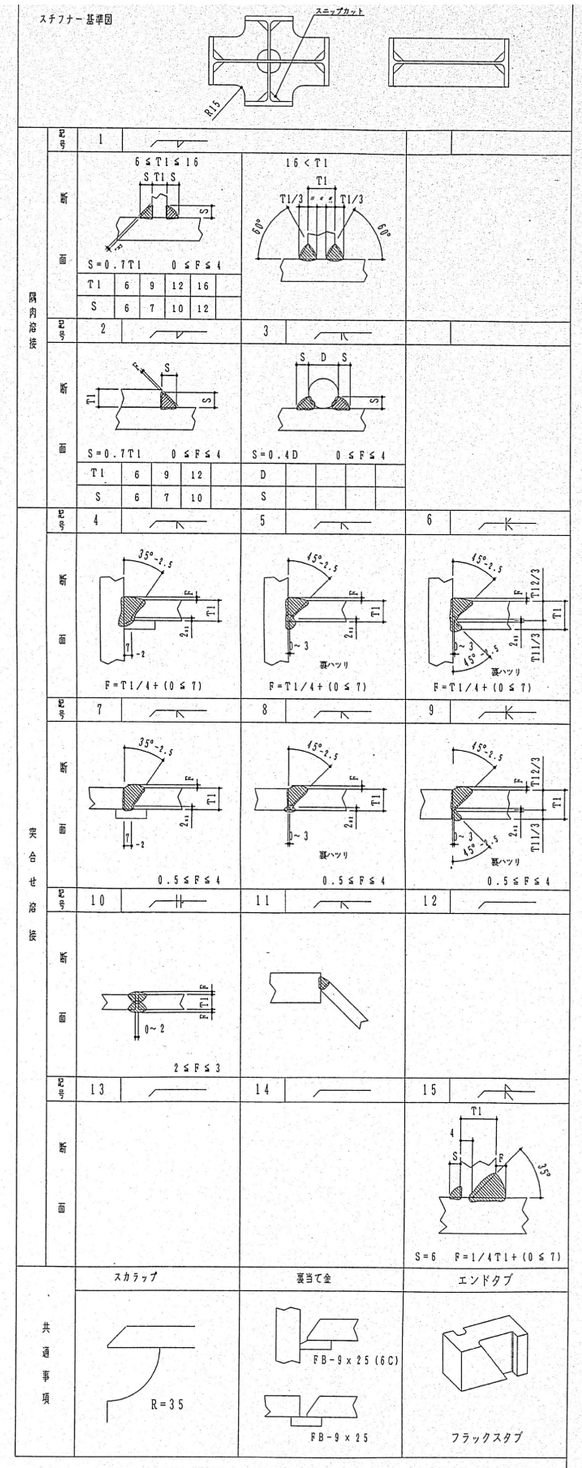




A 詳細



B 詳細



		設計年月日 2022.03.26	調査	設計	工事名称 令和３年２月１３日福島県沖地震による七ヶ浜健康スポーツセンター復旧工事	全葉	図面 No S-07
					図面名称 D棟 溶接要領図(参考) Scale S=1:20(A1) S=1:40(A3)		

電気設備改修工事特記仕様書

Ⅰ．工事概要

1．工事名　令和３年２月１３日福島県沖地震による七ヶ浜健康スポーツセンター施設被害調査及び復旧工事

2．工事場所　宮城県宮城郡七ヶ浜町吉田浜字野山5-1

3．建物概要

建物名称	構造	階数	延べ面積(㎡)	建築面積(㎡)	消防法施行令別表第一による用途区分	備考
建築図による	建築図による	建築図による	建築図による	建築図による	建築図による	建築図による

4．工事種目（◎印のついたものを適用する。）

工事種目＼建物別及び屋外	既存	改修後	工事種別	屋外	備考
◎照明設備	撤去	改修一式			
◎動力設備	撤去	改修一式			
・電熱設備					
・直保護設備					
※受電設備					
・電力貯蔵設備					
・発電設備					
・構内情報通信網設備					
・構内交換設備					
・情報表示設備					
・映像・音響設備					
◎拡声設備	撤去	改修一式			
・誘導支援設備					
・テレビ共同受信設備					
・監視カメラ設備					
・駐車場管制設備					
・防犯・入退室管理設備					
・自動火災報知設備					
・中央監視制御設備					
・構内配電線路					外灯設備を含む
・構内通信線路					
・テレビ電波障害防除					
・その他工事	別紙仕様書による				

5．指定部分　※ なし　・ あり（工　期：令和　年　月　日）（対象部分：　）

6．概成工期　※ なし　・ あり（工事工期より　日前）

Ⅱ．特記仕様書

1．一般事項

（1）特記仕様書及び図面に記載されていない事項は，すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編，平成３１年版），公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編，平成３１年版），国土交通省大臣官房官庁営繕部設備・環境課監修の「公共建築設備工事標準図（電気設備工事編，平成３１年版）」による。

（2）機械設備工事及び建築工事を本工事に含む場合，機械設備工事及び建築工事はそれぞれの工事特記仕様書を適用する。なお，機械設備工事の特記仕様書は（　／　）図，建築工事の特記仕様書は（　／　）図による。

2．特記事項

（1）項目は番号に・印の付いたものを適用する。

（2）特記事項は，・印の付いたものを適用する。◎印の付かない場合は，※印の付いたものを適用する。

・印と※印の付いた場合は，共に適用するものとする。

章	項	目	特記事項
一般共通事項	①	適用基準等	※　建設工事執行規則（昭和３９年３月宮城県規則第９号） ※　宮城県建設工事元請・下請関係適正化要綱（最新版） ※　営繕工事写真撮影基準（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修，平成３１年版） ※　宮城県建築工事写真撮影要領（宮城県土木部制定，平成１２年版）及び工事写真撮影ガイドブック<電気設備工事編>（国土交通省大臣官房官営繕部監修，平成３０年版）
	②	機材等	※　本工事に使用する機材等は，設計図書に規定するもの，または仕様書と同等のものとする。ただし，これらと同等のものとする場合は，監督職員の承諾を受けるものとする。 ※　本工事に使用する材料の選定及び施工に当たっては，「県有施設のシックハウスマニュアル」に留意し，揮発性有機化合物の放散による健康への影響に配慮する。 ※　使用する材料のホルムアルデヒド区分は，日本産業規格及び日本農林規格のＦ☆☆☆☆規格品，壁装材料協会規格適合品または同等品，化学物質等製品安全データシート等にホルマリン不使用が明示されたものとする。
	③	機材の品質・性能証明	本工事着手前に機器製作図を提出し，監督職員の承諾を受ける。 また，「建築材料・設備機材等品質性能評価事業」（(一社)公共建築協会）によって所要の品質・性能を有することの評価を受けた材料・機材等を使用する場合は，評価書の写しを監督職員に提出するものとする。
	④	保険	本工事着手前に工事目的物及び工事材料等を，本工事完了後引渡し期日まで火災保険及びその他の保険に付し，写しを監督職員に提出する。
	⑤	雇用	本工事は，公共職業安定所の紹介する者の雇い入れに努める。
	⑥	施工計画書・施工図等	工事の着手に先立ち，工事の総合的な計画をまとめた施工計画書を作成し，監督職員に提出する。 工事の施工に先立ち，工種別施工要領書及び施工図等を作成し，監督職員の承諾を受ける。
	⑦	手続き	工事の着手，施工及び完成において，官公署その他関係機関への必要な諸手続き等は監督職員と協議の上，受注者が運滞なく処理する。なお，当該手続きに係る費用は受注者の負担とする。
	⑧	施工条件	別添の施工条件明示書による。
	⑨	工事の一時中止	工事請負契約書第20条の規定により工事の一時中止の通知を受けた場合は，工事の続行に備え中止期間中における工事現場の管理計画書を提出すること。本計画書には，中止時点における工事の出来高，搬入材料及び建設機械器具等の調書，中止期間中の体制及び工事現場の維持管理に関することを記載すること。
	⑩	工事実績情報の登録（CORINS）	請負額が500万円以上の場合は，工事実績情報を登録する。 受注時，変更時及び完成時にあらかじめ監督職員の確認を受け，登録手続きを行い，工事カルテの受領証を，監督職員に提出のこと。
	⑪	事故報告	施工中に事故が発生した場合は，直ちに監督職員に通報するとともに，「事故報告書」を別に指示する期日までに監督職員に提出する。
	⑫	電気保安技術者	電気工作物に係る工事においては，電気保安技術者を置くものとする。
	⑬	工事用電力，水，他	本工事に必要な工事用電力，水などの費用は引渡まですべて受注者の負担とする。
	⑭	工事用仮設物	構内につくることが　※ できる　・ できない
	⑮	監督職員事務所	※ 設けない　・ 設ける（　号・・・建築工事）
	⑯	足場，さん橋類	◎ 別契約の関係請負者が設置したものは，無償で使用できる。　・ 本工事で設置する。 なお，枠組足場を設ける場合は，「手すり先行工法等に関するガイドライン」（厚生労働省平成21年4月改訂）によるものとし，二段手すり及び幅木の機能を有するものでなければならない。
	⑰	工事表示板	※ 設置する　設置枚数　1枚 営繕工事における工事及びコスト表示要領(平成14年2月6日宮城県土木部営繕課・設備室制定)により設置する。 ・ 設置しない
	⑱	工事用通路	※ 指定しない　・指定する（図示）
	⑲	発生材の処理等	発生材の処理 ・ 引渡しを要するもの（　） ・ 特別管理産業廃棄物（・ ＰＣＢ使用機器　・　） 受入施設名・所在地： ・ 現場において再利用を図るもの（　） ・ 再資源化を図るもの 種類 ｜ 受入施設名 ｜ 所在地（km） ｜ 備考 ◎ コンクリート塊 ｜ (株)東洋環境開発 東理リサイクルセンター ｜ 黒川郡大和町鶴巣山田字宮田23-1（15．3ｋｍ） ｜ DID区間あり ・ その他安定型廃棄物（　） 受入施設名・所在地： ・ その他管理型廃棄物（　） 受入施設名・所在地： ＰＣＢを含有する機器等については飛散，流出がないように適切な場所に保管し，工事完了後監督職員に引き渡す。
	20.	残土処理	※ 構内指示の場所に敷き均し　・ 構内指示の場所に堆積　・ 構外搬出
	21.	耐震施工	耐震施工における設備機器の固定は，「建築設備耐震設計・施工指針 2014年版」((独)建築研究所監修)による。本工事の施設分類は（　・ 特定の施設　・ 一般の施設　）で地域係数は１とし，設計用標準水平震度は下表のとおりとする。なお，（ ）内の数値は防震支持の機器の場合に適用する。 設計用標準震度 ｜ 特定の施設 重要機器 ｜ 特定の施設 一般機器 ｜ 一般の施設 重要機器 ｜ 一般の施設 一般機器 設置場所 上層階，屋上及び塔屋 ｜ 2.0 (2.0) ｜ 1.5 (2.0) ｜ 1.5 (2.0) ｜ 1.0 (1.5) 中層階 ｜ 1.5 (1.5) ｜ 1.0 (1.5) ｜ 1.0 (1.5) ｜ 0.6 (1.0) 一階及び地下層 ｜ 1.0 (1.0) ｜ 0.6 (1.0) ｜ 0.6 (1.0) ｜ 0.4 (0.6) 重要機器類 ・ 配電盤　・ 発電装置　・ ＵＰＳ装置　・ 直流電源装置 ・ 交換機　・ 受信機（自立型）　・ 中央監視装置　・ 情報通信ラック 重量が１００kg以下の軽量な機器（標準仕様書の適用を受けるものは除く）においても，耐震を考慮し，据付等を行うものとするが，前記指針の方法によらなくてもよい。
	22.	風圧加重	※ 風速６０ｍ／ｓ　・　ｍ／ｓ ・ 雷保護設備受雷部　・ 照明ポール・基礎　・ テレビ共同受信装置アンテナ・アンテナマスト
	23.	他工事との工事区分	他工事との工事区分は図面に特記なき場合，「各工事の工事区分表」による。
	24.	保温，結露防止	外部に面する壁，天井でＦＰ板（スタイロホーム等）打込み箇所に取付ける位置ボックスなどは，保温，結露防止処理を行う。
	㉕	電線類	本工事では環境配慮の観点から，原則としてＥＭケーブルを使用するものとする。
	26.	合成樹脂製可とう管	合成樹脂製可とう管は，ＰＦ管(一重管)とし，温度による分類はタイプ−25とする。
	27.	二種金属製可とう管	露出箇所　・ ビニル被覆あり　・ ビニル被覆なし いんぺい箇所　・ ビニル被覆あり　・ ビニル被覆なし
	28.	電線本数，管路など	分電盤，制御盤，端子盤などの２次側以降の配線経路，電線本数，電線太さ，電線本数，管径などは，監督職員の承諾を受け変更してもさしつかえない。
	29.	インサート	鋼鉄製とする。なお，床版で保温板打込み部分は，断熱材用インサート（亜鉛めっき製品）を使用する。
	㉚	呼び線	長さ１ｍ以上の通線しない電線管には，１．２ｍｍ以上のビニル被覆鉄線を通線する。
	㉛	フラッシュプレート	図面に特記なき場合，（ ※ 金属製（ステンレス・新金属も含む）　・ 樹脂製 ）とする。
	32.	フロアプレート・ベース	※ 水平高低調節付（空転防止リング付）　・ 鋼合金製　・ アルミ合金製
	33.	ハンドホール蓋	県章およびチェーン（ステンレス製）付のものとする。
	34.	支持金物，固定金物	屋外の機器及び配管に使用する支持金物（ボルト類）はステンレス製とし，屋外機器のアンカーボルトのナットには，ナットキャップ（樹脂製）を取り付ける。 また，振動をともなう機器の支持金物のナットは，ダブルナットとする。
	35.	あと施工アンカー	施工方法　・ 接着系　（ ※ 有機系　・ 接着剤 ） ・ 金属拡張系　（ ※ 本体打込式　・　） 性能・施工確認　※ 行ない　・ 行う
	36.	接地極の種別・表示等	接地極は図面に特記なき場合，下表による。なお，ＥＢの長さは１，５００ｍｍとする。 ただし，Ｄ＝１０は１，０００ｍｍ，Ｗ＝３０は１，２００ｍｍとする。 設計機器及び屋外灯用接地極の埋設標は不要とする。 接地の種別 ｜ 記号 ｜ 接地抵抗値 ｜ 接地極の規格，数量 ・ 直保護設備用接地 ｜ ELA ｜ Ω以下 ｜ ＥＰ×２ ・ 直保護設備用接地 ｜ ELA ｜ Ω以下 ｜ ＥＢ(Ｄ=14又はW=40)×　連一　組 ・ 共同接地 ｜ EA・ED・ELH ｜ 10Ω以下 ｜ ＥＢ(Ｄ=14又はW=40)×３連−２組 ・ 共同接地 ｜ EA・EC・ED ｜ 10Ω以下 ｜ ＥＢ(Ｄ=14又はW=40)×３連−２組 ・ Ａ種 ｜ EA ｜ 10Ω以下 ｜ ＥＢ(Ｄ=14又はW=40)×３連−２組 ・ Ｂ種 ｜ EB ｜ Ω以下 ｜ ＥＢ(Ｄ=14又はW=40)×２ ・ Ｃ種 ｜ EC ｜ 10Ω以下 ｜ ＥＢ(Ｄ=14又はW=40)×３連−２組 ・ Ｄ種 ｜ ED ｜ 100Ω以下 ｜ ＥＢ(Ｄ=14又はW=40)×１ ・ ・ 構内交換機（陽極）用 ｜ Et ｜ Ω以下 ｜ ＥＢ(Ｄ=14又はW=40)×３連−　組 ・ 本配線盤の保安装置 ｜ EAt ｜ 10Ω以下 ｜ ＥＢ(Ｄ=14又はW=40)×３連−２組 ・ 電話引込口の保安器 ｜ EDt ｜ 100Ω以下 ｜ ＥＢ(Ｄ=14又はW=40)×１ ・ 拡声増幅器 ｜ EDa ｜ 100Ω以下 ｜ ＥＢ(Ｄ=14又はW=40)×１ ・ 防犯装置用 ｜ ES ｜ Ω以下 ｜ ＥＢ(Ｄ=14又はW=40)×３連−　組 ・ ・ 測定用 ｜ Eo ｜ ― ｜ ＥＢ(Ｄ=10又はW=30)×１ ・ 避雷器用（低圧用） ｜ ELL ｜ 10Ω以下 ｜ ＥＢ(Ｄ=10又はW=40)×３連−２組 ・ 避雷器用（高圧用） ｜ ELH ｜ 10Ω以下 ｜ ＥＢ(Ｄ=10又はW=40)×３連−２組 ・ 避雷器用（モデム用） ｜ EMD ｜ 100Ω以下 ｜ ＥＢ(Ｄ=14又はW=40)×１ ・ 構造体接地 ｜ ｜ ｜ 建築構造体利用（通信用も含む）
	37.	総合調整	各機器の個別運転後に総合調整を行い，報告書を提出すること。 ・ 受変電設備　・ 発電設備　◎ 照明装置　・ 構内交換設備　・
	38.	塗装工事	下記部位に使用する外面めっき電線管の露出配管には塗装を施す。 ※ 屋外　※ 居室　・
	39.	山留め	切取り面にその筋所の土質に見合った勾配を保って掘削できる場合を除き，掘削の深さが1.5mを超える場合には，山留めを行うものとする。
	40.	舗装工事	国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の公共建築工事標準仕様書（建築工事編）２２章（舗装工事）及び建築工事監理指針(下巻)２２章（舗装工事）による。
	41.	はつり	既存コンクリート床，壁などの配管貫通は，原則としてダイヤモンドカッターによる。
	㊷	再使用機器	再使用する機器は，現場内で清掃，絶縁抵抗測定のうえ，取り付ける。
	43.	撤去後の補修等	機器撤去後の天井，壁及び床等の補修は，既存仕上げと同等とする。なお，施工に際し，既存設備及び施設に損傷を及ぼした場合は，原状に復旧する。
	44.	アスベスト	アスベストについては，労働安全衛生法（石綿障害予防規則）・廃棄物処理法等に則り処理を行うこと。 アスベスト使用状況（　）
	45.	有害物質の取り扱い	ＰＣＢ（変圧器，コンデンサ，安定器等），鉛・カドミウム（鉛蓄電池，小形二次電池等），水銀、放射性物質（イオン化式感知器等）の有害物質の含有を施工前に調査し、監督職員に報告書を提出するとともに、その処理方法を監督職員と協議し、関係法令に基づき適正に取り扱うこと。
電灯設備	①	工事範囲	◎ 配管　◎ 配線　・ 分電盤類　◎ 機器類
	②	電気方式	・ 幹線　単相３線式　１００／２００Ｖ　５０Ｈｚ ・ 分岐　単相３線式　１００／２００Ｖ ◎ 分岐　単相２線式　１００Ｖ 幹線　・ 金属管配線　・ ケーブル配線
	③	施工方法	分岐　電灯　・ 合成樹脂管配線　・ 金属管配線　・ ケーブル配線　・ その他（　） コンセント　・ 合成樹脂管配線　・ 金属管配線　・ フロアダクト配線　・ その他（　） 屋外露出　・ 合成樹脂管配線　・ 金属管配線　・ ケーブル配線 ボックス　◎ 合成樹脂製　・ 金属製
	④	照明器具	ＬＥＤ　◎ 一体型　・ 直管型(JEL801)　・ 直管型(JEL802)　・ ダウンライト　・ その他
	⑤	防災用照明器具	◎ 非常用照明器具（ ※ 電池内蔵形　・ 電源別置形 ） ・ 誘導灯（ ※ ＬＥＤ誘導灯　・ 誘導標識 ）
	⑥	照度測定	照度測定は，原則，本工事範囲全て行うものとするが，これにより難い場合は監督職員との協議による。
	7.	ハイテンションアウトレット	※ 鋼合金製　・ アルミ製 ※ 飛び出し形　・ 外部固定形
	8.	人感センサプレート	照明の人感センサ制御を行う部屋には，注意プレートを設置する。
	9.	予備配管	埋込形分電盤からの立上り予備配管は，予備の配線用遮断器が４個以下の場合は（ＰＦ２２）を１本，５個以上の場合は（ＰＦ２２）を２本以上，天井裏まで立上げる。 梁下に配管・配線スペースのない梁には，１スパンにＶＥ（３６）２本を予備スリーブとして埋込む。
動力設備	①	工事範囲	◎ 配管　・ 配線　・ 制御盤類
	②	電気方式	◎ 幹線　三相３線式　２００Ｖ　５０Ｈｚ ・ 分岐　三相３線式　２００Ｖ
	③	施工方法	幹線　・ 金属管配線　・ ケーブル配線　◎ その他 分岐　・ 合成樹脂管配線　・ 金属管配線　・ その他 屋外露出　・ 合成樹脂管配線　・ 金属管配線　・ ケーブル配線 ボックス　・ 合成樹脂製　・ 金属製
	4.	警報盤	※ 壁掛形（電源装置　※ 内蔵　・ 別置 ）　・
	5.	電磁開閉器用押釦（遠方操作用）	※ 埋込連用形配線器具　・
	6.	機器への接続	電動機などへの接続は本工事とする。
	7.	電動機等の接地	図示以外は金属管接地とする。
	8.	進相用コンデンサ	各負荷ごとに適合するコンデンサを取り付ける。
	9.	電気自動車用充電装置	・ 機器類　・ ・ 普通充電装置　電圧　相　Ｖ　・ 屋外型　・ 屋内型 ・ 急速充電装置　直流電圧　Ｖ
電熱設備	1.	電気方式	幹線　相　線式　Ｖ　５０Ｈｚ 分岐　相　線式　Ｖ
	2.	施工場所及び面積	・（　㎡）　・（　㎡）
直保護設備	1.	工事範囲	・ 受雷部　・ 引下げ導線　・ 接地極埋設
	2.	受雷部	・ 突針　・ 棟上導体　・ 笠木（別途）など
	3.	避雷導線	・ 引下げ導線　・ 構造体利用
	4.	接地極	※ 接地極埋設　・ 構造体利用（測定時期　回数　）
	5.	測定用補助接地極	・ 設置
受変電設備	1.	工事範囲	・ 機器類　・
	2.	電気方式	・ 高圧　三相３線式　６ｋＶ　５０Ｈｚ ・ 低圧　三相３線式　２００Ｖ　・ 低圧　単相３線式　１００Ｖ／２００Ｖ
	3.	引込ケーブル	・ ＥＭ−ＣＥＴ３８°　・ ＥＭ−ＣＥＴ６０° ・ ＥＭ−ＣＥ３８°−３Ｃ　・ ＥＭ−ＣＥ６０°−３Ｃ　・
	4.	配電盤	・ 屋内形　・ 屋外形（防塵処理及び結露対策を施す） ・ キュービクル式配電盤　・ 高圧閉鎖配電盤　・　・
	5.	主遮断装置	※ 限流ヒューズ及び高圧負荷開閉器（ＰＦ−Ｓ）　・ 高圧交流遮断器（ＣＢ） 定格遮断電流　ｋＡ
	6.	高圧機器類	・ 油入式　・ モールド　・
	7.	変圧器	・ 手動　・ 電動　・ 電磁 ・ 単相変圧器　ｋＶＡ　・ 三相変圧器　ｋＶＡ (油入式：JIS C4304-2013適合品 乾式：JIS C4306-2013適合品)
	8.	進相用コンデンサ	※ 低圧　・ 高圧 ・ 油入式　・ モールド　・ガス式
	9.	リアクトル	・ ６％　・ １３％ ・ 油入式　・ モールド
	10.	自動力率制御装置	※ メーターリレー形　・ 静止形
	11.	測定用補助接地極	・ 設置
電力貯蔵設備	1.	直流電源装置	※ 非常用照明器具電源，受変電設備制御電源供用　・ 受変電設備制御専用　・ 非常用照明器具専用 蓄電池　・ 鉛蓄電池（・ ＨＳ　・ ＣＳ　・ ＭＳＥ　・ 長寿命形ＭＳＥ　・ ） ・ アルカリ蓄電池（・ＡＨ　・ＡＭＨ　・ ） ・ リチウムイオン電池
	2.	交流無停電電源装置	用途（　） 容量　ｋＶＡ 蓄電池　・ 鉛蓄電池（・ ＨＳ　・ ＣＳ　・ ＭＳＥ　・ 長寿命形ＭＳＥ　・ ） ・ アルカリ蓄電池（・ＡＨ　・ＡＭＨ　・ ） ・ リチウムイオン蓄電池
発電設備	1.	工事範囲	・ 機器類　・
	2.	形式	・ 簡易形　・ キュービクル式　・ オープン形　・ ・ 屋内形　・ 屋外形
	3.	発電機	電気方式　相　線式　５０Ｈｚ　電圧　Ｖ　定格出力　ｋＶＡ　運転時間　時間
	4.	原動機	種類　・ ディーゼル　・ ガスタービン　・ 定格出力　ｋＷ以上（　ｐｓ以上） 始動方式　※ 電気式　・ 空気式 冷却方式　・ ラジエータ式　・ 水冷循環式
	5.	燃料	種類　・ 軽油　・ 灯油　・ Ａ重油 燃料小出槽　Ｌ 主貯油槽　・ なし　・ あり（　・ 別途　・ 本工事：　）
	6.	太陽光発電装置	太陽電池アレイ公称出力　ｋＷ パワーコンディショナ　相　線式　定格電圧　Ｖ　定格出力　ｋＷ 自立運転　・ 有　・ 無 蓄電池　・ 有（定格容量　ｋＷｈ）　・ 無
	7.	系統連系	・ 有　・ 無
構内交換設備	1.	工事範囲	・ 交換機　・ 電話機　・ 配線（　・ 全部　・ 端子盤以降 ）
	2.	電話交換機	形式　・ ボタン電話装置　・ デジタルＰＢＸ　・ ＩＰ−ＰＢＸ　・ＶｏＩＰサーバ 回線数　局線　／　回線　内線　／　回線
	3.	電話機への配線	電話機１台につき，下記のものを見込む。 ・ ＥＭ−ＴＩＥＦＯ．６５−２Ｃ（　・ ２ｏｍ　・ ） ・ ＥＭ−ＥＢＴＯ．４−２Ｐ　・ ２ｏｍ　・ ） ・ ワイヤープロテクタ　（樹脂製　外形寸法約２０×８）１．５ｍ
	4.	ローテンションアウトレット（亀甲形）	※ 一般電話用　個（　・ 納入する　・ 取り付ける ） ※ 鋼合金製　・ アルミ製
	5.	保安器用接地	※ 本工事　・ 別途工事
通信・情報設備	①	工事範囲及び施工方法	工事範囲：配管 ｜ 配線 ｜ 機器類 施工方法：合成樹脂管配線 ｜ 金属管配線 ｜ ケーブル配線 ・ 構内情報通信網 ｜ ・ ｜ ・ ｜ ・ ｜ ・ ｜ ・ ｜ ・ ・ 情報表示 ｜ ・ ｜ ・ ｜ ・ ｜ ・ ｜ ・ ｜ ・ ・ 映像・音響 ｜ ・ ｜ ・ ｜ ・ ｜ ・ ｜ ・ ｜ ・ ・ 拡声 ｜ ・ ｜ ・ ｜ ・ ｜ ・ ｜ ・ ｜ ・ ◎ 誘導支援 ｜ ◎ ｜ ◎ ｜ ・ ｜ ・ ｜ ・ ｜ ・ ・ テレビ共同受信 ｜ ・ ｜ ・ ｜ ・ ｜ ・ ｜ ・ ｜ ・ ・ テレビ電波障害防除設備 ｜ ・ ｜ ・ ｜ ・ ｜ ・ ｜ ・ ｜ ・ ・ 監視カメラ ｜ ・ ｜ ・ ｜ ・ ｜ ・ ｜ ・ ｜ ・ ・ 駐車場管制設備 ｜ ・ ｜ ・ ｜ ・ ｜ ・ ｜ ・ ｜ ・ ・ 防犯・入退室管理 ｜ ・ ｜ ・ ｜ ・ ｜ ・ ｜ ・ ｜ ・ ボックス　・ 合成樹脂製　・ 金属製　・
	2.	構内情報通信網設備	種類　・ １０ＢＡＳＥ−Ｔ　・ １００ＢＡＳＥ−ＴＸ　・ １０００ＢＡＳＥ−Ｔ ・ １０ＧＢＡＳＥ−ＳＲ　・
	3.	情報表示設備	・ 親時計　回線　（ ※ 壁掛形　・ 自立形 ） （　・ 電子式チャイム組込　・ プログラムタイマ組込 ）
	4.	映像・音響設備	・ 増幅器　Ｗ ・ ＶＴＲ（　・ ＤＶＤ　・ ＢＤ　・ Ｓ−ＶＨＳ　・ ） ・ プロジェクタ（ ※ 前面投射式　・ 背面投射式 ） ・ 音響設備（　・ ＣＤ　・ オーディオレコーダー　・　・　）
	5.	拡声設備	・ 一般放送用　・ 非常放送兼用 ・ 増幅器　Ｗ（ ※ 卓上形　・ キャビネットラック形） ・ インターホン　◎ トイレ等呼出装置　・ 音声誘導装置　◎ 撤去のみ
	⑥	誘導支援設備	・ テレビアンテナ（・ ＡＵ−　・ ＣＳＢＳＡ−　・ ＣＳＡ−　） ・ 地上波アンテナマスト（ ※ 壁面取付形　・ 自立形 ） ・ ＢＳアンテナマスト（・ 壁面取付形　・ 自立形 ） ・ 電界強度測定及び受信調査（ ※ 全チャンネル ）
	7.	テレビ共同受信設備	・ 事前調査　・ 機器類
	8.	テレビ電波障害防除設備	
	9.	監視カメラ設備	・ 白黒方式　※ カラー方式 ・ 伝送方式（　・ アナログ　・ ネットワーク ）
	10.	駐車場管制設備	・ 管制盤　・ 検知器（・ 光線式　・ ループコイル式） ・ 信号灯・警報灯　・ 発券機　・ カーゲート　・ カードリーダー
	11.	防犯・入退室管理設備	・ 接地工事（ ※ 本工事　・ 別途 ）
火災報知設備	①	工事範囲	◎ 配管　◎ 配線　◎ 機器類
	②	火災報知装置	◎ 壁掛形　・ 自立形 ◎ 受信機　Ｐ型２級　５　回線（　アドレス） ・ 複合盤　型　級　回線（火報　回線，自動閉鎖　回線，ガス漏れ　回線） ・ 副受信機　型　級　回線 ◎ 機器収容箱　◎ 専用形（　・ 埋込形　◎ 露出形 ）　・ 屋内消火栓箱に組込み ◎ 感知器類　型用　総数　１０　個（　・ 自動試験機能付 ）
	3.	非常警報装置	・ 非常ベル（自動式サイレンを含む）　・ 非常放送装置
	4.	自動閉鎖装置	・ 連動制御器 ・ 自動閉鎖装置（　・ 防火戸用　・ 防煙ダンパ用　・ 防火シャッター用 ） ・ 感知器
	5.	ガス漏れ火災警報装置	・ 受信機　回線（　・ 都市ガス用　・ 液化石油ガス用） ・ 単独（　・ 壁掛形　・ 自立形 ）　・ 火災受信機などとの複合盤 ・ 検知器 ・ 併設　・ 連動 ・ 定格電圧（　・ ＡＣ１００Ｖ　・ ＤＣ２４Ｖ ） ・ ガス検知出力信号（　・ 有電圧出力方式　・ 無電圧接点方式 ）
	6.	消火器類	・ 消火器　種別　・　数量　本 ・ 消火器収納箱　仕様　・　材質　・　数量　面
中央監視制御設備	1.	工事範囲	・ 配管　・ 配線　・ 機器類
	2.	監視制御対象設備	・ 動力設備　・ 受変電設備　・ 発電設備　・ 火災報知設備
	3.	表示操作盤	・ 壁掛形　・ 自立形 組込み機器　・　・ ・　・
	4.	監視制御装置	構成機器　・ グラフィックパネル　・内照式液晶ディスプレイ　・ 操作卓 ・ 監視操作装置　・ 信号処理装置　・ 伝送装置　・ 分散処理装置 ・ 中央処理装置　・ 補助記憶装置　・ 記録装置　・ 電源装置 ・ 帳票用印字装置（　・ インクジェット式　・ 写真式 ）
構内配電線路	1.	工事範囲	・ 管路　・ 配線　・ 機器類
	2.	電気方式	・ 高圧　三相３線式　６ｋＶ　５０Ｈｚ ・ 低圧　三相３線式　２００Ｖ ・ 低圧　単相３線式　１００／２００Ｖ ・ 低圧　単相２線式　１００Ｖ
	3.	布設方法	※ 地中埋設式（　・ ＦＥＰ　・ ＧＬＴ　・ 厚鋼電線管 ）　・ 架空線式
	4.	柱上機器	・ 高圧負荷開閉器　※ 一般用　・ 耐重塩じん用 ※ 地絡継電器付き（※ 方向性　・ 無方向性） ・ 避雷器　※ 一般用　・ 耐塩用 ・ 高圧カットアウト，がいしなど　※ 一般用　・ 耐塩用
	5.	高圧ケーブルの端末処理	屋外側　※ 一般用　・ 耐塩用 ※ 処理者銘板取付（屋内外共，線名，作業日，氏名を表示）
	6.	その他	東北電力（株）外線工事基準（架空線編）に準ずる。
	7.	外灯設備	・ 定格電圧　Ｖ　Ｗ
	8.	沈下対策	地中線路及びハンドホール等沈下が考慮される場合は，沈下対策を施す。（　）
	9.	標識シート	・ 高圧ケーブル　・ 低圧ケーブル
	10.	予備配管	屋外キュービクルから第１ハンドホールまでの予備配管（ＦＥＰ１００：１本）を設ける。 分電盤，動力盤から建物へのハンドホールまでの予備配管（ＦＥＰ８０：２本）を設ける。
構内通信線路	1.	工事範囲	・ 管路　・ 配線
	2.	用途	・ 電話用　・ 時計，拡声用　・ 火災報知用
	3.	施工方法	※ 地中埋設式（　・ ＦＥＰ　・ ＧＬＴ　・ 厚鋼電線管）　・ 架空線式
	4.	標識シート	※ 管電用

表２「機器取付高さ」　図面に特記なき場合は下表による。ただし，これによりがたい場合は監督員と協議する。

電力共通設備 名称	測点	取付高（mm）	通信設備 名称	測点	取付高（mm）
取引用計器	地上一次中心	約 1,800	引込線留の高	地上一引込点	天井下～上端 200
引込開閉器	床上一中心	1,800～2,200	集合保安器箱	天井下～上端	200
分電盤	床上一中心	1,500(上端1,900以下)	端子盤(廊下、室内)	床上一下端	300
			〃（ＥＰＳなど）	床上一中心	1,500
			〃（一　般）	床上一中心	300
			〃（和　室）		150～200
スイッチ（一　般）	床上一中心	1,300	壁掛形親時計	床上一中心	1,500(上端2,000以下)
〃（和　室）	〃	1,200	子時計	〃	2,300
コンセント(一　般)	〃	300	壁掛形スピーカ	〃	2,300
〃（和　室）	〃	150～ 200	壁付フッチネータ	〃	1,300
〃（台　上）	台上一中心	100	壁付インターホン(一　般)	床上一中心	1,300
〃（ファン用）	床上一下端	ファン下端	〃（身体障害者）	〃	1,300
〃（厨　房）	床上一中心	800～1,000	〃（和　室）	〃	150～200
〃（車　庫）	〃	1,300	機器収容箱	天井下～上端	200
〃（機械室）	〃	500～1,000	音列ユニット（一　般）	床上一中心	300
〃（土　間）	〃	800～1,300	〃（和　室）	〃	200
ブラケット（一　般）	〃	2,100～2,300	表示盤	床上一中心	2,300
〃（踊　場）	〃	2,000～2,500	受信機	〃	1,800
〃（縁　上）	縁上端一中心	150	副受信機	〃	800～1,500
避難口誘導灯	床上一下端	1,500以上	機器収容箱	〃	800～1,500
廊下通路誘導灯	床上一上端	1,000以下	発信機	〃	800～1,500
			表示灯	床上一中心	2,100
			ベル	〃	2,300
			流化石油ガス用検知器	床上一上端	250
			都市ガス用検知器（軽質）	天井一上端	150
			スイッチ　〃（重質）	床上一上端	250

表１「完成書類」　引き渡し時には下記の書類を提出する。

名称	完成書類	部数	名称	完成書類	部数
1　完成調書	営繕工事完成引渡要領 (令和３年４月１日版)	1部	6　取扱説明書 ①保守に関する案内書 ②機器別取扱説明書 ③緊急連絡先一覧 ④各種保証書	Ａ４版：黒表紙金文字製本 （２　完成図書と合本可）	1部
2　完成図書	Ａ４版：黒表紙金文字製本 （機器完成図，取扱説明書と合本可。ただし，厚さが８０ｍｍを越える場合は分冊とする。）	1部	7　管理の手引き ①工事概要書

既存 Ｄ２Ｌ－Ａ

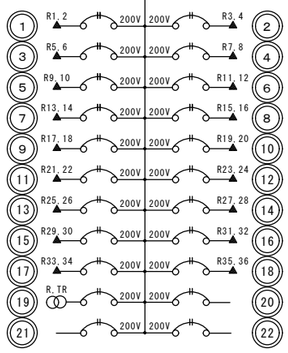
鋼鈑製、自立型

1Φ3W200／100V

ＭＣＣＢ３Ｐ
＃４００／３００
（５４．７ＫＶＡ）⇨（１２．５ＫＶＡ）

負荷	容量(VA)
アリーナ水銀灯	3,000
アリーナ水銀灯	3,000
アリーナ水銀灯	3,000
アリーナ水銀灯	3,000
アリーナ水銀灯	3,000
アリーナ水銀灯	3,000
アリーナ水銀灯	3,000
アリーナ水銀灯	3,000
アリーナ水銀灯	3,000
ＲＴ	200
予備	

負荷	容量(VA)
アリーナＬＥＤ	686
アリーナＬＥＤ	686
アリーナＬＥＤ	686
アリーナＬＥＤ	686
アリーナＬＥＤ	686
アリーナＬＥＤ	686
アリーナＬＥＤ	686
アリーナＬＥＤ	686
アリーナＬＥＤ	686
ＲＴ	200
予備	



負荷	容量(VA)
3,000	アリーナ水銀灯
3,000	アリーナ水銀灯
3,000	アリーナ水銀灯
3,000	アリーナ水銀灯
3,000	アリーナ水銀灯
3,000	アリーナ水銀灯
3,000	アリーナ水銀灯
3,000	アリーナ水銀灯
3,000	アリーナ水銀灯
540	電動昇降操作盤
	予備

負荷	容量(VA)
686	アリーナＬＥＤ
686	アリーナＬＥＤ
686	アリーナＬＥＤ
686	アリーナＬＥＤ
686	アリーナＬＥＤ
686	アリーナＬＥＤ
686	アリーナＬＥＤ
686	アリーナＬＥＤ
686	アリーナＬＥＤ
	予備
	予備

※電動昇降操作盤回路は配線補外してテープ処理し、表示を替えること

既存 Ｄ２Ｌ－Ｂ

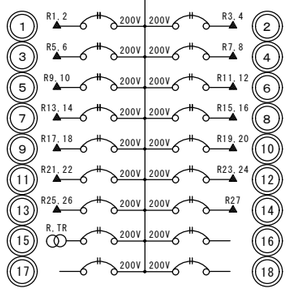
鋼鈑製、露出型

1Φ3W200／100V

ＭＣＣＢ３Ｐ
＃２２５／２２５
（４２．６ＫＶＡ）⇨（９．８ＫＶＡ）

負荷	容量(VA)
アリーナ水銀灯	3,000
アリーナ水銀灯	3,000
アリーナ水銀灯	3,000
アリーナ水銀灯	3,000
アリーナ水銀灯	3,000
アリーナ水銀灯	3,000
アリーナ水銀灯	3,000
ＲＴ	200
予備	

負荷	容量(VA)
アリーナＬＥＤ	686
アリーナＬＥＤ	686
アリーナＬＥＤ	686
アリーナＬＥＤ	686
アリーナＬＥＤ	686
アリーナＬＥＤ	686
アリーナＬＥＤ	686
ＲＴ	200
予備	



負荷	容量(VA)
3,000	アリーナ水銀灯
3,000	アリーナ水銀灯
3,000	アリーナ水銀灯
3,000	アリーナ水銀灯
3,000	アリーナ水銀灯
3,000	アリーナ水銀灯
3,000	アリーナ水銀灯
405	電動昇降操作盤
	予備

負荷	容量(VA)
686	アリーナＬＥＤ
686	アリーナＬＥＤ
686	アリーナＬＥＤ
686	アリーナＬＥＤ
686	アリーナＬＥＤ
686	アリーナＬＥＤ
686	アリーナＬＥＤ
	予備
	予備

※電動昇降操作盤回路は配線補外してテープ処理し、表示を替えること

既存 Ｄ２Ｌ－Ｃ

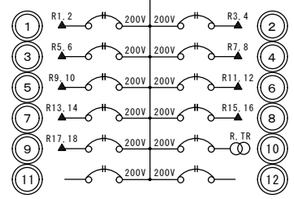
鋼鈑製、露出型

1Φ3W200／100V

ＭＣＣＢ３Ｐ
＃２２５／１５０
（２７．４ＫＶＡ）⇨（６．３７ＫＶＡ）

負荷	容量(VA)
アリーナ水銀灯	3,000
アリーナ水銀灯	3,000
アリーナ水銀灯	3,000
アリーナ水銀灯	3,000
アリーナ水銀灯	3,000
電動昇降操作盤	270

負荷	容量(VA)
アリーナＬＥＤ	686
アリーナＬＥＤ	686
アリーナＬＥＤ	686
アリーナＬＥＤ	686
アリーナＬＥＤ	686
予備	



負荷	容量(VA)
3,000	アリーナ水銀灯
3,000	アリーナ水銀灯
3,000	アリーナ水銀灯
3,000	アリーナ水銀灯
200	ＲＴ
	予備

負荷	容量(VA)
686	アリーナＬＥＤ
686	アリーナＬＥＤ
686	アリーナＬＥＤ
686	アリーナＬＥＤ
200	ＲＴ
	予備

※電動昇降操作盤回路は配線補外してテープ処理し、表示を替えること

既存 Ｄ２Ｌ－Ｄ

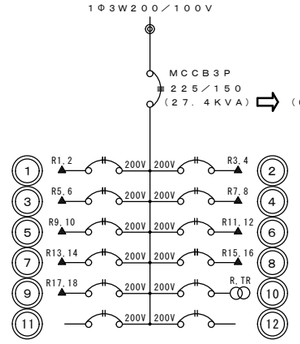
鋼鈑製、露出型

1Φ3W200／100V

ＭＣＣＢ３Ｐ
＃２２５／１５０
（２７．４ＫＶＡ）⇨（６．３７ＫＶＡ）

負荷	容量(VA)
アリーナ水銀灯	3,000
アリーナ水銀灯	3,000
アリーナ水銀灯	3,000
アリーナ水銀灯	3,000
アリーナ水銀灯	3,000
電動昇降操作盤	270

負荷	容量(VA)
アリーナＬＥＤ	686
アリーナＬＥＤ	686
アリーナＬＥＤ	686
アリーナＬＥＤ	686
アリーナＬＥＤ	686
予備	

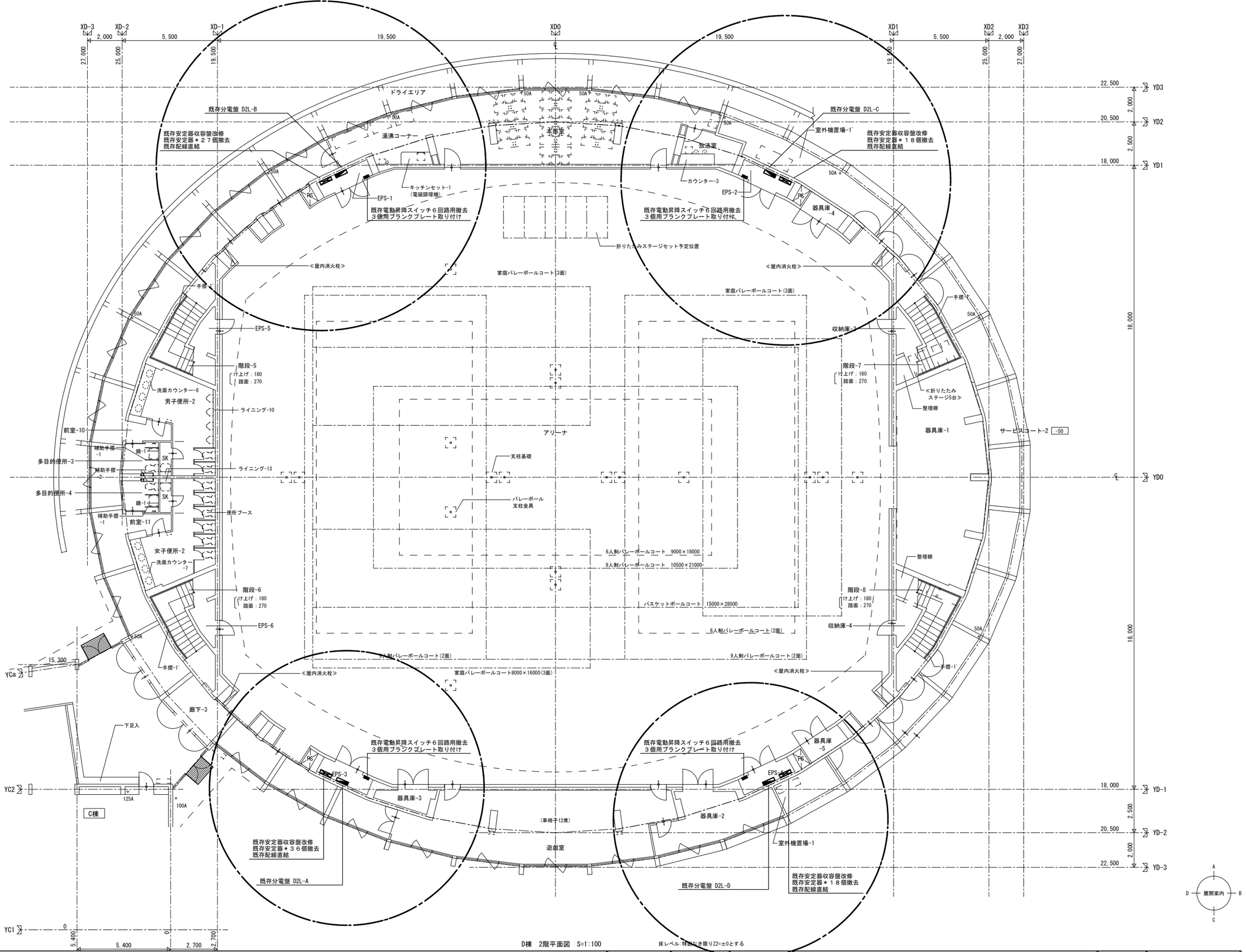


負荷	容量(VA)
3,000	アリーナ水銀灯
3,000	アリーナ水銀灯
3,000	アリーナ水銀灯
3,000	アリーナ水銀灯
200	ＲＴ
	予備

負荷	容量(VA)
686	アリーナＬＥＤ
686	アリーナＬＥＤ
686	アリーナＬＥＤ
686	アリーナＬＥＤ
200	ＲＴ
	予備

※電動昇降操作盤回路は配線補外してテープ処理し、表示を替えること

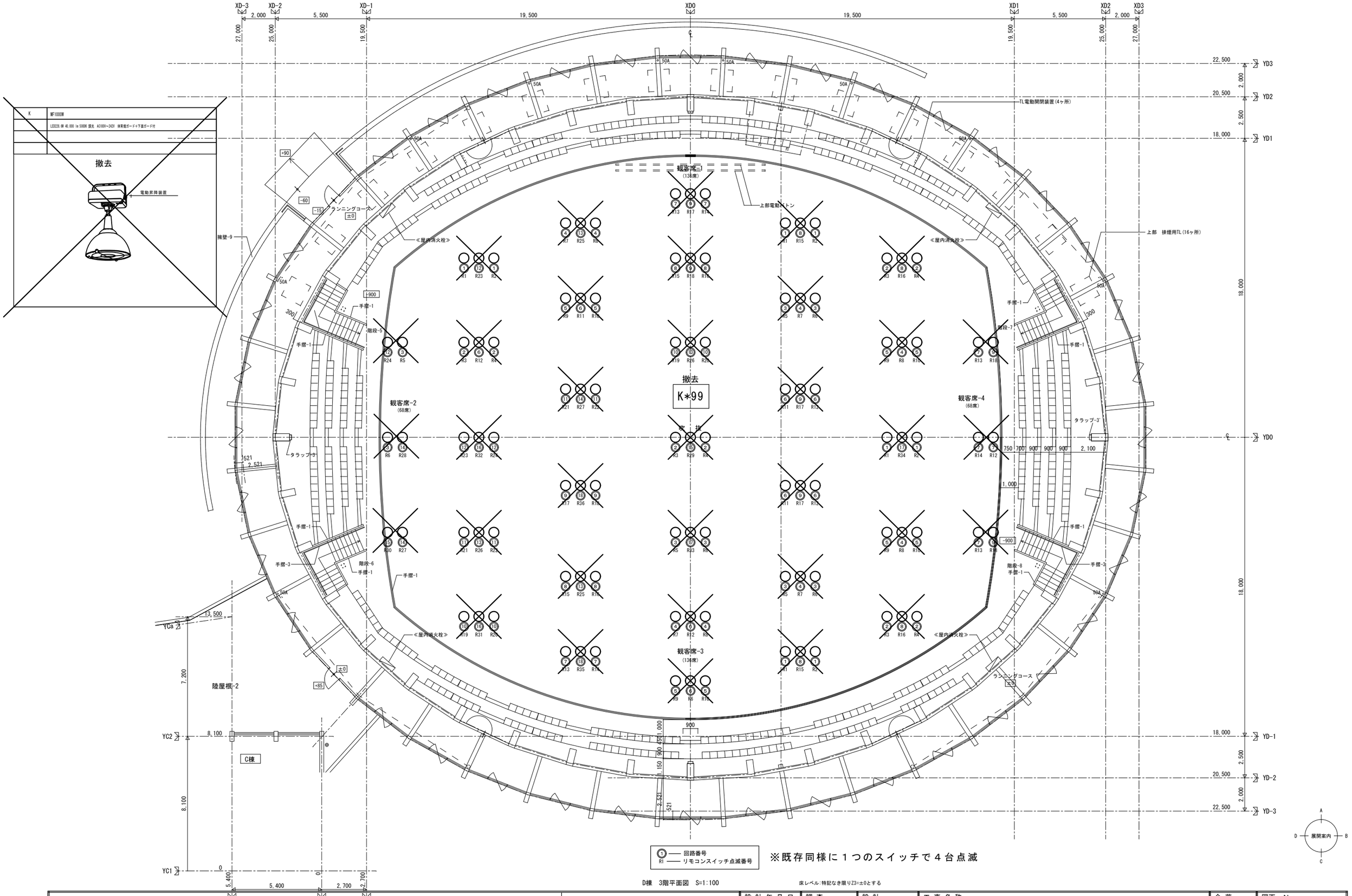
		設計年月日	調査	設計	工事名称	全葉	図面 No
		2022.03.31			令和３年２月１３日福島県沖地震による七ヶ浜健康スポーツセンター復旧工事		Ｅ－０２
					図面名称 分電盤結線図 Scale		



D棟　2階平面図　S=1:100

床レベル：特記なき限りZ2=±0とする

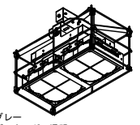
	設計年月日	調査	設計	工事名称	令和３年２月１３日福島県沖地震による七ヶ浜健康スポーツセンター復旧工事	全葉	図面No
	2022.03.31			図面名称	電灯設備　アリーナ下部改修平面図　Scale S=1: 50(A1) S=1:100(A3)		E－03



設計年月日	調査	設計	工事名称	全葉	図面No
2022.03.31			令和３年２月１３日福島県沖地震による七ヶ浜健康スポーツセンター復旧工事		E－04
			図面名称 電灯設備 アリーナ上部既存撤去平面図 Scale S=1:50(A1) S=1:100(A3)		

新設器具

A	LED高天井器具 かんたん無線調光シリーズSceneLED［シーンレッド］
	LED228.6W 40,000 lm 5000K 調光 AC100V～242V
	体育館ガード＋下面ガード付

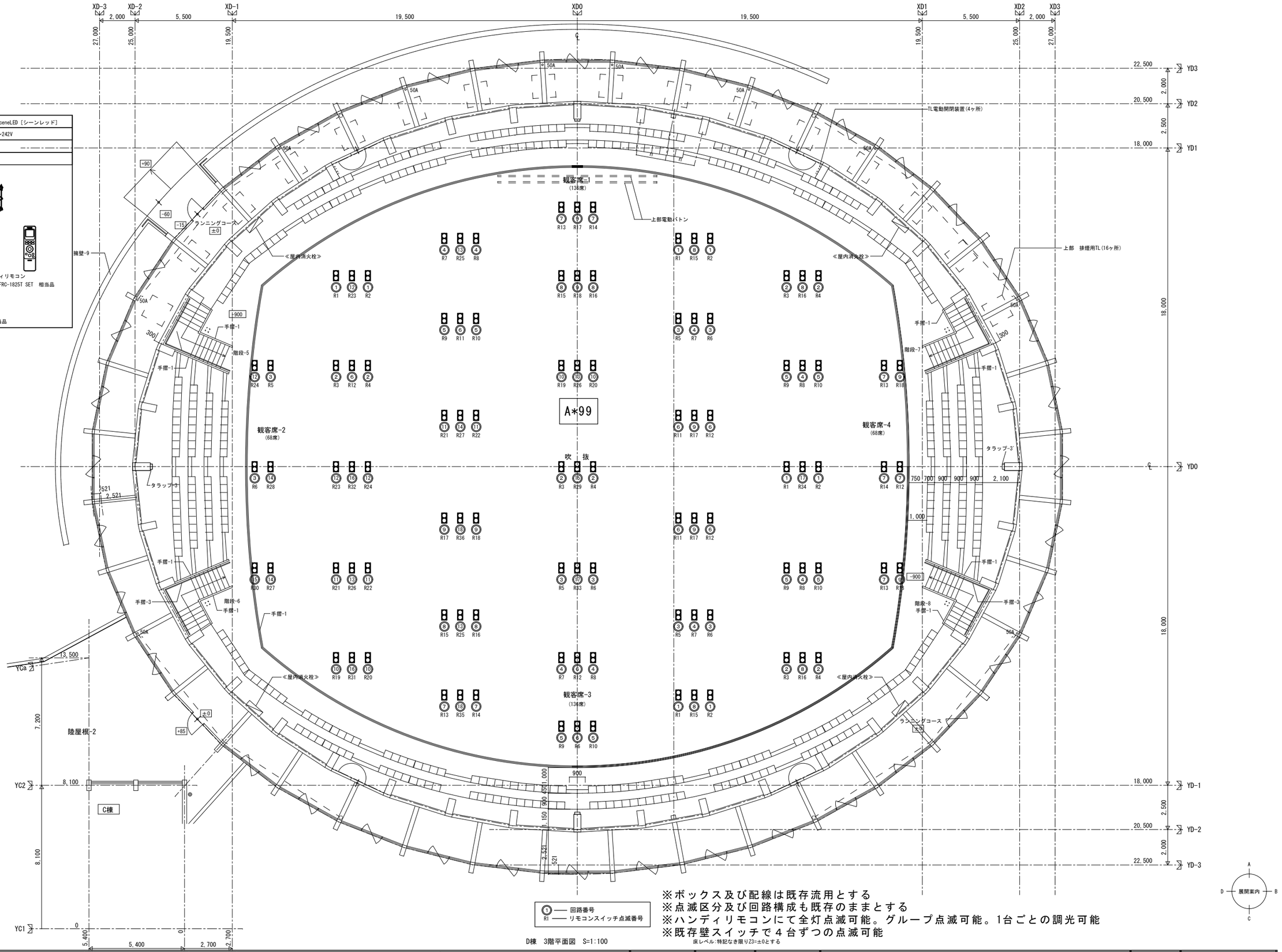


●本体：アルミニウム グレー
●下面カバー：ポリカーボーネード 透明
●相関色温度：5000K 平均演色評価数(Ra)：70
●保護等級：IP20
●使用温度範囲：-10℃～40℃
●傾斜天井20° 対応
●下面ガード：枠 鋼板（グレー）
●体育館ガード：亜鉛メッキ仕上げ

ハンディリモコン
東芝：FRC-1825T SET 相当品

東芝：LEDJ-43005N-XD9+LEDX-20071G+LEDX-20060G 相当品

※既存器具撤去後、同位置に取り付け



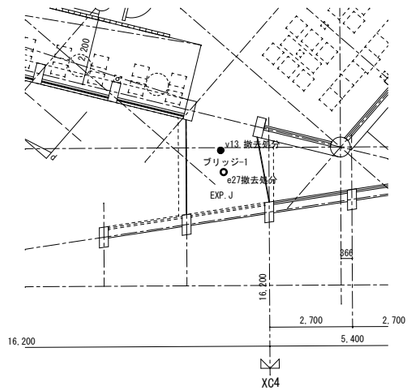
回路番号
R1 リモコンスイッチ点滅番号

D棟 3階平面図 S=1:100

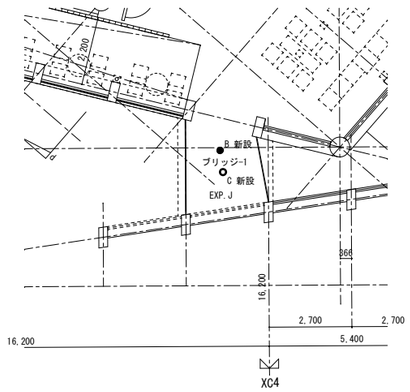
※ボックス及び配線は既存流用とする
※点滅区分及び回路構成も既存のままとする
※ハンディリモコンにて全灯点滅可能。グループ点滅可能。1台ごとの調光可能
※既存壁スイッチで４台ずつの点滅可能

床レベル:特記なき限りZ3=±0とする

	設計年月日	調査	設計	工事名称 令和３年２月１３日福島県沖地震による七ヶ浜健康スポーツセンター復旧工事	全葉	図面 No
	2022.03.31			図面名称 電灯設備 アリーナ上部改修後平面図 Scale S=1: 50(A1) S=1:100(A3)		E－05

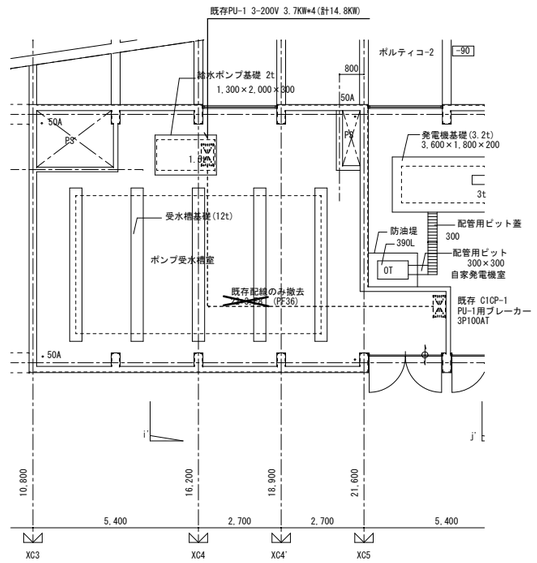


改修前平面図

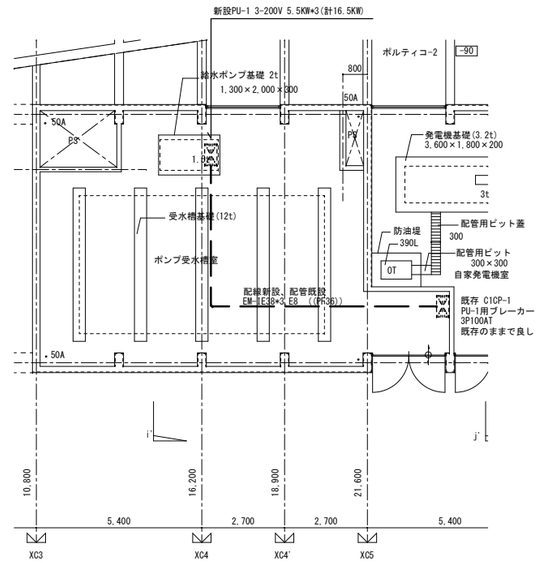


改修後平面図

A,B棟2階平面図　S=1:100

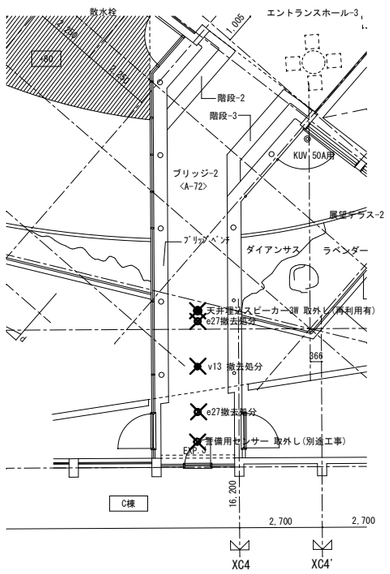


改修前平面図

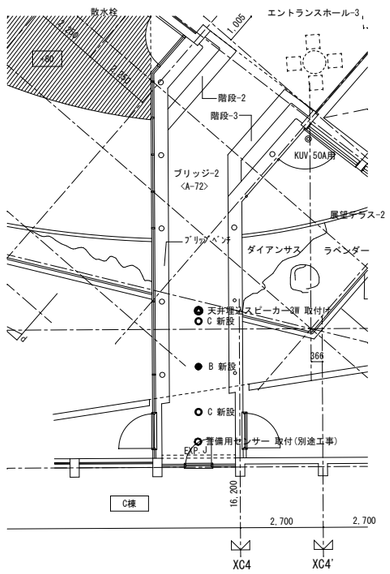


改修後平面図

C棟1階平面図　S=1:100



改修前平面図



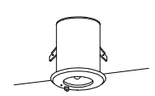
改修後平面図

A,B棟3階平面図　S=1:100

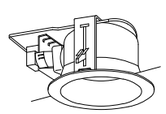
既存照明器具

v13	ハロゲン13W*1

非常照明バッテリー内蔵



e27	FT27W



新設照明器具

B	K1-LRS11-2

非常照明バッテリー内蔵

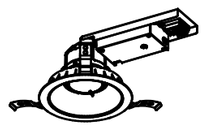
●LED×1
●寸法：径φ100×高さ74（埋込穴寸法）
●本体：ADC（アルミダイカスト）
●枠：CGC
●レンズ：ガラス
●常時消灯／非常時LED点灯
●電源ユニット内蔵（電圧100～242V）
●消費電力：0.8W
●リモコン自己点検機能付
●リモコン送受信部／点検スイッチ付
●充電モニタ（緑）付　ランプモニタ（赤）付
●ニッケル水素蓄電池
●質量：0.5kg
●非常灯評定番号：LALE-001
◆LED非常灯　埋込形　低天井用

LED　LEDEM13221M　　保守率:0.93

配置表（保守率、光束換算係数を含む）

取付高さ		2.1	2.4	2.6	3.0	3.5	4.0	4.5	5.0	6.0	7.0
単体配置	A 1	4.4	4.8	5.0	5.3	5.5	3.3	1.4	–	–	–
	A' 1	4.4	4.8	5.0	5.3	5.5	3.3	1.4	–	–	–
	B 1	4.4	4.8	5.0	5.3	5.5	3.3	1.4	–	–	–
	B' 1	4.4	4.8	5.0	5.3	5.5	3.3	1.4	–	–	–
直線配置	A 2	9.4	10.4	11.0	12.2	13.4	14.4	15.2	–	–	–
	B 2	9.4	10.4	11.0	12.2	13.4	14.4	15.2	–	–	–
四角配置	A 4	7.5	8.3	8.8	9.8	10.9	11.9	12.9	–	–	–
	B 4	7.5	8.3	8.8	9.8	10.9	11.9	12.9	–	–	–
壁から最大取付距離	A O	3.3	3.5	3.7	4.0	4.3	2.5	1.0	–	–	–
	A' O	3.3	3.5	3.7	4.0	4.3	2.5	1.0	–	–	–
	B O	3.3	3.5	3.7	4.0	4.3	2.5	1.0	–	–	–
	B' O	3.3	3.5	3.7	4.0	4.3	2.5	1.0	–	–	–

C	LRS1-13



LEKD153015NLS9
●埋込穴寸法：Φ150
●電源ユニット内蔵
●器具寸法：幅169×298×埋込高106
●本体：アルミダイカスト
●化粧枠：プラスチック（バージンホワイト）
●反射板：バージンホワイト
●定格電圧：AC100V～242V
●消費電力：10.6W(AC200V時)
●器具光束：1,480lm　固有エネルギー消費効率：139.61m/W
●寿命：40,000時間(光束維持率85%)
●相関色温度：5000K　平均演色評価数(Ra)：83
●非調光
●質量：0.8kg
◆LEDユニット交換形ダウンライト　一般形　(高効率　広角+1835Eイプ)

		設計年月日	調査	設計	工事名称	全葉	図面 No
		2022.03.31			令和３年２月１３日福島県沖地震による七ヶ浜健康スポーツセンター復旧工事		E－06
					図面名称：A,B,C棟改修平面図　Scale S=1: 50(A1) S=1:100(A3)		

機械設備改修工事特記仕様書

Ⅰ．工事概要

1．工事名称　令和3年2月13日福島県沖地震による七ヶ浜健康スポーツセンター施設被害調査及び復旧工事

2．工事場所　七ヶ浜町吉田浜字野山５－１（七ヶ浜健康スポーツセンター）

3．建物概要

建物名称	構造	階数	延床面積(㎡)	建築面積(㎡)	消防法施行令別表第一による用途区分	備考
七ヶ浜健康スポーツセンター	RC造	3	5974		1項（イ）	

4．工事種目（○印のついたものを適用する。）

工事種目	建設別及び屋内外 改修工事	撤去工事	屋外
○空気調和設備	一式	一式	
・換気設備			
・排煙設備			
・自動制御設備			
・衛生器具設備			
○給水設備	一式	一式	
・排水設備			
・給湯設備			
・消火設備			
・厨房機器設備			
・ガス設備			
・さく井設備			
・浄化槽設備			
・昇降機設備			
・その他工事			

5．指定部分　※ なし　・ あり　（工　期：令和　年　月　日対象部分：　　）

6．概成工期　※ なし　○ あり　（工事工期より　　日前）

7．設備概要　（○ 印のついたものは、主要方式を示す）

方式	設備概要
空気調和方式等	○ 空気調和　・全空気方式　○ ファンコイルユニット，ダクト併用方式　・ パッケージ方式
	・ 温風暖房　・全空気方式　・ ファンコンベクター，ダクト併用方式
	・ 直接暖房　・温水暖房　・
自動制御方式	・ 電気式　・ 電子式　・ デジタル式　・ 空気式　・ 中央監視制御
給水方式	・ 水道直結方式　・ 高置タンク方式　・ タンクレスブースター方式　○ 受水槽＋加圧給水方式
排水方式	建物内の汚水及び雑排水（・ 分流式　・ 合流式） 建物外の汚水及び雑排水（・ 分流式　・ 合流式） 放流先　汚水（・ 下水道直放流　・ 浄化槽） 雑排水（・ 下水道直放流　・ 浄化槽　・ 側溝　・ 別途側）
給湯方式	・ 局所式　・ 中央式
消火設備方式	・ 屋内消火栓（・ 湿式　・ 乾式）　・ 連結送水管　・ 屋外消火栓 ・ スプリンクラー（・ 湿式　・ 乾式）　・ 不活性ガス消火　・ 泡消化 ・ 粉末消火　・ 連結散水　・ フード等用簡易自動消火　・消火器
ガス設備方式	・ 都市ガス　種別（　）　kJ／m3（N）（供給圧力　Pa）　・ 液化石油ガス

Ⅱ．特記仕様書

1．一般事項　（1）特記仕様書及び図面に記載されていない事項は，すべて「国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編，平成３１年版），公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編，平成３１年版）」（以下「標準仕様書」という。）」同部設備・環境課監修の「公共建築設備工事標準図（機械設備工事編，平成３１年版）」（以下「標準図」という。）による。

（2）電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合，電気設備工事及び建築工事はそれぞれの工事仕様書を適用する。なお，電気設備工事の工事仕様書は（　／　）図，建築工事の工事仕様書は（　／　）図による。

2．特記事項　（1）項は番号に○印の付いたものを適用する。

（2）特記事項は，○印の付いたものを適用する。○印の付かない場合は，※印の付いたものを適用する。

○印と○印の付いた場合は，共に適用するものとする。

章	項目	特記事項
一般共通事項	① 適用基準等	○ 営繕工事写真撮影要領（国土交通省大臣官房庁営繕部監修　平成３１年度版） ○ 建設工事執行規則（昭和３９年３月宮城県規則第９号） ○ 宮城県建設工事元請・下請適正化要綱（最新版） ・ 宮城県建築工事写真撮影要領（宮城県土木部制定　平成１２年版）及び工事写真撮影ガイドブック＜機械設備工事編＞(国土交通省大臣官房庁営繕部監修　平成３０年版)
	② 機材等	※ 本工事に使用する機材等は，設計図書に規定するもの，またはこれらと同等のものとする。ただし，これらと同等のものとする場合は，監督職員の承諾を受けるものとする。 ※ 本工事に使用する材料の選定及び施工に当たっては，「県有施設のシックハウスマニュアル」に留意し，揮発性有機化合物の放散による健康への影響に配慮する。 ※ 使用する材料のホルムアルデヒド仕様は，日本産業規格及び日本農林規格のＦ☆☆☆☆規格品，壁装材料協会　規格適合品または同等品，化学物質等製品安全データシート等にホルマリン不使用が明示されたものとする。
	③ 機材の品質・性能証明	本工事着手前に機器製作図を提出し，監督職員の承諾を受ける。 また，設備機材は，設計図書に定める品質及び性能を有することの証明資料又は外部機関等が発行する資料等の写しを監督職員に提出して，承諾を受ける。なお，標準仕様書に規定される製作図，試験成績表等を含む。
	④ 保険	本工事着手前に工事目的物及び工事材料等を，本工事完了後引渡し期日まで，火災保険及びその他の保険に付し写しを監督職員に提出のこと。
	⑤ 雇用	本工事は，公共職業安定所の紹介する者の雇い入れに努めること。
	⑥ 施工計画書および施工図等	工事の着手に先立ち，工事の総合的な計画をまとめた総合施工計画書を作成し，監督職員に提出する。 工事の施工に先立ち，工種別施工要領書および施工図等を作成し，監督職員の承諾を受ける。 また，県が実施する「公共事業環境マネジメントシステム」の対象工事においては，環境配慮計画（実施）書作成し，監督職員に提出する。
	⑦ 工事実績情報の登録（ＣＯＲＩＮＳ）	請負額が５００万円以上の場合は，工事実績情報を登録する。 受注時，変更時及び完成時にあらかじめ監督職員の確認を受け，登録手続きを行い，工事カルテの受領証を監督職員に提出のこと。
	⑧ 手続	工事の着手，施工，完成にあたり，関係官公署その他の関係機関への必要な届出手続等を遅滞なく行う。 なお，当該手続きに係わる費用は，受注者の負担とする。
	⑨ 事故報告	施工中に事故が発生した場合には，直ちに監督職員に通報するとともに，別に指示する「事故報告書」を明示する期日までに監督職員に提出する。
	⑩ 電気保安技術者	※ 配置する　・ 配置しない
	⑪ 技能士の適用	本工事に下記の当該職種別技能士（・ 1級　・ 2級）を適用させる。（資格証の写しを提出する） ○ 配管（配管工事）　○ 建築板金（ダクト製作及び取付け）　○ 熱絶縁施工（保温工事） ・ 冷凍空気調和機器施工（チリングユニット，パッケージ形空気調和機の据付及び調整）
	⑫ 足場等	○ 別契約の関係請負者が定置したものは無償で使用できる。　・ 本工事で設置 枠組足場を設ける場合は，「手すり先行工法等に関するガイドライン（厚生労働省平成２１年４月改訂）」によるものとし，二段手すり及び幅木の機能を有するものでなければならない。
	⑬ 監督職員事務所	※ 設けない　・ 設ける（　　号・・・建築工事仕様書）
	⑭ 工事用電力，水，その他	本工事に必要な工事用電力，水，及び諸手続等の費用はすべて引渡まで受注者の負担とする。
	⑮ 工事用仮設物	構内に作ることが　※ できる　・ できない
	16．残土処理	・ 構外搬出　※ 構内指示の場所に敷き均し　・ 構内指示の場所にたい積 建設発生土を場外へ搬出する場合　1建設発生土現場管理者（複数可）を選任し，施工計画書に記載し，提出する。　2ダンプトラック等管理表を，工事着手前に監督員に提出する。　3建設発生土搬出等管理表を，搬出を行う日毎に作成し，1週間毎の集計表を監督職員に提出する。　4建設発生土は受入地において，搬出先土量を伝票により管理するとともに，搬出先の土量を確認する。
	⑰ 発生材の処理	（1）建設リサイクル法の規定に基づく通知義務等の該当　・ なし　・ あり（ （2）　冷媒回収費用は（　・ 本工事　・ 別途工事） 冷媒の回収にあたっては，「特定製品に係るフロン類の回収及び破壊の実施の確保等に関する法律（フロン回収破壊法）」に従って行い，監督職員に第一種フロン類回収業者登録通知書の写し，フロン類回収証明書を提出する。ただし，家庭等のエアコン等で「特定家庭用機器再商品化法（家電リサイクル法）」の対象となっているものは法に従ってリサイクル（フロン類の回収を含む）を行い，監督職員に，特定家庭用機器廃棄物管理票（家電リサイクル券）の写しを提出する。 （3）引渡しを要するもの　※ なし　・ あり（ （4）廃棄物は，「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」等の関係法令を遵守し場外搬出の上適切に処分する。 （ア）特別管理産業廃棄物 ※ なし　・ あり　（　　） （イ）特定建設資材廃棄物の再資源化等を行う施設 ・ コンクリート　（　　） ・ コンクリート及び鉄から成る建設資材（　　） ・ 木　材　（　　） ・ アスファルトコンクリート　（　　） （ウ）その他発生材の処分を行う施設 ・ コンクリートガラ等の安定型の産業廃棄物（　　） 木くず等の管理型の産業廃棄物　（　　） ○ 廃プラ等の管理型の産業廃棄物　（株）東洋環境開発　東環リサイクルセンター） 建設リサイクル法 ・ 対象工事 落札が決定した業者は，分別解体等省令で定める様式第１号別表１～３のうち当該工事に該当する別表及び工程表を作成し，契約締結前に，契約担当者等に説明書を提出するものとする。また，特定建設資材廃棄物の再資源化等が完了したときは，建設リサイクル法第１８条に基づいて書面により報告すること。 ○ 対象外工事
仮設工事	① 工事用電力、水、その他	本工事に必要な工事用電力、水などの費用、及び官公署等への諸手続きなどの費用は、請負者の負担とする。 既設コンセントの使用　※ 不可　○ 可 既設給水栓の使用　※ 不可　○ 可
	② 養生	養生範囲（　施工範囲　　） 養生方法（　養生シート　　）

章	項目	特記事項
空気調和・冷房・暖房設備	1．設計温湿度	外気：一般系統　冬 −2．0℃ 69．2%；屋内（調整目標値）一般系統　夏 26℃ 45%；コンピューター室系統　夏 24℃ 45% 夏期 30.6℃(99時)55.5%(99時)；32.4℃(129時)50.2%(129時)；32.6℃(148時)57.8%(148時)；31.8℃(168時)51.0%(168時)
	3．煙突	取付箇所は図示による。 ※ 別途　・ 本工事（鋼板厚　mm、高さ　m以上） ※ 煙道径が３００mm以下は鋼板厚３．２mm，３００mmを超えるものは４．５mmとする。・ 図示による（煙道径が４００mmを超えるものには，排熱口に蝶番を取り付ける。）
	2．ばい煙濃度計		
	4．煙道		
	5．ダクトの区分	低圧とする（高圧１及び高圧２の部位は図示による。） ・ アングルフランジ工法　・ コーナーボルト工法　（　・ 共板　・ スライド）
	6．長方形ダクトの工法		
	7．風量測定口	取付け箇所は図示による。取付面は監督職員の指示による。
	8．チャンバ	(1)内貼りを施すチャンバーの表示寸法は外法を示す。 (2)空気調和機に取付けるサプライチャンバー及びレタンチャンバーで消音内貼りしたチャンバーには，点検口を設ける。なお点検口の大きさは図示による。 (3)外壁に面するガラリに直接取り付けるチャンバー及びホッパーは雨水の滞留のないように施工する。
	9．防煙ダンパ	(1)復帰方式　※ 遠隔式（電気式（定格入力ＤＣ２４Ｖ，０．７Ａ以下） (2)復帰動作　※ 順送り
	⑩ 配管材料	（1）冷温水管　※ 配管用炭素鋼鋼管（白）　○ ファンコイル用フレキ管（ファンコイル接続部） （2）冷却水管　※ 配管用炭素鋼鋼管（白）　・ （3）蒸気管（給気管）　※ 配管用炭素鋼鋼管（黒）　・ （還水管）　※ 圧力配管用炭素鋼鋼管（Ｓｃｈ４０） （4）油管，油用通気管（一般）　※ 配管用炭素鋼鋼管（黒）　・ （土中）　※ ポリエチレン被覆鋼管
給水・排水・衛生器具設備	1．量水器	（1）親メーター　※ 借用　・ 買取り　（隔測メーター　・ 有　・ 無） （2）子メーター　※ 買取り　（隔測メーター　・ 有　・ 無）
	2．量水器桝	（1）親メーター用　※ 水道事業者の指定品　・ 標準図（機材５７） （2）子メーター用　※ 標準図（機材５７）　・ 水道事業者の指定品
	③ 配管材料	（1）一般用　（3）屋外土中用 ・ ステンレス鋼管（ＳＵＳ３０４）　・ ステンレス鋼管（ＳＵＳ３１６） ・ 塩ビライニング鋼管（・ＶＡ　・ＶＢ）　・ 塩ビライニング鋼管（ＶＤ） ○ ポリ粉体鋼管（・ＰＡ　○ＰＢ）　・ ポリ粉体鋼管（ＰＤ） ○ 水道用硬質ポリ塩化ビニル管（ＨＩＶＰ）　・ 水道用硬質ポリ塩化ビニル管（ＶＰ） （仮設給水管）　・ 〃　（ＨＩＶＰ） （2）土間配管用（厨房，浴室等のシンダー内含む）　・ ポリエチレン管 ・ ステンレス鋼管（ＳＵＳ３１６）　・ 水道用ゴム輪形硬質ポリ塩化ビニル管 ・ 塩ビライニング鋼管（ＶＤ）　・ ・ ポリ粉体ライニング鋼管（ＰＤ）　・ ・
	4．不凍水栓柱	化粧ケーシング（　・ アルミ合金製　・ 合成樹脂製　）
	⑤ 弁類	（1）水道直結部分　※ ＪＩＳ又はＪＶ１０Ｋ　○ 水道事業所の規定による１０Ｋ （2）その他の部分　※ ＪＩＳ又はＪＶ５Ｋ　○ ＪＩＳ又はＪＶ１０Ｋ ステンレス鋼管に取り付ける弁類は、ステンレス製とする。
	6．給水栓	（1）屋内（※ 一般水栓　・ 耐寒水栓　）　（2）屋外（※ 耐寒水栓　・ 一般水栓　） 湯沸室，台所，厨房用水栓は泡沫式とする。　耐寒水栓はＪＷＷＡの認証品とする。
	7．埋設深さ	（1）一般敷地内（　　ｍ以上）　（2）敷地内車両通路（　　ｍ以上） （3）公道部分（ ※ 水道事業者及び道路管理者規定による ）
	8．保温	（1）量水器桝内の保温を行う。 （2）屋外露出配管（弁フランジを含む）は，標準仕様書第２編（表２．３．６　ｅ２・（ハ））とし厚さは呼び径２５ｍｍ以下は５０ｍｍ，呼び径３２ｍｍ以上は４０ｍｍとする。
	9．埋設弁開閉用ハンドル	本工事に　※ 含む（水道事業者管理用以外の弁操作用）　・ 含まない
	⑥ 水道加入金等	水道加入金　・ 要（　・ 本工事　・ 別途 ）　○ 不要 ・ その他（　　）
	11．ステンレス管の接合方法	（1）呼び径６０ＳＵ以下　ＳＡＳ３２２（一般配管用ステンレス鋼管の管継手性能基準）を満足した継手による接合 （2）呼び径７５Ｓ以上　・ 溶接接合　・ ハウジング形管継手による接合　・ フランジ接合
	⑫ その他	給水管の最小口径は２０ｍｍとする。ただし、器具接続部分を除く。
排水設備	1．配管材料	（1）屋内汚水管　（2）屋内雑排水管　（3）屋外土中汚水，雑排水管 ・ 排水用塩ビライニング鋼管　・ 配管用炭素鋼鋼管（白）　・ 硬質ポリ塩化ビニル管（ＶＰ） ・ 鉛管　・ 排水用塩ビライニング鋼管　・ 硬質ポリ塩化ビニル管（ＶＵ） ・　・　・ 排水用リサイクル硬質ポリ塩化ビニル管（ＲＥＰ－ＶＵ） （4）土間配管用　（5）通気管　（6）ポンプアップ排水管 ・ 排水用塩ビライニング鋼管　・ 配管用炭素鋼鋼管（白）　・ ポリ粉体鋼管（ＰＤ） ・　・ 硬質ポリ塩化ビニル管（ＶＰ） ・　・ 台所流し等の床上露出部分の排水管は、硬質ポリ塩化ビニル管でもよい。

章	項目	特記事項
排水設備	2．排水桝	・ 桝リストは図面番号（　　） (1)材料　・ ＲＣ　・ 硬質塩化ビニル　・ ポリプロピレン　・ ＳＣ (2)ふた　・鉄鋳製（ ＭＨＡ　・ ＭＨＢ　・ Ｔ８Ａ ） ・樹脂製 ※ 県マーク、流体名入りおよび樹脂製ふたは原則としてＳＵＳチェーン付
	(3)規格	・ 日本下水道協会（ＪＷＳＡＳ）　・ プラスチック・マスマンホール協会（ＰＭＭＳ） ・ 市町村別基準（　・ 有　・ 無）
	3．グリース阻集器	・ＦＲＰ製（　　Ｌ）・ＳＵＳ製（　　Ｌ）　詳細は図示。
	4．満水試験継手	図示の箇所に取付け、満水試験を行うこと。
	5．試験	・ 衛生器具などの取付完了後、排水試験又は通水試験を行う。 衛生器具などの取付完了後、煙試験を行う。
	6．放流負担金等	・ 不要　・ 要（　・ 別途工事　・ 本工事 ）
	7．基礎材	※ 再生クラッシャーラン
給湯設備	1．配管材料	・ ステンレス鋼管（ＳＵＳ３０４）　・ 耐熱性ライニング鋼管　・ 銅管　・ 被覆銅管 ・ 保温付被覆銅管　＜樹脂管及び補給水タンクよりボイラー等への補給水管を含む。＞
	2．弁類	給水設備の当該事項による。
	3．湯沸器の排気筒	厚さ０．５ｍｍ以上のステンレス鋼板製とする。
	4．保温	湯沸器の給排気筒（二重管）のいんぺい部保温を行う。標準仕様書第２編３．１．５表２．３．５の（ｈ・(イ)・Ｘ）
	5．ステンレス管の接合方法	(1)呼び径６０ＳＵ以下　ＳＡＳ３２２（一般配管用ステンレス鋼管の管継手性能基準）を満足した継手による接合 (2)呼び径７５ＳＵ以上　・ 溶接接合　・ ハウジング形管継手による接合　・ フランジ接合
消火設備	1．配管材料	(1)一般　(2)地中埋設部 ・ 配管用炭素鋼鋼管（白）　・ 外面被覆鋼管（ＳＧＰ－ＶＳ） ・ 圧力配管用炭素鋼鋼管（ＳｃｈＡＯ）　・ ポリエチレン被覆鋼管（ＳＧＰ－ＰＳ） ・ 外面被覆鋼管（ＳＴＰＧ－３７０ＶＳ） ・ ポリエチレン被覆鋼管（ＳＴＰＧ－３７０ＰＳ） (3)二酸化炭素用 ・ 圧力配管用炭素鋼鋼管（継目無管）（Ｓｃｈ８０）
	2．屋内消火栓種別	・ 易操作性１号消火栓　・ ２号消火栓　・ 広範囲型２号消火栓
	3．消火栓開閉弁	・ ＪＩＳ１０Ｋ　ＪＩＳ２０Ｋ
	4．保温	(1)屋外露出管については給水管に準ずる。 (2)充水タンクの保温　・ 施工しない　・ 施工する (3)消火配管の保温　屋内消火栓　施工しない　・ 施工する スプリンクラー　・ 施工しない　・ 施工する
	5．消火器類	(1)消火器　種別　・ 数量　（　　） (2)消火器収納箱　仕様　・ 材質　・ 数量（　　）
厨房機器設備	1．厨房機器類	（1）図示による（材質などは標準仕様書による）。ただし，寸法は参考とする。 （2）厨房機器据付要領は、標準図加工７４による。
ガス設備	1．配管材料	(1)一般　(2)地中埋設部 ※ 配管用炭素鋼鋼管（白）　※ ポリエチレン被覆鋼管 ・ ガス事業者の規定による　・ ガス事業者の規定による ・　・ ガス用ポリエチレン管 ・　・
	2．都市ガス	(1)ガスメーター 親メーターはガス事業者の設置、子メーターは本工事 (2)引込み負担金　・ 不要　・ 要（ ・ 別途工事　・ 本工事 ）
	3．液化石油ガス	(1)ガスボンベ　※ 借用　・ 買い取り　（ ・ １０ｋｇ ・ ２０ｋｇ ・ ５０ｋｇ　本） (2)ガスメーター　親メーターはガス事業者の設置、子メーターは本工事とする。 (3)集合装置　・ 標準図（施工７２）による（　本組） (4)転倒防止等　・ 標準図（施工７３）［・（ａ）　・（ｂ）］　・ ボルト、チェーン等はＳＵＳ製とする。 容器固定具をＧＬ＋３００に追加設置する。
	4．ガス漏れ警報器	図示の場所に取付ける　（　・ 分離形　・ 一体形 ）　・ 別途電気工事 外部出力端子　（ ・ あり　・ なし ）
	5．埋設深さ	(1)一般敷地内　ｍ以上）　(2)敷地内車両道路（　ｍ以上） (3)公道（ガス供給事業者及び道路管理者規定による）
	6．その他	配管工事は、原則としてガス供給事業者の責任施工とする。　供給事業者名（　　）

表１「完成書類」　本工事終了後下記の書類を提出すること。

名称	完成書類	部数	名称	完成書類	部数
1　完成調書	宮城工事完成引渡要領（令和３年４月１日版）	1部	6　取扱説明書 ①保守に関する案内書 ②機器別取扱説明書 ③緊急連絡先一覧 ④各種保証書	A４版：黒表紙金文字製本 （２　完成図書と合本可） 5)完成図書電子データ 10 工事に関する承諾確認書	1部
2　完成図書	A４版：黒表紙金文字製本 （機器完成図、取扱説明書と合本可。ただし，厚さが８０ｍｍを超える場合は分冊とする。）	1部	7　管理の手引き ①工事概要書 ②機器完成図 ③機器別取扱説明書 ④保守に関する案内書 ⑤緊急連絡先一覧表	A４版：チューブ式ファイル	1部
3　完成図（縮小）	白焼縮小製本 Ａ３版二つ折り うち１部は設備課保管	2部			
4　完成図・施工図（電子データ）	JWWXまたはDXF形式CADデータ及びPDF形式	CD 2枚	8　工事写真 ①施工写真 ②完成写真	A４版：チューブ式ファイル （着手前、施工状況、完成の各写真） A４版：ペーパーファイル 完成届に添付	1部
5　機器完成図 ①機器別完成図 ②機材対質証明書 ③機材検査成績書 ④工場試験成績書 ⑤工場立会検査成績書 ⑥現場据付試験成績書 ⑦総合試運転成績書	A４版：黒表紙金文字製本 （２　完成図書と合本可）	1部	9　工事に関する書類 ①施工計画書 ②施工要領書 ③承諾書・確認書 ④協議書 ⑤打合せ議事録 ⑥工事週報又は日報 ⑦安全に関する書類 ⑧廃棄物管理票の写し	A４版：チューブ式ファイル	1部

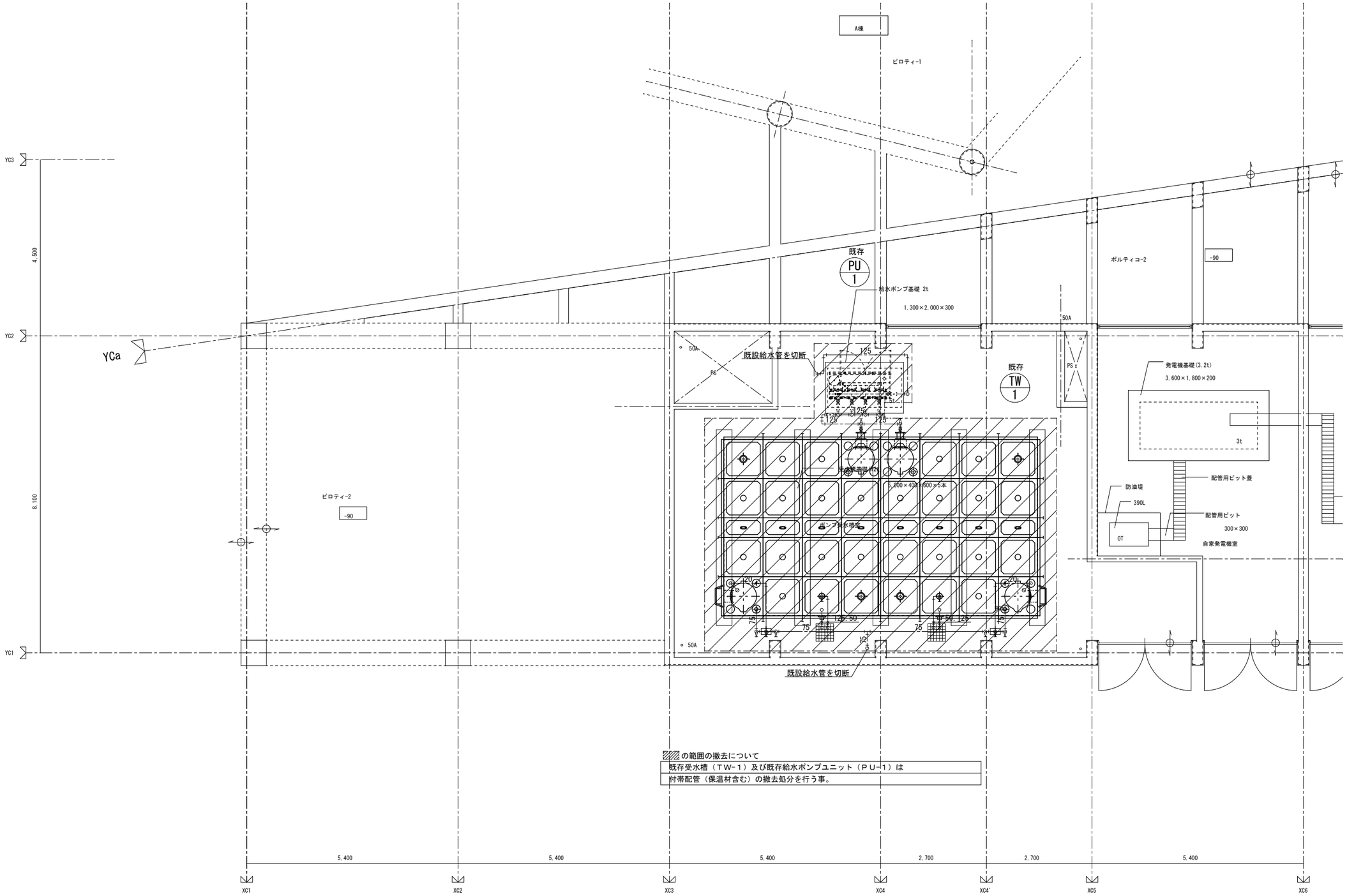
注記：機器及びシステム参考図について
本図面中で、機器又はシステムの品質・グレードを規定する目的で、対象品の寸法形状、諸元及びシステム構成等を参考図として記載している。
これらのものについては、その品質・性能が図面と同等品もしくはそれ以上のものを使用するものとする。

設計年月日	調査	設計	工事名称	図面名称	全葉	図面No
2022.03.31			令和３年２月１３日福島県沖地震による七ヶ浜健康スポーツセンター復旧工事	機械設備改修工事特記仕様書　Scale S=NO.SCALE(A1) S=NO.SCALE(A3)		M－０１

衛 生 機 器 表

機器番号	機器名称	機器仕様	消費電力 50Hz φ	V	kW	台数	設置場所	参考型式
ＷＴ－１	本設受水槽	型式　：ＦＲＰ製サンドイッチ構造パネル型(中仕切付)	―	―	―	１	１階　受水槽室	コンクリート基礎は既存利用
		容量　：８０００（４０００+４０００）×４５００×２０００ｈ						(受水槽設置後清掃及び
		呼称容量７２．０m3　（有効１．５ｈ　有効容量５４．０m3）						消毒を行う事)
		耐震　：１．０Ｇ						
		付属品　：平架台（溶融亜鉛メッキ）、内・外梯子、マンホール（６００φ)×４、電極棒取付座						
		電極保護管（透明有孔管）ポールタップ防波管、通気管						
		緊急遮断弁　１２５Ａ×２、制御盤×１、配管・配線共本工事に含む。						
ＷＰ－１	加圧給水ポンプユニット	型式　：インバーター制御（４台ロータリー運転）	３	２００	５．５×３	１	１階　受水槽室	KF2−65R4E5．5
		推定末端圧力一定型（ポンプＳＵＳ製）		（３台同時有）				（川本ポンプ）
		仕様　：（１２５φ×６５φ）×１３００Ｌ/ｍｉｎ×３９２ＫＰａ（４０ｍ）						コンクリート基礎は既存利用
		付属品　：ポンプヒーター、制御盤付（遠隔警報接点付）						
		スプリング防振架台　　その他標準付属品一式						
ＴＷ－１	撤去受水槽	型式　：ＦＲＰ製サンドイッチ構造パネル型(中仕切付)	―	―	―	１	１階　受水槽室	コンクリート基礎は残置再利用
		容量　：８０００×４５００×２０００ｈ						
		呼称容量７２．０m3　有効容量６４．８m3)						
		耐震　：２／３Ｇ						
		撤去部材：鋼製架台（亜鉛溶融メッキ仕上げ）						
		マンホール６００Φ×４、内外梯子、アンカーボルト、他一式						
ＰＵ－１	撤去給水ポンプユニット	型式　：吐出圧一定台数制御	―	―	―	１	１階　受水槽室	コンクリート基礎は残置再利用
		仕様　：（１２５Φ×８０φ）×１３００Ｌ/ｍｉｎ×３０ｍＡｑ×３．７ＫＷ×４						
		撤去部材：防振架台他一式						
		（注）						
		既設受水槽・給水ポンプユニットは施工手順に従って撤去・処分する事。						
		不用な配管類（保温材含む）は全て撤去・処分する事。						

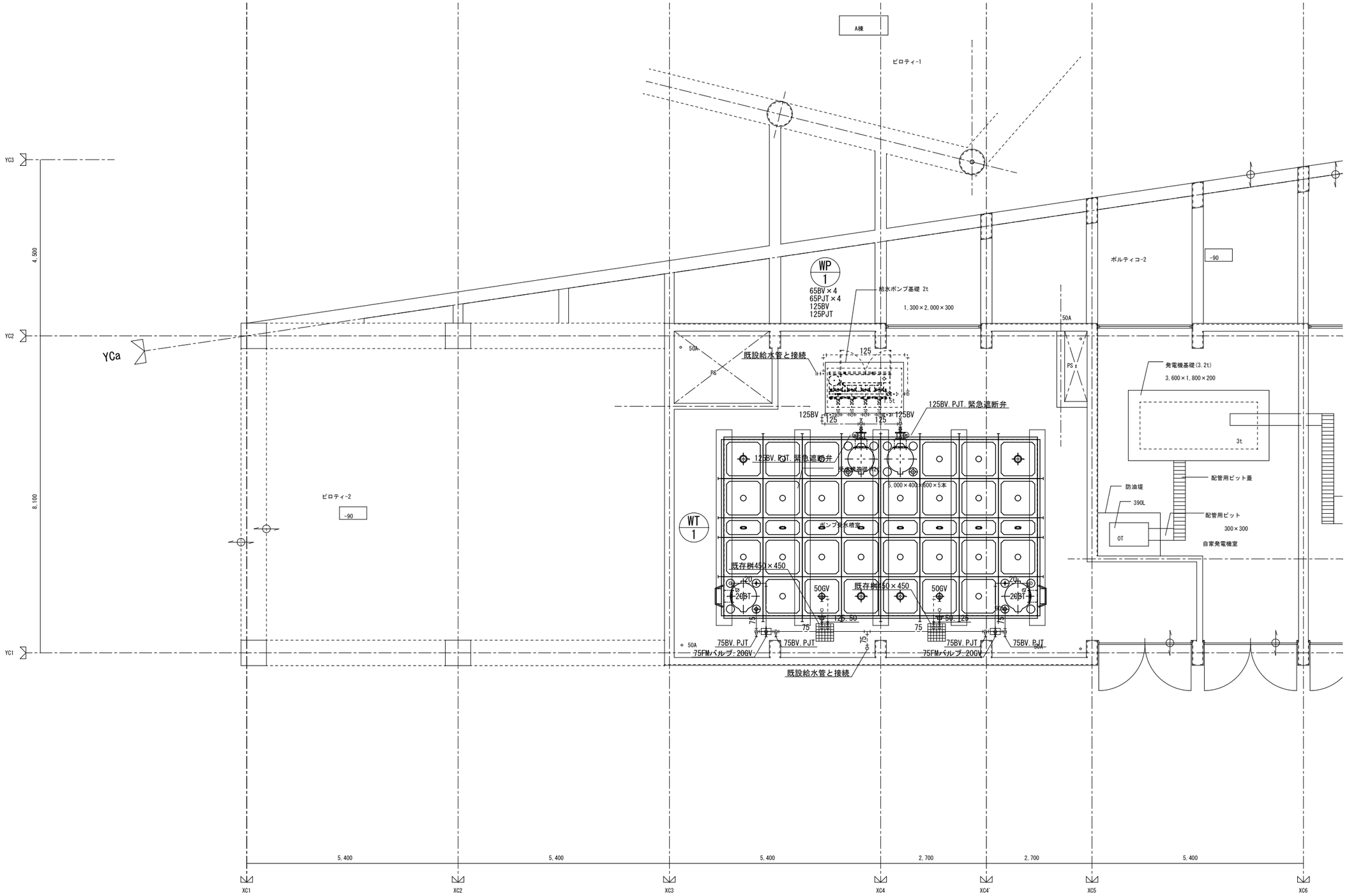
設計年月日	調査	設計	工事名称	全葉	図面 No
2022.03.31			令和３年２月１３日福島県沖地震による七ヶ浜健康スポーツセンター復旧工事		
			図面名称：衛生設備　機器表　Scale S=NO.SCALE(A1) S=NO.SCALE(A3)		Ｍ－０２



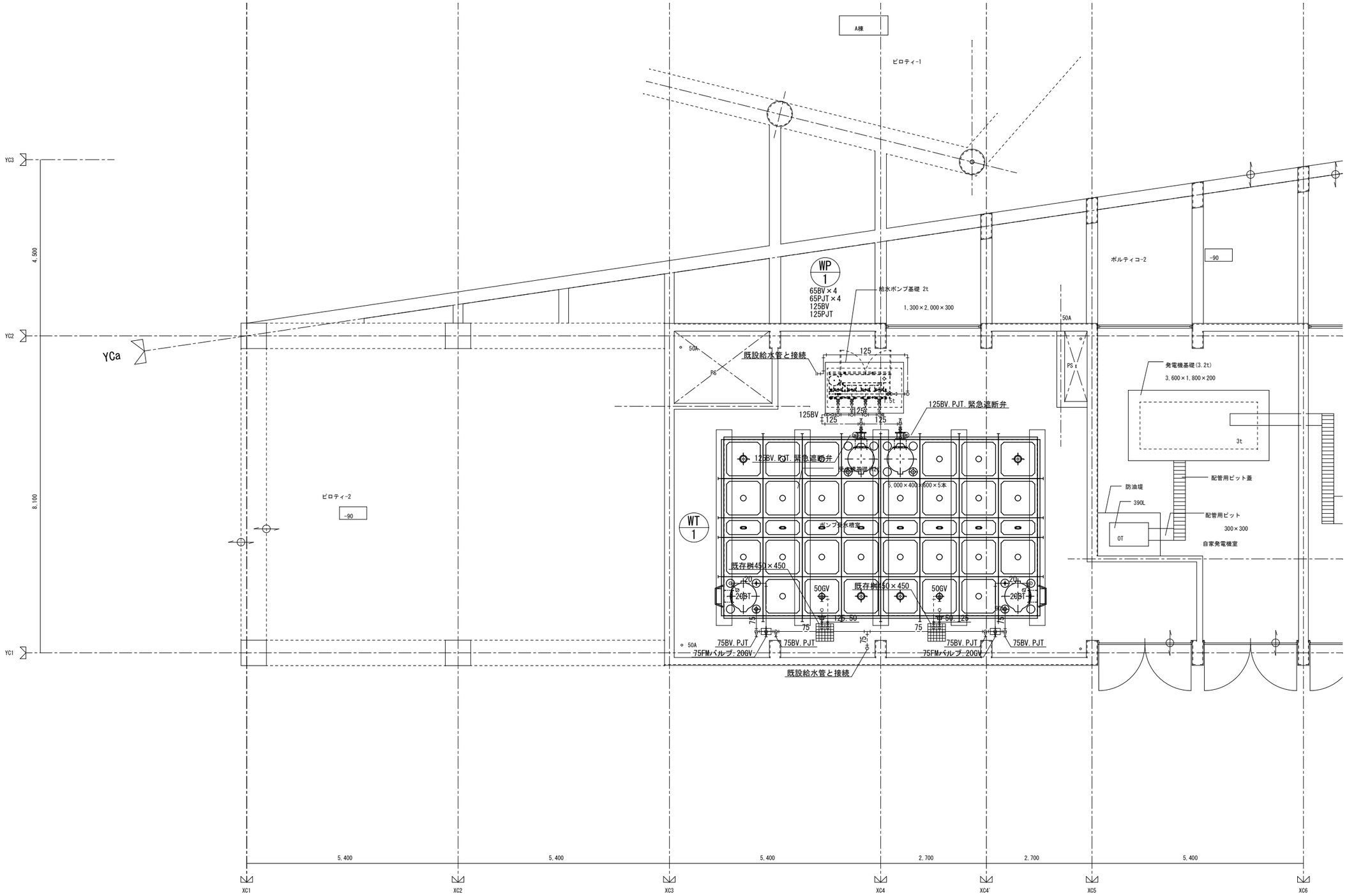
の範囲の撤去について

既存受水槽（ＴＷ－１）及び既存給水ポンプユニット（ＰＵ－１）は
付帯配管（保温材含む）の撤去処分を行う事。

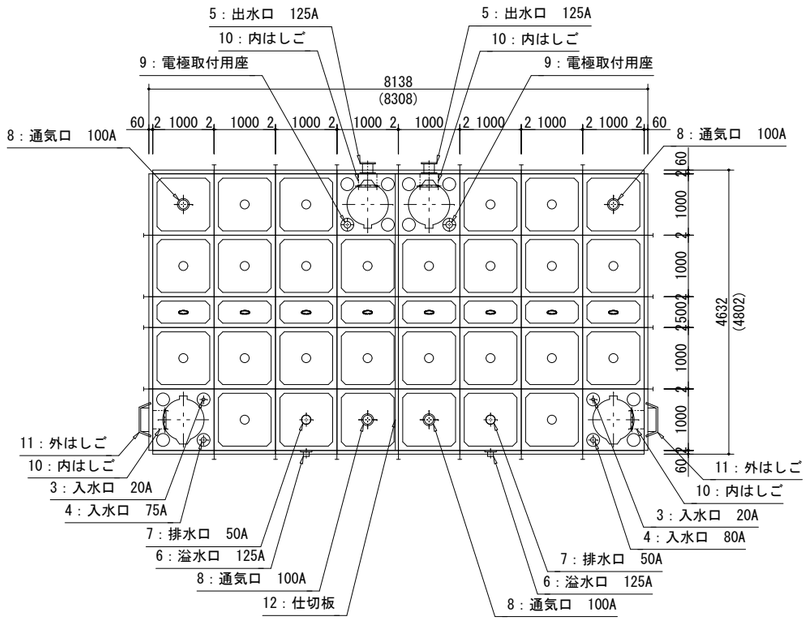
		設計年月日	調査	設計	工事名称	全葉	図面 No
		2022.03.31			令和３年２月１３日福島県沖地震による七ヶ浜健康スポーツセンター復旧工事		
					図面名称 衛生設備 （撤去）受水槽廻り詳細図	Scale S=1：50(A1) S=1：100(A3)	M－03

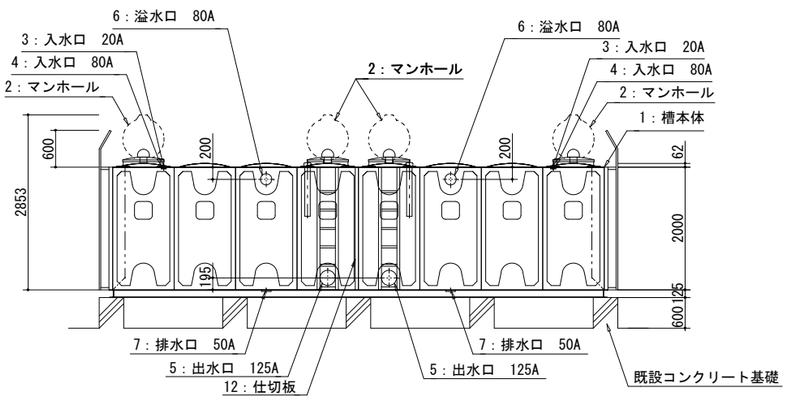


		設計年月日	調査	設計	工事名称	全葉	図面 No
		2022.03.31			令和３年２月１３日福島県沖地震による七ヶ浜健康スポーツセンター施設被害調査及び復旧工事		
					図面名称 衛生設備 （本設）受水槽廻り詳細図 Scale S=1：50(A1) S=1：100(A3)		M－04

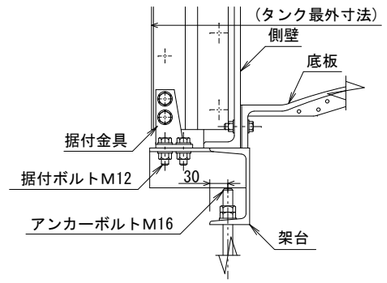


		設計年月日	調査	設計	工事名称	全葉	図面No
		2022.03.31			令和３年２月１３日福島県沖地震による七ヶ浜健康スポーツセンター復旧工事		
					図面名称 衛生設備 （本設）受水槽廻り詳細図 Scale S=1：50(A1) S=1：100(A3)		M－04





〈スロッシング対応品〉



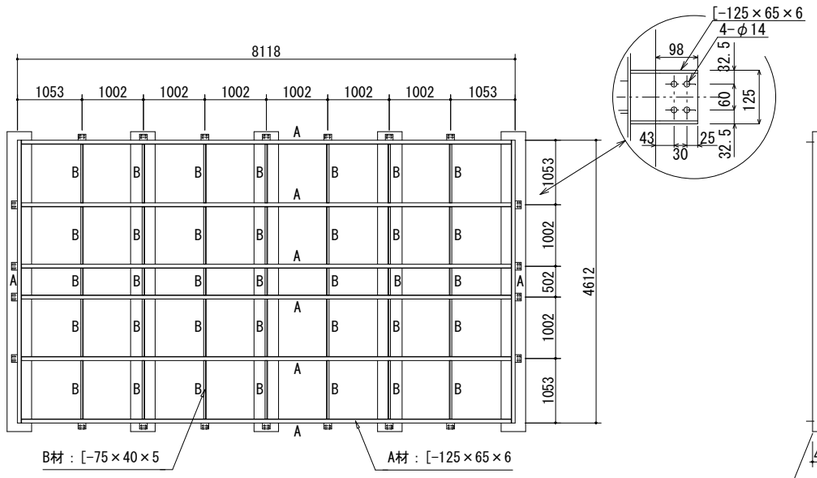
据付金具部詳細

注記

1. タンク外観色は，アイボリーです。（マンセル2.5Y9/2）
2. パネル締結用ボルトはSS溶融亜鉛めっき品です。
   （気相部は樹脂ライニングボルト・ナット品です。）
3. 水槽質量は，2870kgです。
4. （　）内寸法はタンク最外寸法を示します。
5. 短時間に集中して水槽容量のほぼ全量を一度に使用する等の条件の場合は、
   別途ご相談ください。
6. 側壁、底板部の平均保温厚は25mmです。
7. 天井も、複合板構造です。
8. 「公共建築工事標準仕様書」に準じます。

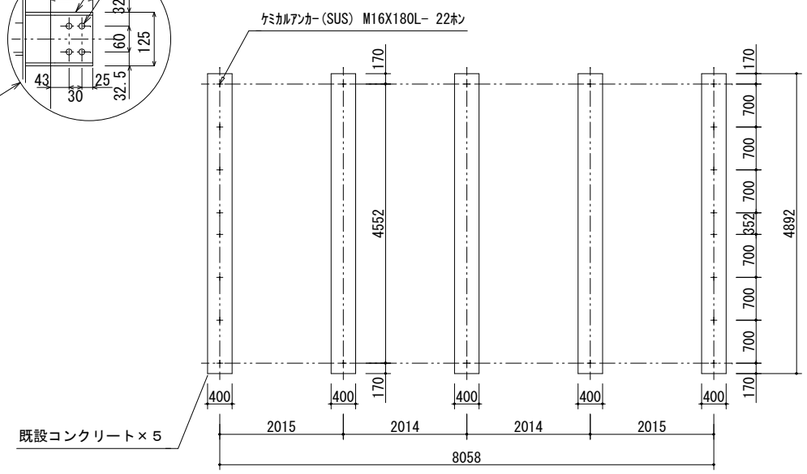
No	名　称	材質	数量	サイズ		
1	槽本体	FRP	1			
2	マンホール	FRP	4	φ600	取外し兼用型 内ふた付	B4.0 1.0
3	入水口	CAC	2	20A	ねじ込ｿｹｯﾄ	
4	入水口	CAC	2	80A	ねじ込ｿｹｯﾄ	
5	出水口	STL	2	125A	両面ﾌﾗﾝｼﾞ	
					緊急遮断弁2台，制御盤付（東洋ﾊﾞﾙﾌﾞ）	
6	溢水口	PVC	2	125A	TSﾌﾗﾝｼﾞ	
7	排水口	FC	2	50A	ｺｱ付ねじ込ﾌﾗﾝｼﾞ	
8	通気口	ABS	4	100A	防虫網付	
9	電極取付用座	ABS	2	PF2	ｶﾊﾞｰ，防波管付	
10	内はしご	PVC	4	巾300		
11	外はしご	SS	2	巾385	溶融亜鉛めっき品	
12	仕切板	FRP	1			
水平震度：K_H ＝1.0		二槽式 複合板構造				

		設計年月日	調査	設計	工事名称	全葉	図面 No
		2022.03.31			令和３年２月１３日福島県沖地震による七ヶ浜健康スポーツセンター復旧工事		
					図面名称：衛生設備　本設受水槽参考図（１）　Scale S=1：50(A1) S=1：100(A3)		Ｍ－０５



架 台 図

（溶融亜鉛めっき）



基 礎 参 考 図

（アンカーボルト位置図）

		設計年月日	調査	設計	工事名称	全葉	図面 No
		2022.03.31			令和３年２月１３日福島県沖地震による七ヶ浜健康スポーツセンター復旧工事 図面名称 衛生設備 本設受水槽参考図（２） Scale S=1：50(A1) S=1：100(A3)		M－０６

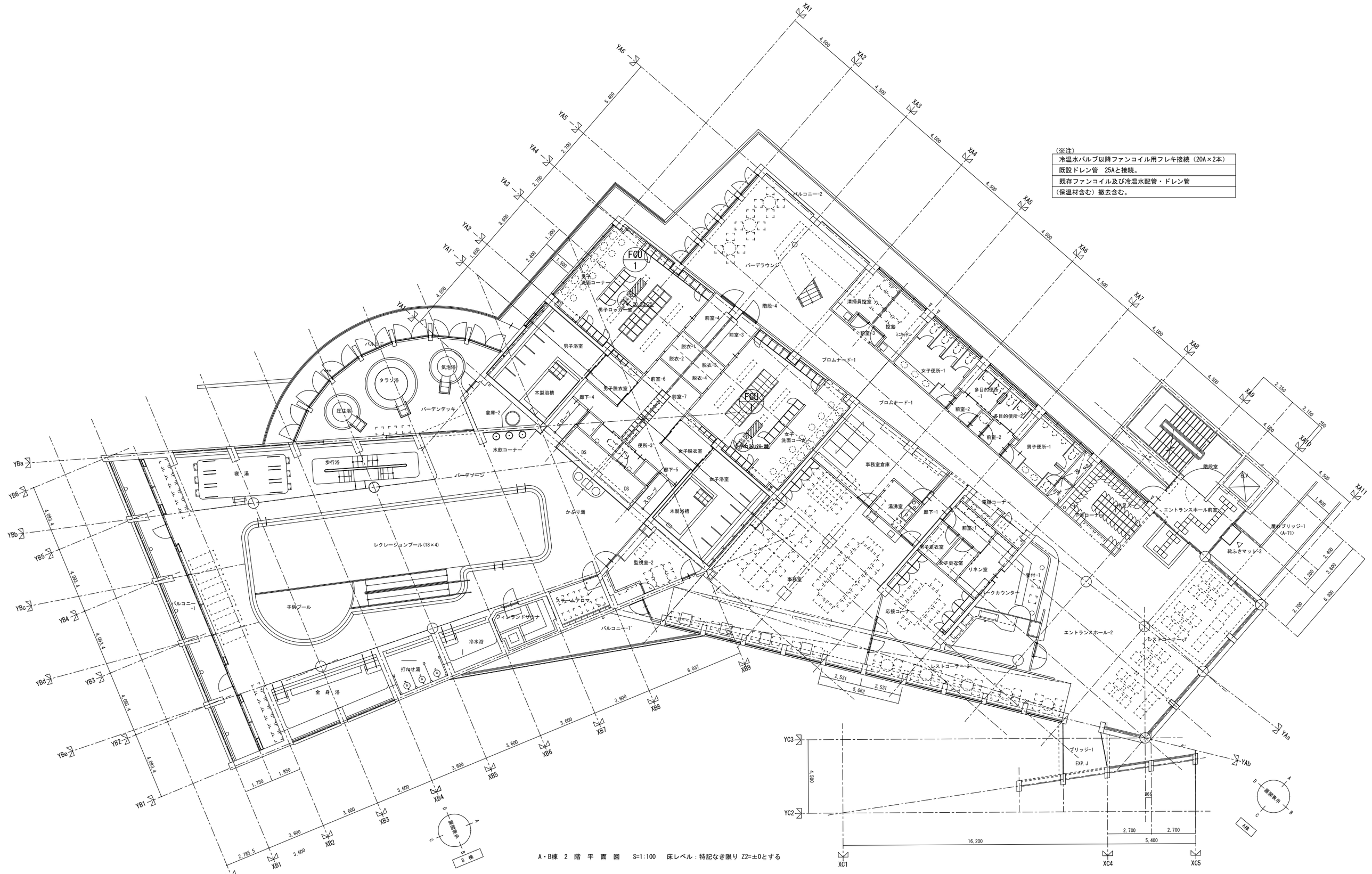
空 調 機 器 表

機器番号	機 器 名 称	機 器 仕 様	消 費 電 力 50Hz φ	V	kW	台 数	設 置 場 所	参 考 型 式
FCU-1	ファンコイルユニット	型式 ：天井埋込カセット形（２方向）	１	１００	―――	２	ＡＢ棟２階 男子ロッカー室	８００タイプ
		冷房能力 ： ７．１７ＫＷ（全熱）					女子ロッカー室	
		暖房能力 ：１２．９７ＫＷ						
		冷温水量 ：２０．６ L/min						
		付属品 ：ファンコイル用フレキ２０Ａ×２本、ファンコイル用コントロールスイッチ付属						
FCU-2	ファンコイルユニット	型式 ：天井埋込ダクト形	１	１００	―――	３	ＡＢ棟３階 リラックスルーム	１２００タイプ
		冷房能力 ：９．０８ＫＷ（全熱）						
		暖房能力 ：１７．４８ＫＷ						
		冷温水量 ：２６．１ L/min						
		付属品 ：ファンコイル用フレキ２０Ａ×２本、ファンコイル用コントロールスイッチ付属						
		既存ダクトキャンバス接続（吹出・吸込側共）						
FCU-3	ファンコイルユニット	型式 ：天井埋込カセット形（２方向）	１	１００	―――	１	Ｃ棟２階 プロムナード	１２００タイプ
		冷房能力 ：９．３３ＫＷ（全熱）						
		暖房能力 ：２０．９７ＫＷ						
		冷温水量 ：２６．８ L/min						
		付属品 ：ファンコイル用フレキ２０Ａ×２本、ファンコイル用コントロールスイッチ付属						

◎特記事項

ファンコイルは全て防振吊金物付属、振れ止め施工の事。
ドレンアップ機構、電動２方弁セット、その他標準付属品
冷房能力の条件は冷水入口温度７℃、室内乾球温度２７℃
暖房能力の条件は温水入口温度６０℃、室内乾球温度２０℃
ファンコイル用電源は既存利用とする。結線は本工事に含む事。

設計年月日	調査	設計	工事名称	全葉	図面 No
2022.03.31			令和３年２月１３日福島県沖地震による七ヶ浜健康スポーツセンター復旧工事		Ｍ－０７
			図面名称 空調設備 機器表 Scale S=NO.SCALE(A1) S=NO.SCALE(A3)		

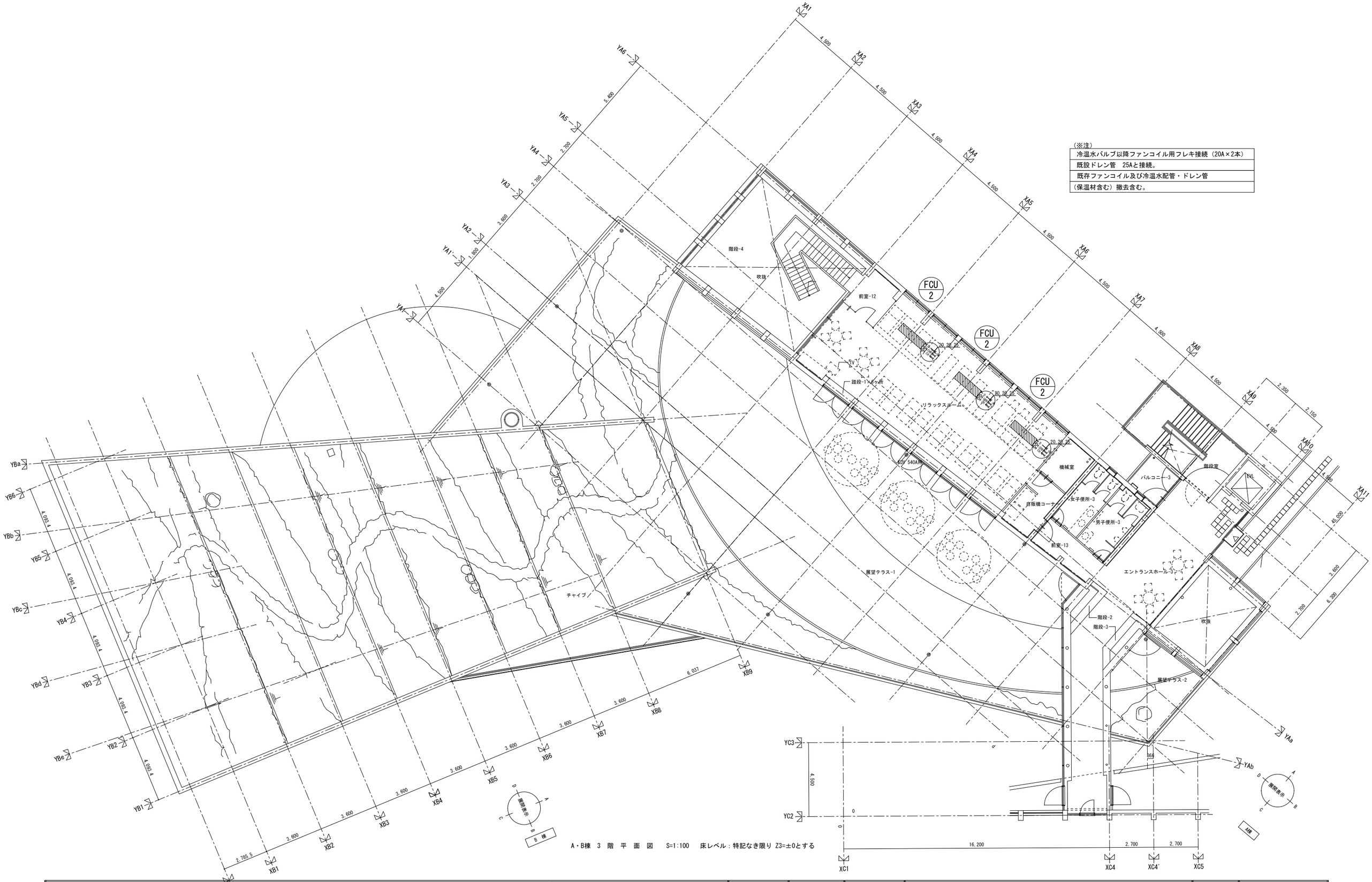


（※注）

冷温水バルブ以降ファンコイル用フレキ接続（20A×2本）
既設ドレン管　25Aと接続。
既存ファンコイル及び冷温水配管・ドレン管
（保温材含む）撤去含む。

A・B棟　2　階　平　面　図　　S=1:100　　床レベル：特記なき限り Z2=±0とする

		設計年月日	調査	設計	工事名称	全葉	図面No
		2022.03.31			令和３年２月１３日福島県沖地震による七ヶ浜健康スポーツセンター復旧工事		
					図面名称　空調設備　Ａ・Ｂ棟２階平面図　Scale S=1：100(A1) S=1：200(A3)		Ｍ－０８



（※注）

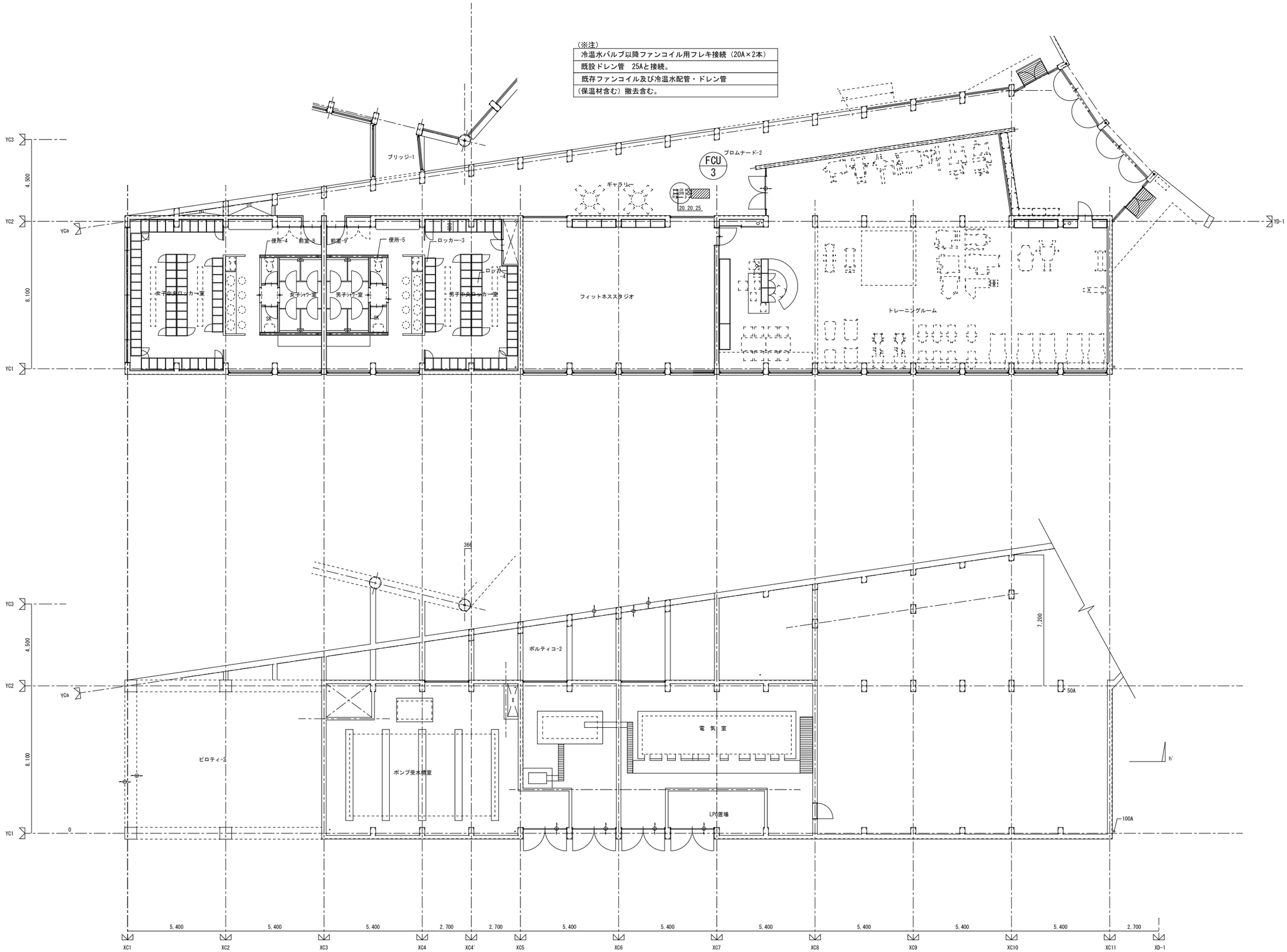
冷温水バルブ以降ファンコイル用フレキ接続（20A×2本）
既設ドレン管　25Aと接続。
既存ファンコイル及び冷温水配管・ドレン管
（保温材含む）撤去含む。

A・B棟　3　階　平　面　図　　S=1:100　　床レベル：特記なき限り Z3=±0とする

		設計年月日	調査	設計	工事名称　令和３年２月１３日福島県沖地震による七ヶ浜健康スポーツセンター復旧工事	全葉	図面 No
		2022.03.31			図面名称　空調設備　Ａ・Ｂ棟３階平面図　Scale S=1：100(A1) S=1：200(A3)		M－09

（※注）

冷温水バルブ以降ファンコイル用フレキ接続（20A×2本）
既設ドレン管　25Aと接続。
既存ファンコイル及び冷温水配管・ドレン管
（保温材含む）撤去含む。



1　階　平　面　図　　S=1:100　　床レベル：特記なき限り Z1、Z2=±0とする

		設計年月日	調査	設計	工事名称　令和３年２月１３日福島県沖地震による七ヶ浜健康スポーツセンター復旧工事	全葉	図面　No
		2022.03.31			図面名称　空調設備　C棟２階平面図　Scale S=1：100(A1) S=1：200(A3)		M－１０